

いきいき安心プランⅧまっど

第10期松戸市高齢者保健福祉計画

第9期松戸市介護保険事業計画

策定のためのアンケート調査 報告書

(事業所等アンケート調査編)

本報告書の対象調査

介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

介護事業所従事者調査（従事者）

介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

町会・自治会調査

特別養護老人ホーム入所待機者調査

令和6年3月

松戸市

<目 次>

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査実施の概要	3
3. 調査結果の表示方法	4
第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）	5
1. 回答者の基本属性	7
2. 事業所・施設の人材や業務に関することについて	9
3. 介護サービスについて	36
4. 地域での活動について	40
5. 市への要望	50
第3章 介護事業所従事者調査（従事者）	51
1. 回答者の基本属性	53
2. 基本的事項及び就労状況や就労意識について	55
3. 介護サービスについて	93
4. 地域での活動について	96
5. 市への要望	99
第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）	101
1. 回答者の基本属性	103
2. 基本的事項及び就労状況や就労意識について	104
3. 介護支援専門員業務全般について	117
4. ケアプランの作成状況等について	129
5. 居宅サービス事業者との関わりについて	145
6. 地域連携について	147
7. 市への要望	156
第5章 町会・自治会調査	157
1. 回答者の基本属性	159
2. 地域づくり等について	160
3. 地域連携について	166
4. 災害について	167
5. 町会等内の「通いの場」について	168

第6章 特別養護老人ホーム入所待機者調査 173

1. 回答者の基本属性 175
2. ご本人（入所予定者）の基本属性 175
3. ご本人（入所予定者）や家族の状況について 177
4. 特別養護老人ホームの入所申込み等について 186
5. 特別養護老人ホーム入所の優先順位について 195
6. 今後の生活や介護保険のサービスについて 196

巻末資料 調査票 201

1. 介護事業所従事者調査（経営者・管理者） 調査票 203
2. 介護事業所従事者調査（従事者） 調査票 209
3. 介護事業所従事者調査（介護支援専門員） 調査票 215
4. 町会・自治会調査 調査票 223
5. 特別養護老人ホーム入所待機者調査 調査票 227

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、令和6年度から8年度までの3年間を計画期間とした「いきいき安心プランⅧまつど（第10期松戸市高齢者保健福祉計画・第9期松戸市介護保険事業計画）」策定に向けて、本市の介護事業所従事者（経営者・管理者、従事者、介護支援専門員）及び町会・自治会の介護に対する意識や考え方、特別養護老人ホーム入所待機者の生活状況等を把握し、地域における高齢者施策の総合的な推進を図るための基礎資料として活用することを目的として実施しました。

2. 調査実施の概要

	介護事業所従事者調査 (経営者・管理者)	介護事業所従事者調査 (従事者)	介護事業所従事者調査 (介護支援専門員)	町会・自治会調査	特別養護老人ホーム入所待機者調査
対 象	市内にある介護事業所・施設の経営者・管理者	市内にある介護事業所・施設に所属する介護職員	市内にある介護事業所・施設に所属する介護支援専門員	市内の町会長・自治会長	特別養護老人ホーム入所待機者
母集団	478人	—	614人	347人	736人
標本数	478人	—	614人	347人	736人
抽出方法	悉皆調査	事前調査により把握できた対象者への悉皆調査		悉皆調査	
調査期間	令和5年1月13日～令和5年2月28日	令和5年4月17日～令和5年5月19日			
調査方法	郵送配布・郵送回収 及び WEB アンケート 併用				
配布数	478件	10,098件	614件	347件	736件
回答数	268件	2,547件	354件	256件	276件
郵送回答数	155件	2,005件	241件	202件	239件
WEB回答数 (WEB率)	113件 (42.2%)	542件 (21.3%)	113件 (31.9%)	54件 (21.1%)	37件 (13.4%)
回答率 (前回回答率)	56.1% (67.6%)	25.2% (26.3%) 送付数を母数とする	57.7% (71.8%)	73.8% (44.1%)	37.5% (41.9%)

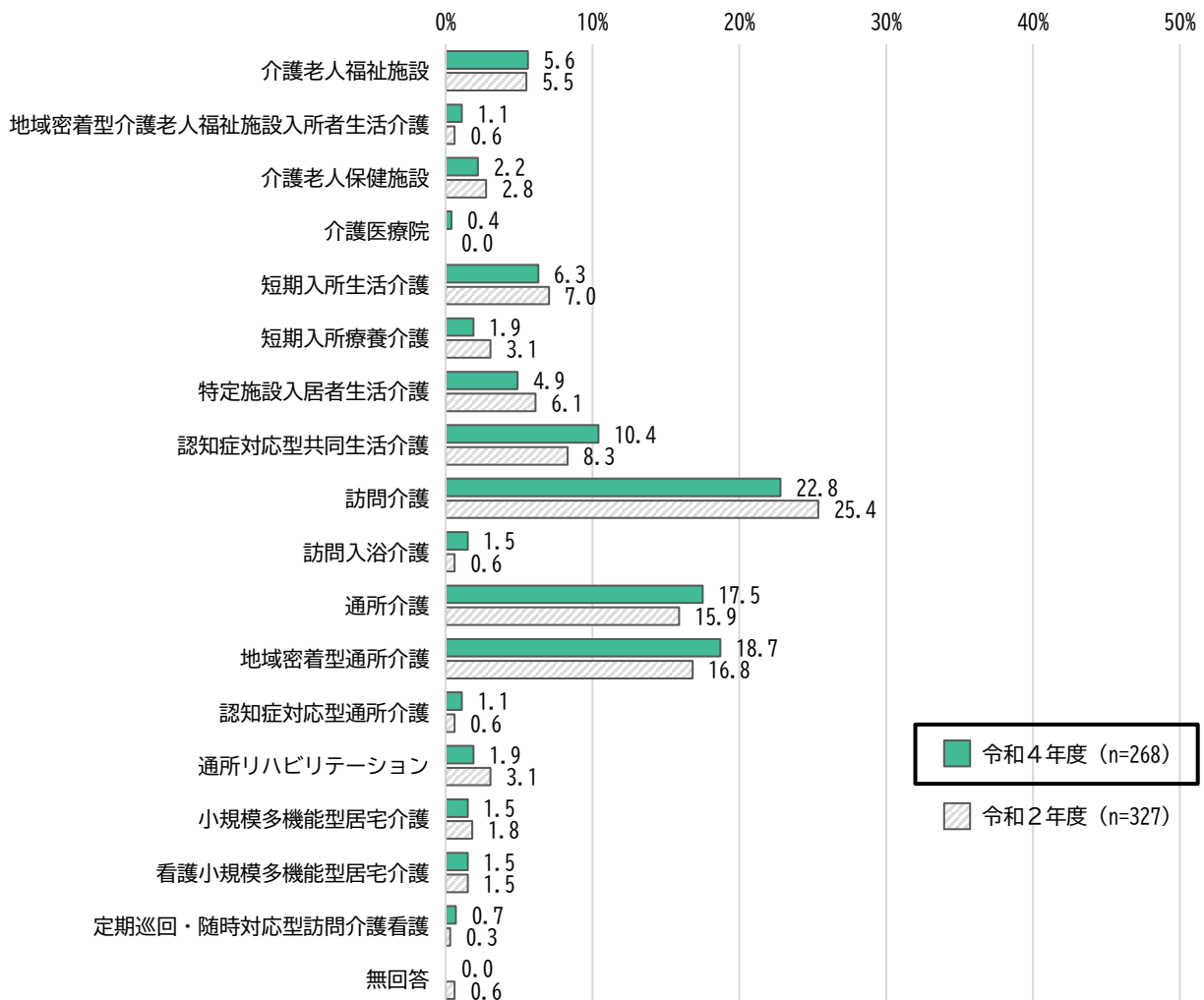
3. 調査結果の表示方法

- 図表中の「n」は各設問に該当する回答者の総数であり、回答率（%）の母数をあらわしています。
- 回答率は小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならないことがあります。また、回答者が2つ以上回答することができる質問（複数回答）の場合、その回答率の合計は100%を超えることがあります。
- 複数回答の図表においては、傾向をよりわかりやすくするために、「その他」「無回答」などを除き、選択肢を回答率（%）の高いものから低いものへと並び替えて表示している場合があります。
- クロス集計については、分析の柱となる項目（属性）の「無回答」は掲載を省略しています。ただし、「全体」は集計対象の全数を表示しているため、分析の柱となる選択肢の回答者数を合計しても必ずしも全体の数値とは一致しません。
- 無回答のもの、単一回答の設問において複数回答したもの、選択の判別がつかないものについてはいずれも「無回答」として集計しています。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- 選択肢「その他」の回答割合が10%を超えているものについては、代表的な意見や内容を記しています。ただし、調査票で記入欄を設けていない場合や、回答者数が少数のため分類が困難な場合は記載していません。
- 前回調査との比較について、次のように表記しています。
 - 「ほとんど変化はなく」：（四捨五入して） $\pm 1\%$ 未満の増減
 - 「微増・微減」：（四捨五入して） $\pm 1\% \sim \pm 3\%$ 未満の増減
 - 「増加・減少」：（四捨五入して） $\pm 3\% \sim \pm 10\%$ 未満の増減
 - 「大幅に増加・減少」：（四捨五入して） $\pm 10\%$ 以上の増減

第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

1. 回答者の基本属性

（1）サービス種別



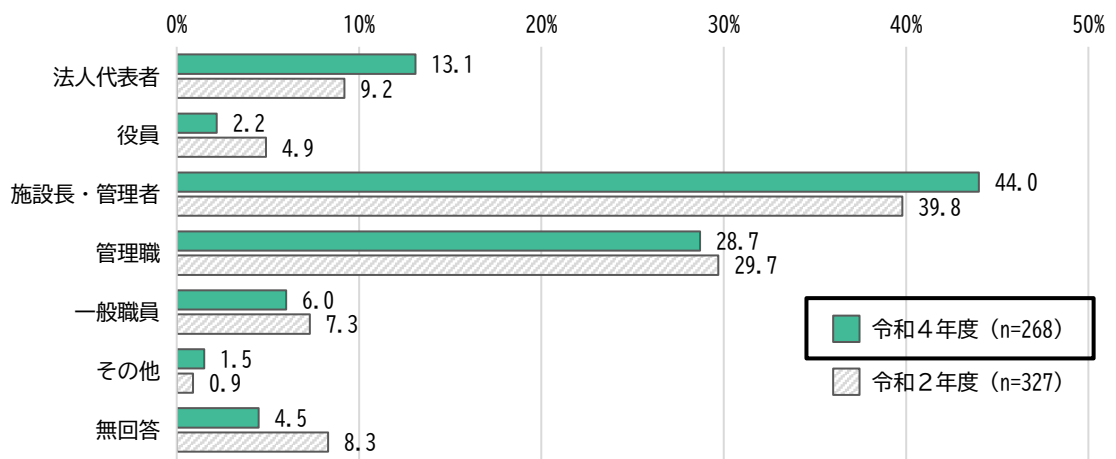
サービス種別によるクロス集計については

- ・ 介護老人福祉施設：介護老人福祉施設＋地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- ・ 介護老人保健施設：介護老人保健施設
- ・ 短期入所生活介護：短期入所生活介護＋短期入所療養介護
- ・ 特定施設入居者生活介護：特定施設入居者生活介護
- ・ 認知症対応型共同生活介護：認知症対応型共同生活介護
- ・ 訪問介護：訪問介護
- ・ 通所介護：通所介護＋地域密着型通所介護＋認知症対応型通所介護＋通所リハビリテーション
- ・ 小規模多機能型居宅介護：小規模多機能型居宅介護＋看護小規模多機能型居宅介護

として集計しています。また、介護医療院、訪問入浴介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護については回答者母数が少ないためクロス集計対象外としています。

第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

（2）記入者の役職



2. 事業所・施設の人材や業務に関することについて

問1 令和4年4月1日時点における貴事業所・施設の従業員数を雇用形態別・性別・年齢別にご記入ください。（数字を記入、該当者がいない場合は0を記入）

【正規職員】在籍平均人数

正規職員の在籍平均人数について、男性が5.06人、女性が9.01人、合計で14.07人となっています。

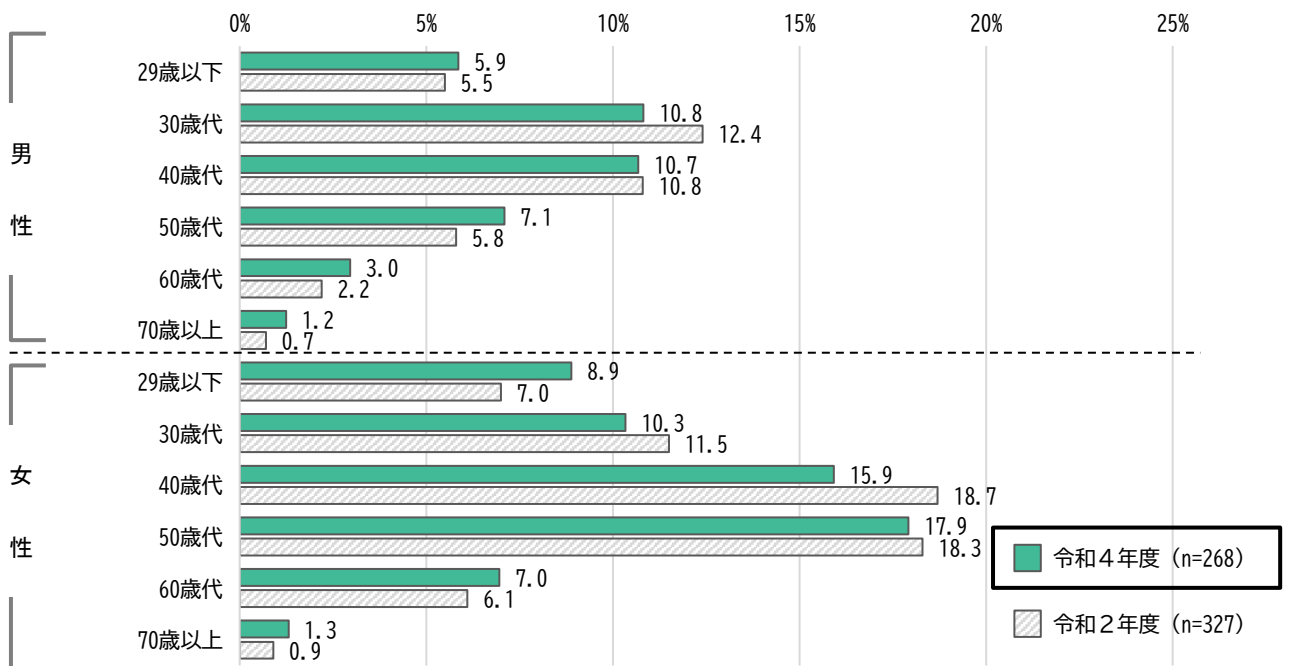
（単位：人）

	回答者数	男性	女性	合計
令和4年度	268	5.06	9.01	14.07
令和2年度	327	4.06	6.78	10.84
増減		+1.00	+2.23	+3.23

■ サービス種別 正規職員 在籍平均人数 （単位：人）

	回答者数	男性	女性	合計
介護老人福祉施設	18	12.79	22.64	35.43
介護老人保健施設	6	17.00	32.20	49.20
短期入所生活介護	22	6.81	11.69	18.50
特定施設入居者生活介護	13	10.67	18.67	29.34
認知症対応型共同生活介護	28	3.31	5.31	8.62
訪問介護	61	2.90	4.43	7.33
通所介護	105	2.40	4.54	6.94
小規模多機能型居宅介護	8	2.50	5.40	7.90

【正規職員】性別・年齢構成



第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

【非正規職員】在籍平均人数

非正規職員の在籍平均人数について、男性が2.51人、女性が10.52人、合計で13.03人となっています。

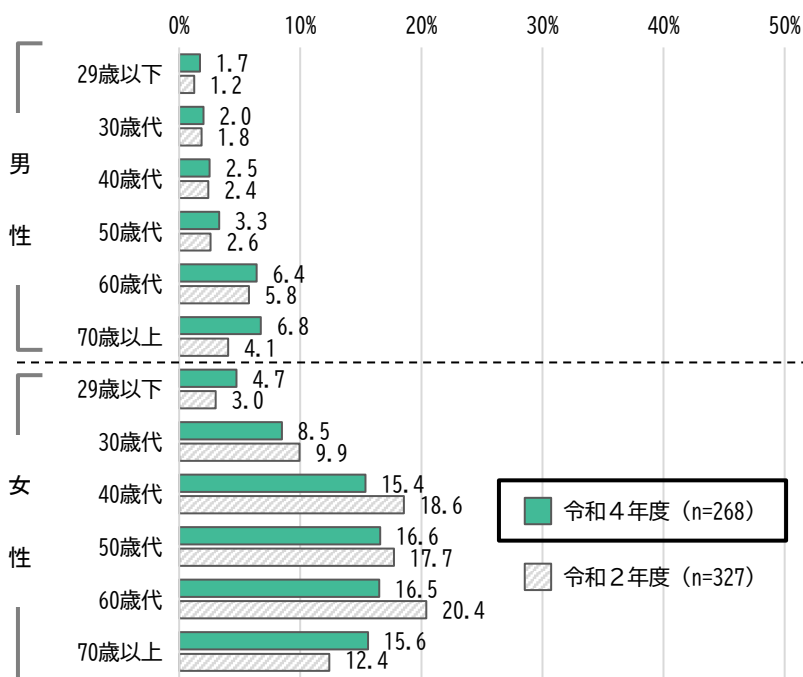
（単位：人）

	回答者数	男性	女性	合計
令和4年度	268	2.51	10.52	13.03
令和2年度	327	1.95	8.95	10.90
増減		+0.56	+1.57	+2.13

■ サービス種別 非正規職員 在籍平均人数 （単位：人）

	回答者数	男性	女性	合計
介護老人福祉施設	18	3.79	17.00	20.79
介護老人保健施設	6	5.80	11.40	17.20
短期入所生活介護	22	2.13	6.88	9.01
特定施設入居者生活介護	13	3.56	24.00	27.56
認知症対応型共同生活介護	28	1.13	9.00	10.13
訪問介護	61	2.29	8.83	11.12
通所介護	105	2.45	8.56	11.01
小規模多機能型居宅介護	8	1.80	13.00	14.80

【非正規職員】性別・年齢構成



問2 令和4年4月1日時点における貴事業所・施設従業員の保健医療福祉関係の保有資格者数をご記入ください。（複数資格を持っている方も、それぞれの資格ごとに1人としてカウントしてください）（数字を記入、該当者がいない場合は0を記入）

1 事業所あたり資格保有者平均人数

資格保有者平均人数について、介護福祉士が 8.42 人、「看護師・准看護師」が 2.70 人等となっています。

（単位：人）

	回答者数	①介護支援専門員	②主任介護支援専門員	③介護福祉士	④社会福祉士	⑤看護師・准看護師
令和4年度	268	1.55	0.20	8.42	0.52	2.70
令和2年度	327	1.36	0.09	8.37	0.36	2.52
増減		+0.19	+0.11	+0.05	+0.16	+0.18

■ サービス種別 資格保有者平均人数

（単位：人）

	回答者数	①介護支援専門員	②主任介護支援専門員	③介護福祉士	④社会福祉士	⑤看護師・准看護師
介護老人福祉施設	18	3.72	0.25	25.89	1.24	4.94
介護老人保健施設	6	2.83	0.17	25.00	1.67	10.83
短期入所生活介護	22	1.18	0.06	9.38	0.74	4.35
特定施設入居者生活介護	13	2.38	0.00	13.54	0.82	4.08
認知症対応型共同生活介護	28	1.57	0.29	7.18	0.25	0.38
訪問介護	61	1.49	0.36	7.28	0.23	0.57
通所介護	105	0.99	0.17	4.70	0.43	2.38
小規模多機能型居宅介護	8	1.25	0.14	5.75	0.14	4.13

第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

問3 令和3年4月～令和4年3月の間に貴事業所・施設に入職された方の人数を雇用形態別にご記入ください。（数字を記入、該当者がいない場合は0を記入）

平均入職人数

令和3年4月～令和4年3月の間の平均入職人数について、正規職員が1.96人、非正規職員が2.38人、合計で4.34人となっています。また、サービス種別により在職職員数に対する入職者数の割合に差がみられており、「訪問介護」では全体で24.1%となる一方、「特定施設入居者生活介護」では12.5%となっています。

（単位：人）

	回答者数	正規職員	非正規職員 （嘱託、契約、 臨時、パート等）	合計
令和4年度	268	1.96	2.38	4.34
令和2年度	327	2.63	3.24	5.87
増減		-0.67	-0.86	-1.53

■ サービス種別 平均入職人数

（単位：人）

	回答者数	正規職員	非正規職員 （嘱託、契約、 臨時、パート等）	合計
介護老人福祉施設	18	6.83	4.78	11.61
介護老人保健施設	6	8.00	2.17	10.17
短期入所生活介護	22	2.50	1.95	4.45
特定施設入居者生活介護	13	3.85	3.25	7.10
認知症対応型共同生活介護	28	1.41	1.63	3.04
訪問介護	61	1.72	2.73	4.45
通所介護	105	0.71	1.95	2.66
小規模多機能型居宅介護	8	0.43	3.13	3.56

■ サービス種別 入職者割合

（単位：%）

	回答者数	正規職員	非正規職員 （嘱託、契約、 臨時、パート等）	全体
介護老人福祉施設	18	19.3	23.0	20.7
介護老人保健施設	6	16.3	12.6	15.3
短期入所生活介護	22	13.5	21.6	16.2
特定施設入居者生活介護	13	13.1	11.8	12.5
認知症対応型共同生活介護	28	16.4	16.1	16.2
訪問介護	61	23.5	24.6	24.1
通所介護	105	10.2	17.7	14.8
小規模多機能型居宅介護	8	5.4	21.1	15.7

※正規職員入職者割合： 令和3年4月～令和4年3月の間の正規職員入職者数 / 令和4年4月1日時点正規職員数
 ※非正規職員入職者割合： 令和3年4月～令和4年3月の間の非正規職員入職者数 / 令和4年4月1日時点非正規職員数

問4 令和3年4月～令和4年3月の間に貴事業所・施設を退職された方の人数を雇用形態別にご記入ください。（数字を記入、該当者がいない場合は0を記入）

平均退職人数

令和3年4月～令和4年3月の間の平均退職人数について、正規職員が1.86人、非正規職員が1.96人、合計で3.82人となっています。また、サービス種別により在職職員数に対する退職者数の割合に差がみられており、「介護老人福祉施設」では全体で24.1%となる一方、「特定施設入居者生活介護」では10.5%となっています。

（単位：人）

	回答者数	正規職員	非正規職員 (嘱託、契約、 臨時、パート等)	合計
令和4年度	268	1.86	1.96	3.82
令和2年度	327	2.06	2.47	4.53
増減		-0.20	-0.51	-0.71

■ サービス種別 退職平均人数

（単位：人）

	回答者数	正規職員	非正規職員 (嘱託、契約、 臨時、パート等)	全体
介護老人福祉施設	18	9.50	4.06	13.56
介護老人保健施設	6	6.83	3.00	9.83
短期入所生活介護	22	2.65	1.35	4.00
特定施設入居者生活介護	13	2.77	3.23	6.00
認知症対応型共同生活介護	28	1.15	2.23	3.38
訪問介護	61	0.89	1.52	2.41
通所介護	105	0.72	1.58	2.30
小規模多機能型居宅介護	8	0.13	2.50	2.63

■ サービス種別 退職者割合

（単位：%）

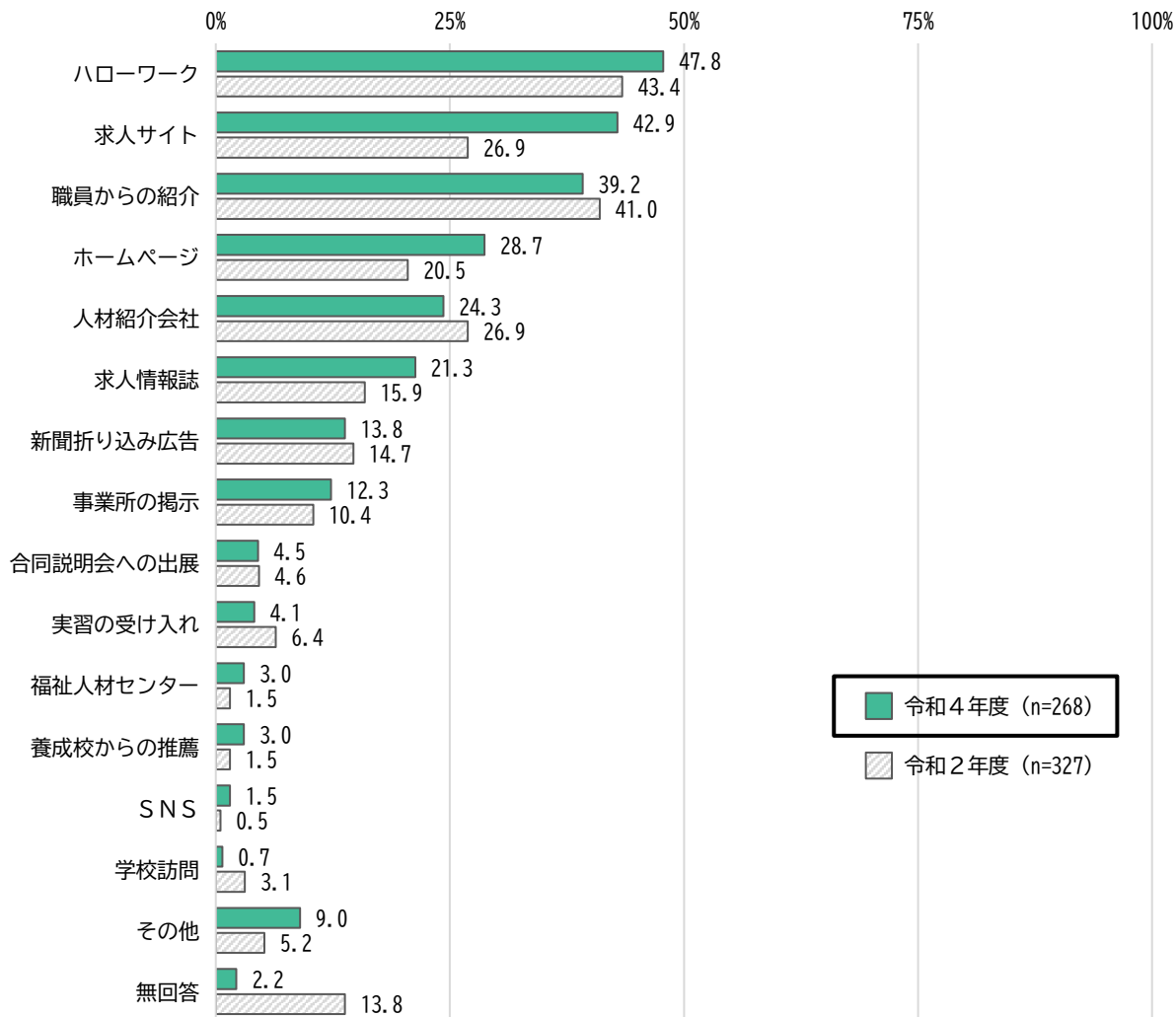
	回答者数	正規職員	非正規職員 (嘱託、契約、 臨時、パート等)	全体
介護老人福祉施設	18	26.8	19.5	24.1
介護老人保健施設	6	13.9	17.4	14.8
短期入所生活介護	22	14.3	15.0	14.5
特定施設入居者生活介護	13	9.4	11.7	10.5
認知症対応型共同生活介護	28	13.3	22.0	18.0
訪問介護	61	12.1	13.7	13.1
通所介護	105	10.4	14.4	12.8
小規模多機能型居宅介護	8	1.6	16.9	11.6

※正規職員退職者割合： 令和3年4月～令和4年3月の間の正規職員退職者数 / 令和4年4月1日時点正規職員数
 ※非正規職員退職者割合： 令和3年4月～令和4年3月の間の非正規職員退職者数 / 令和4年4月1日時点非正規職員数

第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

問5 貴事業所・施設に入職された方の主な採用ルートはどれですか。
（あてはまるものすべての番号に○）

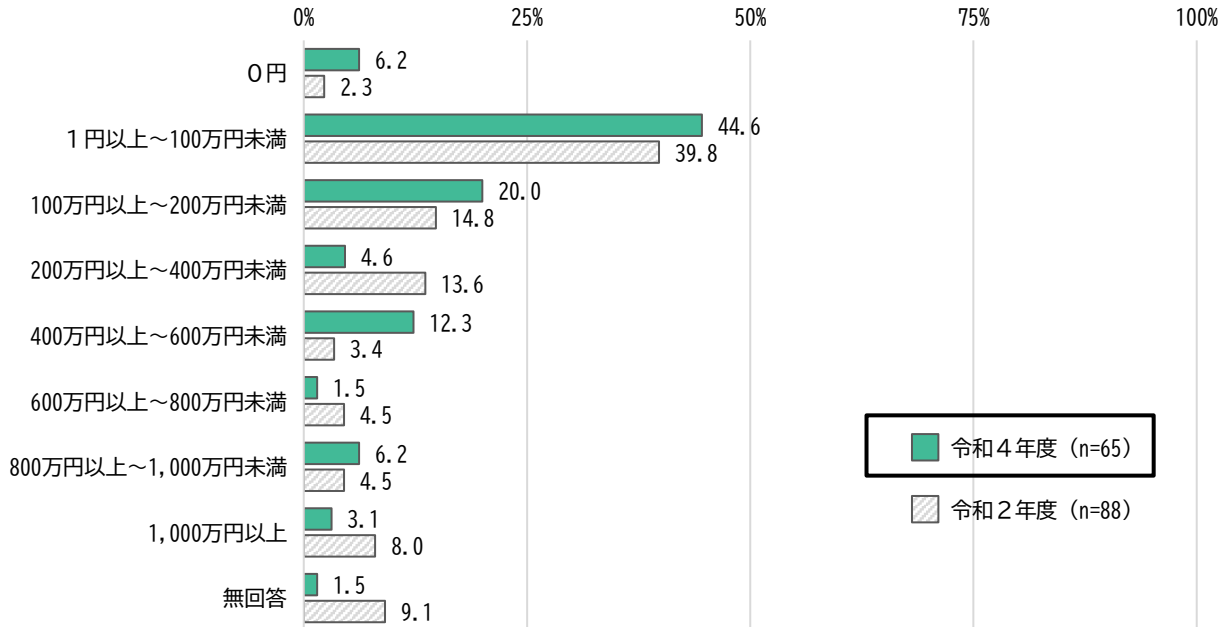
主な採用ルートについて、「ハローワーク」と回答した人の割合が前回調査より増加し 47.8%と
前回調査同様最も高く、次いで「求人サイト」が前回調査より大幅に増加し 42.9%となっています。
「ホームページ」を含むインターネットによる採用活動が増加しています。



採用ルートとして「人材紹介会社」と答えた方におうかがいします。

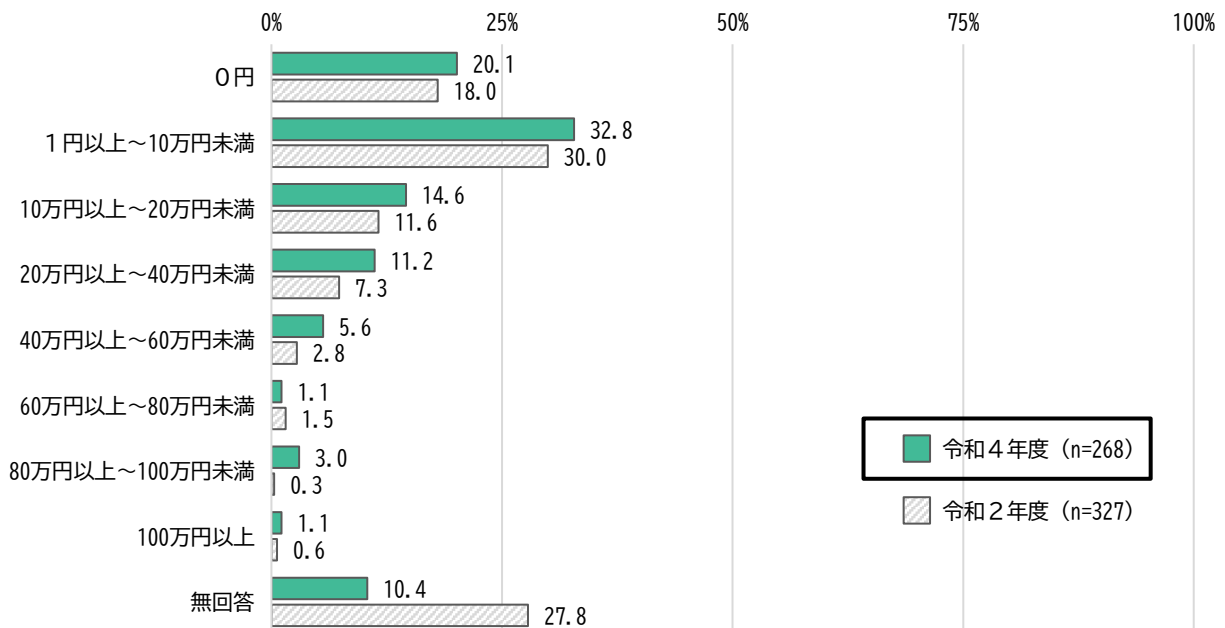
問5-1 過去1年の間で紹介料として負担した金額をお答えください。
（1つの番号に○）

人材紹介会社に過去1年の間で紹介料として負担した金額について、「1円以上～100万円未満」と回答した人の割合が前回調査より増加し44.6%と前回調査同様最も高くなっている一方、「100万円以上～200万円未満」「400万円以上～600万円未満」が前回調査より増加しており、人材紹介会社に対する紹介料の負担が一部の事業所・施設で多くなっています。



問6 採用に係る費用負担（月額）についてお答えください。（1つの番号に○）

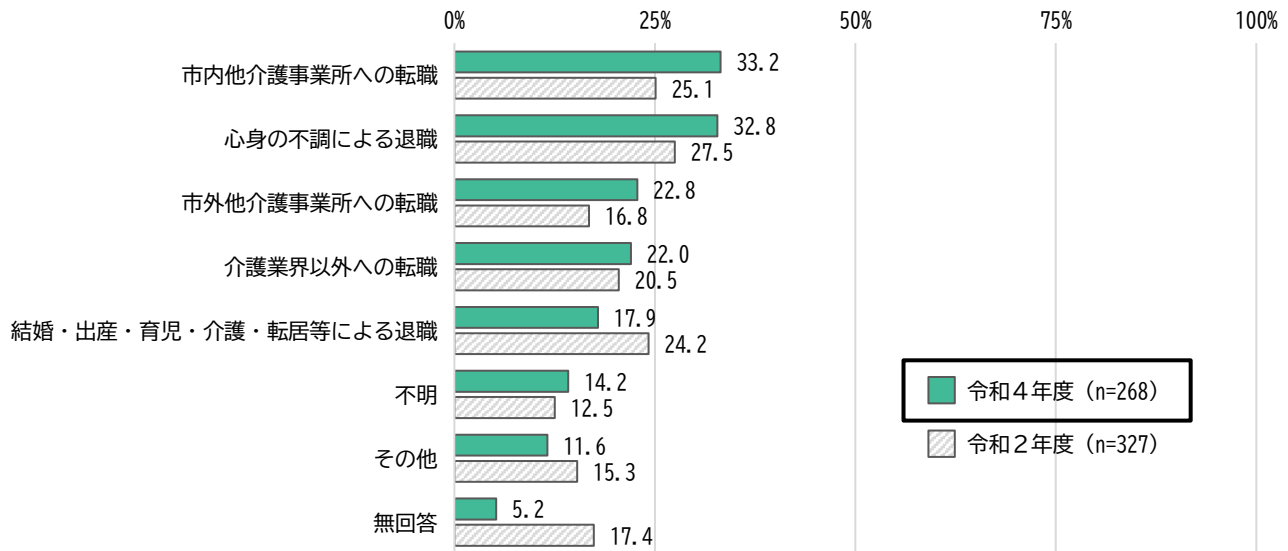
採用に係る費用負担（月額）について、「1円以上～10万円未満」と回答した人の割合が32.8%と前回同様最も高く、次いで「0円」が20.1%となっています。



第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

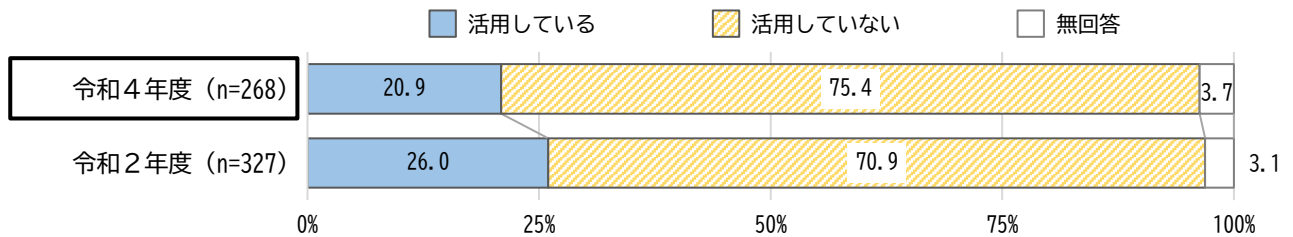
問7 貴事業所・施設を退職された方の主な退職理由はどれですか。（主なもの2つまでの番号に○）

職員が退職した主な理由について、「市内他介護事業所への転職」と回答した人の割合が前回調査より増加し 33.2%と最も高く、次いで「心身の不調による退職」も前回調査より増加し 32.8%となっています。一方で「結婚・出産・育児・介護・転居等による退職」については前回調査より減少しています。



問8 貴事業所・施設では派遣職員を活用していますか。（1つの番号に○）

派遣職員を「活用している」と回答した人の割合が前回調査より減少し 20.9%となっています。また、サービス種別により派遣職員の活用には大きな差がみられており、「介護老人保健施設」「特定施設入居者生活介護」では活用の割合が6割を超えています。



サービス種別

（単位：％）

	回答者数	活用している	活用していない
介護老人福祉施設	18	22.2	77.8
介護老人保健施設	6	66.7	33.3
短期入所生活介護	22	27.3	63.6
特定施設入居者生活介護	13	61.5	38.5
認知症対応型共同生活介護	28	21.4	75.0
訪問介護	61	6.6	91.8
通所介護	105	17.1	78.1
小規模多機能型居宅介護	8	50.0	50.0

※「無回答」は掲載を省略

派遣職員を「活用している」と答えた方におうかがいします。

問8-1 令和4年4月1日時点における貴事業所・施設の派遣職員数、令和3年4月～令和4年3月の間に貴事業所・施設にて新たに受け入れた派遣職員数をご記入ください。（数字を記入、該当者がいない場合は0を記入）

派遣職員の平均人数について、2.37人と前回調査より0.14人減少し、新たに受け入れた派遣職員の平均人数も3.57人と0.60人減少しています。

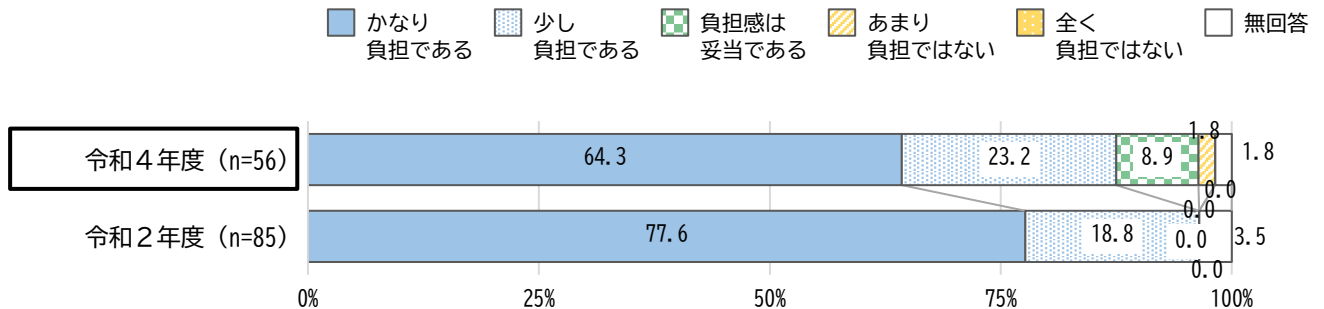
（単位：人）

	回答者数	① 令和4年4月1日時点における派遣職員平均人数	② 令和3年4月～令和4年3月の間に新たに受け入れた派遣職員平均人数
令和4年度	56	2.37	3.57
令和2年度	85	2.51	4.17
増減		-0.14	-0.60

派遣職員を「活用している」と答えた方におうかがいします。

問8-2 派遣職員に関する費用負担はどう感じていますか。（1つの番号に○）

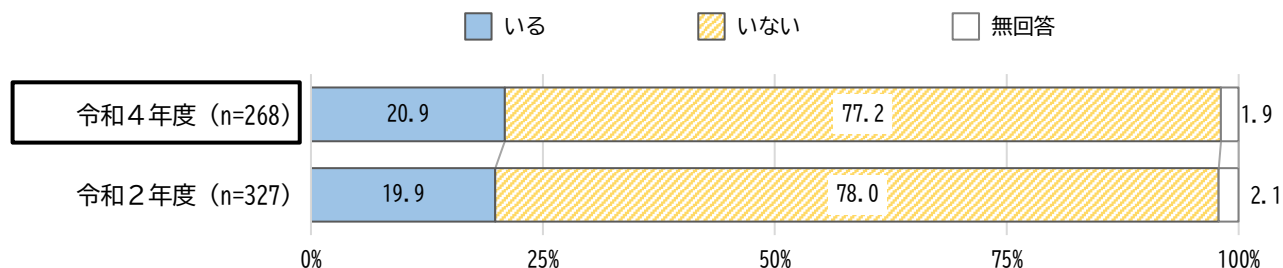
派遣職員に関する費用負担について、「かなり負担である」と感じている人の割合が前回調査より大幅に減少し64.3%となっています。



第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

問9 貴事業所・施設において、外国籍の職員はいますか。（1つの番号に○）

外国籍の職員が「いる」と回答した人の割合が前回調査より微増し20.9%となっています。また、サービス種別により外国籍の職員が「いる」と回答した人の割合に大きな差がみられており、「介護老人福祉施設」では7割を超えている一方、「訪問介護」「通所介護」「小規模多機能型居宅介護」では1割未満となっています。



サービス種別

(単位: %)

サービス種別	回答者数	いる (%)	いない (%)
介護老人福祉施設	18	72.2	27.8
介護老人保健施設	6	50.0	50.0
短期入所生活介護	22	50.0	45.5
特定施設入居者生活介護	13	53.8	46.2
認知症対応型共同生活介護	28	25.0	75.0
訪問介護	61	8.2	88.5
通所介護	105	9.5	88.6
小規模多機能型居宅介護	8	0.0	100.0

※「無回答」は掲載を省略

外国籍の職員が「いる」と答えた方におうかがいします。

問9-1 外国籍の介護職員について、下記の受け入れの枠組み毎に人数をご記入ください。（数字を記入、該当者がいない場合は0を記入）

外国籍の職員が「いる」事業所・施設のうち、外国籍の介護職員の受け入れの枠組み毎の平均人数について、「その他」を除くと「外国人技能実習生として」の受け入れ人数が1.48人と最も多くなっており、『在留資格「特定技能」として』の受け入れについては前回調査より0.69人増加と最も多く増加しています。

(単位: 人)

年度	回答者数	EPA介護福祉士として	外国人留学生 在留資格「介護」 として	外国人技能実習生 として	在留資格「特定技能」 として	永住者・定住者・ 日本人の配偶者	その他
令和4年度	56	0.81	1.34	1.48	1.12	1.45	2.04
令和2年度	133	1.17	1.13	1.06	0.43	1.49	0.83
増減		-0.36	+0.21	+0.42	+0.69	-0.04	+1.21

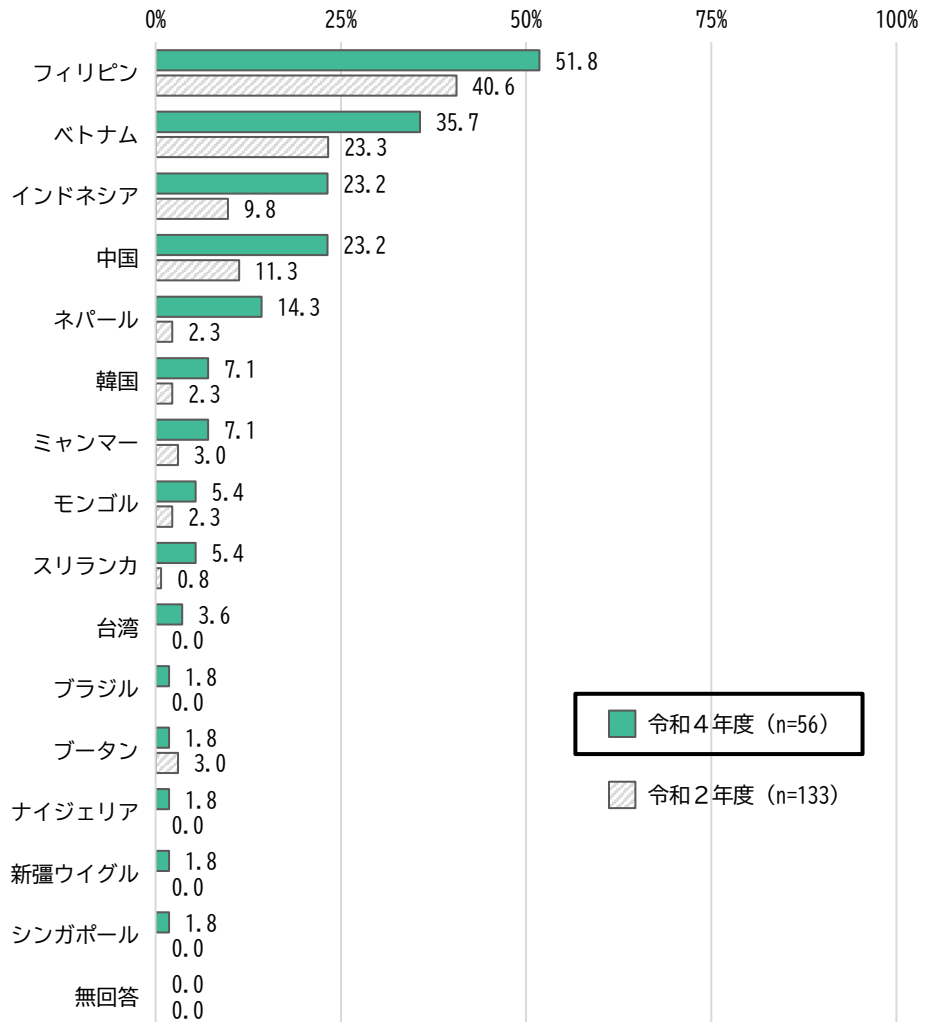
その他・・・日本語学校留学生、EPA看護師など

外国籍の職員が「いる」と答えた方におうかがいします。

問9-2 外国籍の職員について、国籍名とそれぞれの人数をご記入ください。

（国籍名と数字を記入）

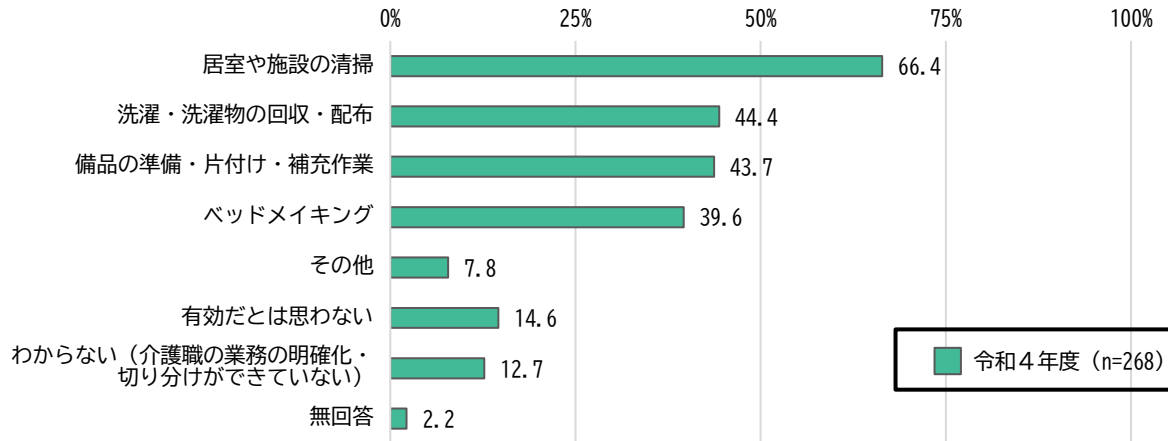
外国籍の職員の国籍について、「フィリピン」が前回調査より大幅に増加し 51.8%と前回調査同様最も高く、次いで「ベトナム」も前回調査より大幅に増加し 35.7%となっています。また、「インドネシア」「中国」「ネパール」も前回調査より大幅に増加しています。



第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

問10 タスクシェア・タスクシフティングが有効だと感じる業務は何ですか。
（あてはまるものすべての番号に○）

タスクシェア・タスクシフティングが有効だと感じる業務について、「居室や施設の清掃」と回答した人の割合が66.4%と最も高く、次いで「洗濯・洗濯物の回収・配布」が44.4%となっています。また、サービス種別に関係なくタスクシェア・タスクシフティングが『有効だと思う』と回答した人の割合は5割を超えており、特に「介護老人保健施設」「短期入所生活介護」など、施設系サービスにて『有効だと思う』人の割合が高くなっています。



■ サービス種別

(単位: %)

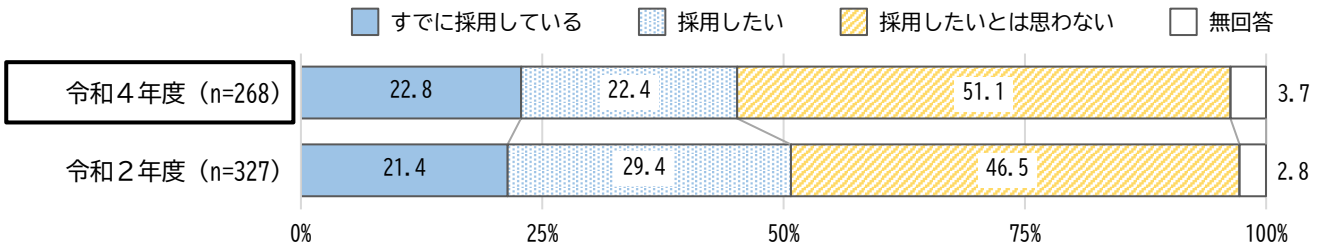
サービス種別	回答者数	有効だと思う (%)	有効だと思わない (%)
介護老人福祉施設	18	88.8	5.6
介護老人保健施設	6	100.0	0.0
短期入所生活介護	22	91.0	4.5
特定施設入居者生活介護	13	84.6	7.7
認知症対応型共同生活介護	28	78.6	10.7
訪問介護	61	59.0	18.0
通所介護	105	63.8	18.1
小規模多機能型居宅介護	8	87.5	12.5

※『有効だと思う』=100-「有効だとは思わない」-「わからない」-「無回答」

※「わからない」「無回答」は掲載を省略

問11 「介護助手」を採用したいと思いますか。（1つの番号に○）

「介護助手」の採用について、「すでに採用している」と回答した人の割合は前回調査より微増し22.8%となる一方、「採用したいとは思わない」と回答した人の割合が前回調査より増加し51.1%となっています。また、サービス種別により「すでに採用している」と回答した人の割合に大きな差がみられており、施設系サービスにおいても「介護老人福祉施設」では7割を超えている一方、「認知症対応型共同生活介護」では1割未満となっています。



■ サービス種別

(単位：%)

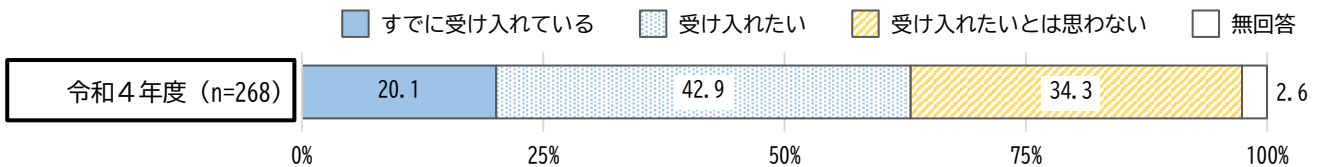
サービス種別	回答者数	すでに採用している	採用したい	採用したいとは思わない
介護老人福祉施設	18	72.2	5.6	22.2
介護老人保健施設	6	50.0	16.7	33.3
短期入所生活介護	22	59.1	13.6	22.7
特定施設入居者生活介護	13	61.5	15.4	23.1
認知症対応型共同生活介護	28	3.6	46.4	46.4
訪問介護	61	1.6	23.0	72.1
通所介護	105	19.0	22.9	53.3
小規模多機能型居宅介護	8	25.0	12.5	62.5

※「無回答」は掲載を省略

第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

問12 ボランティアを受け入れたいと思いますか。（1つの番号に○）

ボランティアの受け入れについて、「すでに受け入れている」と回答した人の割合が20.1%、「受け入れたい」が42.9%となっており、ボランティアの受け入れ意向については6割を超えています。また、サービス種別によりボランティアの受け入れ意向を示す割合に大きな差がみられており、施設系サービスにおいても「介護老人福祉施設」では9割近くなっている一方、「認知症対応型共同生活介護」では6割程度となっています。



サービス種別

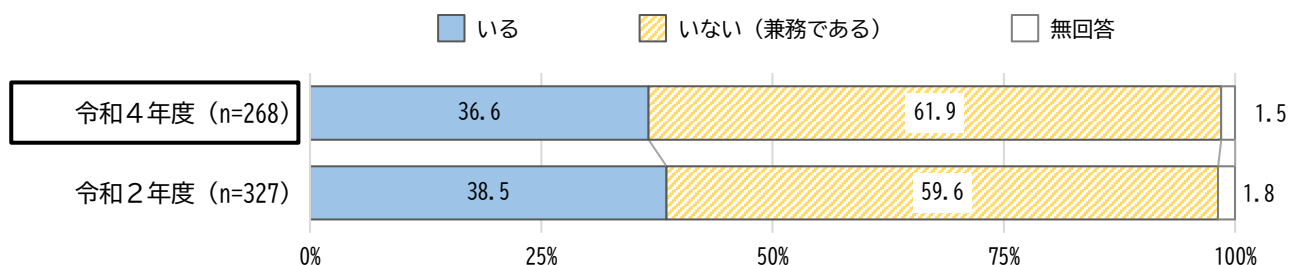
(単位：%)

サービス種別	回答者数	すでに受け入れている	受け入れたい	受け入れたいとは思わない
介護老人福祉施設	18	44.4	44.4	5.6
介護老人保健施設	6	16.7	66.7	16.7
短期入所生活介護	22	31.8	50.0	9.1
特定施設入居者生活介護	13	15.4	46.2	30.8
認知症対応型共同生活介護	28	0.0	64.3	35.7
訪問介護	61	4.9	31.1	62.3
通所介護	105	29.5	41.9	26.7
小規模多機能型居宅介護	8	25.0	37.5	37.5

※「無回答」は掲載を省略

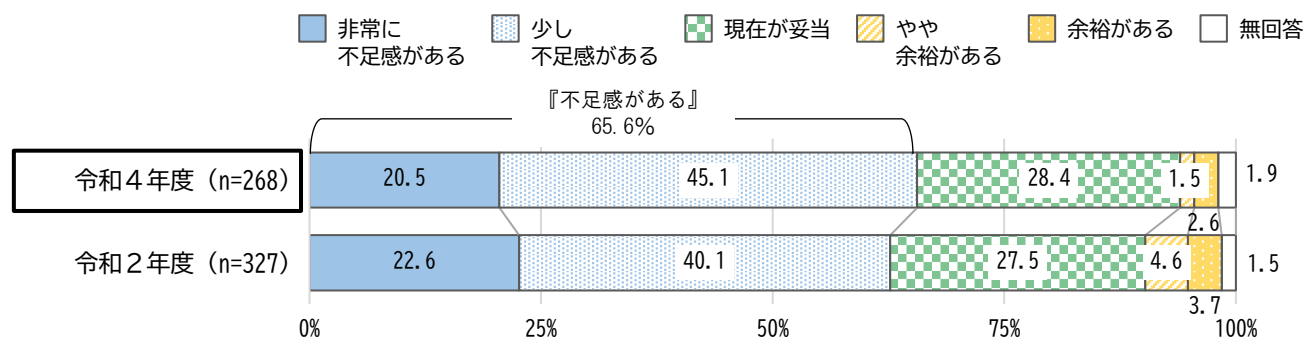
問13 内部事務(請求・労務管理等)のみを行う専任の職員はいますか。（1つの番号に○）

内部事務（請求・労務管理等）のみを行う専任の職員について、「いる」と回答した人の割合が前回調査より微減し36.6%となっています。



問14 貴事業所・施設における、介護職員配置の過不足状況はどうか。
（1つの番号に○）

介護職員配置の過不足状況について、「非常に不足感がある」あるいは「少し不足感がある」と『不足感がある』と回答した人の割合が前回調査より微増し65.6%となっています。また、サービス種別では、「介護老人福祉施設」「小規模多機能型居宅介護」にて『不足感がある』と回答した割合が8割を超えています。



※『不足感がある』＝「非常に不足感がある」＋「少し不足感がある」

■ サービス種別

（単位：％）

	回答者数	非常に不足感がある	少し不足感がある	現在が妥当	やや余裕がある	余裕がある	『不足感がある』
介護老人福祉施設	18	38.9	44.4	16.7	0.0	0.0	83.3
介護老人保健施設	6	16.7	50.0	16.7	0.0	16.7	66.7
短期入所生活介護	22	31.8	36.4	22.7	0.0	4.5	68.2
特定施設入居者生活介護	13	15.4	53.8	23.1	0.0	7.7	69.2
認知症対応型共同生活介護	28	10.7	60.7	21.4	7.1	0.0	71.4
訪問介護	61	29.5	44.3	19.7	1.6	3.3	73.8
通所介護	105	11.4	41.0	41.9	1.0	1.9	52.4
小規模多機能型居宅介護	8	37.5	50.0	12.5	0.0	0.0	87.5

※『不足感がある』＝「非常に不足感がある」＋「少し不足感がある」

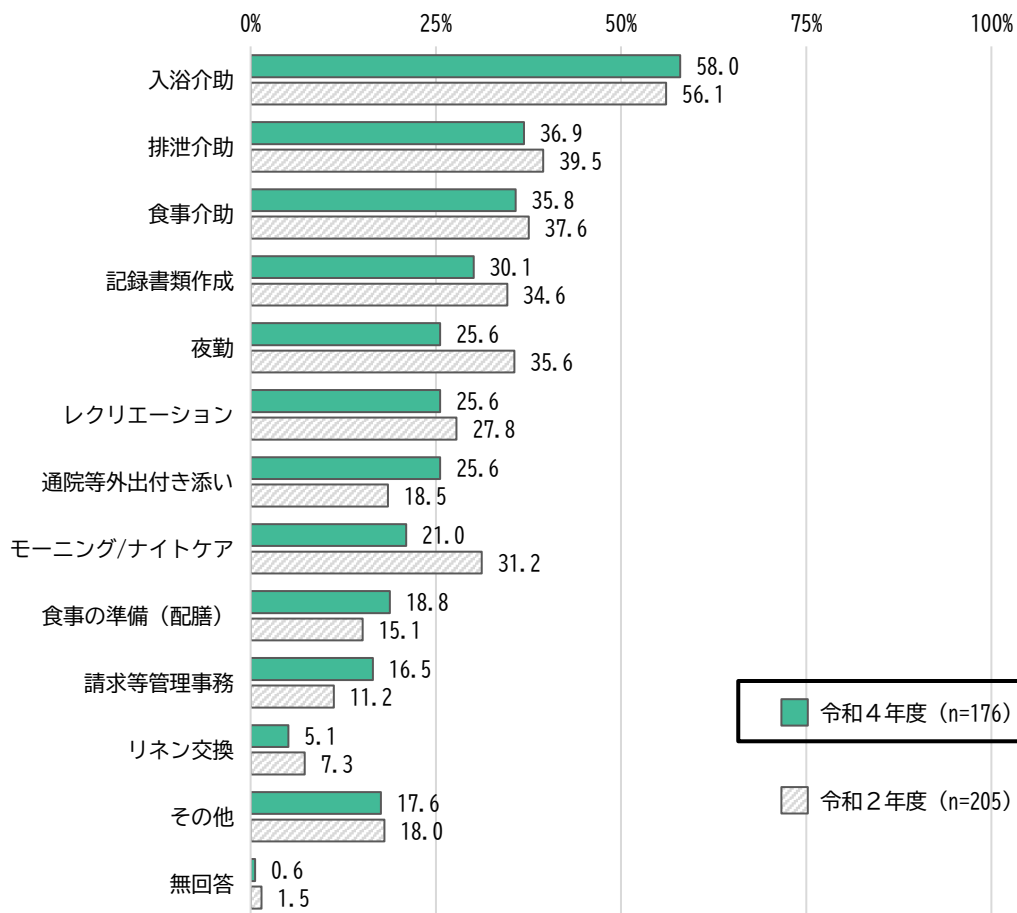
※「無回答」は掲載を省略

第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

介護職員配置について「非常に不足感がある」「少し不足感がある」と答えた方におうかがいします。

問 14-1 不足感を感じる業務は何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

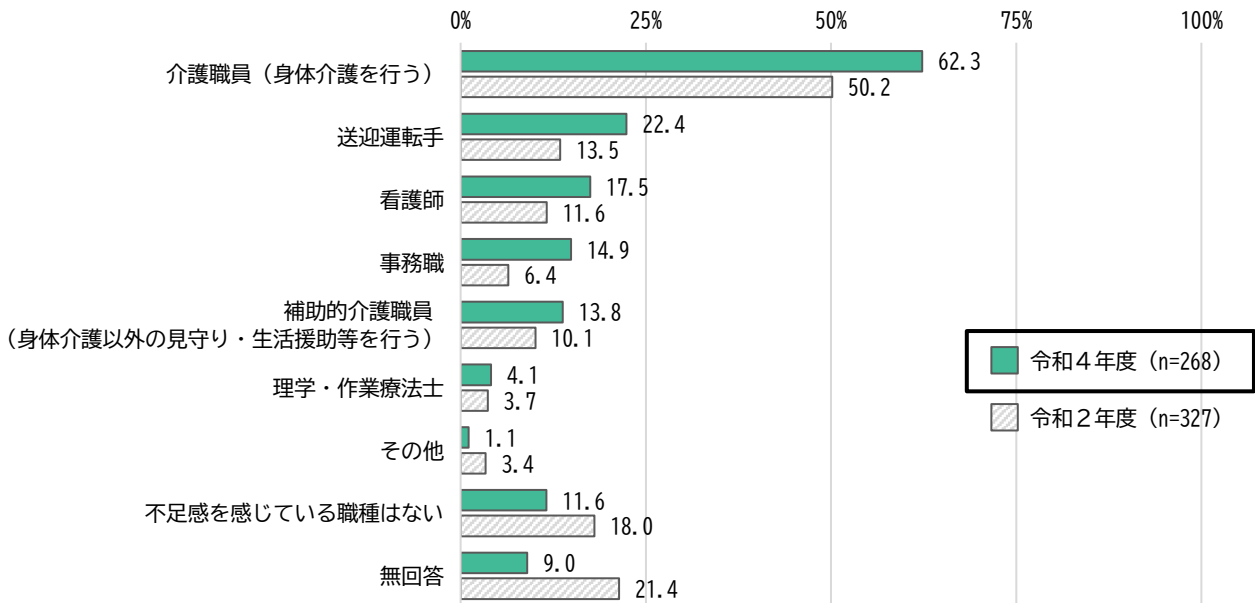
不足感を感じる業務について、「入浴介助」と回答した人の割合が前回調査より微増し 58.0%と前回調査同様最も高く、次いで「排泄介助」が 36.9%、「食事介助」が 35.8%と、身体介護について不足感を感じる割合が高くなっています。



その他・・・送迎、リハビリなど

問15 不足感を感じる職種は何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

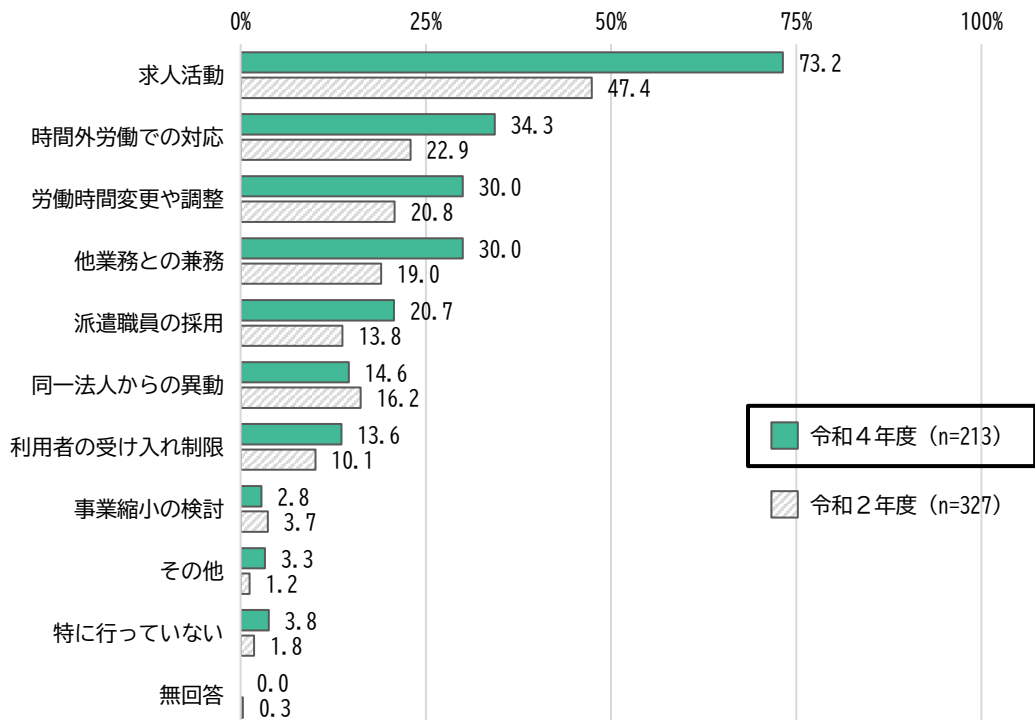
不足感を感じる職種について、「介護職員（身体介護を行う）」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し62.3%と前回調査同様最も高く、次いで「送迎運転手」も前回調査より増加し22.4%となっています。



「不足感を感じる職種がある」と答えた方におうかがいします。

問15-1 不足感を感じる業務や職種に対してどのような取り組みを行っていますか。（あてはまるものすべての番号に○）

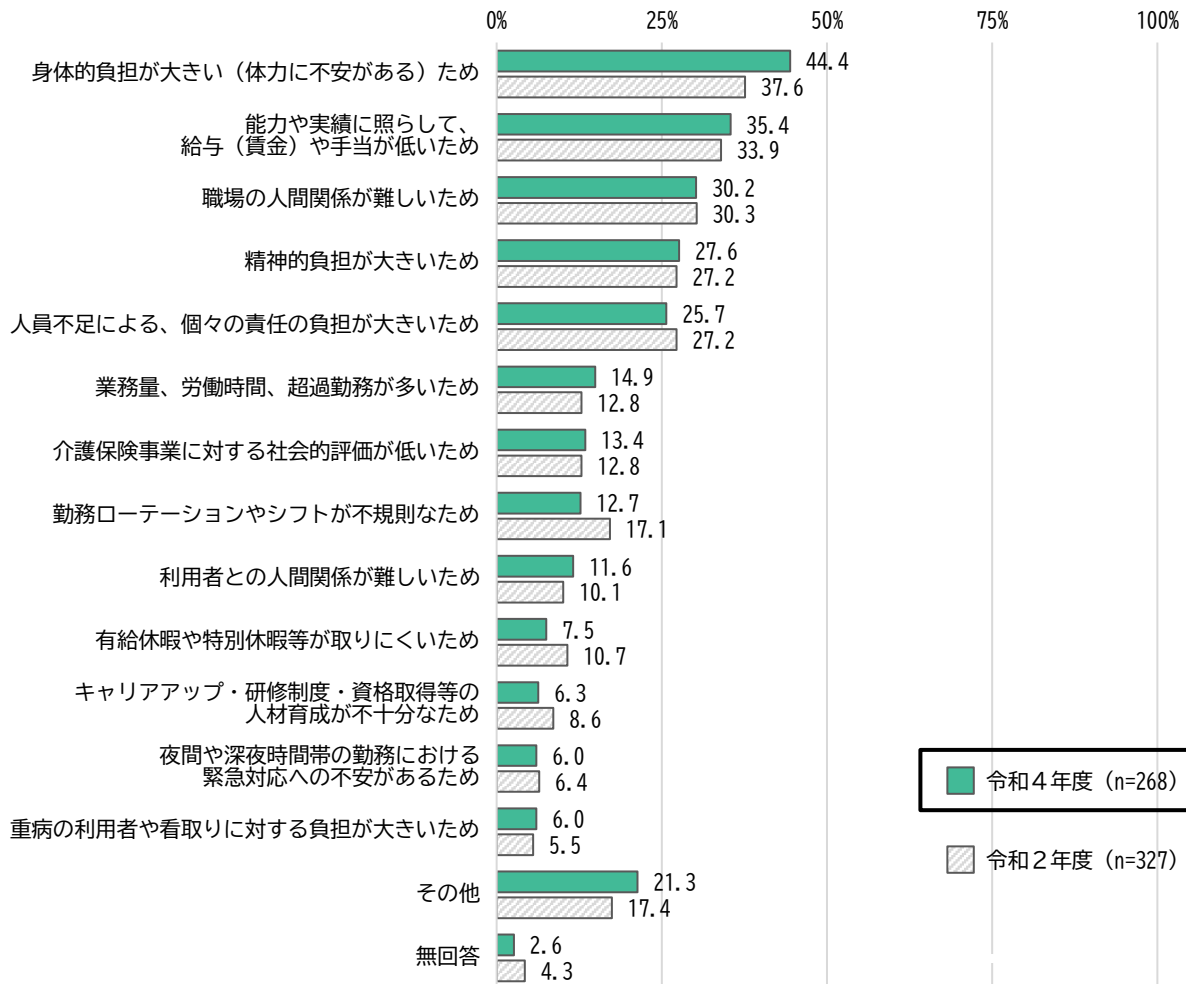
不足感を感じる業務や職種に対して行っている取り組みについて、「求人活動」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し73.2%と前回調査同様最も高く、次いで「時間外労働での対応」も前回調査より増加し34.3%となっています。



第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

問16 貴事業所・施設から離職する理由のうち、主な理由はどのようなことだと思われますか。（あてはまるものすべての番号に○）

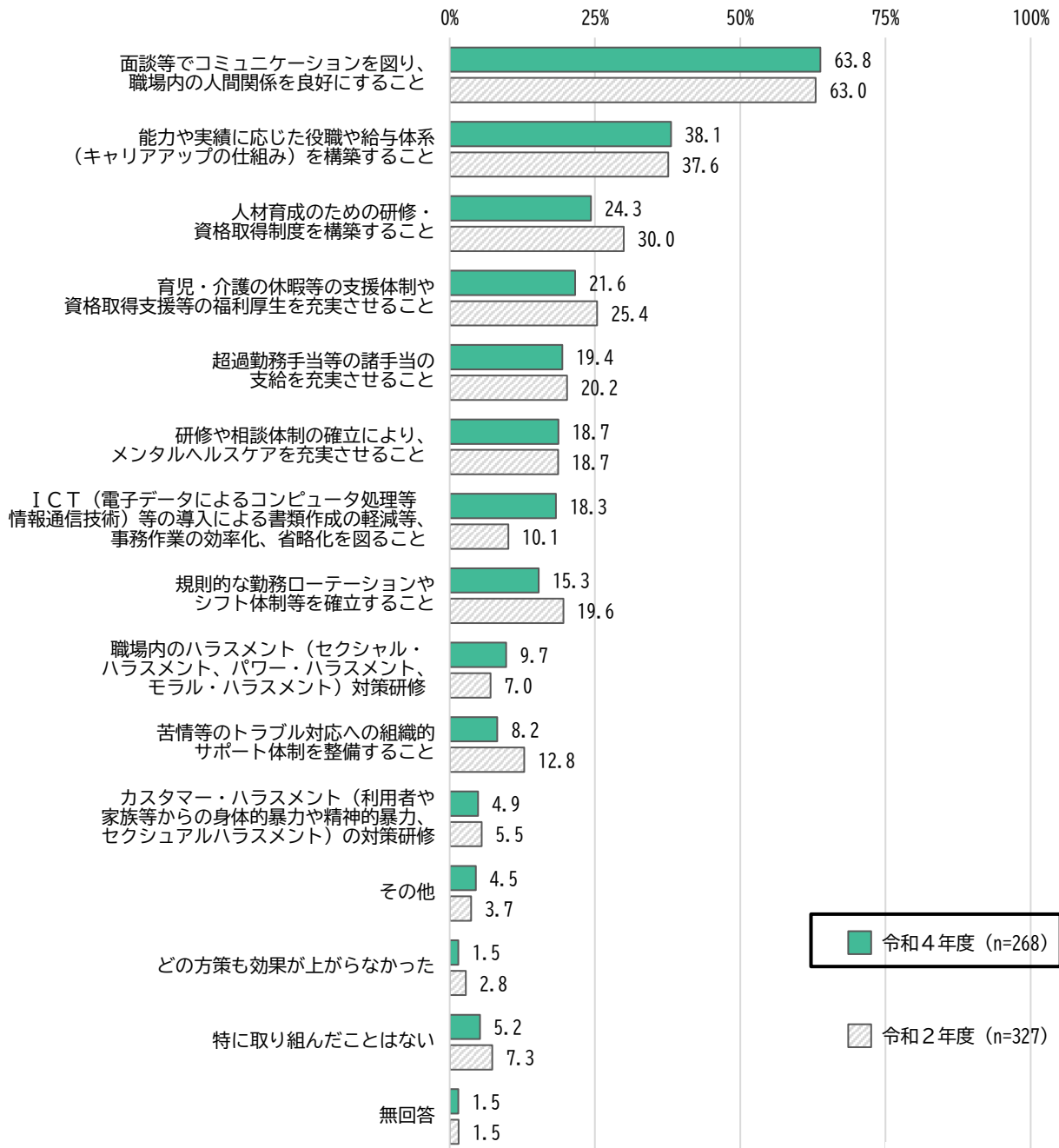
離職する主な理由について、「身体的負担が大きい」と回答した人の割合が前回調査より増加し44.4%と前回調査同様最も高く、次いで「能力や実績に照らして、給与や手当が低い」と前回調査より微増し35.4%となっています。



その他・・・家庭の事情、家族の介護、本人高齢のため、他業種への転職、他事業所への転職など

問17 貴事業所・施設において、これまで取り組んだ離職防止や就業定着のための方策で、特に効果が高かったものはどれですか。（あてはまるもの3つまでの番号に○）

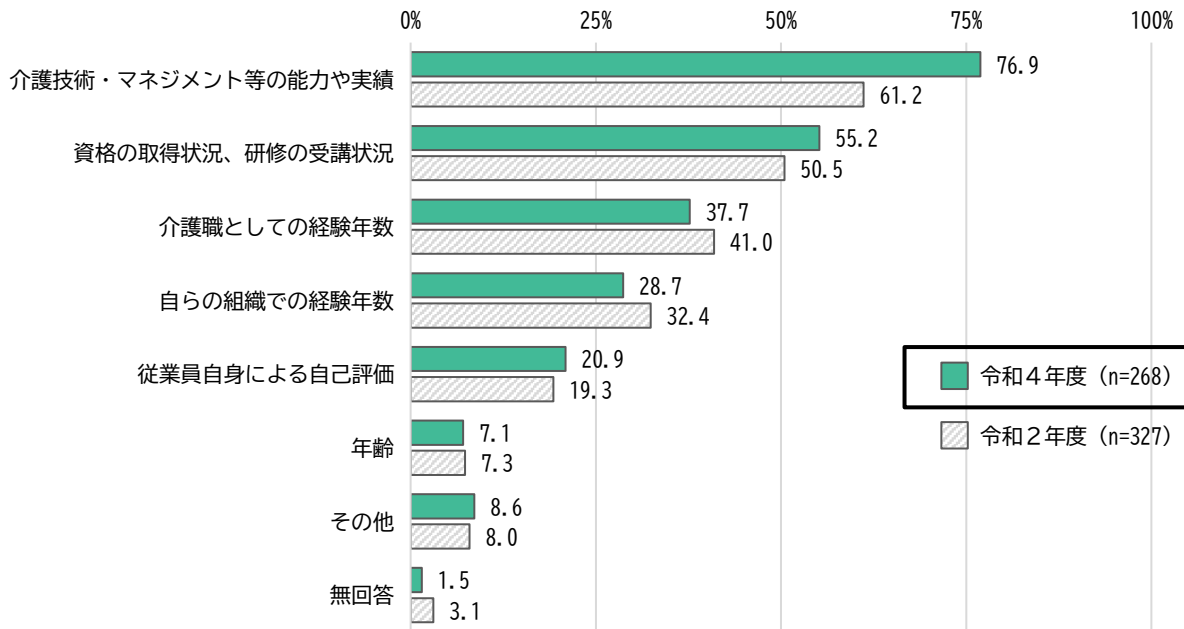
これまで取り組んだ離職防止や就業定着のための方策で、特に効果が高かったものについて、「面談等でコミュニケーションを図り、職場内の人間関係を良好にすること」と回答した人の割合が前回調査からほぼ変化はないものの63.8%と最も高く、次いで「能力や実績に応じた役職や給与体系（キャリアアップの仕組み）を構築すること」が38.1%となっています。



第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

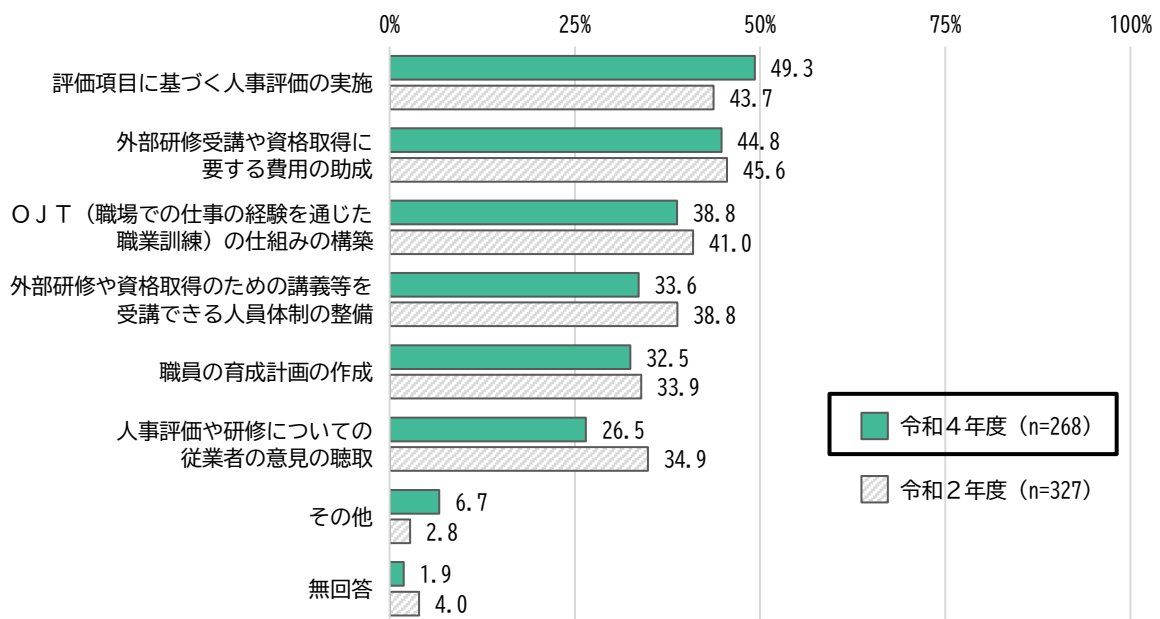
問18 人事評価や役職・給与の決定は、何に基づいて行っていますか。
（あてはまるものすべての番号に○）

人事評価や役職・給与の決定を何に基づいて行うかについて、「介護技術・マネジメント等の能力や実績」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し76.9%と前回調査同様最も高く、次いで「資格の取得状況、研修の受講状況」も前回調査より増加し55.2%となっています。



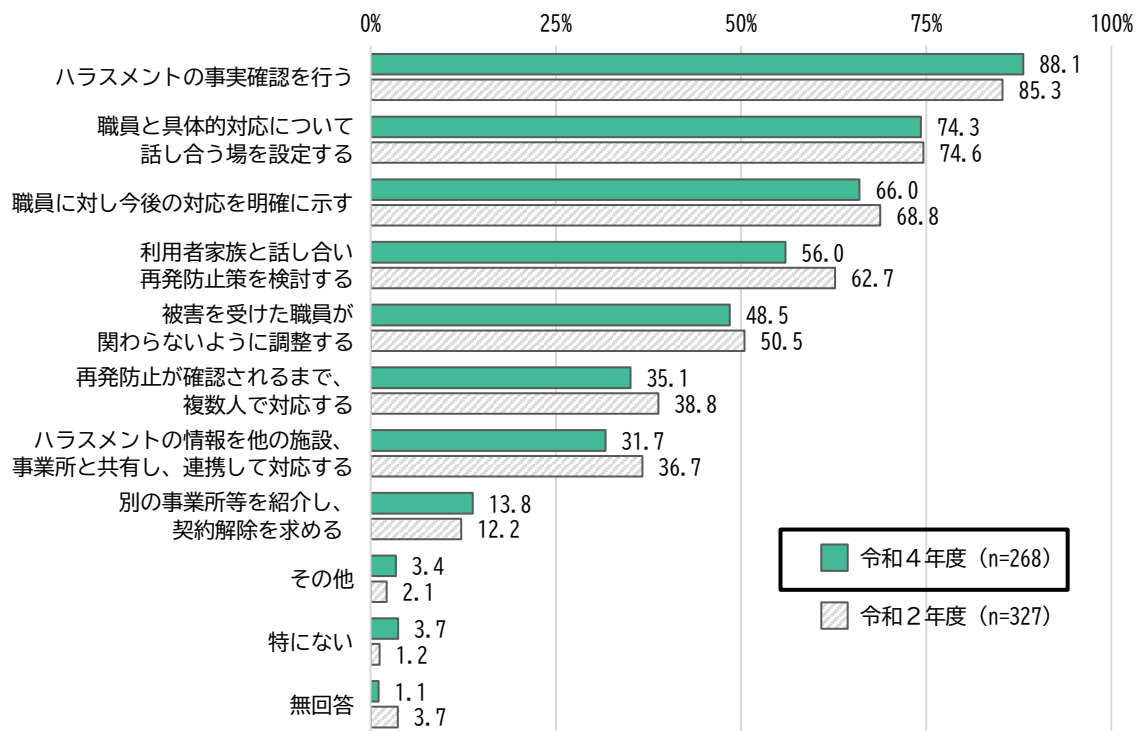
問19 人材育成のために、どのような取組みを行っていますか。
（あてはまるものすべての番号に○）

人材育成のためにしている取組みについて、「評価項目に基づく人事評価の実施」と回答した人の割合が前回調査より増加し49.3%と約5割の事業所・施設において行われており、次いで「外部研修受講や資格取得に要する費用の助成」が44.8%となっています。



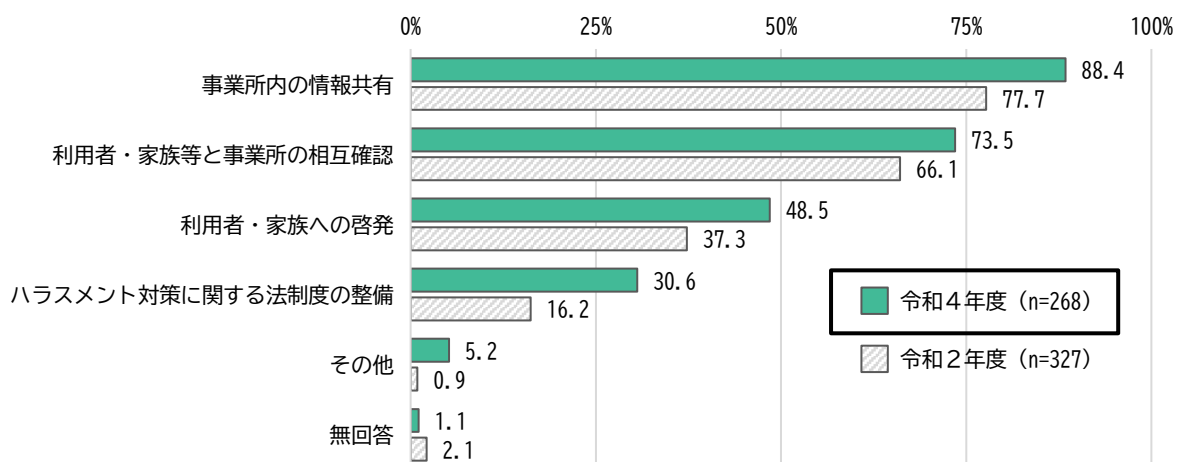
問20 貴事業所・施設において、利用者又は家族等からのハラスメント行為の発生を把握した時どのように対応します（しています）か。（あてはまるものすべての番号に○）

利用者又は家族等からのハラスメント行為の発生を把握した時の対応について、「ハラスメントの事実確認を行う」と回答した人の割合が前回調査より微増し88.1%と約9割の事業所・施設で行われており、次いで「職員と具体的対応について話し合う場を設定する」が74.3%となっています。



問21 ハラスメントの防止に必要な取り組みはどのようなことですか。（あてはまるものすべての番号に○）

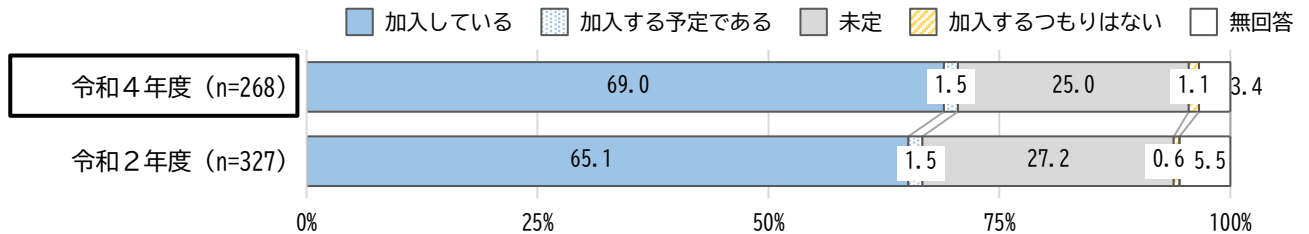
ハラスメントの防止に必要な取り組みについて、「事業所内の情報共有」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し88.4%と最も高くなっており、「事業所内の情報共有」を重要視する傾向がさらに高まっています。



第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

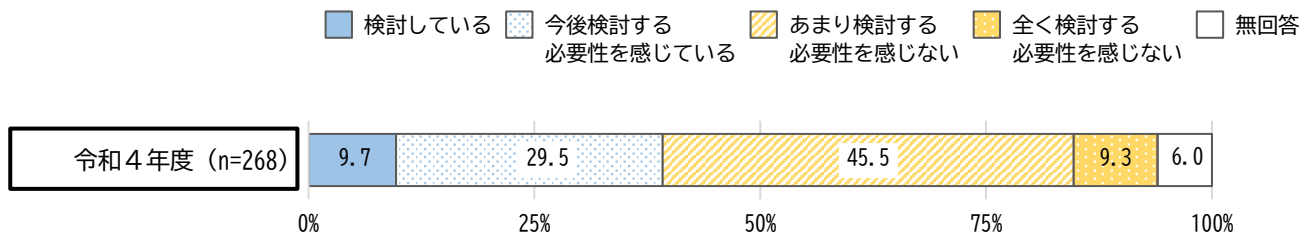
問22 従業員が利用者等から暴力等の被害を受けた際に備えた損害保険に加入していますか。（1つの番号に○）

従業員が利用者等から暴力等の被害を受けた際に備えた損害保険の加入について、「加入している」と回答した人の割合が前回調査より増加し69.0%と約7割の事業所・施設にて損害保険に加入しています。



問23 経営の安定を図る一手法として、法人の大規模化や事務等の協働化について検討していますか。（1つの番号に○）

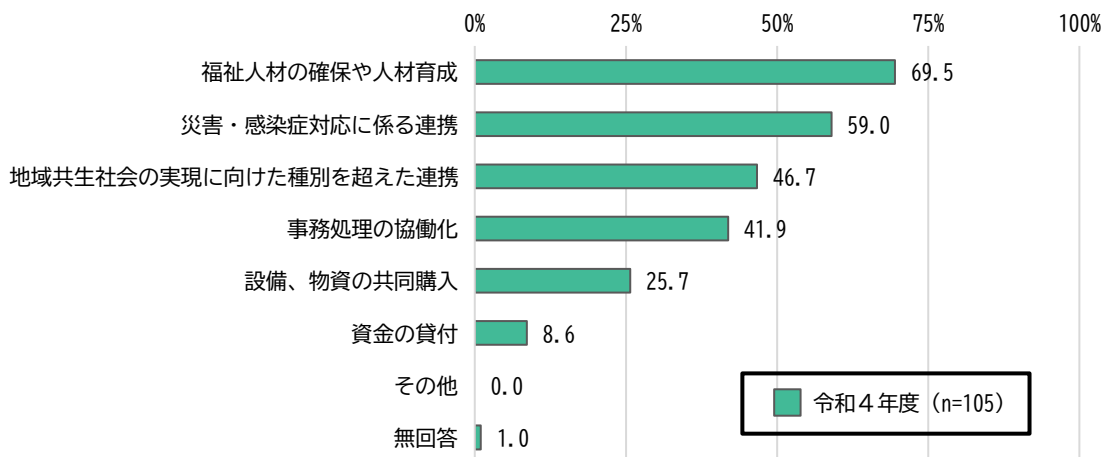
法人の大規模化や事務等の協働化の検討について、「検討している」と回答した人の割合が9.7%と約1割となっており、「今後検討する必要性を感じている」が29.5%と約3割となっています。



法人の大規模化や事務等の協働化について「検討している」「今後検討する必要性を感じている」と答えた方におうかがいします。

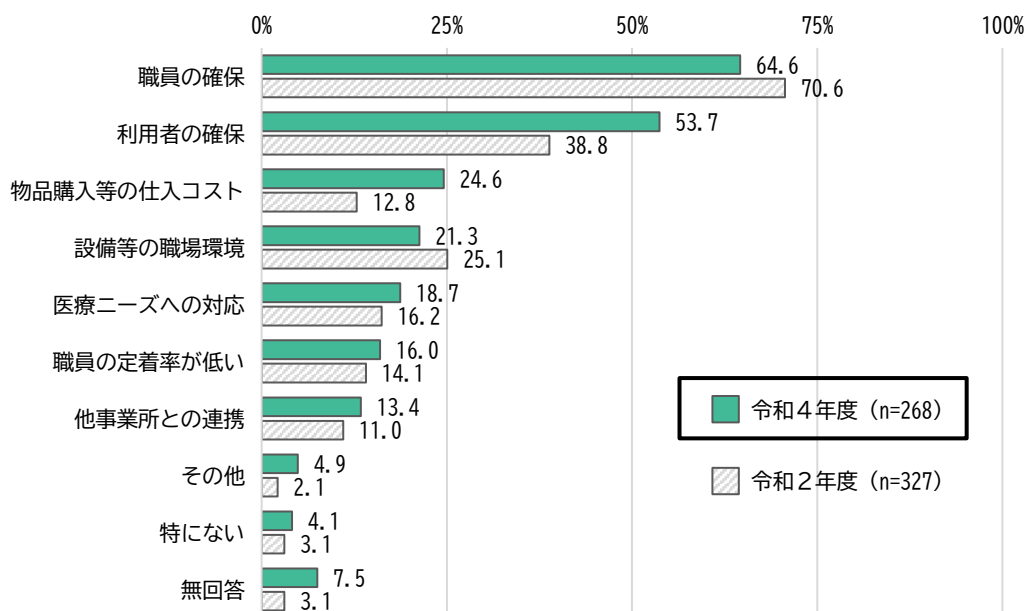
問23-1 どのような有益性があると考えますか。（あてはまるものすべての番号に○）

法人の大規模化や事務等の協働化の有益性について、「福祉人材の確保や人材育成」と回答した人の割合が69.5%と最も高く、次いで「災害・感染症対応に係る連携」が59.0%となっています。



問 24 貴事業所・施設における、運営上の課題はどのようなことですか。
（あてはまるものすべての番号に○）

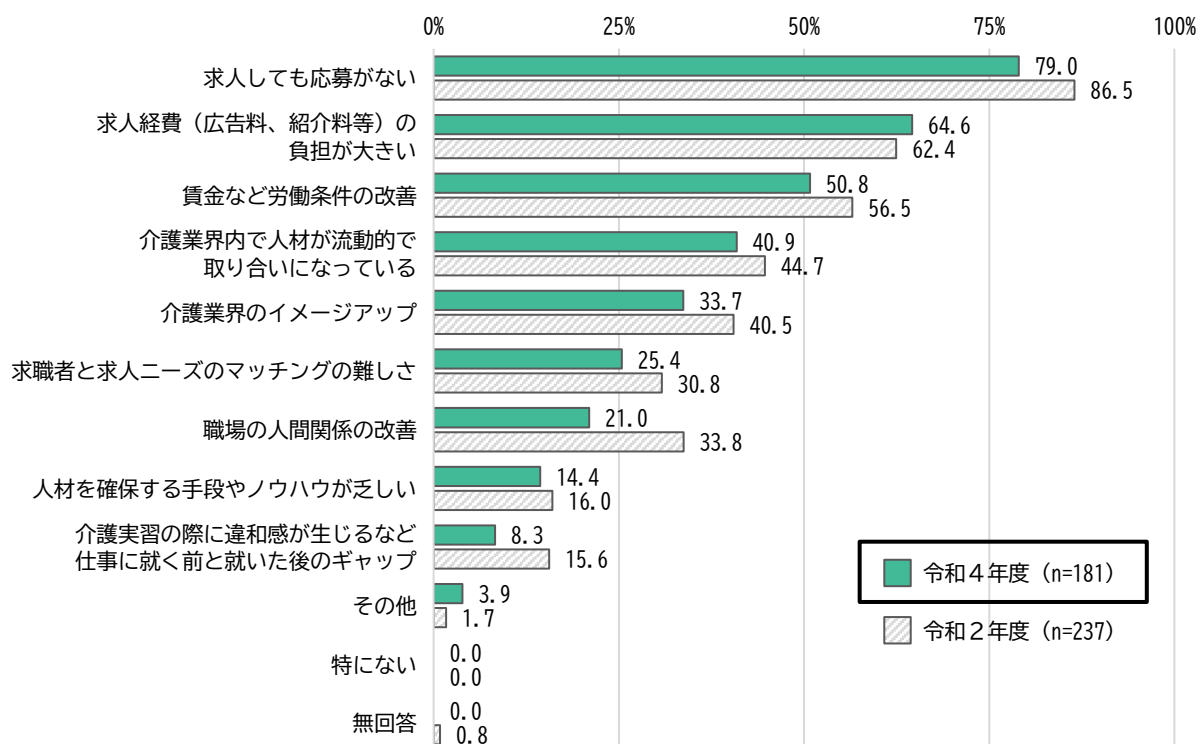
運営上の課題について、「職員の確保」と回答した人の割合が前回調査より減少しているものの64.6%と前回調査同様最も高く、次いで「利用者の確保」が前回調査より大幅に増加し53.7%となっています。



運営上の課題として「職員の確保」「職員の定着率が低い」と答えた方におうかがいします。

問 24-1 人材確保や職員の定着率を高めるうえで、課題と感じているのはどのようなことですか。（あてはまるものすべての番号に○）

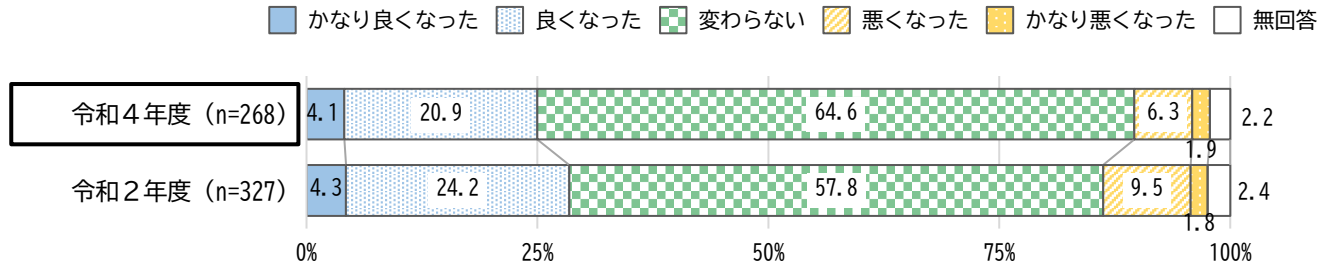
人材確保や職員の定着率を高めるうえでの課題について、「求人しても応募がない」と回答した人の割合が前回調査より減少しているものの79.0%と前回調査同様最も高く、次いで「求人経費の負担が大きい」が前回調査より微増し64.6%となっています。



第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

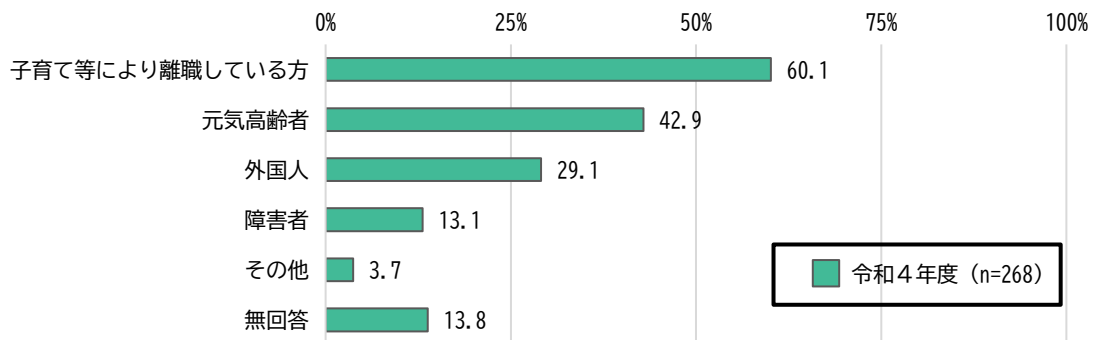
問 25 介護職のイメージについて6年前（平成 29 年）頃と比較して変わったと思いますか。（1つの番号に○）

6年前頃と比較した介護職のイメージについて、「変わらない」と回答した人の割合が前回調査より増加し 64.6%となっています。



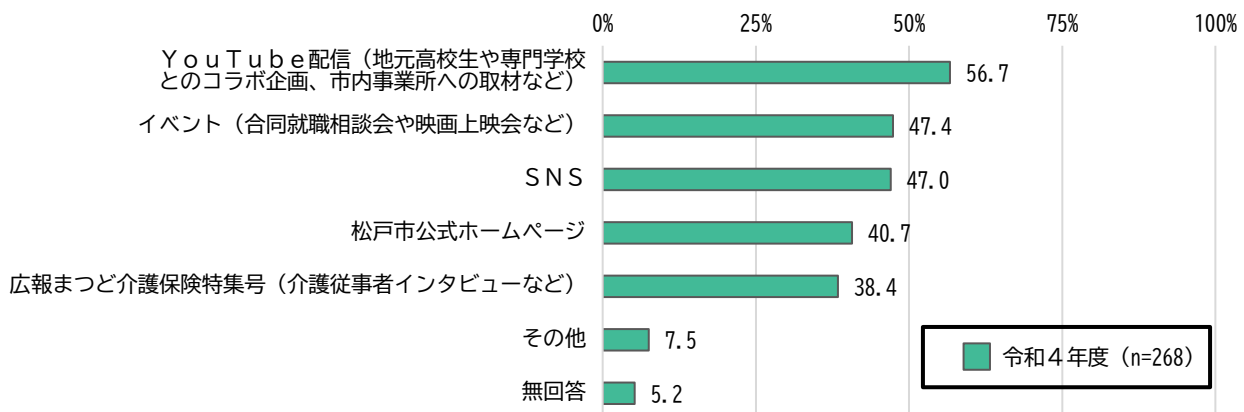
問 26 今後、障害者や外国人等の幅広い人材を新たに採用する予定はありますか。（あてはまるものすべての番号に○）

幅広い人材を新たに採用する予定について、「子育て等により離職している方」と回答した人の割合が 60.1%と約6割となっており、次いで「元気高齢者」が 42.9%と約4割となっています。



問 27 多くの方に介護の仕事の魅力について知ってもらうために、松戸市からのどのような情報発信が有効だと考えますか。（あてはまるものすべての番号に○）

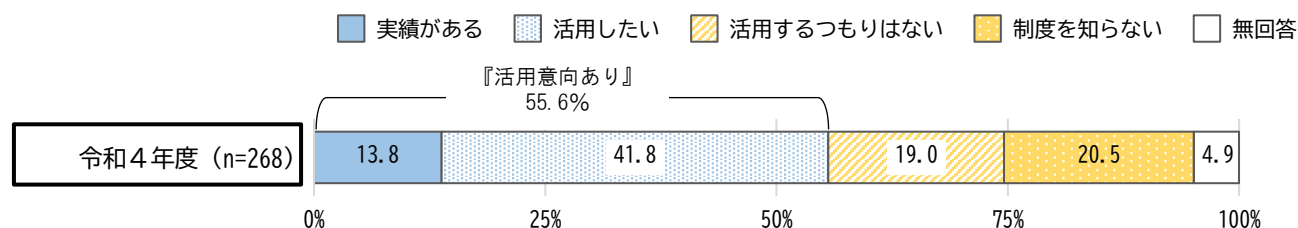
介護の仕事の魅力を知ってもらうための有効な情報発信について、「YouTube配信（地元高校生や専門学校とのコラボ企画、市内事業所への取材など）」と回答した人の割合が 56.7%と最も高くなっています。



問28 以下の①～⑥の千葉県が実施している事業について活用状況をお答えください。(①～⑥それぞれの事業ごとに1つの番号に○)

① 千葉県介護サービス事業所 ICT 導入支援事業費補助金

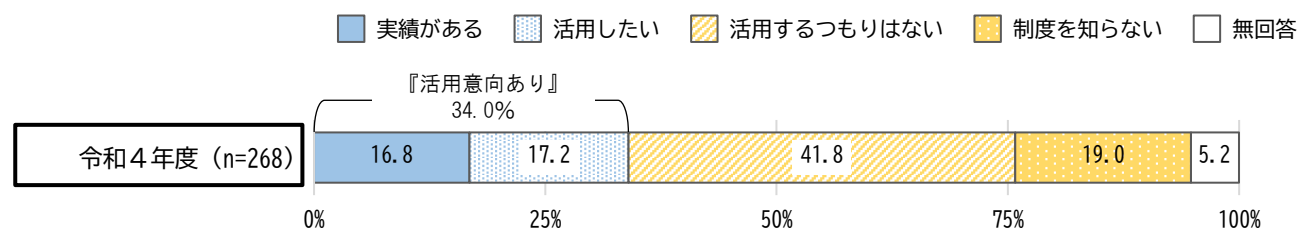
千葉県介護サービス事業所 ICT 導入支援事業費補助金の活用について、「実績がある」と回答した人の割合が13.8%、「活用したい」が41.8%となっており、『活用意向あり』が55.6%となっています。



※『活用意向あり』＝「実績がある」＋「活用したい」

② 千葉県介護ロボット導入支援事業費補助金

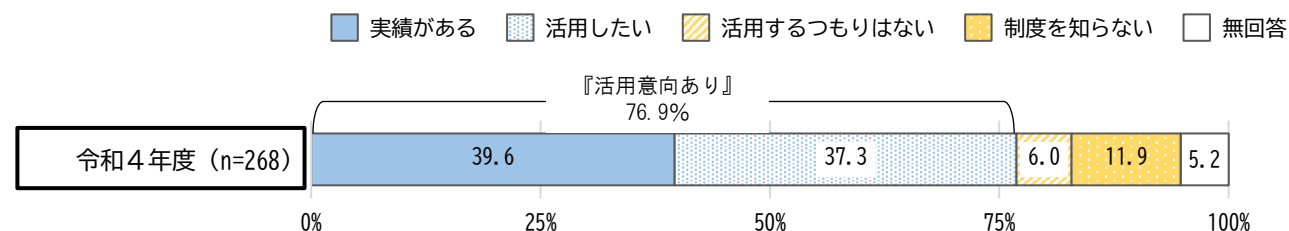
千葉県介護ロボット導入支援事業費補助金の活用について、「実績がある」と回答した人の割合が16.8%、「活用したい」が17.2%となっており、『活用意向あり』が34.0%となっています。



※『活用意向あり』＝「実績がある」＋「活用したい」

③ 千葉県新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業費補助金

千葉県新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業費補助金の活用について、「実績がある」と回答した人の割合が39.6%、「活用したい」が37.3%となっており、『活用意向あり』が76.9%となっています。



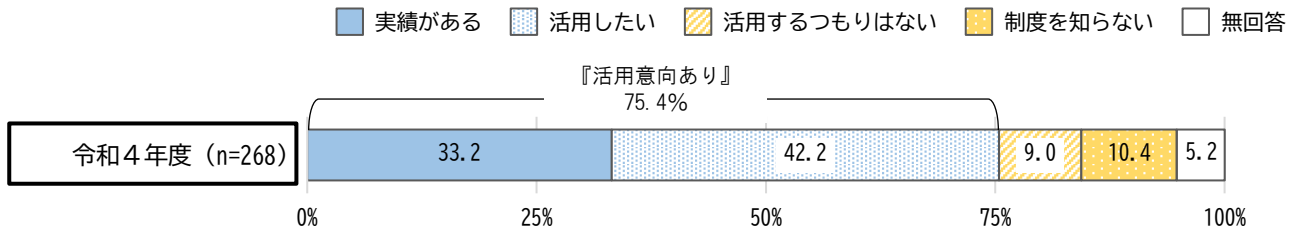
※『活用意向あり』＝「実績がある」＋「活用したい」

第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

④ 千葉県介護施設等整備事業補助金

（介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業）

千葉県介護施設等整備事業補助金（介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業）の活用について、「実績がある」と回答した人の割合が33.2%、「活用したい」が42.2%となっており、『活用意向あり』が75.4%となっています。

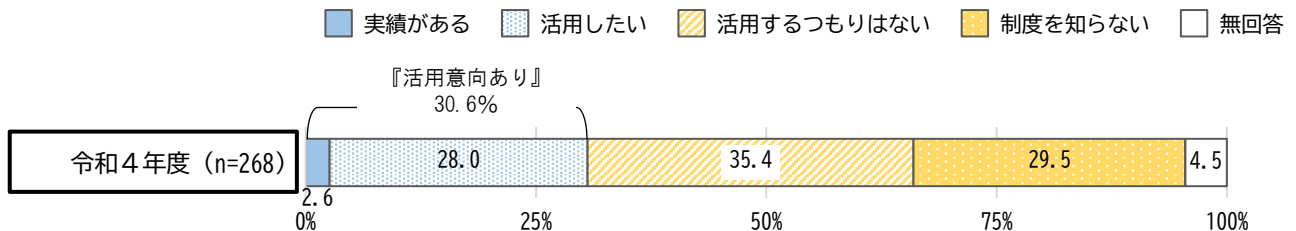


※『活用意向あり』＝「実績がある」＋「活用したい」

⑤ 千葉県介護施設等整備事業補助金

（介護職員の宿舎施設整備事業）

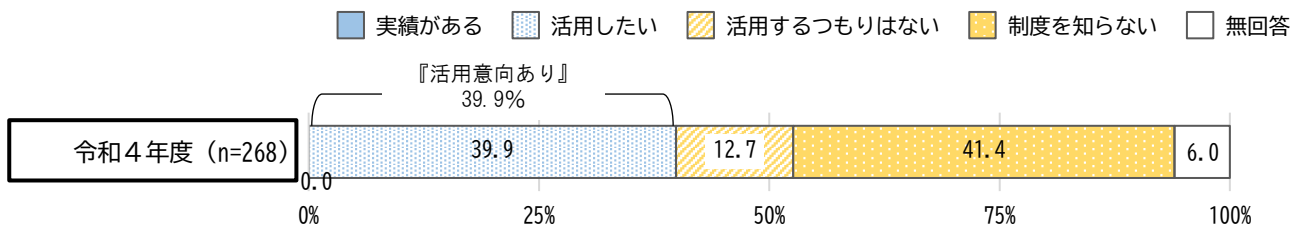
千葉県介護施設等整備事業補助金（介護職員の宿舎施設整備事業）の活用について、「実績がある」と回答した人の割合が2.6%、「活用したい」が28.0%となっており、『活用意向あり』が30.6%となっています。



※『活用意向あり』＝「実績がある」＋「活用したい」

⑥ 千葉県介護現場における働き方改革促進事業

千葉県介護現場における働き方改革促進事業の活用について、「実績がある」との回答した人の割合が0.0%と実績は無く、「活用したい」が39.9%となっており、『活用意向あり』が39.9%となっています。

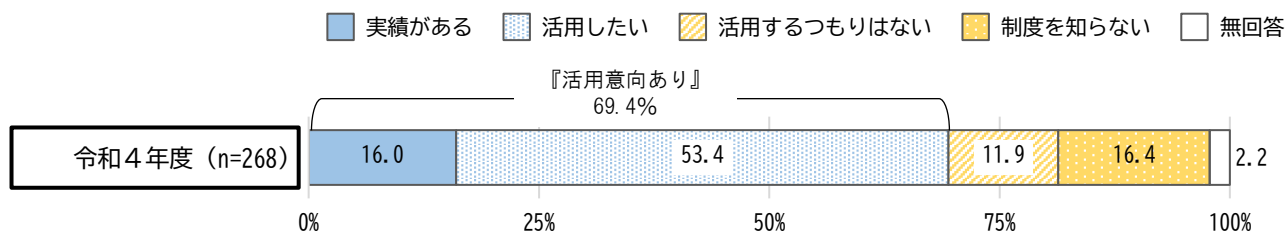


※『活用意向あり』＝「実績がある」＋「活用したい」

問29 以下の①～③の松戸市が実施している事業について活用状況をお答えください。(①～③それぞれの事業ごとに1つの番号に○)

① 松戸市介護職員初任者研修等費用補助金
(介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修)

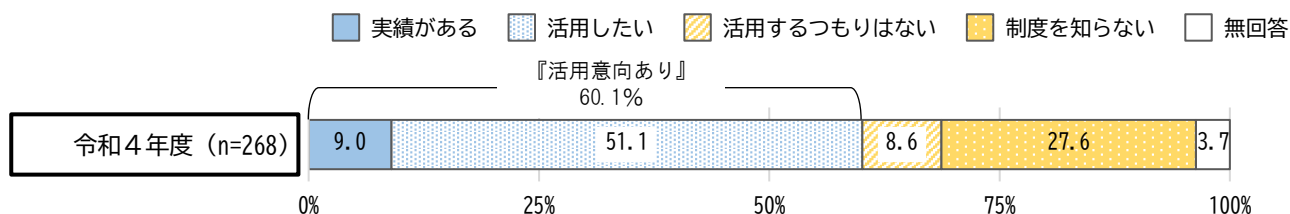
松戸市介護職員初任者研修等費用補助金の活用について、「実績がある」と回答した人の割合が16.0%、「活用したい」が53.4%となっており、『活用意向あり』が69.4%となっています。



※『活用意向あり』 = 「実績がある」 + 「活用したい」

② 松戸市介護人材育成事業費補助金

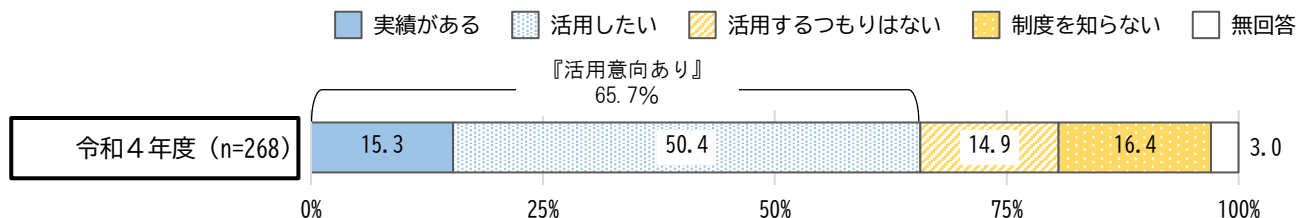
松戸市介護人材育成事業費補助金の活用について、「実績がある」と回答した人の割合が9.0%、「活用したい」が51.1%となっており、『活用意向あり』が60.1%となっています。



※『活用意向あり』 = 「実績がある」 + 「活用したい」

③ 松戸市介護職員等永年勤続表彰

松戸市介護職員等永年勤続表彰の活用について、「実績がある」と回答した人の割合が15.3%、「活用したい」が50.4%となっており、『活用意向あり』が65.7%となっています。



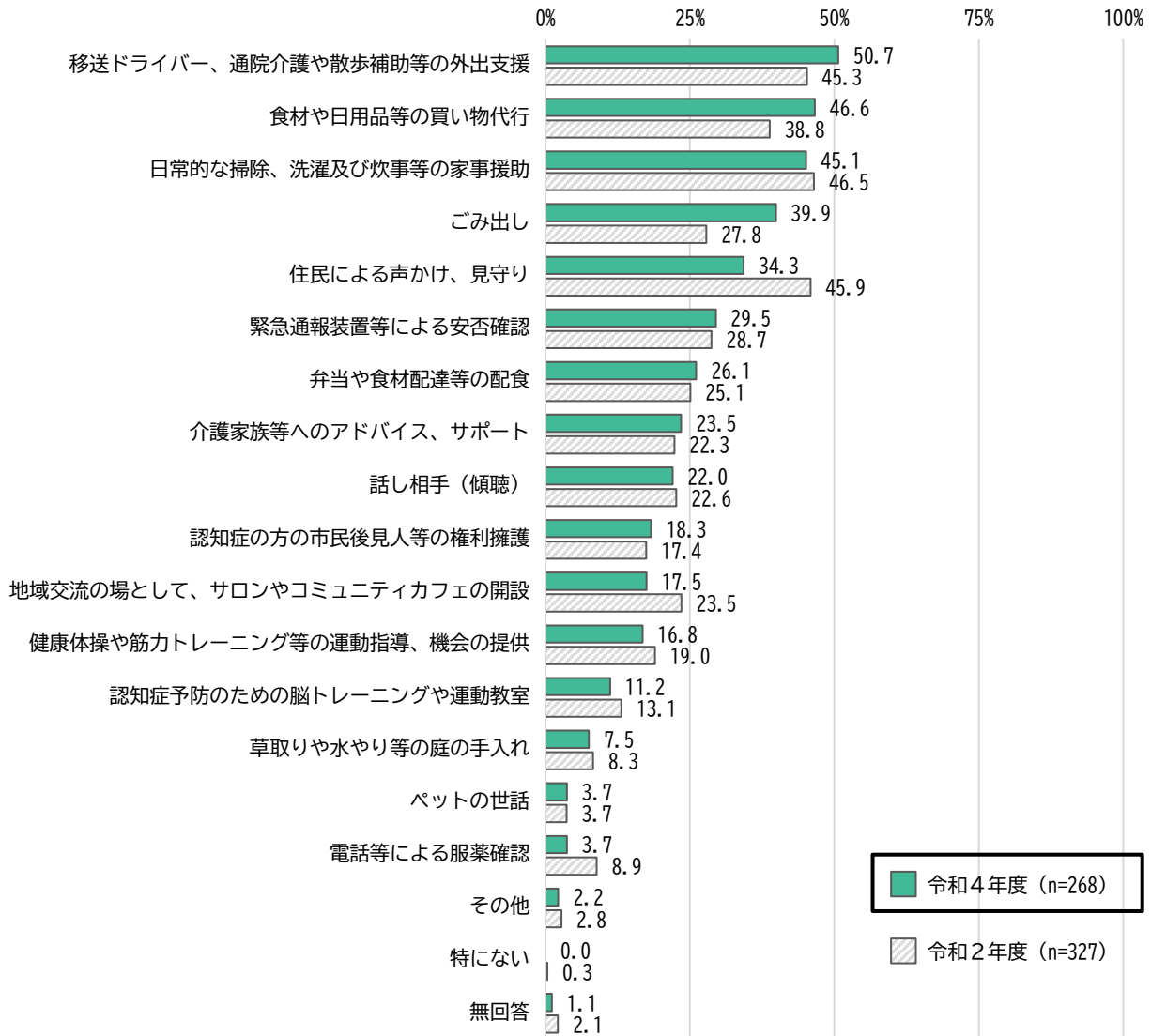
※『活用意向あり』 = 「実績がある」 + 「活用したい」

3. 介護サービスについて

問 30 今後、高齢になっても住み慣れた地域（住宅）での生活を続けるために、地域において特に必要と思う生活支援はどのようなことですか。

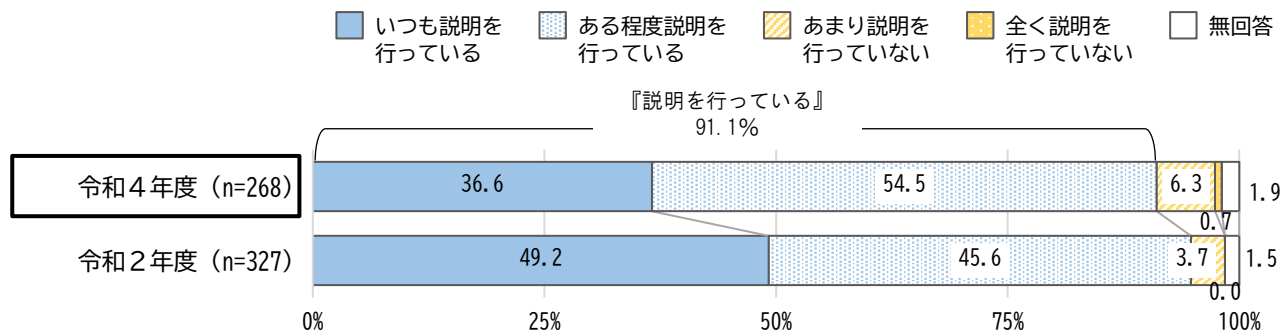
（あてはまるもの4つまでの番号に○）

住み慣れた地域での生活を続けるために必要な生活支援について、「移送ドライバー、通院介護や散歩補助等の外出支援」と回答した人の割合が前回調査より増加し 50.7%と最も高く、次いで「食材や日用品等の買い物代行」も前回調査より増加し 46.6%となっています。



問 31 貴事業所・施設では、日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標を利用者や家族と共有し、自立支援・重度化防止を意識した介護を行うことについて説明を行っていますか。（1つの番号に○）

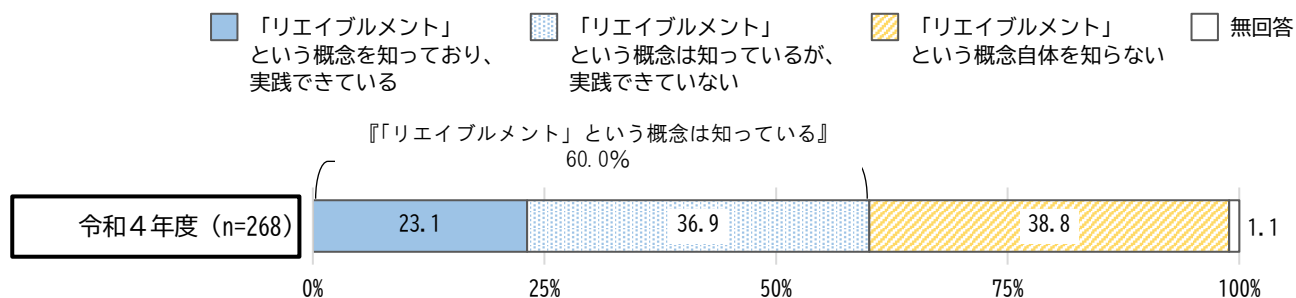
自立支援・重度化防止を意識した介護を行うことの説明について、「いつも説明を行っている」と回答した人の割合が前回調査より大幅に減少し 36.6%、「ある程度説明を行っている」が前回調査より増加し 54.5%となっており、『説明を行っている』が 91.1%と約9割の事業所・施設で説明を行っています。



※『説明を行っている』 = 「いつも説明を行っている」 + 「ある程度説明を行っている」

問 32 介護予防における「リエイブルメント」という概念を知っていますか。（1つの番号に○）

介護予防における「リエイブルメント」について、『「リエイブルメント」という概念を知っており、実践できている』と回答した割合が 23.1%、『「リエイブルメント」という概念は知っているが、実践できていない』が 36.9%となっており、事業所・施設における「リエイブルメント」という概念の認知度は6割となっています。

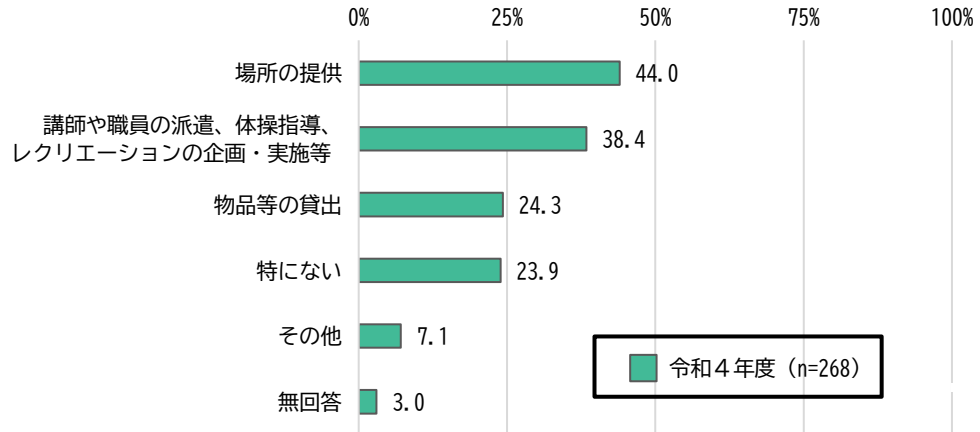


※『「リエイブルメント」という概念は知っている』 = 『「リエイブルメント」という概念を知っており、実践できている』 + 『「リエイブルメント」という概念は知っているが、実践できていない』

第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

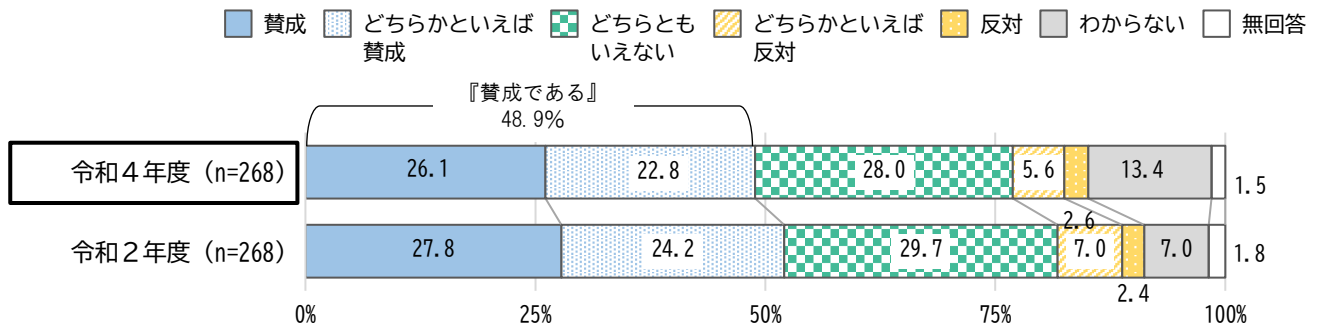
問 33 地域住民が介護予防の取組みを実施するにあたり、貴事業所・施設で協力できることはありますか。（あてはまるものすべての番号に○）

地域住民が介護予防の取組みを実施するにあたり、事業所・施設で協力できることについて、「場所の提供」と回答した人の割合が44.0%と最も高く、次いで「講師や職員の派遣、体操指導、レクリエーションの企画・実施等」が38.4%となっています。



問 34 自立支援・重度化防止について、身体状態の維持・改善の状況を評価し、事業者へのインセンティブ（成果報酬）を付与することに関してどのように考えますか。（1つの番号に○）

身体状態の維持・改善の状況を評価し、事業者へのインセンティブ（成果報酬）を付与することについて、「賛成」と回答した人の割合が前回調査より微減し26.1%、「どちらかといえば賛成」も微減し22.8%となっており、48.9%の事業所・施設において『賛成である』との意向を示しています。

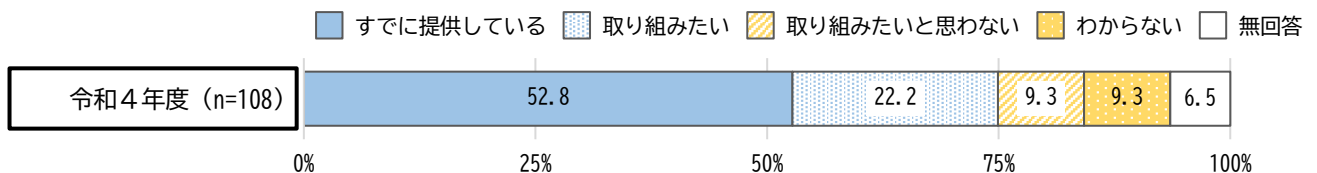


※『賛成である』＝「賛成」＋「どちらかといえば賛成」

問 35（問 35-1）は訪問介護・通所介護を提供している事業所のみお答えください。

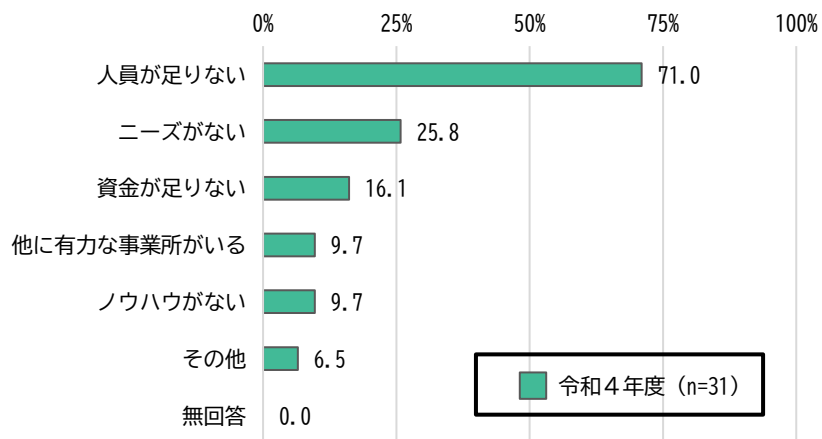
問 35 介護保険サービスと保険外サービスを組み合わせる提供することについて、どのようにお考えですか。（1つの番号に○）

介護保険サービスと保険外サービスを組み合わせる提供することについて、「すでに提供している」と回答した人の割合が52.8%となっており、「取り組みたい」が22.2%となっています。



問 35（問 35-1）は訪問介護・通所介護を提供している事業所のみお答えください。
 組み合わせで提供することに「取り組みたいと思わない」と答えた方におうかがいします。
 問 35-1 保険外サービスに取り組みたいと思わない理由は何ですか。
 （あてはまるものすべての番号に○）

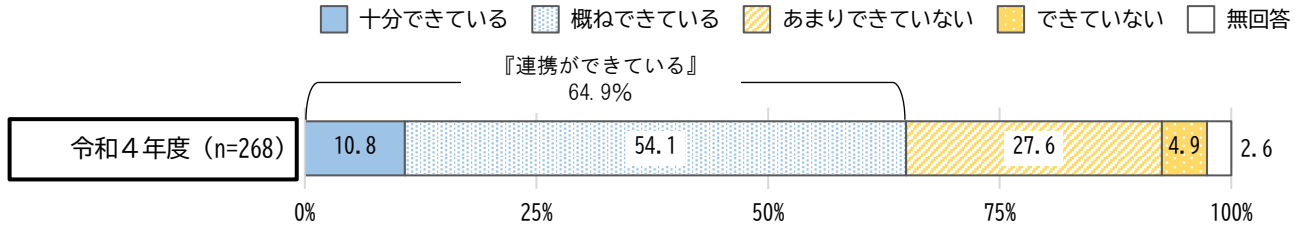
保険外サービスを組み合わせで提供することに取り組みたいと思わない理由について、「人員が足りない」と回答した人の割合が 71.0%と最も高く、次いで「ニーズがない」が 25.8%となっています。



4. 地域での活動について

問 36 地域包括支援センターとの連携は図れていますか。（1つの番号に○）

地域包括支援センターとの連携について、「十分できている」と回答した人の割合が10.8%、「概ねできている」が54.1%となっており、『連携ができている』と回答した人の割合が64.9%と6割を超える事業所・施設で地域包括支援センターと連携ができています。



※『連携ができている』 = 「十分できている」 + 「概ねできている」

■ サービス種別

（単位：％）

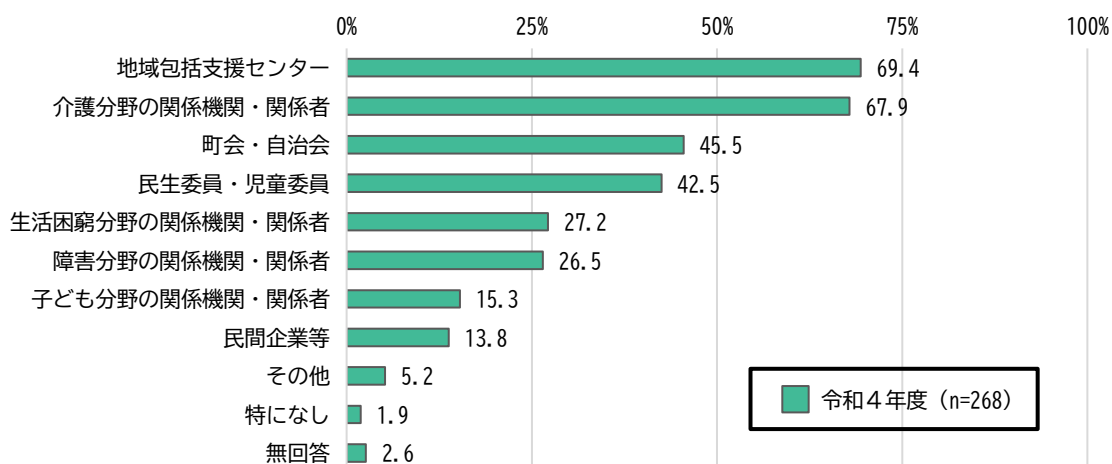
サービス種別	回答者数	十分できている	概ねできている	あまりできていない	できていない	『連携ができている』
介護老人福祉施設	18	0.0	61.1	33.3	0.0	61.1
介護老人保健施設	6	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3
短期入所生活介護	22	9.1	68.2	18.2	0.0	77.3
特定施設入居者生活介護	13	0.0	38.5	53.8	0.0	38.5
認知症対応型共同生活介護	28	14.3	75.0	10.7	0.0	89.3
訪問介護	61	8.2	44.3	29.5	14.8	52.5
通所介護	105	14.3	54.3	26.7	3.8	68.6
小規模多機能型居宅介護	8	37.5	62.5	0.0	0.0	100.0

※『連携ができている』 = 「十分できている」 + 「概ねできている」

※「無回答」は掲載を省略

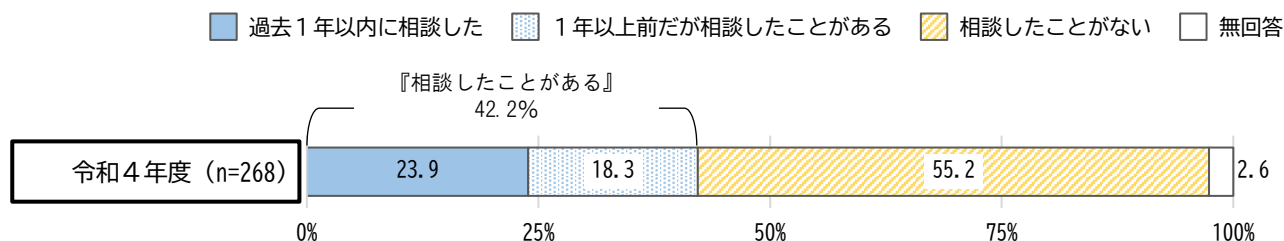
問 37 今後、連携がより必要と考えるのは、どのような関係機関・関係者ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

今後、連携がより必要と考える関係機関・関係者について、「地域包括支援センター」と回答した人の割合が 69.4%と最も高く、次いで「介護分野の関係機関・関係者」が 67.9%となっています。



問 38 地域包括支援センターに困難対応事例や虐待（疑い含む）事例等について相談したことがありますか。（1つの番号に○）

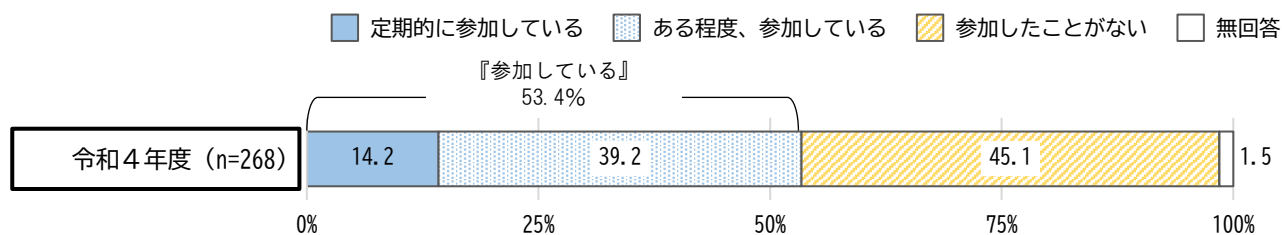
地域包括支援センターに困難対応事例や虐待（疑い含む）事例等について、「過去1年以内に相談した」と回答した人の割合が 23.9%、「1年以上前だが相談したことがある」が 18.3%となっており、『相談したことがある』が 42.2%と約4割となっています。



※『相談したことがある』＝「過去1年以内に相談した」＋「1年以上前だが相談したことがある」

問 39 貴事業所・施設では地域包括支援センターが主催する研修や会議に参加していますか。（1つの番号に○）

地域包括支援センターが主催する研修や会議への参加について、「定期的に参加している」と回答した人の割合が 14.2%、「ある程度、参加している」が 39.2%となっており、『参加している』が 53.4%と5割を超えています。

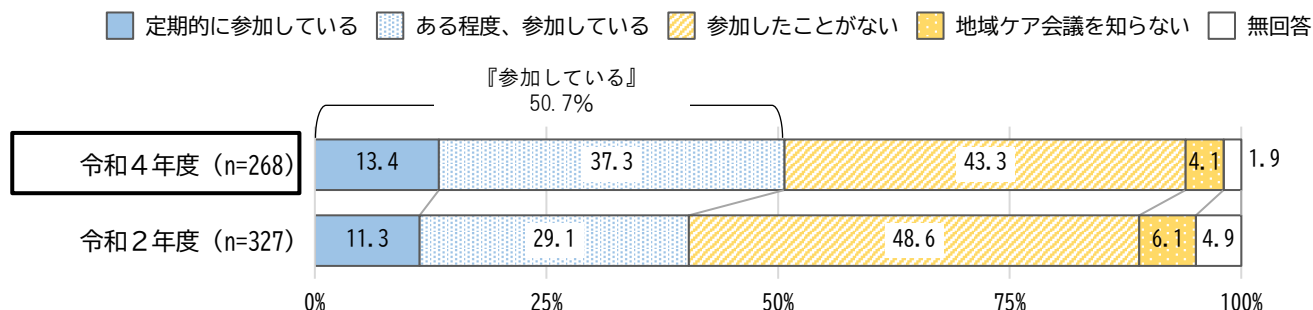


※『参加している』＝「定期的に参加している」＋「ある程度、参加している」

第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

問 40 貴事業所・施設では地域ケア会議にどのくらい参加していますか。
（1つの番号に○）

地域ケア会議への参加について、「定期的に参加している」と回答した人の割合が13.4%、「ある程度、参加している」が37.3%となっており、地域ケア会議に『参加している』と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し50.7%と約5割となっています。



※『参加している』＝「定期的に参加している」＋「ある程度、参加している」

■ サービス種別

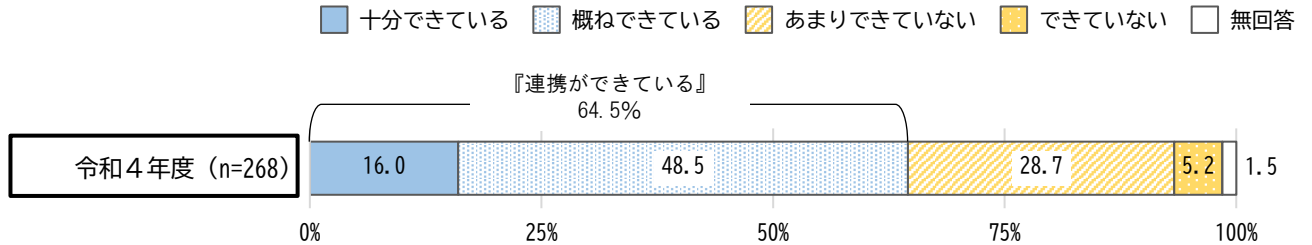
（単位：％）

	回答者数	定期的に参加している	ある程度、参加している	参加したことがない	地域ケア会議を知らない	『参加している』
介護老人福祉施設	18	27.8	22.2	50.0	0.0	50.0
介護老人保健施設	6	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3
短期入所生活介護	22	22.7	13.6	59.1	0.0	36.3
特定施設入居者生活介護	13	7.7	7.7	76.9	7.7	15.4
認知症対応型共同生活介護	28	25.0	39.3	35.7	0.0	64.3
訪問介護	61	6.6	42.6	45.9	3.3	49.2
通所介護	105	10.5	47.6	34.3	5.7	58.1
小規模多機能型居宅介護	8	37.5	25.0	37.5	0.0	62.5

※「無回答」は掲載を省略

問 41 医療機関・医療関係者との連携は図れていますか。（1つの番号に○）

医療機関・医療関係者との連携について、「十分できている」と回答した人の割合が16.0%、「概ねできている」が48.5%となっており、『連携ができている』と回答した人の割合が64.5%と6割を超える事業所・施設で医療機関・医療関係者と連携ができています。



※『連携ができている』 = 「十分できている」 + 「概ねできている」

■ サービス種別

(単位：%)

サービス種別	回答者数	十分できている	概ねできている	あまりできていない	できていない	『連携ができている』
介護老人福祉施設	18	38.9	50.0	11.1	0.0	88.9
介護老人保健施設	6	33.3	50.0	16.7	0.0	83.3
短期入所生活介護	22	27.3	50.0	18.2	0.0	77.3
特定施設入居者生活介護	13	30.8	53.8	15.4	0.0	84.6
認知症対応型共同生活介護	28	50.0	46.4	3.6	0.0	96.4
訪問介護	61	8.2	59.0	26.2	4.9	67.2
通所介護	105	1.9	41.0	45.7	10.5	42.9
小規模多機能型居宅介護	8	25.0	62.5	12.5	0.0	87.5

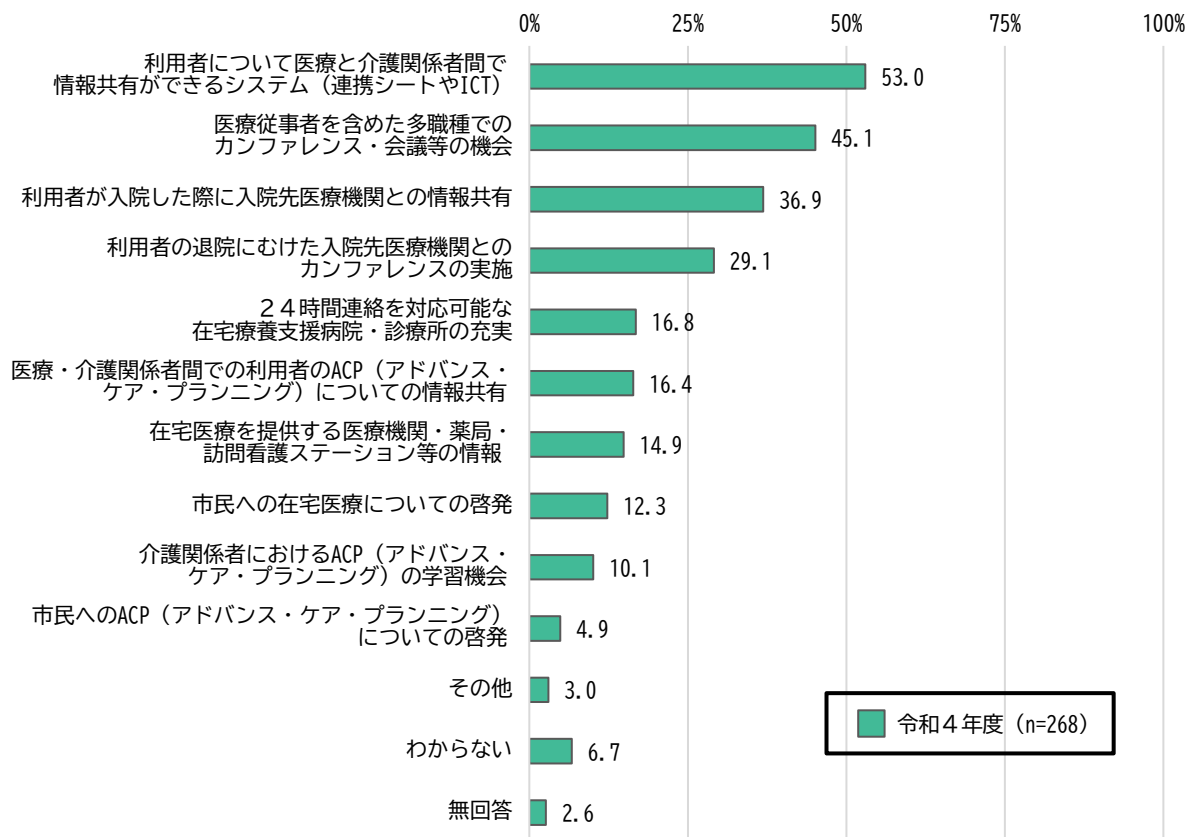
※『連携ができている』 = 「十分できている」 + 「概ねできている」

※「無回答」は掲載を省略

第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

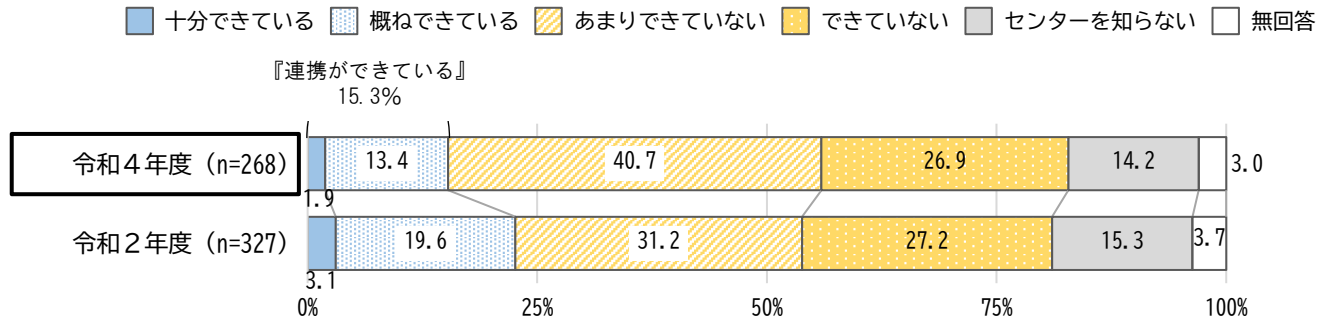
問 42 医療機関・医療関係者とさらなる連携を図るために、必要と感じていることは何ですか。（あてはまるもの3つまでの番号に○）

医療機関・医療関係者とさらなる連携を図るために必要なことについて、「利用者について医療と介護関係者間で情報共有ができるシステム（連携シートやICT）」と回答した人の割合が 53.0%と最も高く、次いで「医療従事者を含めた多職種でのカンファレンス・会議等の機会」が 45.1%となっています。



問 43 松戸市在宅医療・介護連携支援センターとの連携を図れていますか。
（1つの番号に○）

松戸市在宅医療・介護連携支援センターとの連携について、「十分できている」と回答した人の割合が1.9%、「概ねできている」が13.4%となっており、『連携ができている』と回答した人の割合は15.3%と2割未満にとどまっています。



※『連携ができている』 = 「十分できている」 + 「概ねできている」

■ サービス種別

(単位：%)

	回答者数	十分できている	概ねできている	あまりできていない	できていない	センターを知らない	『連携ができている』
介護老人福祉施設	18	0.0	11.1	61.1	16.7	11.1	11.1
介護老人保健施設	6	0.0	16.7	33.3	16.7	33.3	16.7
短期入所生活介護	22	0.0	13.6	50.0	13.6	18.2	13.6
特定施設入居者生活介護	13	0.0	7.7	23.1	38.5	30.8	7.7
認知症対応型共同生活介護	28	7.1	7.1	50.0	10.7	21.4	14.2
訪問介護	61	1.6	18.0	42.6	21.3	14.8	19.6
通所介護	105	0.0	11.4	38.1	39.0	7.6	11.4
小規模多機能型居宅介護	8	25.0	37.5	0.0	12.5	25.0	62.5

※『連携ができている』 = 「十分できている」 + 「概ねできている」

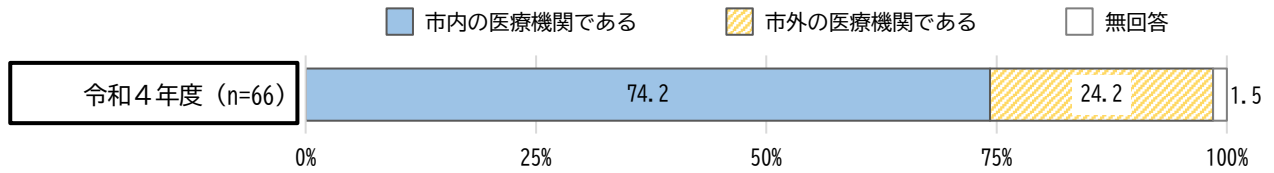
※「無回答」は掲載を省略

第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

問 44・45 は入所施設の方のみご回答ください。

問 44 配置医師・協力医療機関についてお答えください。（1つの番号に○）

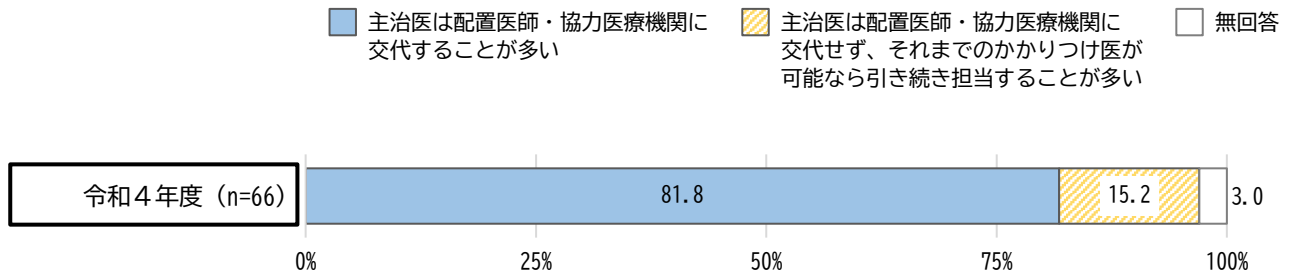
配置医師・協力医療機関について、「市内の医療機関である」と回答した人の割合が 74.2%となっています。



問 44・45 は入所施設の方のみご回答ください。

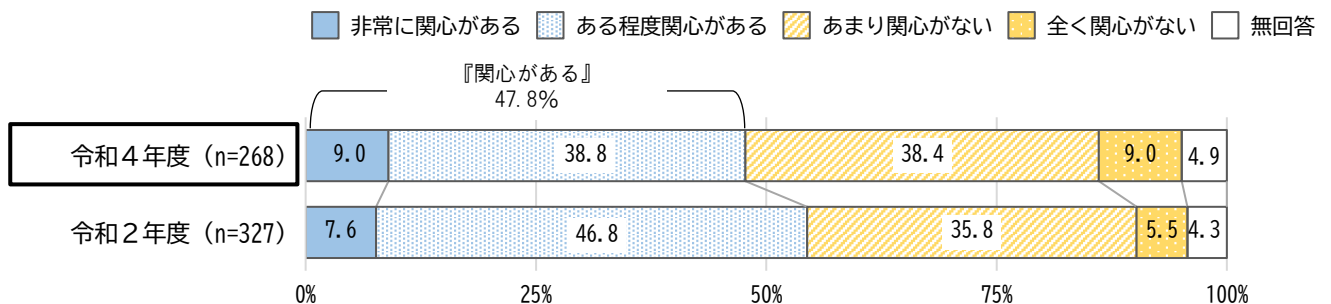
問 45 かかりつけ医のいる方が入所された場合、その後に担当する主治医について、どのような体制をとっていますか。（1つの番号に○）

かかりつけ医のいる方が入所された場合、その後に担当する主治医について、「主治医は配置医師・協力医療機関に交代することが多い」と回答した人の割合が 81.8%と約8割が交代することが多いとなっています。



問 46 共生型サービスについて関心がありますか。（1つの番号に○）

共生型サービスについて、「非常に関心がある」と回答した人の割合が 9.0%、「ある程度関心がある」が 38.8%と『関心がある』と回答した人の割合が前回調査より減少し 47.8%となっています。

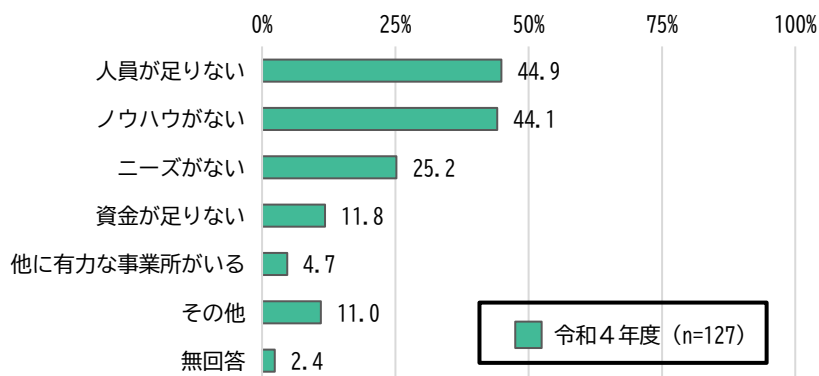


※『関心がある』 = 「非常に関心がある」 + 「ある程度関心がある」

共生型サービスについて「あまり関心がない」「全く関心がない」と答えた方におうかがいします。

問 46-1 共生型サービスに取り組みたいと思わない理由は何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

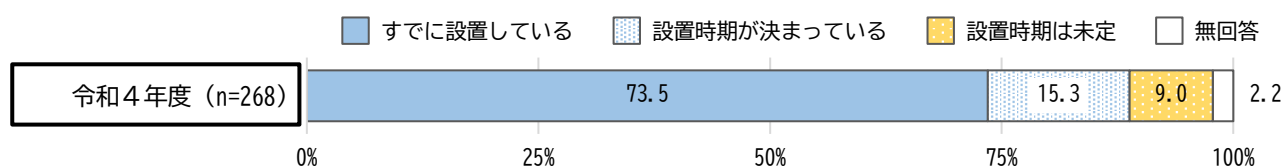
共生型サービスに取り組みたいと思わない理由について、「人員が足りない」と回答した人の割合が44.9%と最も高く、次いで「ノウハウがない」が44.1%となっています。



問 47 令和3年度介護報酬改定・基準省令改正によって、すべての介護事業所における高齢者虐待防止のための体制整備等の取り組みが義務化されています。（3年間の経過措置）貴事業所における高齢者虐待防止の取り組みの状況はいかがですか。（①～④それぞれの取り組みごとに1つの番号に○）

① 虐待の防止のための対策を検討する委員会の設置

虐待の防止のための対策を検討する委員会の設置について、「すでに設置している」と回答した人の割合が73.5%となっています。



■ サービス種別

(単位：%)

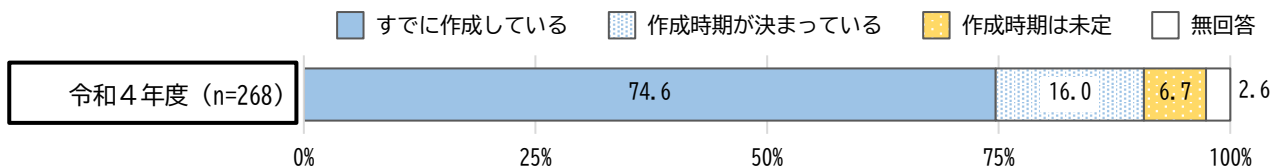
サービス種別	回答者数	すでに設置している	設置時期が決まっている	設置時期は未定
介護老人福祉施設	18	100.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	6	83.3	0.0	16.7
短期入所生活介護	22	95.5	0.0	0.0
特定施設入居者生活介護	13	76.9	23.1	0.0
認知症対応型共同生活介護	28	85.7	7.1	7.1
訪問介護	61	68.9	14.8	9.8
通所介護	105	61.9	23.8	13.3
小規模多機能型居宅介護	8	75.0	12.5	12.5

※「無回答」は掲載を省略

第2章 介護事業所従事者調査（経営者・管理者）

② 虐待の防止のための指針の作成

虐待の防止のための指針の作成について、「すでに作成している」と回答した人の割合が74.6%となっています。



■ サービス種別

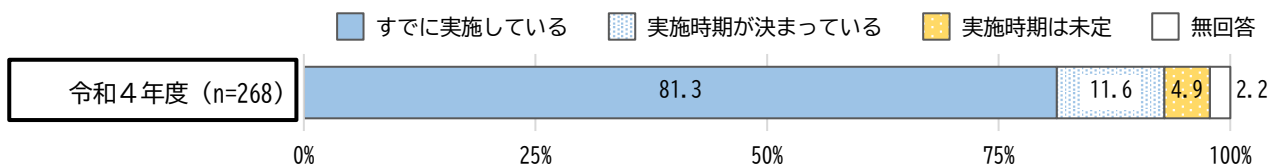
(単位：%)

サービス種別	回答者数	すでに作成している	作成時期が決まっている	作成時期は未定
介護老人福祉施設	18	94.4	5.6	0.0
介護老人保健施設	6	83.3	0.0	16.7
短期入所生活介護	22	95.5	0.0	0.0
特定施設入居者生活介護	13	76.9	23.1	0.0
認知症対応型共同生活介護	28	89.3	7.1	3.6
訪問介護	61	67.2	19.7	4.9
通所介護	105	65.7	21.0	12.4
小規模多機能型居宅介護	8	75.0	25.0	0.0

※「無回答」は掲載を省略

③ 虐待の防止のための従業者に対する研修

虐待の防止のための従業者に対する研修について、「すでに実施している」と回答した人の割合が81.3%となっています。



■ サービス種別

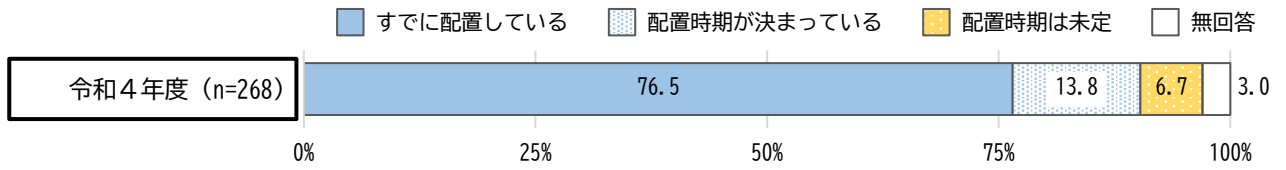
(単位：%)

サービス種別	回答者数	すでに実施している	実施時期が決まっている	実施時期は未定
介護老人福祉施設	18	100.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	6	100.0	0.0	0.0
短期入所生活介護	22	95.5	0.0	0.0
特定施設入居者生活介護	13	92.3	7.7	0.0
認知症対応型共同生活介護	28	92.9	3.6	3.6
訪問介護	61	78.7	13.1	1.6
通所介護	105	71.4	17.1	10.5
小規模多機能型居宅介護	8	87.5	12.5	0.0

※「無回答」は掲載を省略

④ 虐待の防止に関する措置を適切に実施するための担当者

虐待の防止に関する措置を適切に実施するための担当者について、「すでに配置している」と回答した人の割合が76.5%となっています。



■ サービス種別

(単位：%)

サービス種別	回答者数	すでに配置している	配置時期が決まっている	配置時期は未定
介護老人福祉施設	18	88.9	5.6	0.0
介護老人保健施設	6	83.3	0.0	16.7
短期入所生活介護	22	95.5	0.0	0.0
特定施設入居者生活介護	13	76.9	23.1	0.0
認知症対応型共同生活介護	28	89.3	7.1	3.6
訪問介護	61	75.4	13.1	4.9
通所介護	105	66.7	20.0	11.4
小規模多機能型居宅介護	8	75.0	12.5	12.5

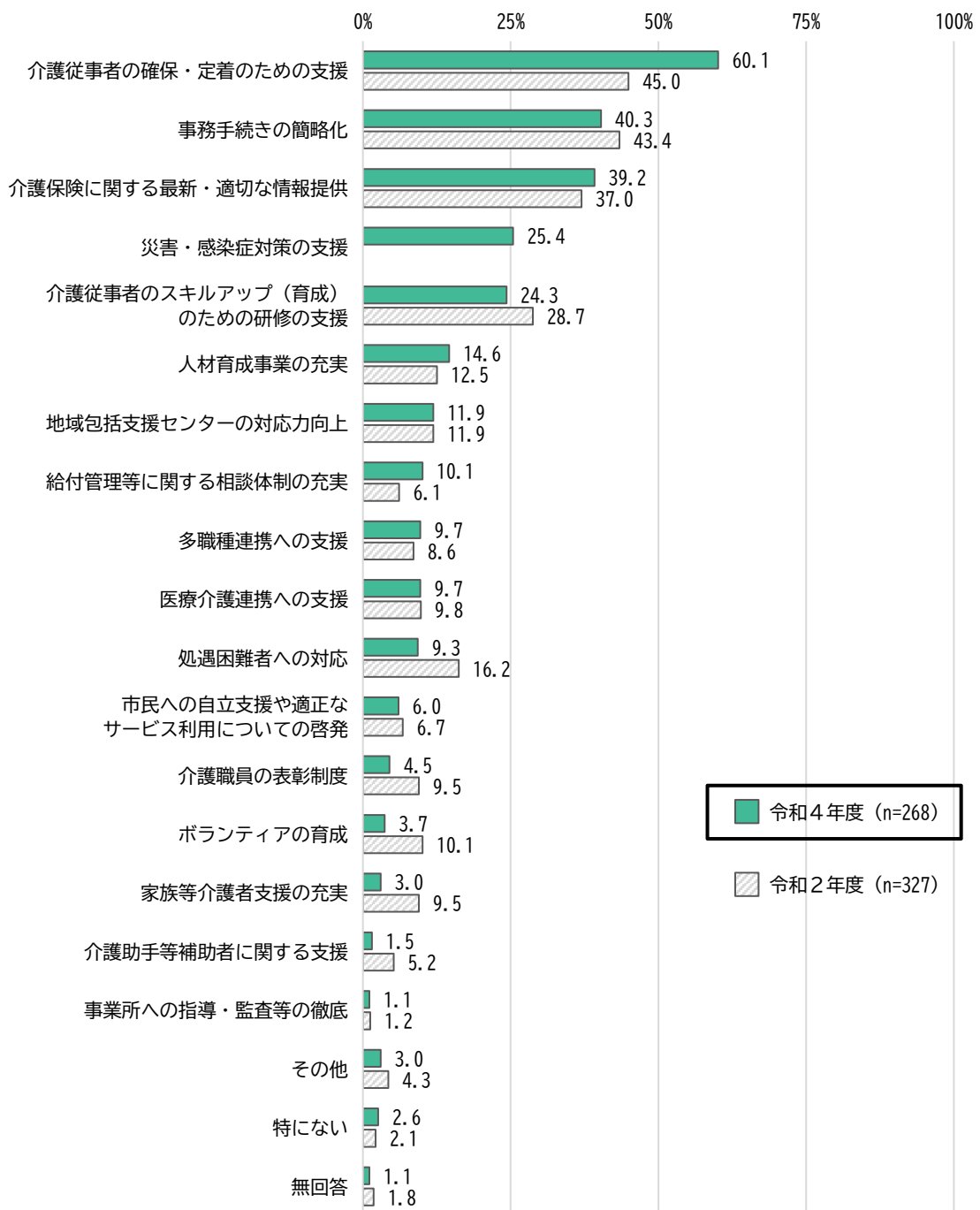
※「無回答」は掲載を省略

5. 市への要望

問 48 貴事業所・施設の経営者・管理者として、松戸市に対して望むことはどのようなことですか。

（あてはまるもの3つまで○）

事業所・施設の経営者・管理者として、松戸市に対して望むことについて、「介護従事者の確保・定着のための支援」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し 60.1%と前回調査同様最も高く、次いで「事務手続きの簡略化」が前回調査より減少し、40.3%となっています。事業所・施設として介護従事者の確保・定着の課題が大きくなっています。



※「災害・感染症対策の支援」は令和4年度調査より選択肢追加

第 3 章 介護事業所従事者調査（従事者）

1. 回答者の基本属性

（1）サービス種別

サービス種別によるクロス集計については、問12のサービス種別に関する設問により

- ・ 介護老人福祉施設：介護老人福祉施設＋地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- ・ 介護老人保健施設：介護老人保健施設
- ・ 短期入所生活介護：短期入所生活介護＋短期入所療養介護
- ・ 特定施設入居者生活介護：特定施設入居者生活介護事業所
- ・ 認知症対応型共同生活介護：認知症対応型共同生活介護
- ・ 訪問介護：訪問介護
- ・ 通所介護：通所介護＋地域密着型通所介護＋認知症対応型通所介護＋通所リハビリテーション
- ・ 小規模多機能型居宅介護：小規模多機能型居宅介護＋看護小規模多機能型居宅介護

に属性統合して集計しています。なお、訪問看護、介護医療院、訪問入浴介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、訪問リハビリテーションについては回答者母数が少ないためクロス集計対象外としています。この調査における居宅介護支援事業所については、併設事業所などで回答があった件数を参考として掲載しています。

サービス種別（統合）	件数	%
介護老人福祉施設	360	14.1
介護老人保健施設	298	11.7
短期入所生活介護	51	2.0
特定施設入居者生活介護	120	4.7
認知症対応型共同生活介護	281	11.0
訪問介護	354	13.9
通所介護	415	16.3
小規模多機能型居宅介護	110	4.3
（参考）居宅介護支援事業所	151	5.9
※ 訪問看護	10	0.4
※ 介護医療院	9	0.4
※ 訪問入浴介護	9	0.4
※ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	8	0.3
※ 訪問リハビリテーション	1	0.0
※ その他	210	8.2
※ 無回答	160	6.3
合計	2,547	100.0

※クロス集計対象外

第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

（2）雇用形態

雇用形態によるクロス集計については、問7の雇用形態に関する設問により

- 正規職員：正規職員
- 非正規職員：非正規職員（嘱託職員、契約職員、臨時職員、パート等）
- 派遣職員：非正規職員（派遣職員）

として集計しています。

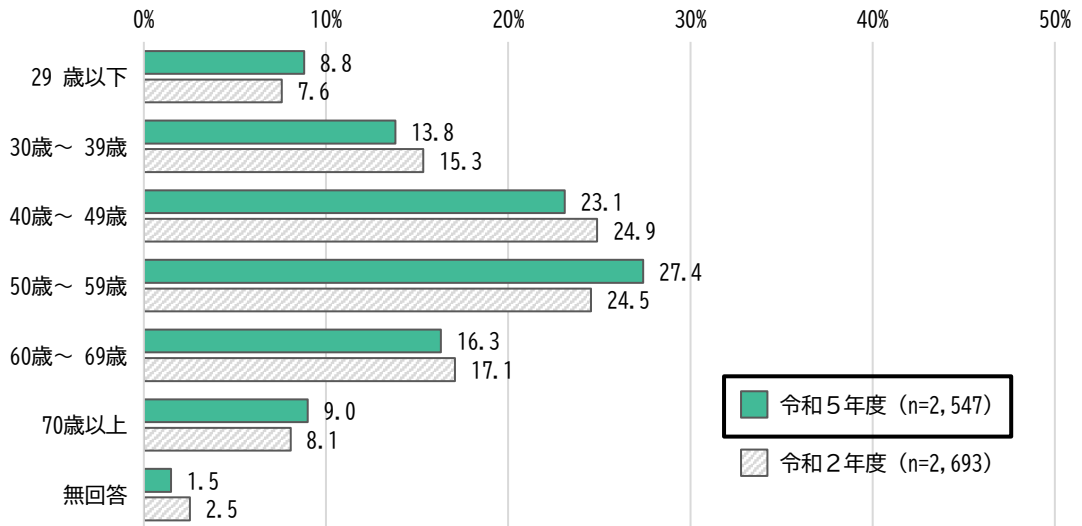
雇用形態	件数	%
正規職員	1,330	52.2
非正規職員	1,136	44.6
派遣職員	32	1.3
※ 無回答	49	1.9
合計	2,547	100.0

※クロス集計対象外

2. 基本的事項及び就労状況や就労意識について

問1 令和5年4月1日現在のあなたの年齢を記入してください。（数字を記入）

回答者の年齢について、「50歳～59歳」が前回調査より微増し27.4%と最も高くなっており、次いで「40歳～49歳」が23.1%となっています。また、平均年齢については前回調査より0.38歳高くなっています。



平均年齢 (単位：歳)

	回答者数	平均年齢
令和5年度	2,547	50.24
令和2年度	2,693	49.86
増減		+0.38

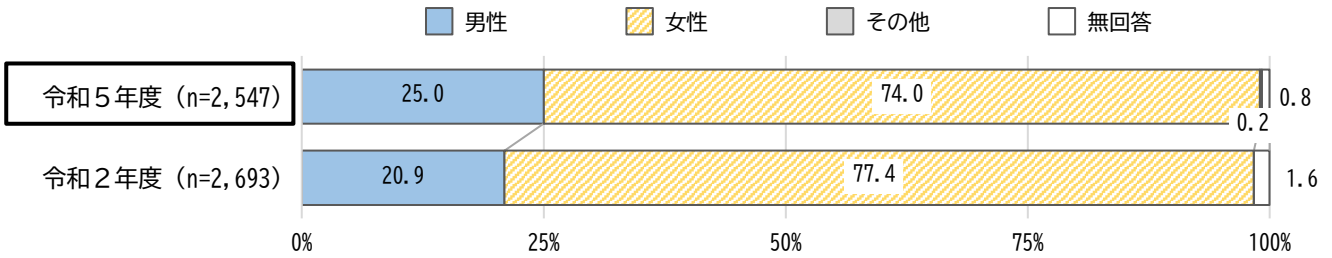
サービス種別 平均年齢 (単位：歳)

サービス種別	回答者数	平均年齢
介護老人福祉施設	360	46.04
介護老人保健施設	298	47.50
短期入所生活介護	51	52.62
特定施設入居者生活介護	120	48.17
認知症対応型共同生活介護	281	52.99
訪問介護	354	52.91
通所介護	415	50.64
小規模多機能型居宅介護	110	52.18
(参考) 居宅介護支援事業所	151	54.82

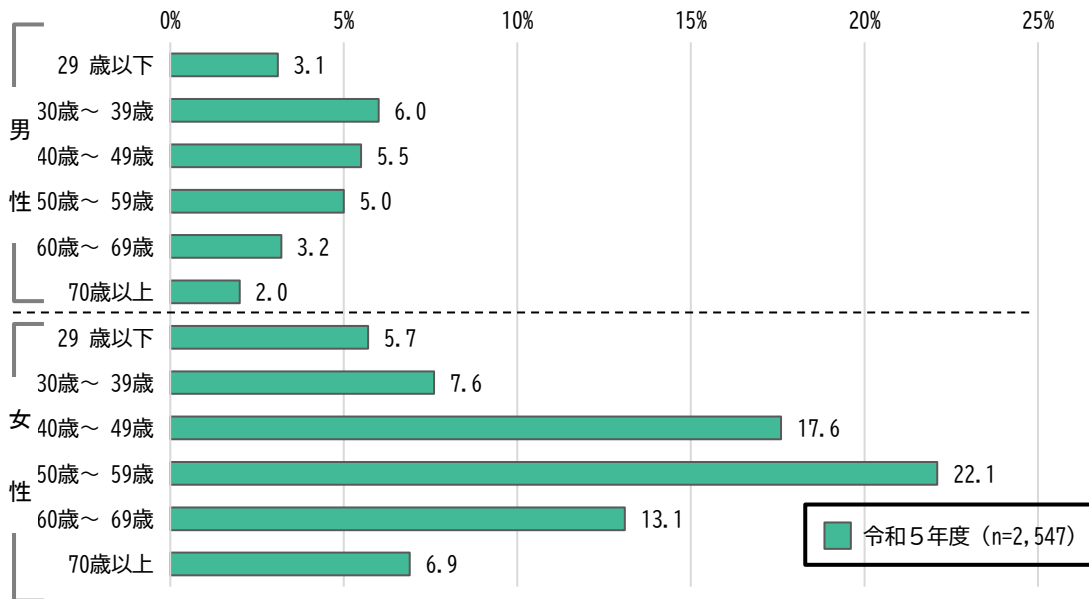
第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

問2 あなたの性別をお答えください。（1つの番号に○）

回答者の性別について「男性」の割合が前回調査より増加し 25.0%となっています。

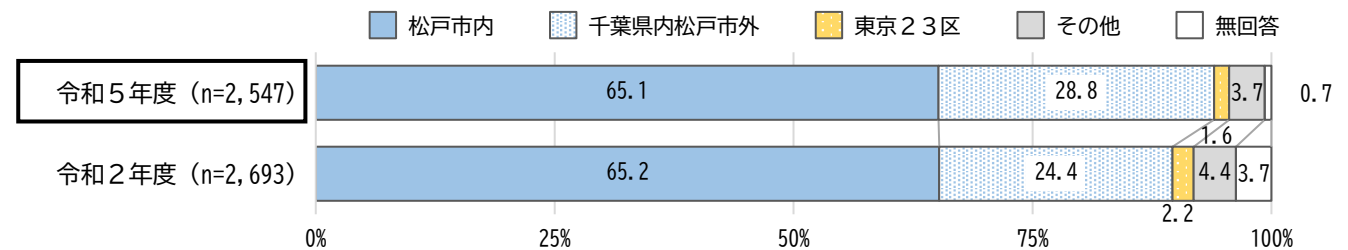


■ 性別・年齢構成



問3 あなたのお住まいはどちらですか。（1つの番号に○）

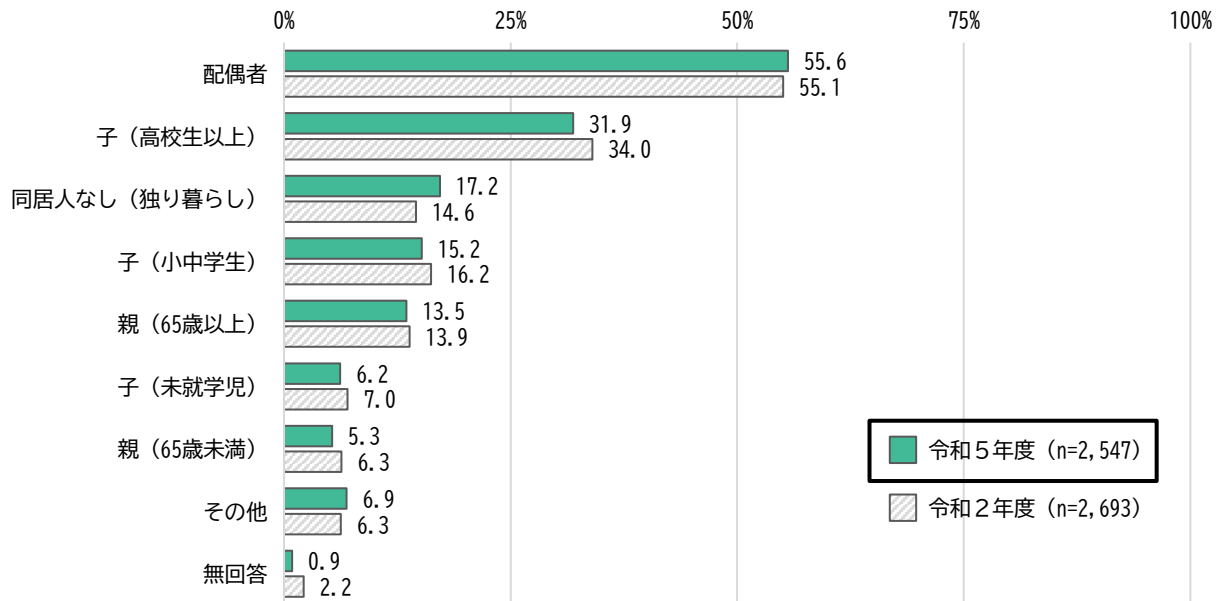
住んでいる場所について、「松戸市内」と回答した人の割合が前回調査からほぼ変化はなく 65.1%となっています。



千葉県内松戸市外・・・柏市、市川市、鎌ヶ谷市、船橋市、我孫子市など
その他・・・三郷市、取手市など

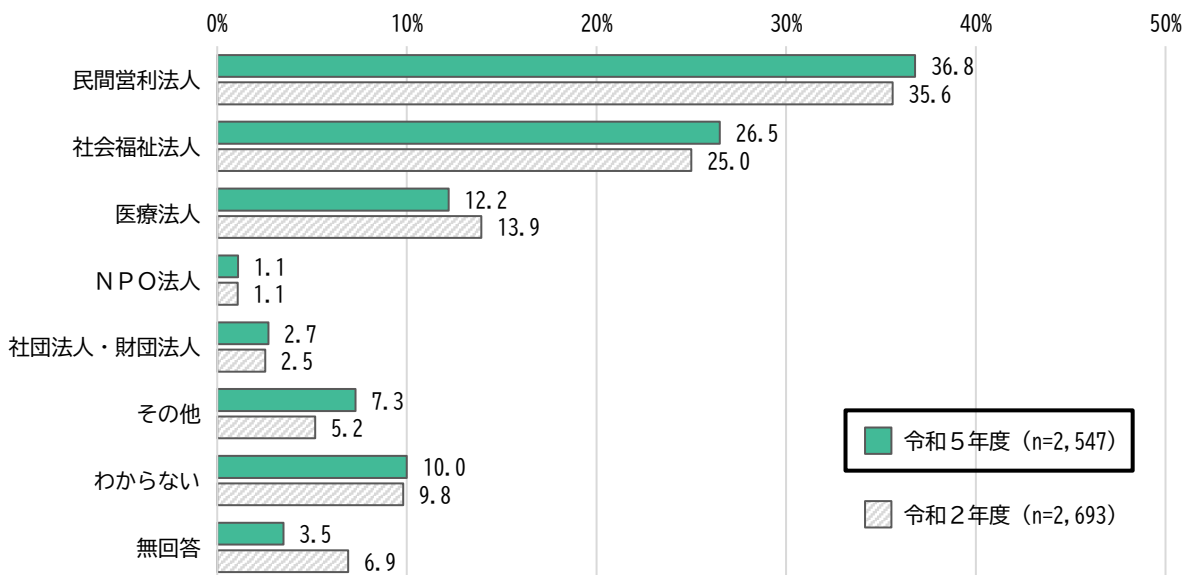
問4 あなたと同居されている方はどなたですか（あてはまるものすべての番号に○）

同居されている方について、「配偶者」と回答した人の割合が 55.6%と前回調査同様最も高く、次いで「子（高校生以上）」が 31.9%となっています。



問5 あなたが現在働いている（調査票が配布された）事業所・施設を運営する法人の種別は次のうちどれですか。（1つの番号に○）

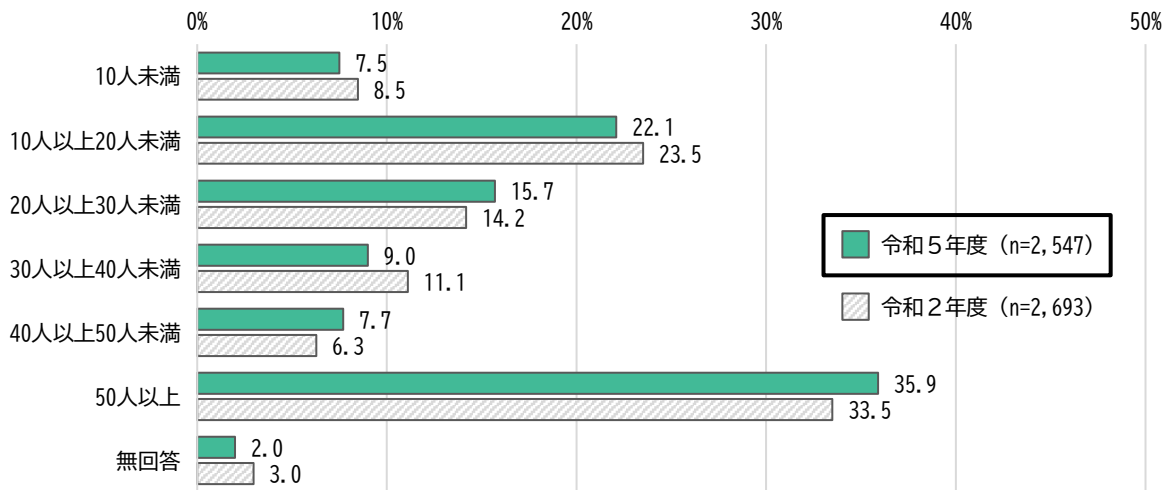
現在働いている事業所・施設を運営する法人の種別について、「民間営利法人」が 36.8%と前回調査同様最も高く、次いで「社会福祉法人」が 26.5%となっています。



第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

問6 あなたが現在働いている事業所・施設では、施設長・管理者を含めて約何人が働いていますか。（1つの番号に○）

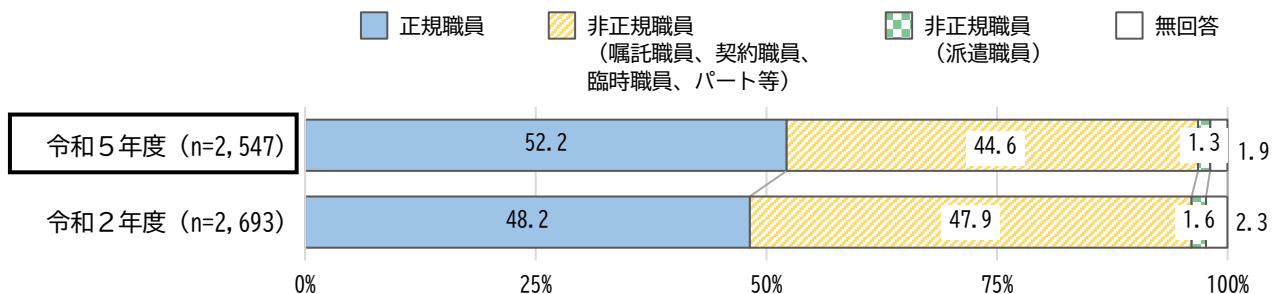
現在働いている事業所・施設の施設長・管理者を含めた人数について、「50人以上」35.9%と前回調査同様最も高く、次いで「10人以上20人未満」が22.1%となっています。



問7 あなたが現在働いている事業所・施設における、あなたの雇用形態はどれですか。（1つの番号に○）

雇用形態について、「正規職員」と回答した人の割合が52.2%となっており、「非正規職員（嘱託職員、契約職員、臨時職員、パート等）」が44.6%となっています。

※本調査実施の際、調査票を事業所の管理者宛てに送付し、管理者から従業員へ渡してもらう方法とした為、所属する職員の雇用形態の実際の割合を示しているものではないことに留意が必要。



サービス種別

(単位：%)

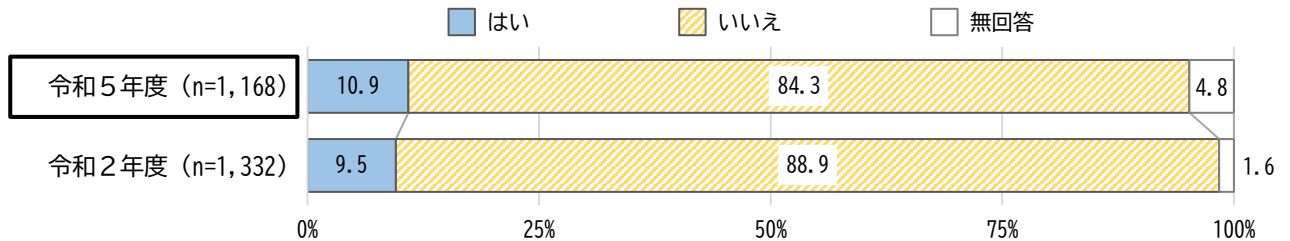
サービス種別	回答者数	正規職員 (%)	非正規職員 (%)	派遣職員 (%)
介護老人福祉施設	360	64.4	32.8	1.1
介護老人保健施設	298	67.4	27.9	1.7
短期入所生活介護	51	45.1	52.9	2.0
特定施設入居者生活介護	120	63.3	33.3	2.5
認知症対応型共同生活介護	281	40.6	56.6	1.1
訪問介護	354	48.9	49.7	0.0
通所介護	415	42.7	55.2	1.2
小規模多機能型居宅介護	110	46.4	50.0	0.9
(参考) 居宅介護支援事業所	151	45.7	52.3	2.0

※「無回答」は掲載を省略

雇用形態として「非正規職員」と答えた方におうかがいします。

問7-① 正規職員として働きたいですか。（1つの番号に○）

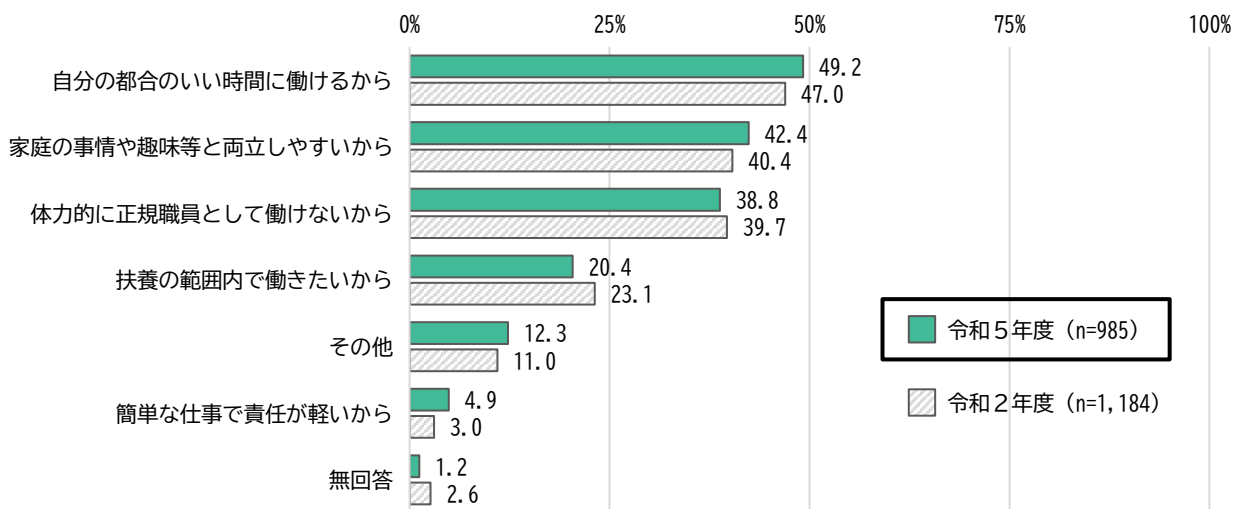
正規職員として働きたいと思うかについて、「はい」と回答した人の割合が10.9%となっています。



正規職員として働きたいかについて「いいえ」と答えた方におうかがいします。

問7-② 正規職員として働きたくない理由は何ですか。
（あてはまるものすべての番号に○）

正規職員として働きたくない理由について、「自分の都合のいい時間に働けるから」と回答した人の割合が49.2%と前回調査同様最も高く、次いで「家庭の事情や趣味等と両立しやすいから」が42.4%となっています。

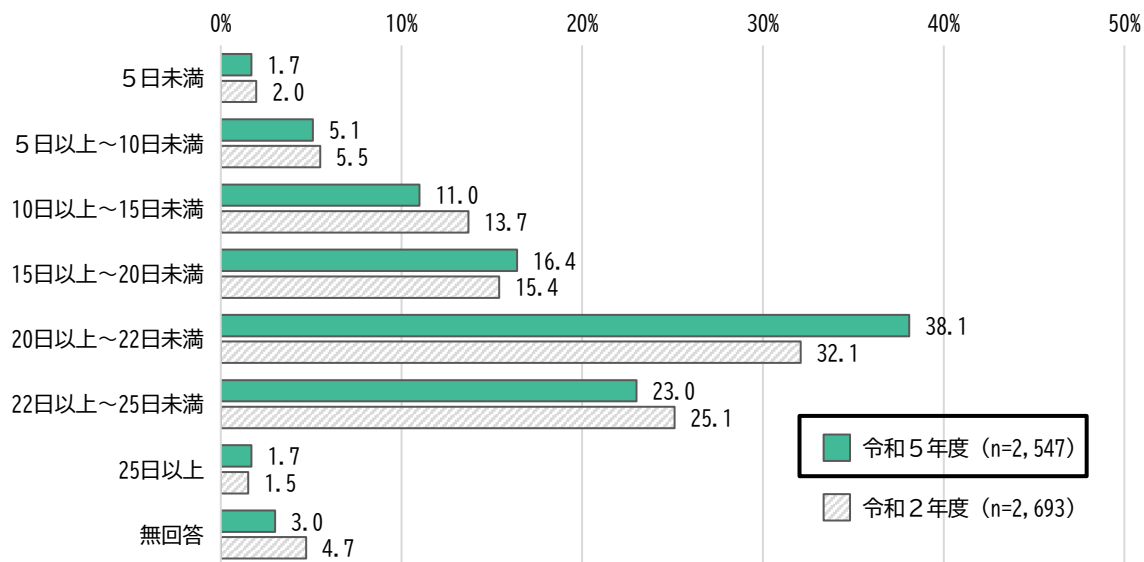


第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

問8 現在働いている事業所・施設における勤務状況として、以下の①～④のひと月あたりの状況についてお答えください。（数字を記入）

① 平均勤務日数

平均勤務日数について、「20日以上～22日未満」と回答した人の割合が38.1%と最も高く、次いで「22日以上～25日未満」が23.0%となっています。また、平均勤務日数は18.37日となっており、介護老人保健施設、特定施設入居者生活介護で勤務日数が長くなっています。



■ 平均勤務日数 (単位：日)

	回答者数	平均勤務日数
令和5年度	2,547	18.37
令和2年度	2,693	18.11
増減		+0.26

■ サービス種別 平均勤務日数 (単位：日)

	回答者数	平均勤務日数
介護老人福祉施設	360	19.14
介護老人保健施設	298	19.47
短期入所生活介護	51	17.90
特定施設入居者生活介護	120	19.31
認知症対応型共同生活介護	281	17.93
訪問介護	354	18.48
通所介護	415	17.20
小規模多機能型居宅介護	110	17.01
(参考) 居宅介護支援事業所	151	18.43

② 平均勤務時間（超過勤務時間を含む）

平均勤務時間について、「50時間未満」と回答した人の割合が25.6%と最も高く、次いで「150時間以上～175時間未満」が22.7%となっています。また、平均勤務時間は112.80時間となっており、認知症対応型共同生活介護で勤務時間が長くなっています。

※令和2年度調査では無回答が多かったため、令和5年度調査との比較は参考比較となります。



■ 平均勤務時間

(単位：時間)

	回答者数	平均勤務時間
令和5年度	2,547	112.80
令和2年度	2,693	133.43
増減		-20.63

■ サービス種別 平均勤務時間

(単位：時間)

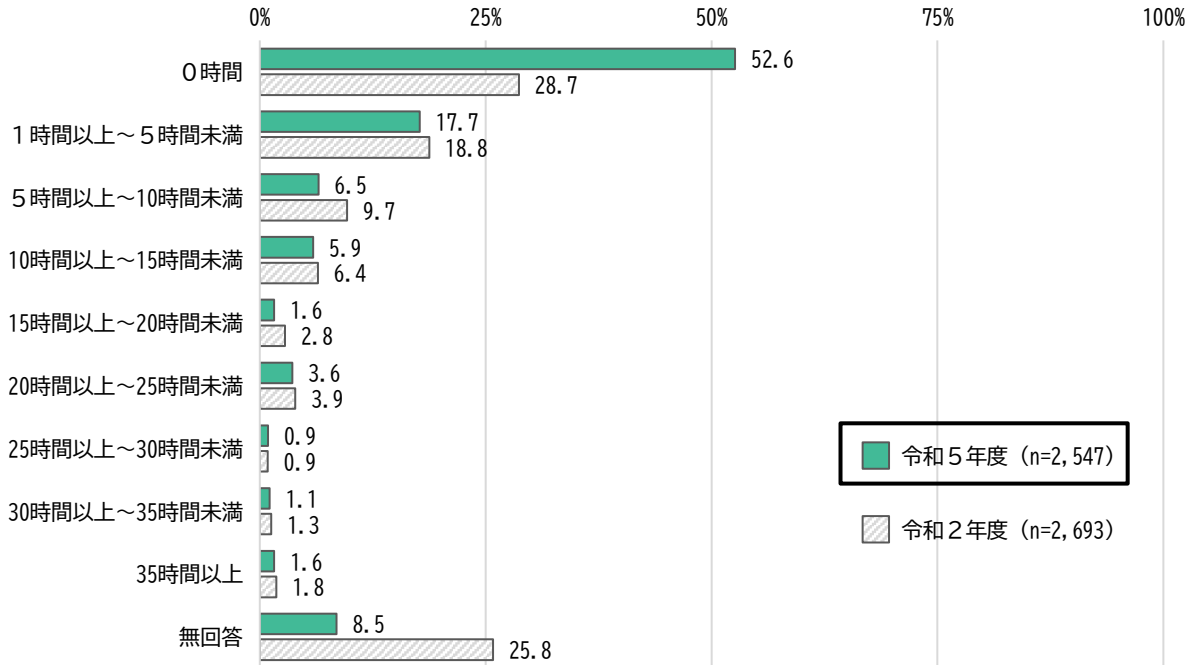
	回答者数	平均勤務時間
介護老人福祉施設	360	114.99
介護老人保健施設	298	115.00
短期入所生活介護	51	122.02
特定施設入居者生活介護	120	115.44
認知症対応型共同生活介護	281	140.56
訪問介護	354	107.81
通所介護	415	101.40
小規模多機能型居宅介護	110	106.67
(参考) 居宅介護支援事業所	151	106.25

第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

③ 平均超過勤務時間（ない場合は“0”を記入）

平均超過勤務時間について、「0時間」と回答した人の割合が52.6%と最も高く、次いで「1時間以上～5時間未満」が17.7%となっています。また、平均超過勤務時間は4.38時間となっており、通所介護で超過勤務時間が多くなっています。

※令和2年度調査では無回答が多かったため、令和5年度調査との比較は参考比較となります。



■ 平均超過勤務時間 (単位：時間)

	回答者数	平均超過勤務時間
令和5年度	2,547	4.38
令和2年度	2,693	5.90
増減		-1.52

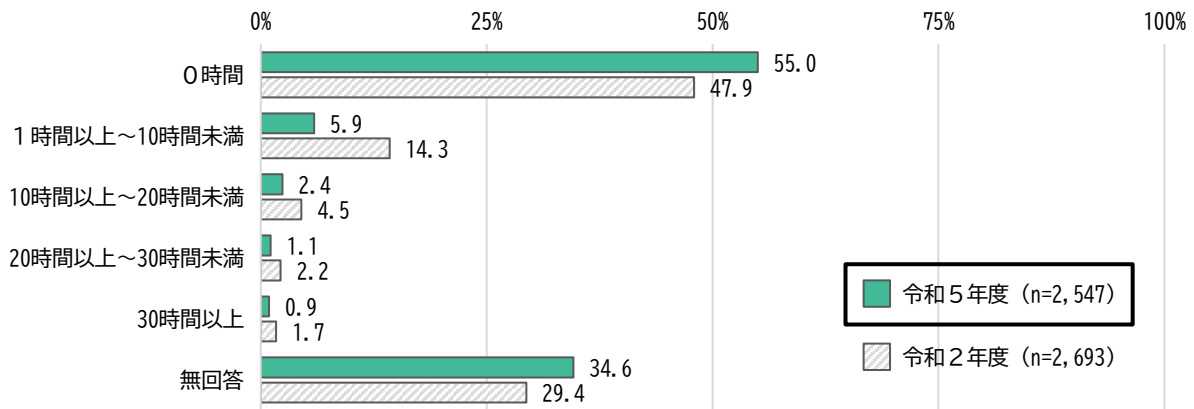
■ サービス種別 平均超過勤務時間 (単位：時間)

	回答者数	平均超過勤務時間
介護老人福祉施設	360	3.75
介護老人保健施設	298	3.25
短期入所生活介護	51	4.53
特定施設入居者生活介護	120	4.39
認知症対応型共同生活介護	281	4.55
訪問介護	354	4.03
通所介護	415	5.79
小規模多機能型居宅介護	110	2.86
(参考) 居宅介護支援事業所	151	3.73

③の上記のうち超過勤務手当がない超過勤務時間（ない場合は“0”を記入）

超過勤務時間のうち超過勤務手当がない超過勤務時間について、「0時間」と回答した人の割合が55.0%と最も高く、次いで「1時間以上～10時間未満」が5.9%となっています。

※令和2年度調査、令和5年度調査ともに無回答が多かったため、割合は参考となります。

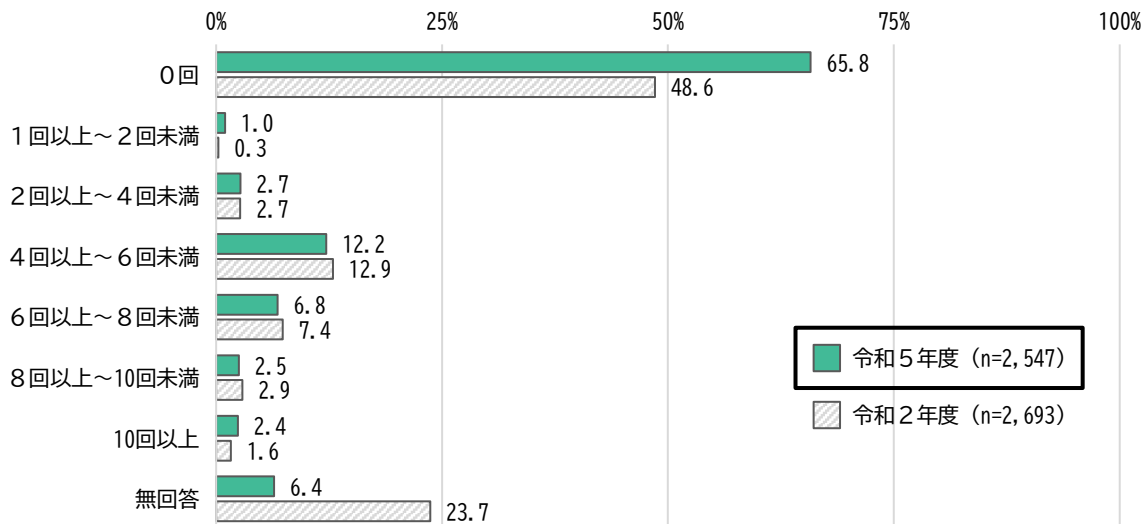


第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

④ 平均深夜勤務回数（ない場合は“0”を記入）

平均深夜勤務回数について、「0回」と回答した人の割合が65.8%と最も高く、次いで「4回以上～6回未満」が12.2%となっています。また、平均深夜勤務回数は1.87回となっており、認知症対応型共同生活介護で深夜勤務回数が多くなっています。

※令和2年度調査では無回答が多かったため、令和5年度調査との比較は参考比較となります。



■ 平均深夜勤務回数 (単位：回)

	回答者数	平均深夜勤務回数
令和5年度	2,547	1.87
令和2年度	2,693	2.07
増減		-0.20

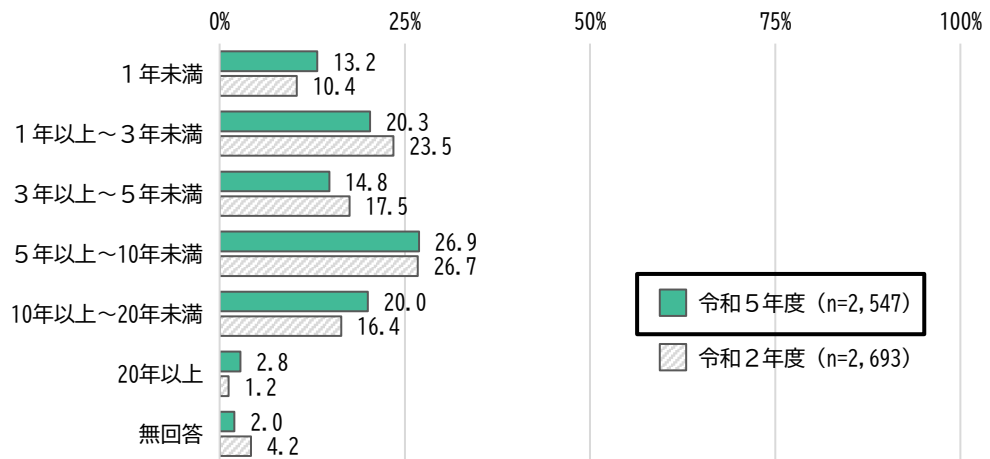
■ サービス種別 平均深夜勤務回数 (単位：回)

	回答者数	平均深夜勤務回数
介護老人福祉施設	360	2.38
介護老人保健施設	298	3.16
短期入所生活介護	51	2.62
特定施設入居者生活介護	120	2.09
認知症対応型共同生活介護	281	3.48
訪問介護	354	1.09
通所介護	415	0.10
小規模多機能型居宅介護	110	1.82
(参考) 居宅介護支援事業所	151	1.74

問9 現在働いている事業所・施設における在籍年数と、以前の勤務先を含めた介護サービスの仕事に携わってからの通算経験年数をお答えください。（令和5年4月1日現在）（数字を記入）

① 現在働いている事業所・施設における在籍年数

現在働いている事業所・施設における在籍年数について、「5年以上～10年未満」と回答した人の割合が26.9%と最も高く、次いで「1年以上～3年未満」が20.3%となっています。また、平均在籍年数は6.22年となっており、訪問介護で在籍年数が長くなっています。



■ 平均在籍年数

（単位：年）

	回答者数	平均在籍年数
令和5年度	2,547	6.22
令和2年度	2,693	5.74
増減		+0.48

■ サービス種別 平均在籍年数

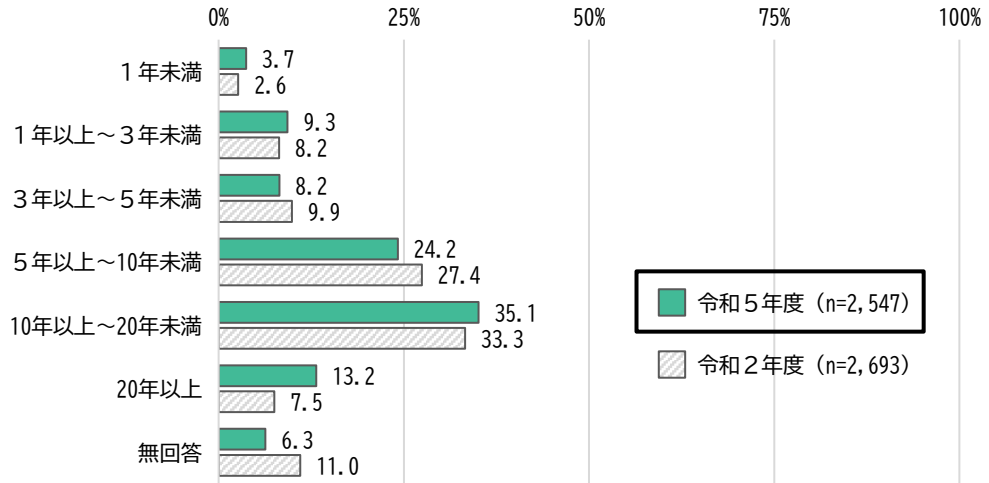
（単位：年）

	回答者数	平均在籍年数
介護老人福祉施設	360	6.65
介護老人保健施設	298	6.51
短期入所生活介護	51	5.91
特定施設入居者生活介護	120	6.13
認知症対応型共同生活介護	281	6.41
訪問介護	354	6.93
通所介護	415	5.79
小規模多機能型居宅介護	110	4.24
（参考）居宅介護支援事業所	151	6.14

第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

② 介護サービスの仕事に携わってからの通算経験年数

介護サービスの仕事に携わってからの通算経験年数について、「10年以上～20年未満」と回答した人の割合が35.1%と最も高く、次いで「5年以上～10年未満」が24.2%となっています。また、平均通算経験年数は10.67年となっており、訪問介護で通算経験年数が長くなっています。



■ 平均通算経験年数 (単位：年)

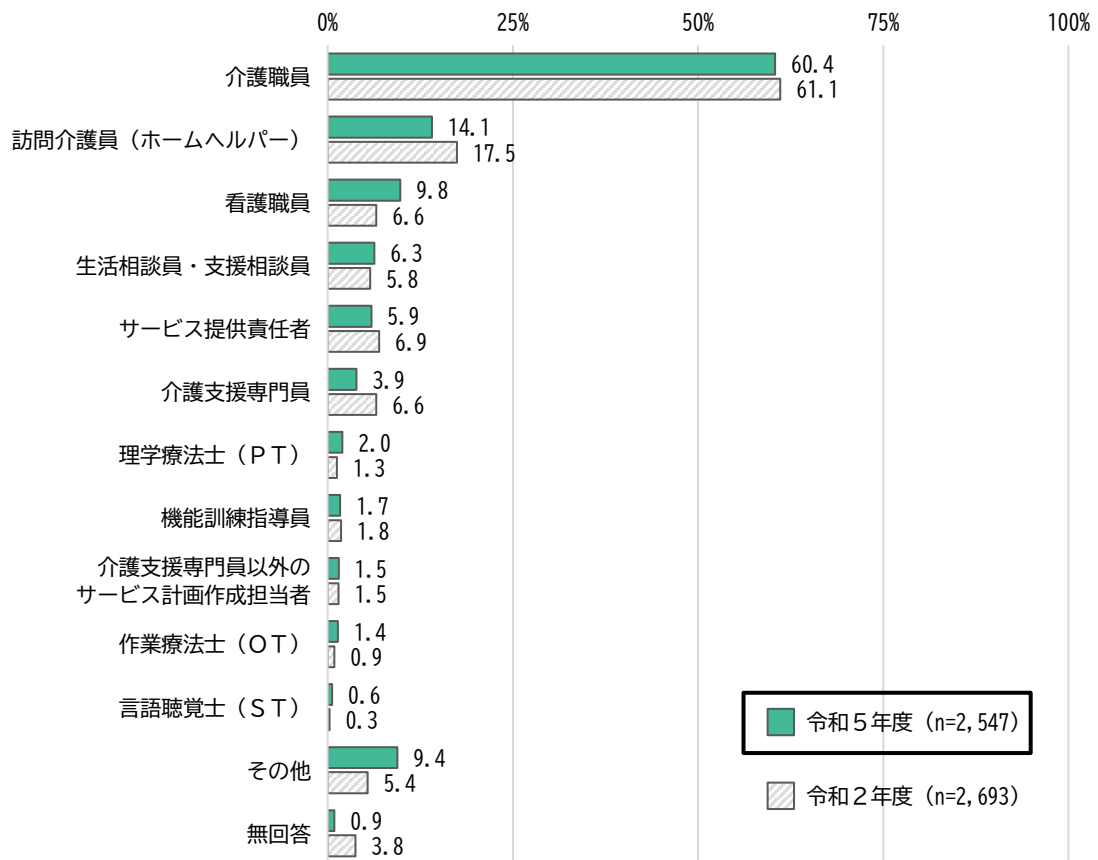
	回答者数	平均通算経験年数
令和5年度	2,547	10.67
令和2年度	2,693	9.93
増減		+0.74

■ サービス種別 平均通算経験年数 (単位：年)

	回答者数	平均通算経験年数
介護老人福祉施設	360	10.73
介護老人保健施設	298	11.20
短期入所生活介護	51	11.55
特定施設入居者生活介護	120	11.18
認知症対応型共同生活介護	281	10.52
訪問介護	354	12.00
通所介護	415	10.02
小規模多機能型居宅介護	110	8.91
(参考) 居宅介護支援事業所	151	9.92

問10 あなたが現在働いている事業所・施設における具体的な職種はどれですか。
（あてはまるものすべての番号に○）

現在働いている事業所・施設における職種について、「介護職員」と回答した人の割合が60.4%と前回調査同様最も高く、次いで「訪問介護員（ホームヘルパー）」が14.1%となっています。



その他・・・ドライバー、調理、事務職など

なお、回答が多かった上位8職種における、雇用形態別割合は以下の表の通りとなっており、介護職員では正規職員が54.3%、非正規職員が42.6%、訪問介護員（ホームヘルパー）では正規職員が34.4%、非正規職員が63.6%となっています。

■ 職種別

（単位：％）

職種	回答者数	正規職員	非正規職員	派遣職員
介護職員	1,539	54.3	42.6	1.4
訪問介護員（ホームヘルパー）	360	34.4	63.6	0.8
看護職員	249	44.2	51.8	2.8
生活相談員・支援相談員	161	84.5	14.9	0.0
サービス提供責任者	150	88.0	10.0	0.0
介護支援専門員	99	72.7	25.3	1.0
理学療法士（PT）	51	72.5	23.5	0.0
機能訓練指導員	44	70.5	29.5	0.0

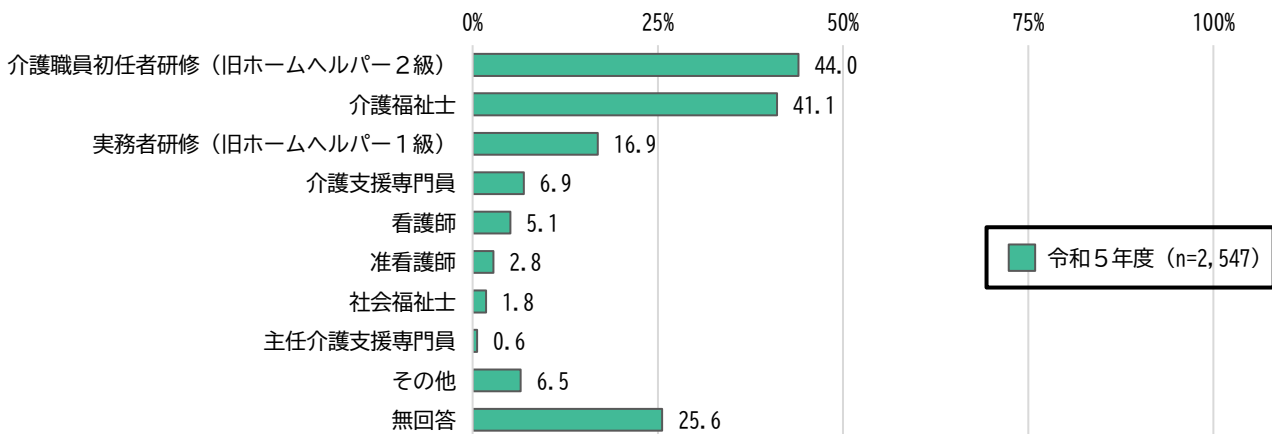
※「無回答」は掲載を省略

第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

問11 あなたが現在お持ちの保健医療福祉関係の資格と、今後取得したいと思う保健医療福祉関係の資格をお答えください。（あてはまるものすべての番号に○）

① 現在の保有資格

現在保有している保健医療福祉関係の資格について、「介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）」と回答した人の割合が44.0%と最も高く、次いで「介護福祉士」が41.1%となっています。また、訪問介護では「介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）」、「介護福祉士」ともに保有割合が高くなっています。



■ サービス種別

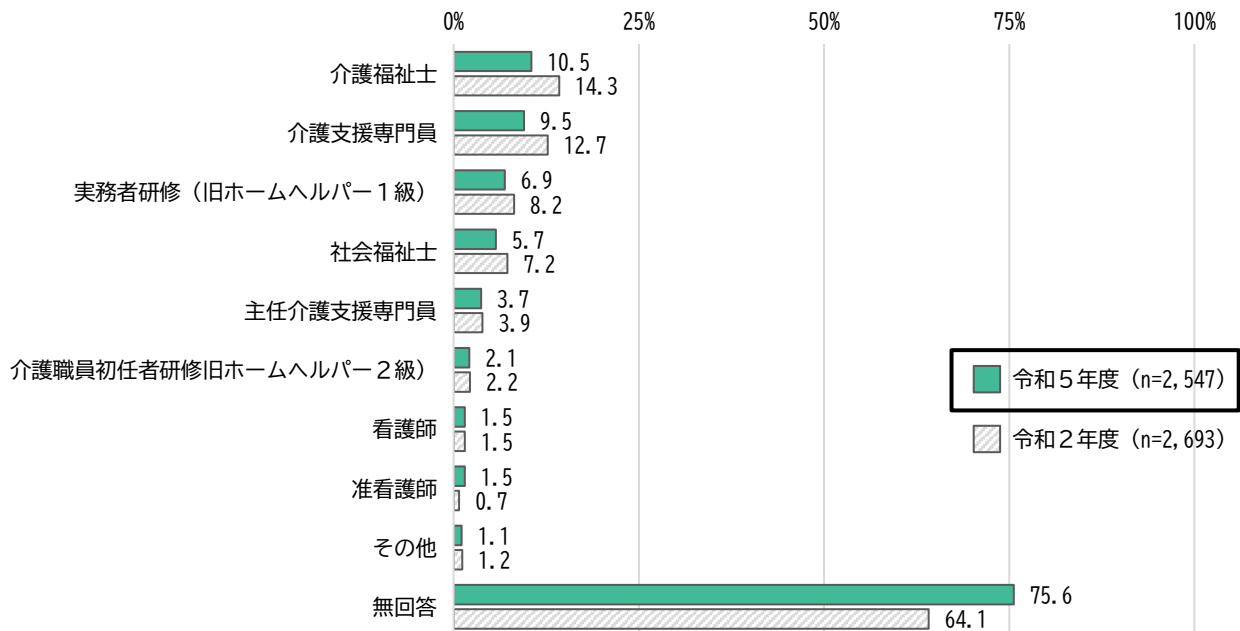
（単位：%）

サービス種別	回答者数	介護職員初任者研修 （旧ホームヘルパー2級）	介護福祉士	実務者研修 （旧ホームヘルパー1級）	介護支援専門員	看護師	准看護師	社会福祉士	主任介護支援専門員
介護老人福祉施設	360	40.3	49.2	20.0	7.8	5.3	3.1	2.5	0.6
介護老人保健施設	298	27.2	36.9	12.4	8.1	9.4	6.0	2.0	0.3
短期入所生活介護	51	52.9	31.4	11.8	7.8	2.0	2.0	0.0	0.0
特定施設入居者生活介護	120	40.0	49.2	22.5	7.5	7.5	3.3	1.7	0.8
認知症対応型共同生活介護	281	53.4	39.1	17.4	5.3	1.4	0.4	1.1	0.4
訪問介護	354	62.4	55.4	21.8	6.5	0.0	0.0	2.3	0.3
通所介護	415	35.7	33.0	13.0	5.8	7.5	3.6	1.9	0.2
小規模多機能型居宅介護	110	48.2	33.6	14.5	7.3	2.7	4.5	2.7	1.8
（参考）居宅介護支援事業所	151	57.0	33.1	15.2	11.3	4.6	4.6	1.3	3.3

※「その他」「無回答」は掲載を省略

② 今後取得したいと思う資格

今後取得したいと思う保健医療福祉関係の資格について、「無回答」の回答割合が最も高く、今後取得したいと思う資格が「無い」人の割合が高くなっています。また、「無回答」を除くと「介護福祉士」と回答した人の割合が前回調査より減少しているものの10.5%と最も高く、次いで「介護支援専門員」が9.5%となっています。また、認知症対応型共同生活介護では「介護福祉士」が高く、特定施設入居者生活介護では「介護支援専門員」が高くなっています。



■ サービス種別

(単位：%)

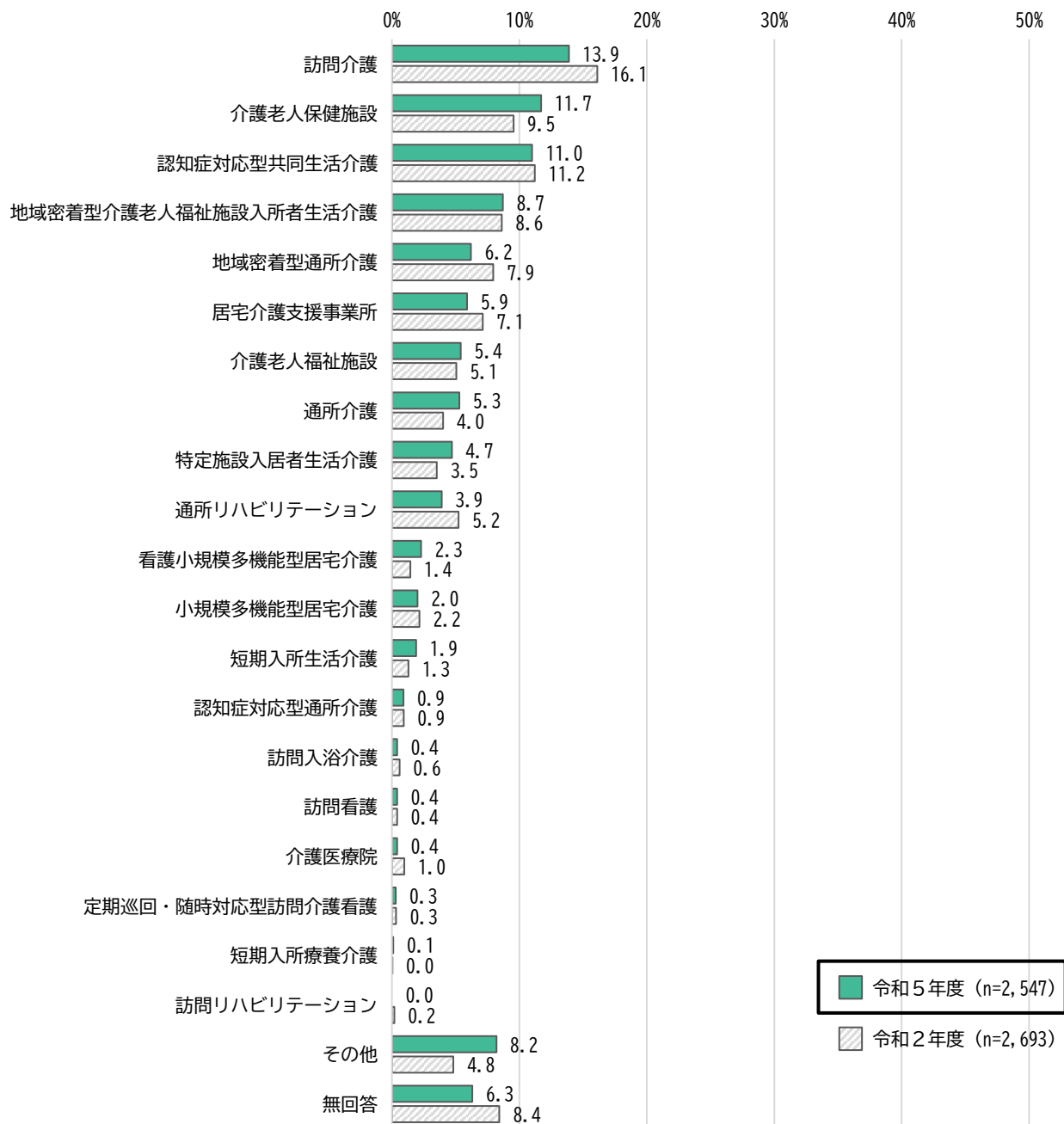
	回答者数	介護福祉士	介護支援専門員	実務者研修 (旧ホームヘルパー1級)	社会福祉士	主任介護支援専門員	介護職員初任者研修 (旧ホームヘルパー2級)	看護師	准看護師
介護老人福祉施設	360	13.1	12.8	7.8	7.5	4.4	1.9	1.7	2.2
介護老人保健施設	298	6.4	7.4	3.7	6.0	4.4	2.3	1.7	1.7
短期入所生活介護	51	13.7	13.7	11.8	3.9	5.9	5.9	3.9	2.0
特定施設入居者生活介護	120	5.8	17.5	5.0	9.2	4.2	2.5	2.5	0.8
認知症対応型共同生活介護	281	16.0	10.7	11.4	3.6	5.0	2.1	0.7	1.1
訪問介護	354	10.7	6.8	6.2	4.8	2.5	0.3	0.6	1.1
通所介護	415	8.0	9.4	5.8	5.5	2.2	2.7	0.7	0.7
小規模多機能型居宅介護	110	10.0	8.2	7.3	3.6	3.6	5.5	0.9	0.9
(参考) 居宅介護支援事業所	151	13.9	5.3	10.6	7.3	3.3	2.0	2.0	1.3

※「その他」「無回答」は掲載を省略

第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

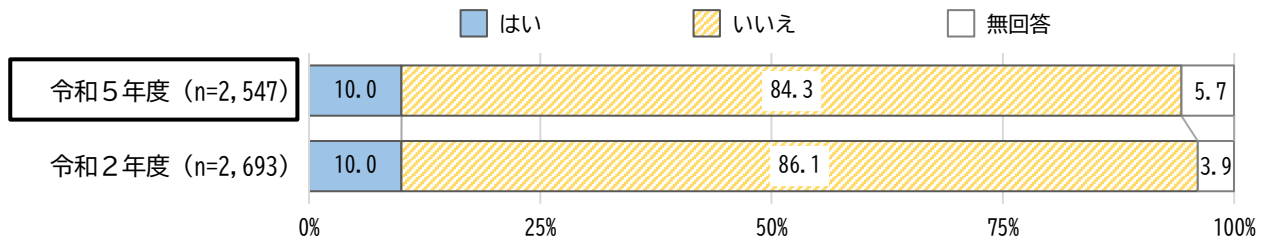
問12 あなたが現在働いている事業所・施設（兼務している場合は主たる事業所・施設）の種別は次のうちどれですか。（1つの番号に○）

現在働いている事業所・施設の種別について、「訪問介護」が前回調査より微減し13.9%と前回調査同様最も高く、次いで「介護老人保健施設」が前回調査より微増し11.7%となっています。



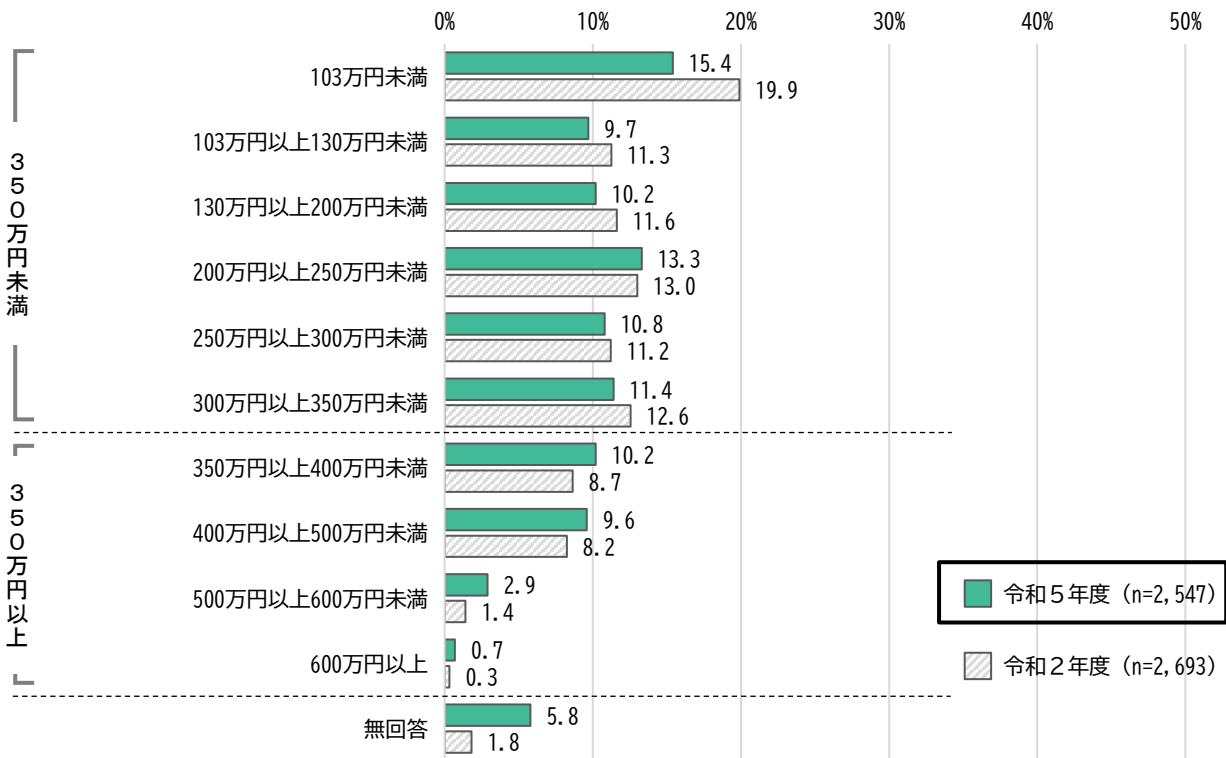
問13 あなたは同一法人内の他の事業所・施設で兼務していますか。（1つの番号に○）

同一法人内の他の事業所・施設で兼務しているかについて、「はい」と回答した人の割合は前回調査から変化はなく10.0%となっており、1割が兼務していると回答しています。



問14 現在働いている事業所・施設において、あなたの昨年の「年収」はどのくらいですか。雇用期間が1年未満の方は、1年間の年収を想定してお答えください。（1つの番号に○）

現在働いている事業所・施設の昨年度の「年収」について、「103万未満」と回答した人の割合が15.4%と前回調査同様最も高くなっており、次いで「200万円以上250万円未満」が13.3%となっています。なお、年収350万未満と回答した人の割合は前回同様あるいは微減、減少となっている一方、年収350万円以上と回答した人の割合は微増しており、全体的に年収が増加している傾向が見受けられています。



第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

訪問介護、通所介護、居宅介護支援事業所では「103万円未満」と回答した人の割合が高く、介護老人保健施設、特定施設入居者生活介護では「400万円以上 500万円未満」が高くなっています。

■ サービス種別

(単位：%)

	回答者数	1 0 3 万 円 未 満	1 1 0 3 万 円 未 満 以 上	2 1 0 3 万 円 未 満 以 上	2 2 5 0 0 0 万 円 未 満 以 上	3 2 0 5 0 0 万 円 未 満 以 上	3 3 5 0 0 0 万 円 未 満 以 上	4 3 0 5 0 0 万 円 未 満 以 上	5 4 0 0 0 0 万 円 未 満 以 上	6 5 0 0 0 0 万 円 未 満 以 上	6 0 0 0 万 円 未 満 以 上
介護老人福祉施設	360	7.8	9.4	8.6	14.2	10.6	18.3	10.6	11.7	3.1	0.6
介護老人保健施設	298	8.1	6.0	8.7	10.4	8.1	12.8	15.8	19.8	5.4	1.7
短期入所生活介護	51	15.7	2.0	13.7	21.6	11.8	11.8	11.8	3.9	2.0	0.0
特定施設入居者生活介護	120	5.8	8.3	11.7	15.0	9.2	12.5	10.0	16.7	3.3	1.7
認知症対応型共同生活介護	281	11.0	11.7	13.9	18.5	12.8	11.0	7.1	5.3	1.8	0.0
訪問介護	354	26.0	9.6	7.1	9.9	12.1	10.7	9.0	6.2	3.4	0.8
通所介護	415	22.4	11.3	13.5	13.0	8.7	9.9	8.4	6.7	1.0	0.2
小規模多機能型居宅介護	110	18.2	14.5	10.0	9.1	14.5	8.2	9.1	4.5	6.4	0.9
(参考) 居宅介護支援事業所	151	22.5	10.6	9.3	15.2	10.6	6.6	9.3	6.6	0.7	0.0

※「無回答」は掲載を省略

正規職員では「300万円以上 350万円未満」「350万円以上 400万円未満」と回答した人の割合が高く、非正規職員では「103万円未満」、派遣職員では「130万円以上 200万円未満」「200万円以上 250万円未満」が高くなっています。

■ 雇用形態別

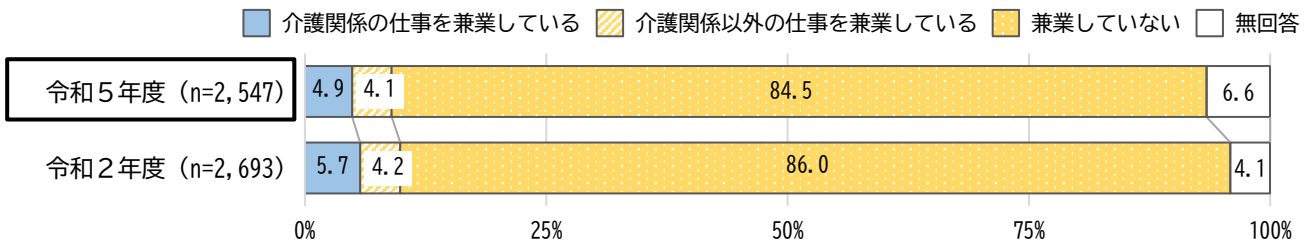
(単位：%)

	回答者数	1 0 3 万 円 未 満	1 1 0 3 万 円 未 満 以 上	2 1 0 3 万 円 未 満 以 上	2 2 5 0 0 0 万 円 未 満 以 上	3 2 0 5 0 0 万 円 未 満 以 上	3 3 5 0 0 0 万 円 未 満 以 上	4 3 0 5 0 0 万 円 未 満 以 上	5 4 0 0 0 0 万 円 未 満 以 上	6 5 0 0 0 0 万 円 未 満 以 上	6 0 0 0 万 円 未 満 以 上
正規職員	1,330	0.7	0.7	3.1	11.9	16.1	18.6	18.2	17.7	5.4	1.4
非正規職員	1,136	32.9	19.9	18.0	14.7	5.0	2.9	1.1	0.6	0.2	0.0
派遣職員	32	9.4	15.6	18.8	18.8	12.5	9.4	6.3	3.1	3.1	0.0

※「無回答」は掲載を省略

問 15 あなたが現在働いている事業所・施設以外に、兼業（同一法人内での仕事は除く）している仕事がありますか。（1つの番号に○）

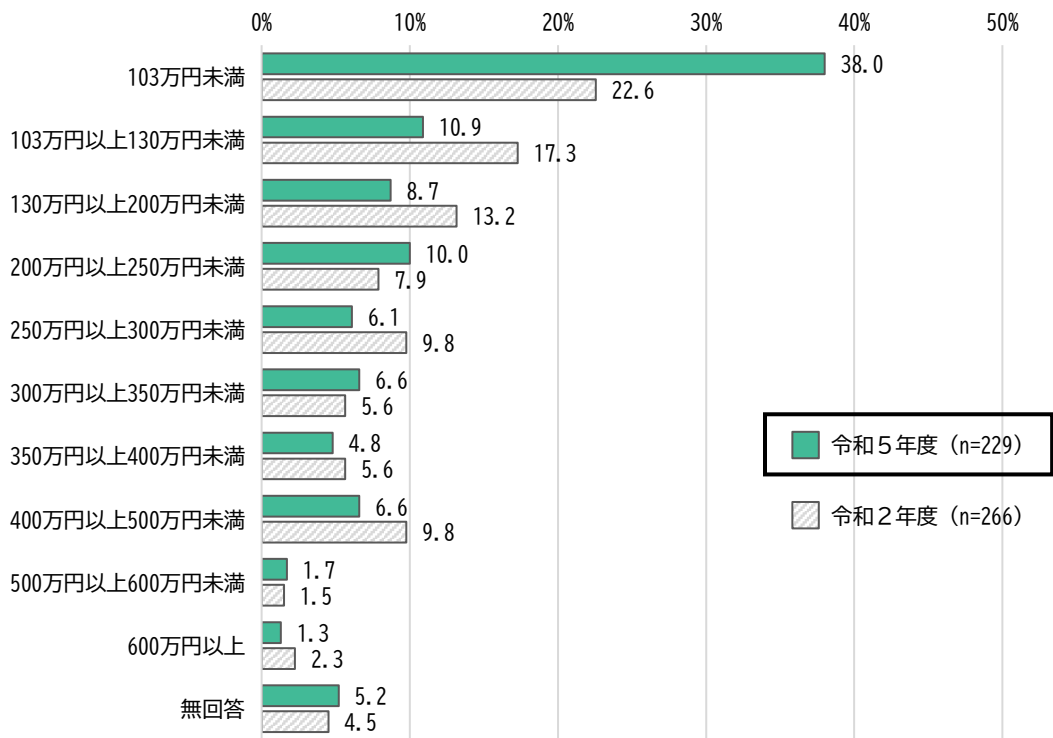
現在働いている事業所・施設以外に兼業している仕事があるかについて、「介護関係の仕事に兼業している」と回答した人の割合が4.9%、「介護関係以外の仕事に兼業している」が4.1%となり、約1割が兼業している仕事があると回答しています。



現在働いている事業所・施設以外に「兼業している」と答えた方におうかがいします。

問 15-① 兼業を含めた、あなたの昨年の「年収」はどのくらいですか。（1つの番号に○）

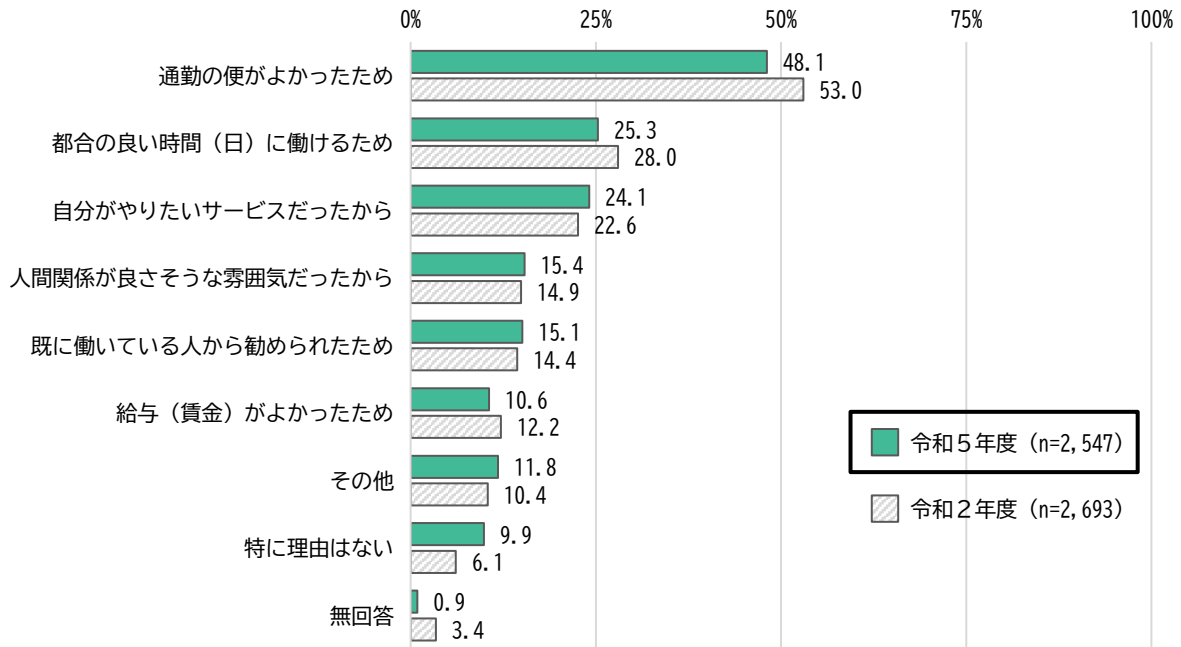
兼業を含めた昨年度の「年収」について、「103万未満」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し38.0%となっており、次いで「103万円以上130万円未満」が10.9%となっています。



第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

問16 あなたが現在働いている施設及び事業所等に就職した主な理由は何ですか。
（あてはまるもの3つまでの番号に○）

現在働いている施設及び事業所等に就職した理由について、「通勤の便がよかったため」と回答した人の割合が前回調査より減少しているものの48.1%と前回調査同様最も高く、次いで「都合の良い時間（日）に働けるため」が25.3%となっています。



■ サービス種別

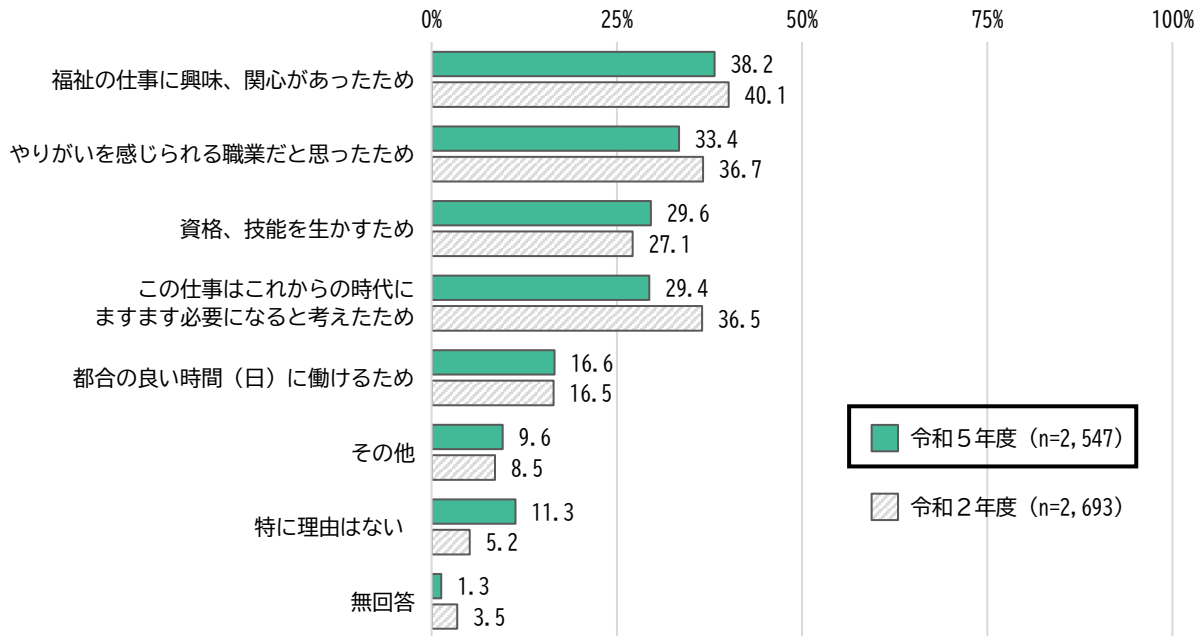
（単位：％）

サービス種別	回答者数	通勤の便がよかったため	都合の良い時間（日）に働けるため	自分がやりたいサービスだったから	人間関係が良さそうな雰囲気だったから	既に働いている人から勧められたため	給与（賃金）がよかったため
介護老人福祉施設	360	49.7	16.7	19.7	16.1	12.2	9.4
介護老人保健施設	298	49.0	19.5	22.1	11.7	10.1	17.8
短期入所生活介護	51	51.0	27.5	17.6	9.8	13.7	5.9
特定施設入居者生活介護	120	45.8	19.2	15.0	9.2	10.8	11.7
認知症対応型共同生活介護	281	53.0	26.3	28.5	17.8	13.5	3.2
訪問介護	354	38.4	33.9	22.9	20.9	26.3	12.1
通所介護	415	53.3	31.3	27.2	14.7	14.2	10.4
小規模多機能型居宅介護	110	46.4	21.8	21.8	10.9	23.6	10.9
（参考）居宅介護支援事業所	151	45.0	29.8	29.8	16.6	16.6	6.6

※「その他」「特に理由はない」「無回答」は掲載を省略

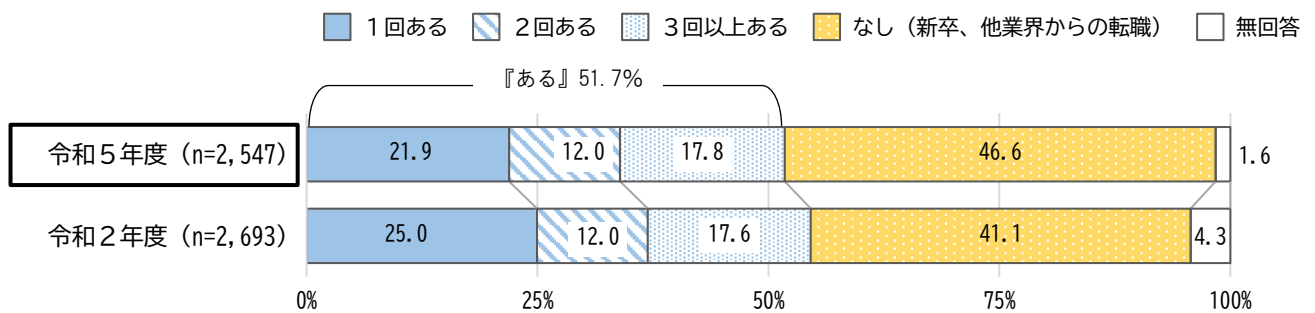
問17 あなたが現在働いている施設及び事業所に限らず、介護の仕事を選んだ主な理由は何ですか。（あてはまるもの3つまでの番号に○）

現在働いている施設及び事業所等に限らず、介護の仕事を選んだ理由について、「福祉の仕事に興味、関心があったため」と回答した人の割合が前回調査より微減しているものの38.2%と前回調査同様最も高く、次いで「やりがいを感じられる職業だと思ったため」が33.4%となっています。



問18 あなたは介護業界内での転職経験がありますか。（1つの番号に○）

介護業界内での転職経験について、『ある』と回答した人の割合は前回調査より微減し、51.7%となっています。



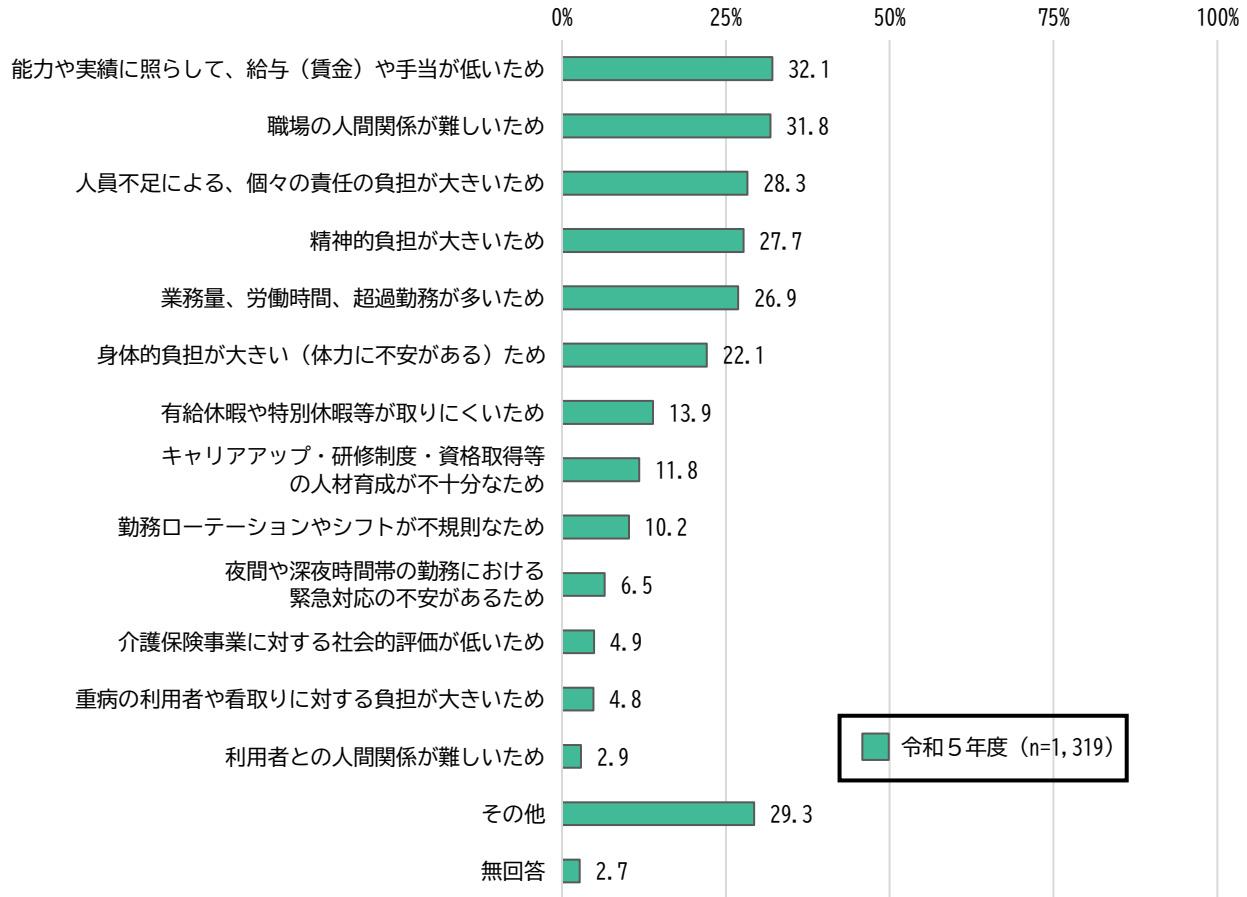
※『ある』 = 「1回ある」 + 「2回ある」 + 「3回以上ある」

第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

介護業界内での転職経験が1回以上「ある」と答えた方におうかがいします。

問18-① あなたが施設及び事業所等を離職したのは主にどのような理由からですか。
（あてはまるものすべての番号に○）

施設及び事業所等を離職した理由について、「能力や実績に照らして、給与（賃金）や手当が低い
ため」と回答した人の割合が32.1%と最も、次いで「職場の人間関係が難しいため」が31.8%と
なっています。

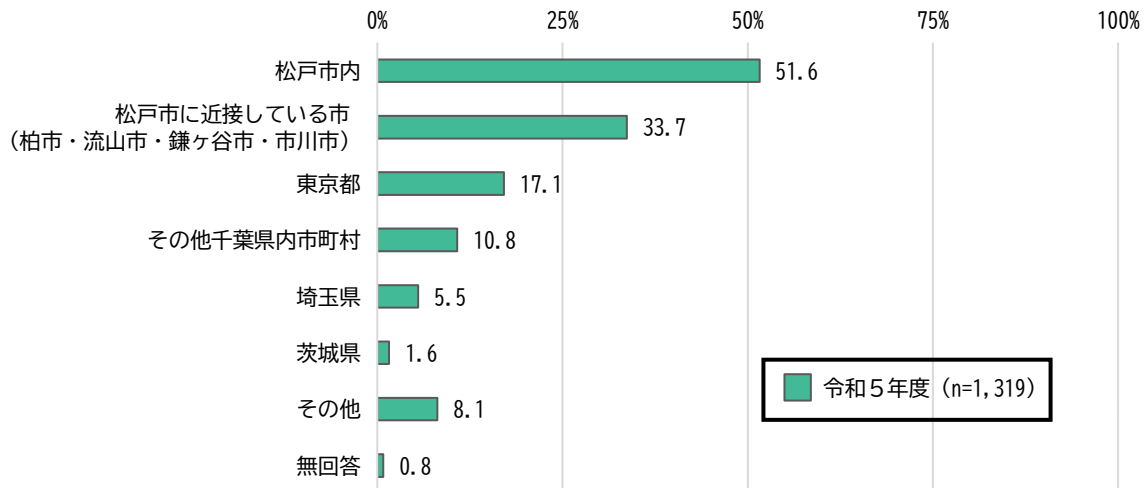


その他・・・引越しのため、事業所閉鎖のため、妊娠・出産のため、自宅から遠いためなど

介護業界内での転職経験が1回以上「ある」と答えた方におうかがいします。

問18-② あなたが現在働いている施設及び事業所等に転職する前は、過去にどの地域で働いていましたか。（あてはまるものすべての番号に○）

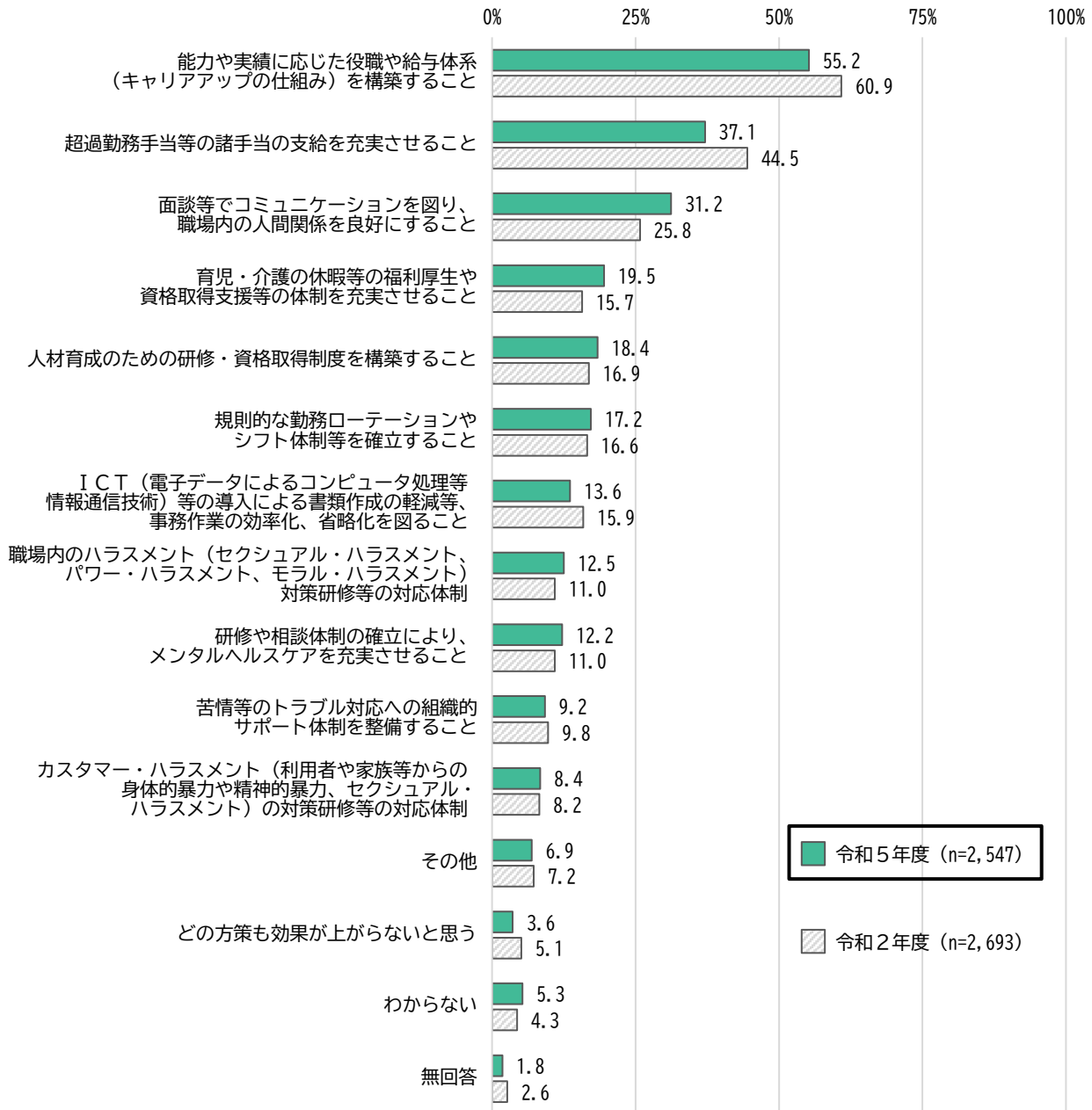
現在働いている施設及び事業所等に転職する前に働いていた地域について、「松戸市内」と回答した人の割合が51.6%、「松戸市に近接している市（柏市・流山市・鎌ヶ谷市・市川市）」が33.7%となっています。



第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

問19 介護事業所・施設における離職防止や就業定着のための方策で、特に効果が高いと思うものはどれですか。（あてはまるもの3つまで○）

介護事業所・施設における離職防止や就業定着のための方策で、特に効果が高いと思うものについて、「能力や実績に応じた役職や給与体系（キャリアアップの仕組み）を構築すること」と回答した人の割合が前回調査より減少しているものの55.2%と前回調査同様最も高く、次いで「超過勤務手当等の諸手当の支給を充実させること」が37.1%となっています。



第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

■ サービス種別

（単位：％）

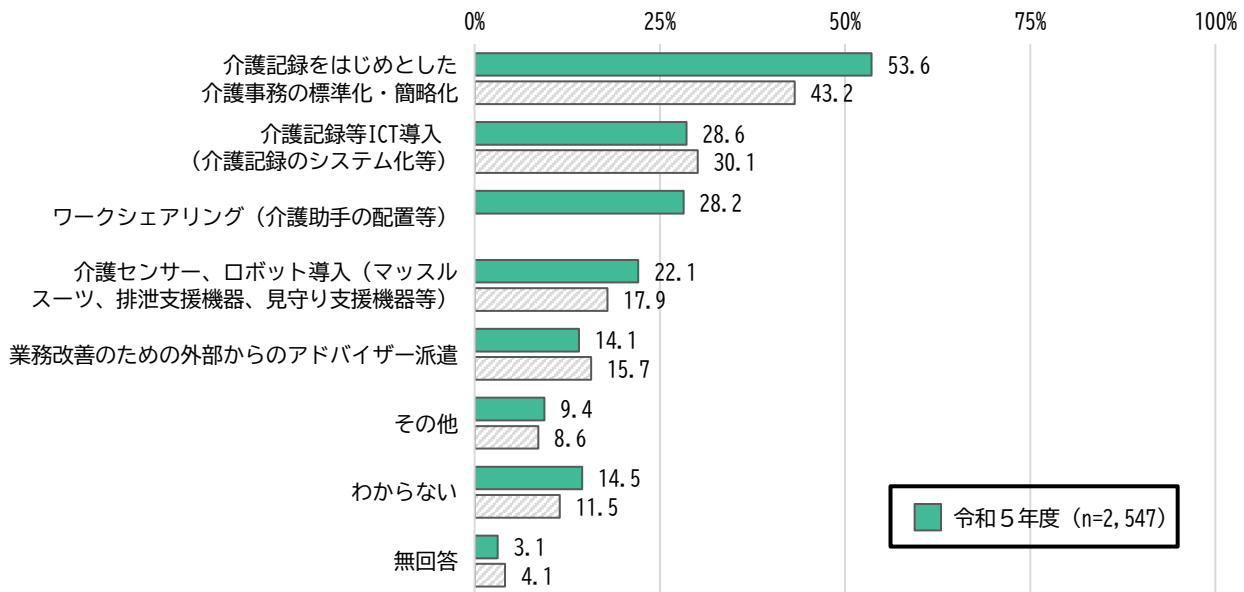
	回答者数	能力や実績に応じた役職や給与体系（キャリアアップの仕組み）を構築すること	超過勤務手当等の諸手当の支給を充実させること	面談等でコミュニケーションを図り、職場内の人間関係を良好にすること	育児・介護の休暇等の福利厚生や資格取得支援等の体制を充実させること	人材育成のための研修・資格取得制度を構築すること	規則的な勤務ローテーションやシフト体制等を確立すること	ICT（電子データによるコンピュータ処理等情報通信技術）等の導入による書類作成の軽減等、事務作業の効率化、省略化を図ること	職場内のハラスメント（セクシユアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメント）対策研修等の対応体制	研修や相談体制の確立により、メンタルヘルスクエアを充実させること	苦情等のトラブル対応への組織的サポート体制を整備すること	カスタマー・ハラスメント（利用者や家族等からの身体的暴力や精神的暴力、セクシユアル・ハラスメント）の対策研修等の対応体制
介護老人福祉施設	360	51.4	41.7	29.4	18.6	21.1	20.6	12.2	11.7	11.1	8.6	12.5
介護老人保健施設	298	59.4	38.6	27.9	20.5	16.8	16.8	15.1	15.4	10.4	8.4	8.1
短期入所生活介護	51	64.7	47.1	21.6	9.8	21.6	15.7	11.8	5.9	7.8	11.8	19.6
特定施設入居者生活介護	120	57.5	39.2	32.5	19.2	16.7	18.3	15.0	15.8	12.5	10.8	13.3
認知症対応型共同生活介護	281	52.7	31.3	32.7	16.4	17.8	21.4	14.6	14.6	15.3	7.8	9.6
訪問介護	354	54.0	35.9	36.2	19.2	16.4	17.8	11.0	7.6	14.4	10.7	5.6
通所介護	415	57.6	42.9	29.6	19.8	16.9	15.4	14.5	11.3	10.6	8.0	5.5
小規模多機能型居宅介護	110	57.3	31.8	30.0	22.7	20.0	12.7	16.4	14.5	14.5	8.2	10.9
（参考）居宅介護支援事業所	151	60.3	31.1	34.4	23.8	17.2	11.9	13.2	17.2	13.2	13.2	6.0

※「その他」「どの方策も効果が上がらないと思う」「わからない」「無回答」は掲載を省略

第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

問20 あなたの日頃の業務を軽減・効率化するためには何が必要ですか。
（あてはまるもの3つまで○）

日頃の業務を軽減・効率化するために必要なことについて、「介護記録をはじめとした介護事務の標準化・簡略化」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し53.6%と前回調査同様最も高く、次いで「介護記録等 ICT 導入（介護記録のシステム化等）」が28.6%となっています。また、訪問介護では「介護記録をはじめとした介護事務の標準化・簡略化」が高く、介護老人福祉施設では「ワークシェアリング（介護助手の配置等）」が高くなっています。



■ サービス種別

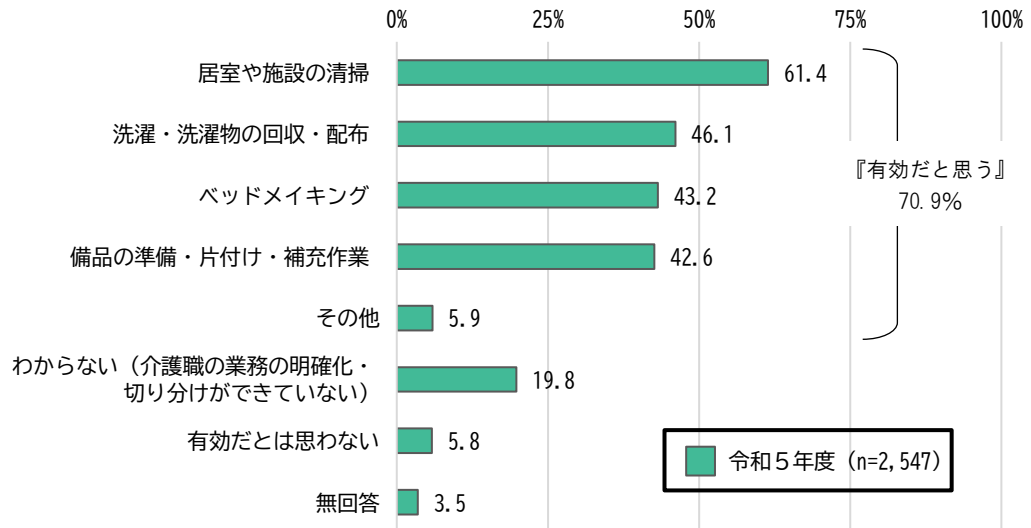
（単位：％）

サービス種別	回答者数	介護記録をはじめとした介護事務の標準化・簡略化	介護記録等 ICT 導入（介護記録のシステム化等）	ワークシェアリング（介護助手の配置等）	介護センサー、ロボット導入（マッスルスーツ、排泄支援機器、見守り支援機器等）	業務改善のための外部からのアドバイザー派遣
介護老人福祉施設	360	46.9	25.6	42.8	31.1	20.3
介護老人保健施設	298	53.4	31.5	30.2	23.2	12.4
短期入所生活介護	51	52.9	41.2	31.4	21.6	19.6
特定施設入居者生活介護	120	49.2	25.8	33.3	28.3	12.5
認知症対応型共同生活介護	281	55.9	29.9	25.3	32.7	12.8
訪問介護	354	62.4	30.5	22.0	13.3	10.5
通所介護	415	56.9	28.9	25.5	14.5	14.2
小規模多機能型居宅介護	110	55.5	32.7	20.9	18.2	12.7
（参考）居宅介護支援事業所	151	49.7	25.8	21.2	18.5	13.2

※「その他」「わからない」「無回答」は掲載を省略

問21 タスクシェア・タスクシフティングが有効だと感じる業務は何ですか。
（あてはまるものすべての番号に○）

タスクシェア・タスクシフティングが有効だと感じる業務について、「居室や施設の清掃」と回答した人の割合が61.4%と最も高く、次いで「洗濯・洗濯物の回収・配布」が46.1%となり、タスクシェア・タスクシフティングが『有効だと思う』と回答した人の割合が70.9%と約7割となっています。また、サービス種別にもみても全体的に『有効だと思う』と回答した人の割合が高くなっています。



※『有効だと思う』=100-「わからない（介護職の業務の明確化・切り分けができていない）」-「有効だとは思わない」-「無回答」

■ サービス種別

（単位：％）

	回答者数	居室や施設の清掃	洗濯・洗濯物の回収・配布	ベッドメイキング	備品の準備・片付け・補充作業	居室や施設の清掃	『有効だと思う』
介護老人福祉施設	360	75.8	57.5	67.2	51.9	75.8	83.1
介護老人保健施設	298	67.8	54.0	62.8	54.7	67.8	81.8
短期入所生活介護	51	62.7	52.9	56.9	47.1	62.7	66.7
特定施設入居者生活介護	120	69.2	64.2	62.5	55.0	69.2	83.3
認知症対応型共同生活介護	281	64.4	36.3	29.5	35.6	64.4	68.3
訪問介護	354	54.8	45.5	33.6	36.7	54.8	63.3
通所介護	415	52.8	37.1	26.3	38.1	52.8	62.9
小規模多機能型居宅介護	110	63.6	35.5	39.1	35.5	63.6	70.1
（参考）居宅介護支援事業所	151	55.6	46.4	37.7	33.1	55.6	63.6

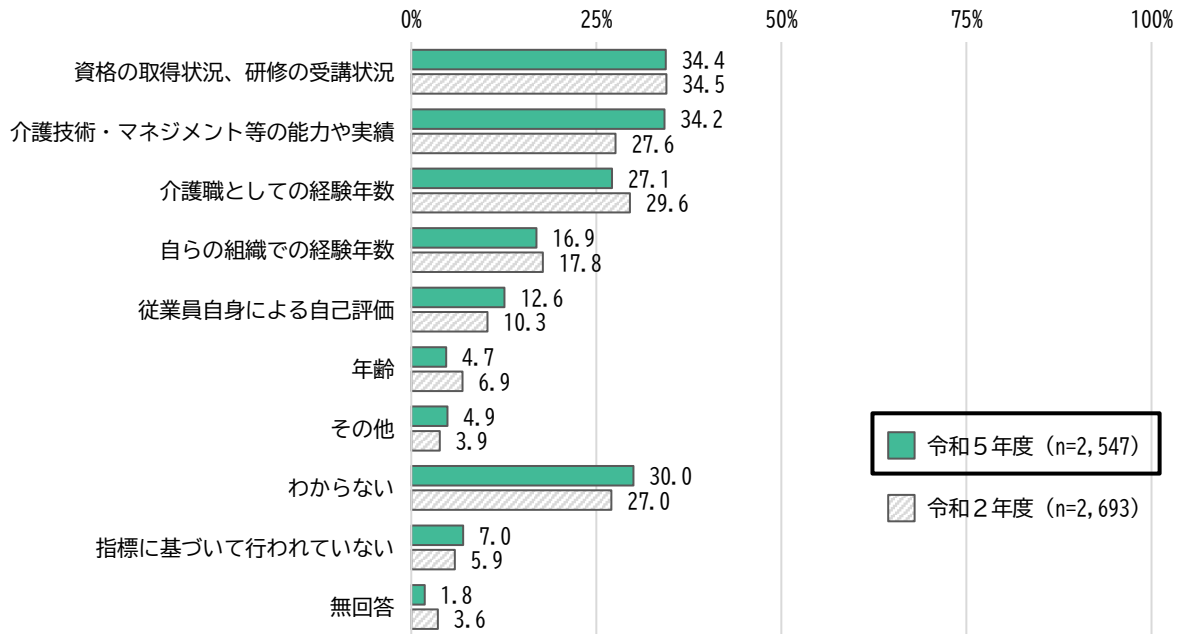
※『有効だと思う』=100-「わからない（介護職の業務の明確化・切り分けができていない）」-「有効だとは思わない」-「無回答」

※「その他」「わからない（介護職の業務の明確化・切り分けができていない）」「有効だとは思わない」「無回答」は掲載を省略

第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

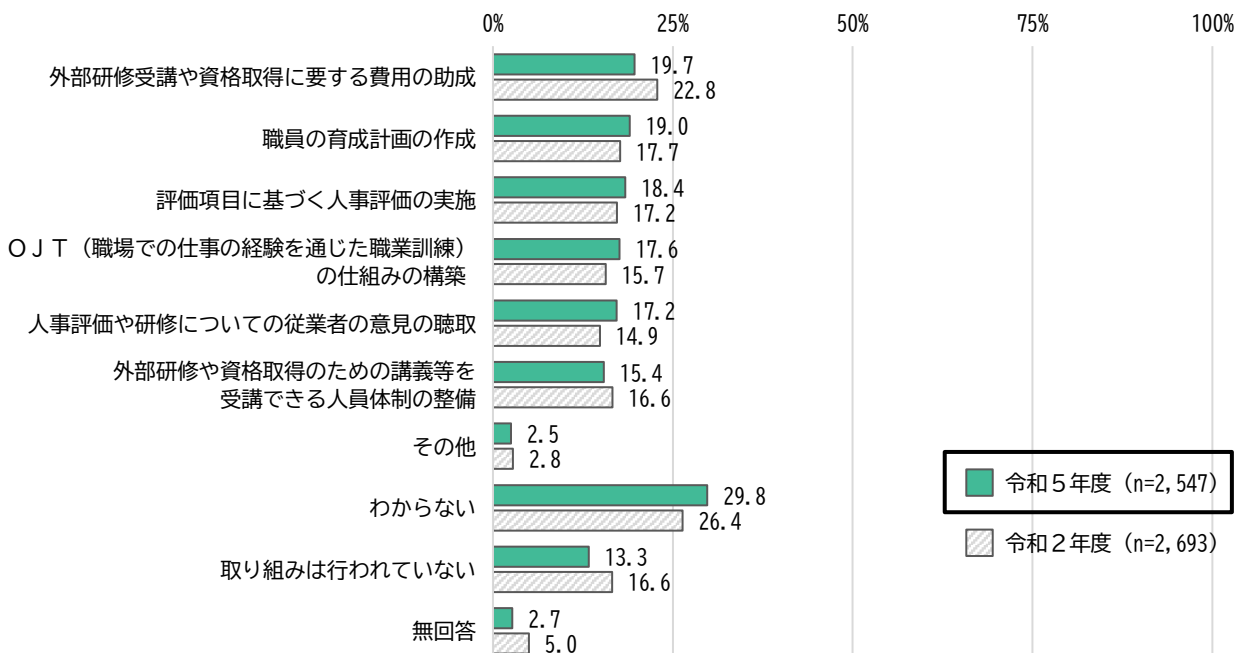
問 22 あなたが現在働いている事業所・施設において人事評価や役職・給与の決定は、何に基づいて行われていると思いますか。（あてはまるものすべての番号に○）

人事評価や役職・給与の決定方法について、「資格の取得の状況、研修の受講状況」と回答した人の割合が34.4%と前回調査同様最も高く、次いで「介護技術・マネジメント等の能力や実績」が前回調査より増加し34.2%となっています。



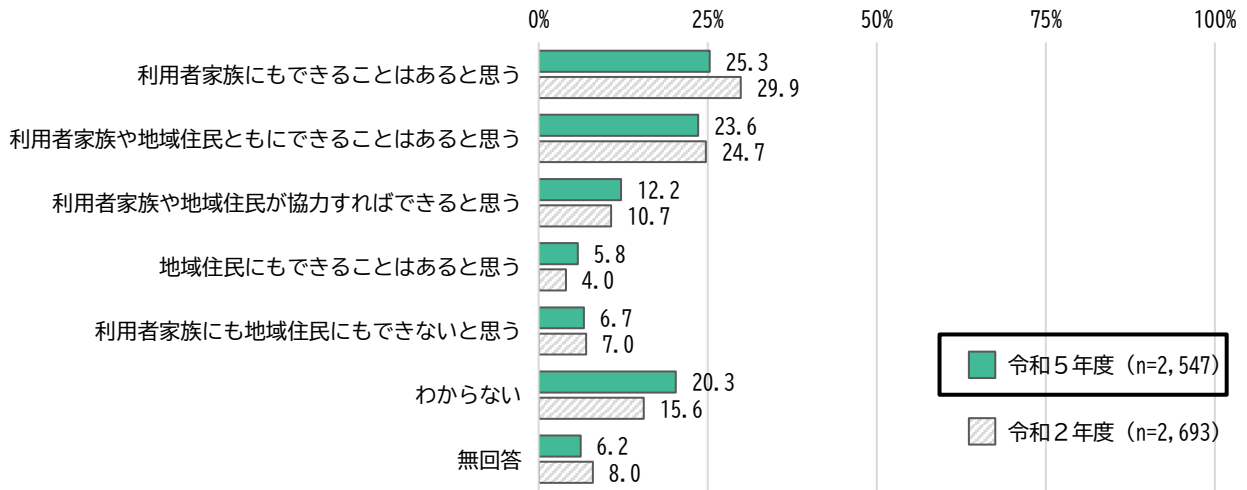
問 23 あなたが現在働いている事業所・施設において人材育成のために、どのような取り組みが行われていますか。（あてはまるものすべての番号に○）

人材育成のために行われている取り組みについて、「わからない」と回答した人の割合が29.8%と前回調査同様最も高く、「取り組みが行われていない」が13.3%となっています。これら2つを除くと、「外部研修受講や資格取得に要する費用の助成」と回答した人の割合が最も高く19.7%となっています。



問 24 あなたが日常提供しているサービスの中には、利用者家族や地域住民にもできると
 思うことはありますか。（1つの番号に○）

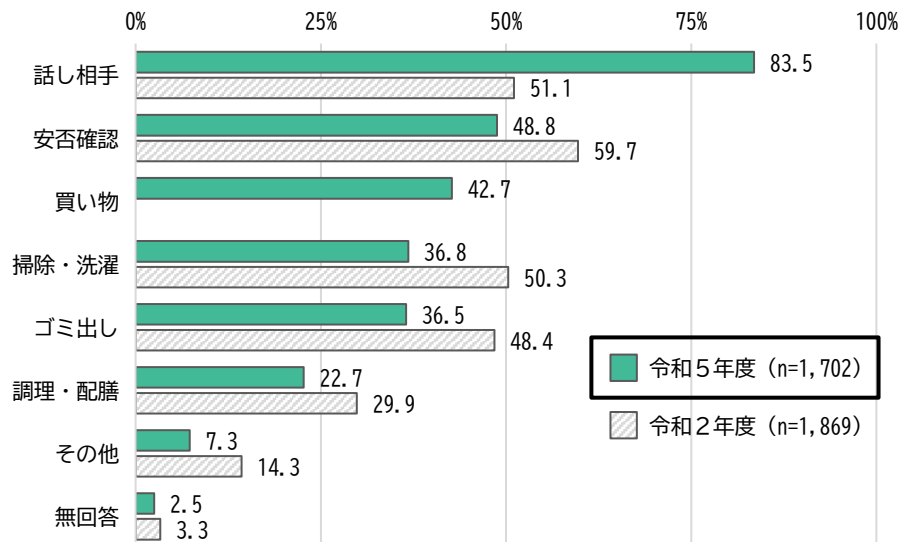
日常提供しているサービスの中で利用者家族や地域住民にもできると思うことがあるかについて、「利用者家族にもできることはあると思う」と回答した人の割合が 25.3%となっており、次いで「利用者家族や地域住民ともにできることはあると思う」が 23.6%となっています。



利用者家族や地域住民にも「できることはあると思う」と答えた方におうかがいします。

問 24-① どのようなことができるとお考えですか。（あてはまるものすべての番号に○）

利用者家族や地域住民にもできると思うことについて、「話し相手」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し 83.5%と最も高く、次いで「安否確認」が 48.8%となっています。

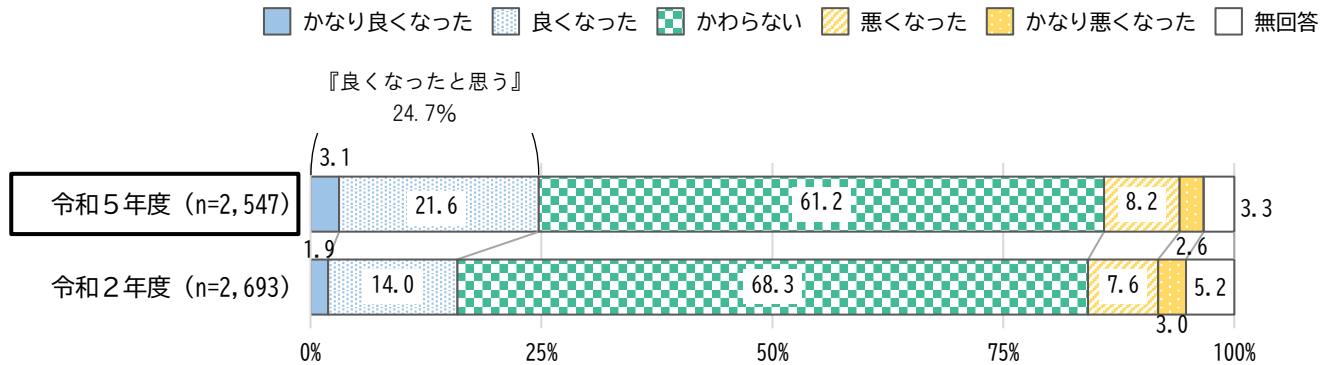


※「買い物」は令和5年度調査より選択肢追加

第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

問 25 介護職のイメージについて6年前（平成 29 年）頃と比較して変わったと思いますか。（1つの番号に○）

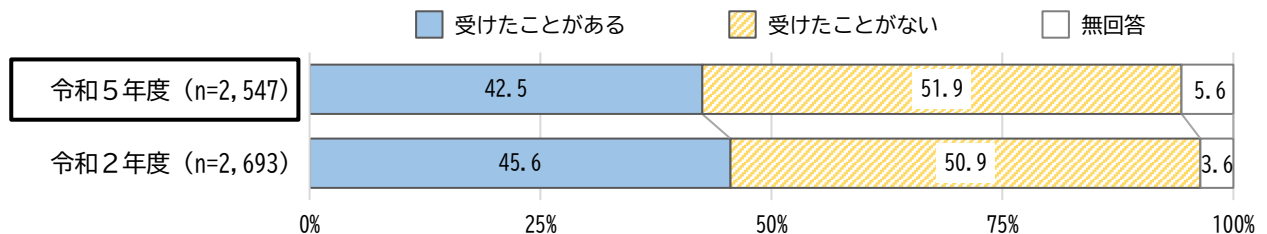
介護職のイメージについて、『良くなったと思う』と回答したと人の割合が前回調査より増加し24.7%となっています。



※『良くなったと思う』 = 「かなり良くなった」 + 「良くなった」

問 26 あなたが現在働いている事業所・施設において、これまでに利用者や家族から暴力やハラスメントを受けたことはありますか。（1つの番号に○）

これまでに利用者や家族から暴力やハラスメントを受けたことがあるかについて、「受けたことがある」と回答した人の割合が前回調査より減少し42.5%となっています。また、短期入所生活介護では「受けたことがある」と回答した割合が高くなっています。



サービス種別

（単位：%）

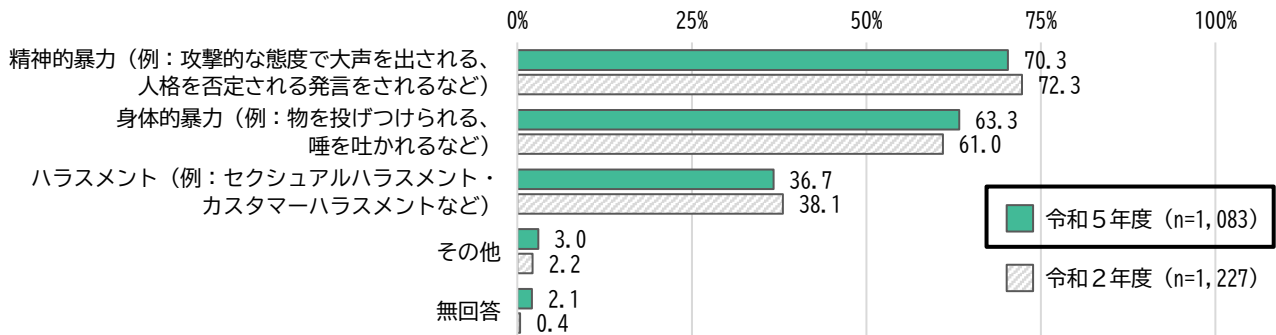
サービス種別	回答者数	受けたことがある	受けたことがない
介護老人福祉施設	360	46.7	49.4
介護老人保健施設	298	49.7	43.6
短期入所生活介護	51	60.8	37.3
特定施設入居者生活介護	120	45.8	44.2
認知症対応型共同生活介護	281	45.2	50.2
訪問介護	354	40.1	54.5
通所介護	415	37.3	58.8
小規模多機能型居宅介護	110	43.6	50.9
（参考）居宅介護支援事業所	151	39.1	53.0

※「無回答」は掲載を省略

利用者や家族から暴力やハラスメントを「受けたことがある」と答えた方におうかがいします。

問 26-① その内容として、あてはまるものを教えてください。（あてはまるものすべての番号に○）

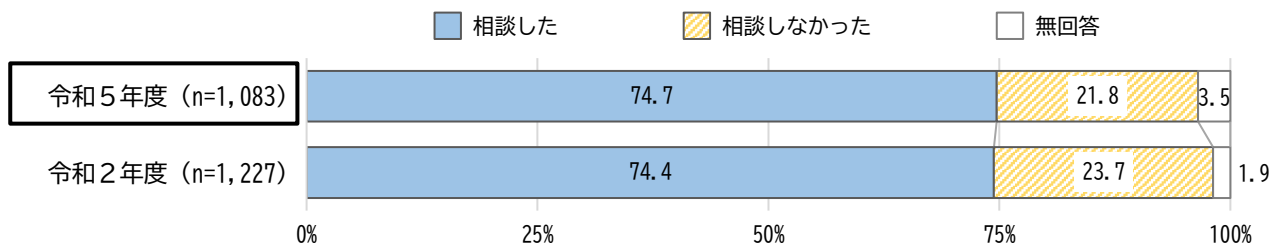
利用者や家族から受けた暴力やハラスメントの内容について、「精神的暴力」と回答した人の割合が70.3%と最も高く、次いで「身体的暴力」が63.3%となっています。



利用者や家族から暴力やハラスメントを「受けたことがある」と答えた方におうかがいします。

問 26-② その際、誰かに相談しましたか。（1つの番号に○）

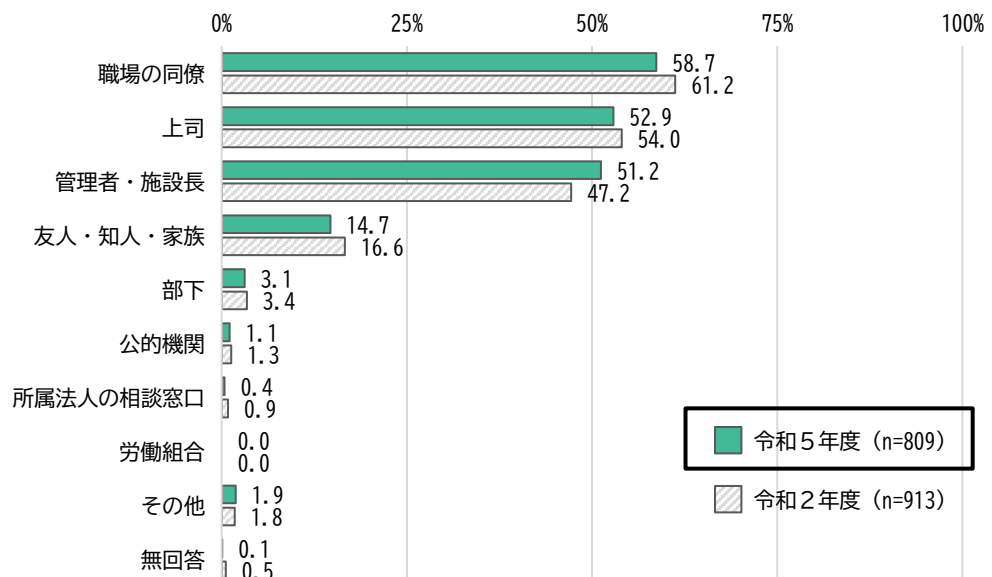
利用者や家族から暴力やハラスメントを受けた際に誰かに相談したかについて、「相談した」と回答した人の割合が前回調査からほぼ変化はなく74.7%となっています。



問 26-②で「相談した」と答えた方におうかがいします。

問 26-③ その際に相談した相手を教えてください。（あてはまるものすべての番号に○）

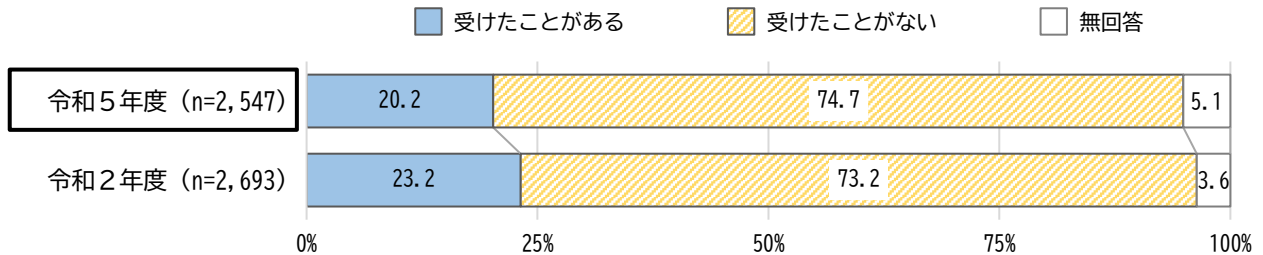
利用者や家族から暴力やハラスメントを受けた際の相談相手について、「職場の同僚」と回答した人の割合が58.7%と前回調査同様最も高く、次いで「上司」が52.9%となっています。



第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

問 27 あなたが現在働いている事業所・施設において、同僚や上司等から暴力やハラスメント行為を受けたことがありますか。（1つの番号に○）

同僚や上司等から暴力やハラスメント行為を受けたことがあるかについて、「受けたことがある」と回答した人の割合は前回調査より減少し 20.2%となっています。また、老人保健施設では「受けたことがある」と回答した人の割合が高くなっています。



■ サービス種別

(単位：%)

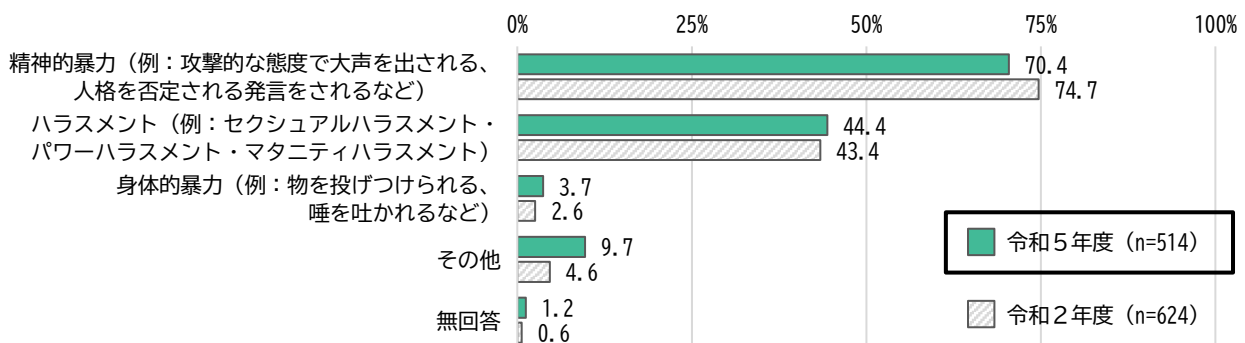
サービス種別	回答者数	受けたことがある (%)	受けたことがない (%)
介護老人福祉施設	360	18.6	74.7
介護老人保健施設	298	31.9	61.7
短期入所生活介護	51	25.5	68.6
特定施設入居者生活介護	120	13.3	84.2
認知症対応型共同生活介護	281	20.3	74.0
訪問介護	354	13.8	81.1
通所介護	415	21.0	76.1
小規模多機能型居宅介護	110	21.8	75.5
(参考) 居宅介護支援事業所	151	19.9	76.8

※「無回答」は掲載を省略

同僚や上司等から暴力やハラスメントを「受けたことがある」と答えた方におうかがいします。

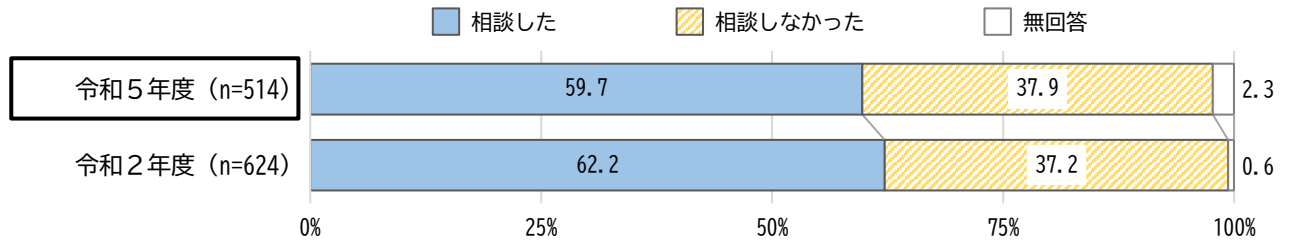
問 27-① その内容として、あてはまるものを教えてください。
(あてはまるものすべての番号に○)

同僚や上司等から受けた暴力やハラスメントの内容について、「精神的暴力」と回答した人の割合が前回調査より減少しているものの、70.4%と前回調査同様最も高く、次いで「ハラスメント」が44.4%となっています。



問 27-①で同僚や上司等から暴力やハラスメントを「受けたことがある」と答えた方におうかがいします。
 問 27-② その際、誰かに相談しましたか。（1つの番号に○）

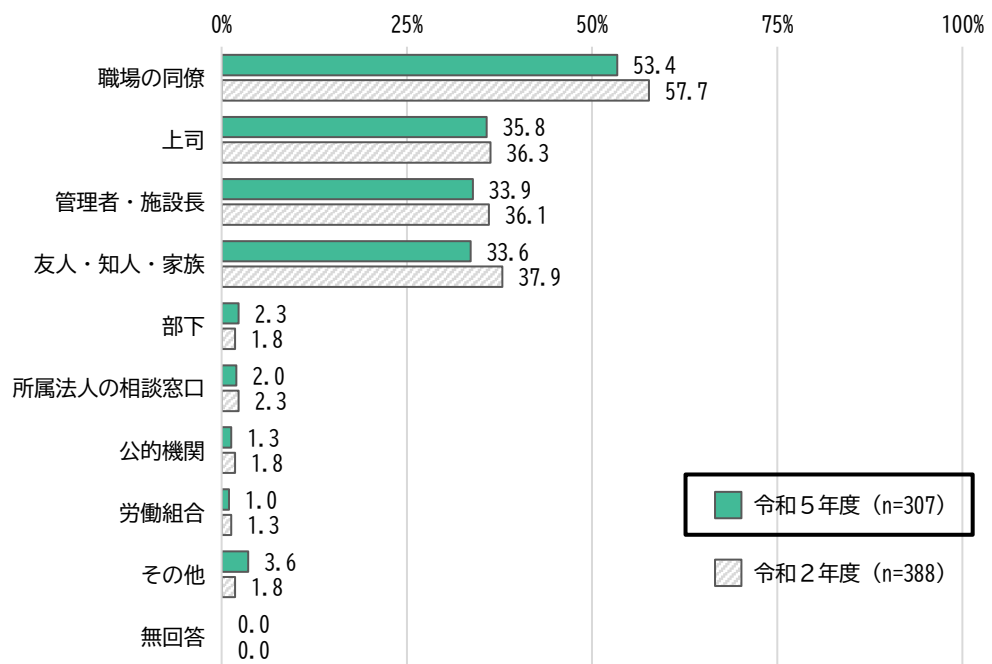
同僚や上司等から暴力やハラスメントを受けた際に誰かに相談したかについて、「相談した」と回答した人の割合が前回調査から微減し 59.7%となっています。



問 27-②で「相談した」と答えた方におうかがいします。

問 27-③ その際に相談した相手を教えてください。（あてはまるものすべての番号に○）

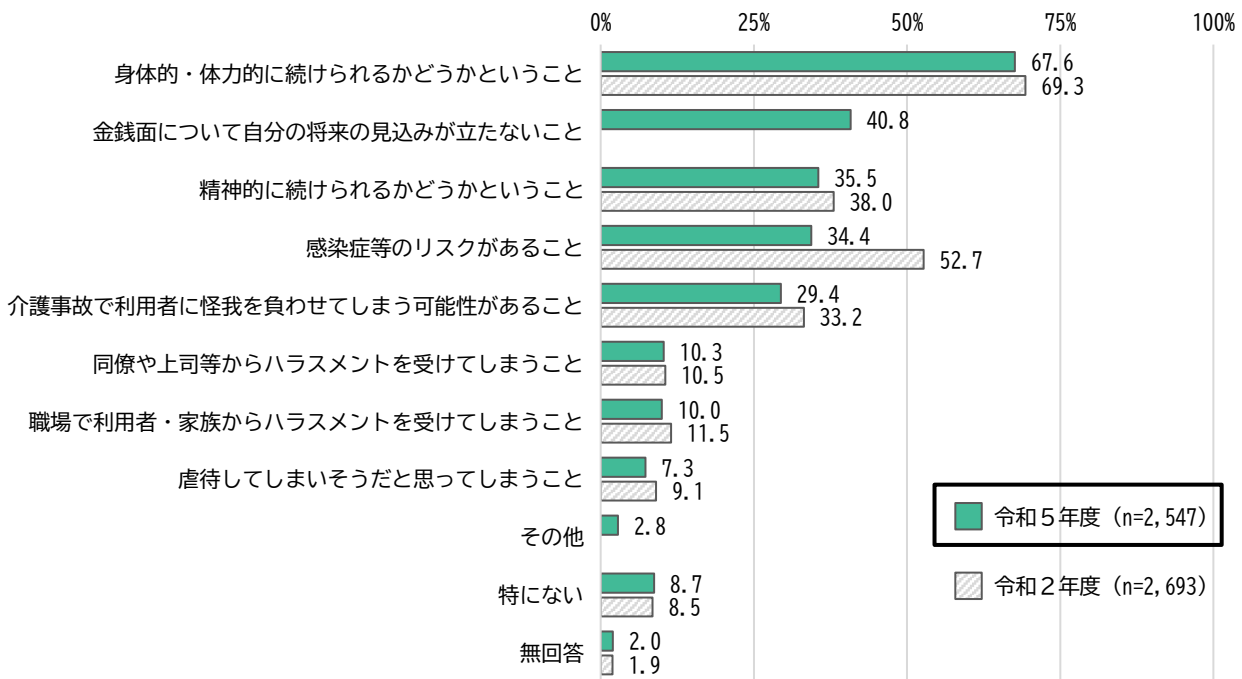
同僚や上司等から暴力やハラスメントを受けた際の相談相手について、「職場の同僚」と回答した人の割合が 53.4%と前回調査同様最も高く、次いで「上司」が 35.8%となっています。



第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

問28 仕事をする上での不安な点は何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

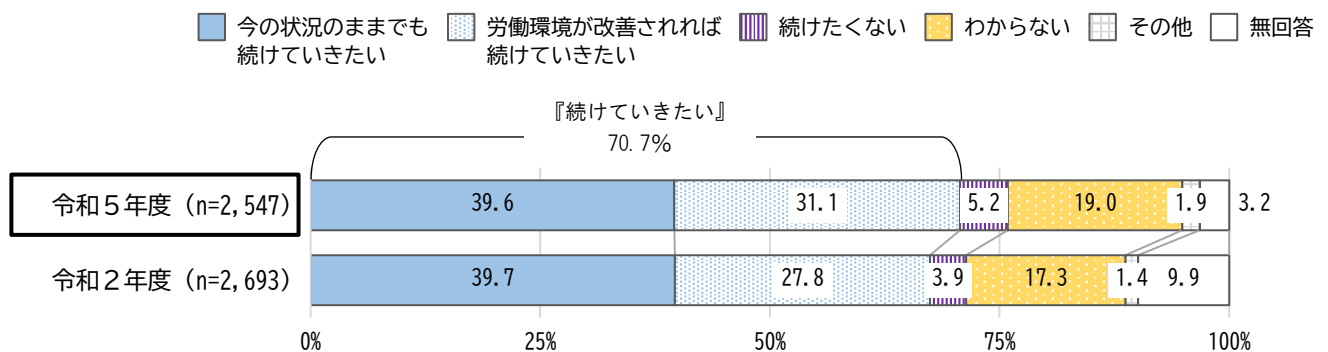
仕事をする上での不安な点について、「身体的・体力的に続けられるかどうかということ」と回答した人の割合が67.6%と前回調査同様最も高く、次いで「金銭面について自分の将来の見込みが立たないこと」が40.8%となっています。



※「金銭面について自分の将来の見込みが立たないこと」「その他」は令和5年度調査より選択肢追加

問29 あなたは介護関係の仕事を今後も続けていきたいと思いませんか。（1つの番号に○）

介護関係の仕事を今後も続けていきたいかについて、「今の状況のままでも続けていきたい」と回答した人の割合が39.6%、「労働環境が改善されれば続けていきたい」が31.1%となっており、『続けていきたい』と回答した人の割合が70.7%となっています。また、訪問介護では『続けていきたい』と回答した人の割合が高くなっています。



※『続けていきたい』 = 「今の状況のままでも続けていきたい」 + 「労働環境が改善されれば続けていきたい」

■ サービス種別

（単位：％）

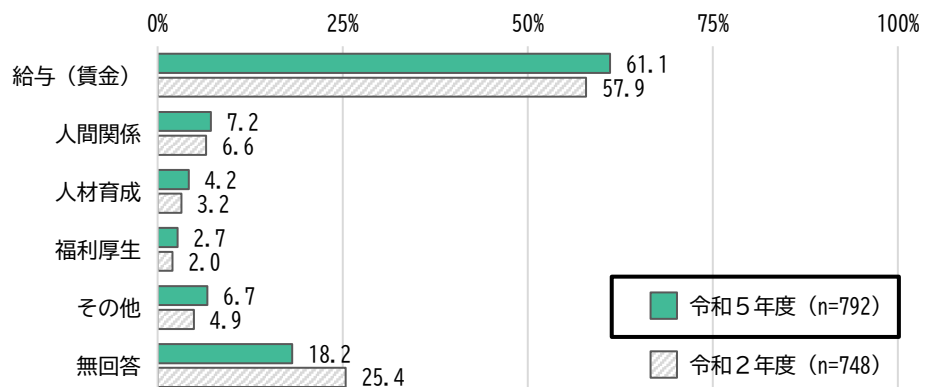
	回答者数	今の状況のままでも 続けていきたい	労働環境が改善され れば続けていきたい	続けたくない	『続けていきたい』
介護老人福祉施設	360	30.0	35.0	6.4	65.0
介護老人保健施設	298	31.5	33.2	7.4	64.7
短期入所生活介護	51	31.4	45.1	0.0	76.5
特定施設入居者生活介護	120	30.8	40.8	4.2	71.6
認知症対応型共同生活介護	281	36.7	31.3	6.4	68.0
訪問介護	354	55.4	24.3	3.7	79.7
通所介護	415	42.4	30.8	3.1	73.2
小規模多機能型居宅介護	110	44.5	22.7	10.0	67.2
（参考）居宅介護支援事業所	151	46.4	25.8	4.0	72.2

※『続けていきたい』＝「今の状況のままでも続けていきたい」＋「労働環境が改善されれば続けていきたい」
※「わからない」「その他」「無回答」は掲載を省略

介護関係の仕事を「労働環境が改善されれば続けていきたい」と答えた方におうかがいします。

問 29－① いったことが改善されれば続けられると思いますか。（1つの番号に○）

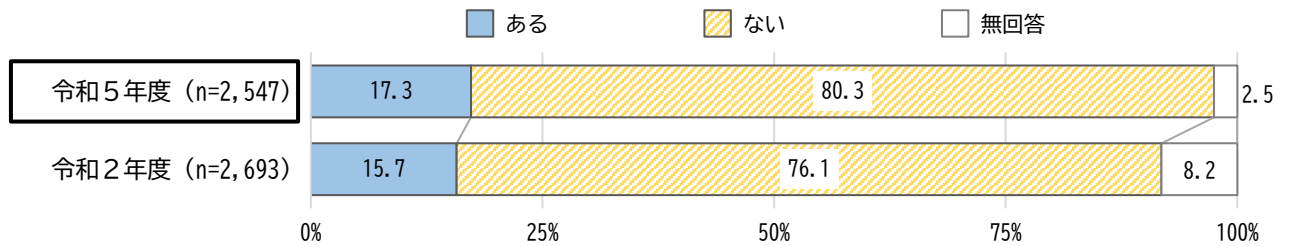
いったことが改善されれば続けられるかについて、「給与（賃金）」と回答した人の割合が前回調査より増加し 61.1%となっており、次いで「人間関係」が 7.2%となっています。



第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

問 30 あなたが働いている事業所・施設で、高齢者虐待と思われる行為を発見したことはありますか。（1つの番号に○）

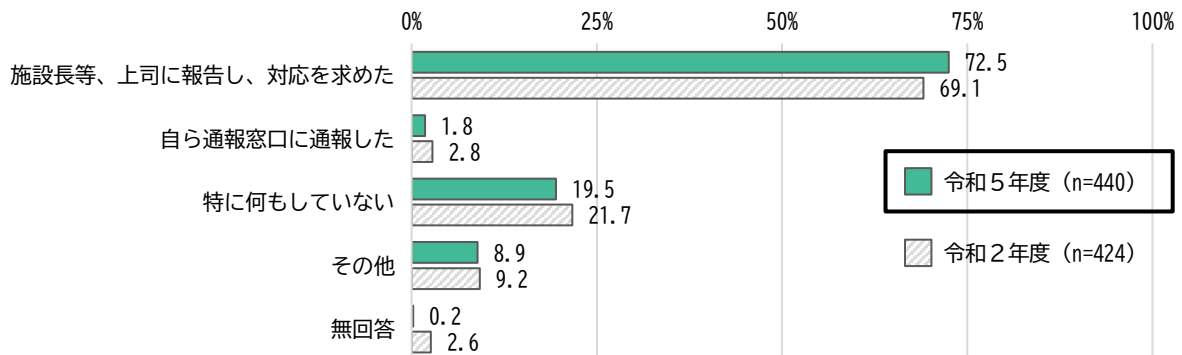
働いている事業所・施設で高齢者虐待と思われる行為を発見したことがあるかについて、「ある」と回答した人の割合は前回調査より微増し 17.3%となっています。



高齢者虐待と思われる行為を発見したことが「ある」と答えた方におうかがいします。

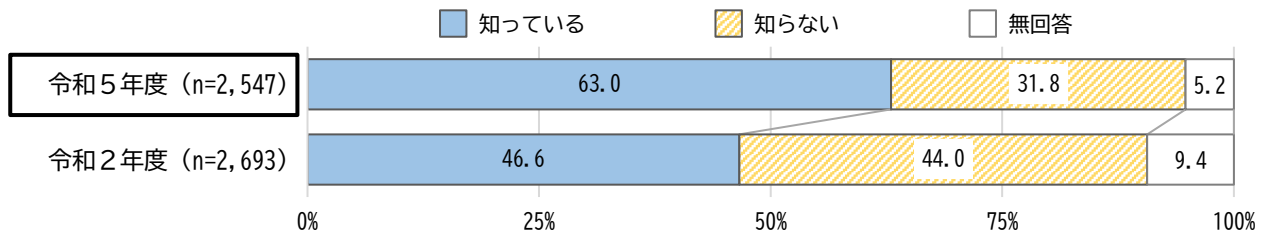
問 30-① 高齢者虐待と思われる行為を発見した時に、あなたはどのように対応されましたか。（あてはまるものすべての番号に○）

高齢者虐待と思われる行為を発見した時の対応について、「施設長等、上司に報告し、対応を求めた」と回答した人の割合が 72.5%と前回調査同様最も高くなる一方、「特に何もしていない」が 19.5%となっています。



問 31 高齢者虐待が疑われる状況を発見した場合の通報・相談先を知っていますか。
（1つの番号に○）

高齢者虐待が疑われる状況を発見した場合の通報・相談先について、「知っている」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し 63.0%となっています。



■ サービス種別

(単位：%)

	回答者数	知っている	知らない
介護老人福祉施設	360	65.8	30.8
介護老人保健施設	298	58.1	39.6
短期入所生活介護	51	54.9	41.2
特定施設入居者生活介護	120	77.5	15.8
認知症対応型共同生活介護	281	63.3	29.2
訪問介護	354	67.2	27.1
通所介護	415	60.5	36.6
小規模多機能型居宅介護	110	64.5	30.0
(参考) 居宅介護支援事業所	151	62.9	32.5

※「無回答」は掲載を省略

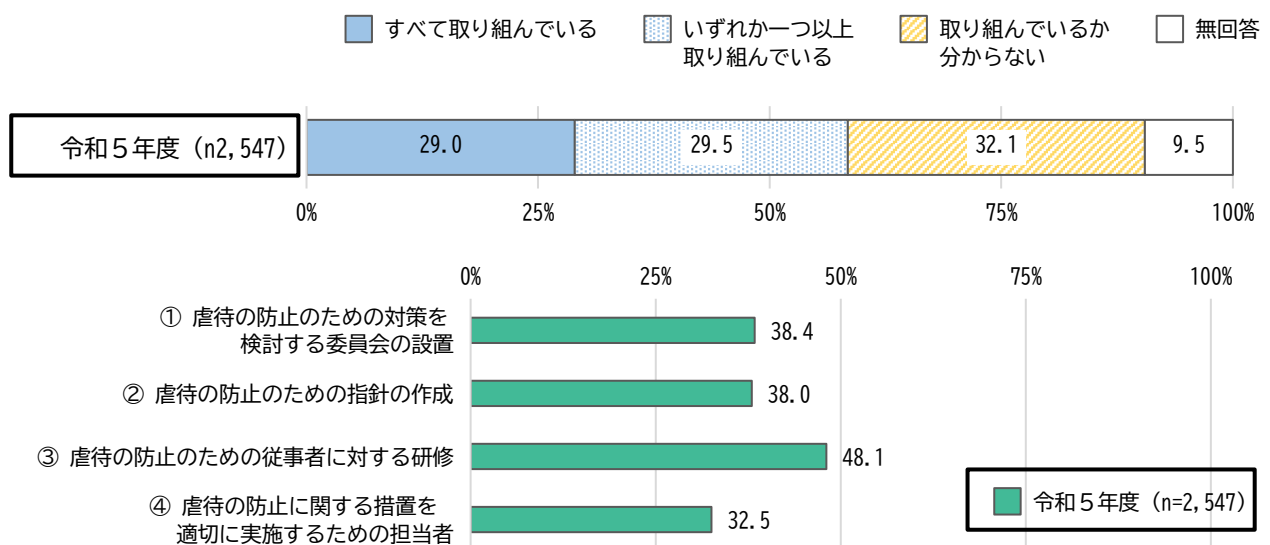
第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

問 32 令和3年度介護報酬改定・基準省令改正によって、すべての介護事業所における高齢者虐待防止のための体制整備等の取り組みが義務化されています。（3年間の経過措置）

下記4つの取り組みの実施状況はいかがですか。（1つの番号に○）

- ① 虐待の防止のための対策を検討する委員会の設置
- ② 虐待の防止のための指針の作成
- ③ 虐待の防止のための従事者に対する研修
- ④ 虐待の防止に関する措置を適切に実施するための担当者

高齢者虐待防止のための体制整備等の取り組みの実施状況について、「すべて取り組んでいる」と回答した人の割合が29.0%と約3割となっています。また、4つの取り組みそれぞれの実施状況について「虐待の防止のための従事者に対する研修」が実施されていると回答した割合が最も高く48.1%となっています。



サービス種別

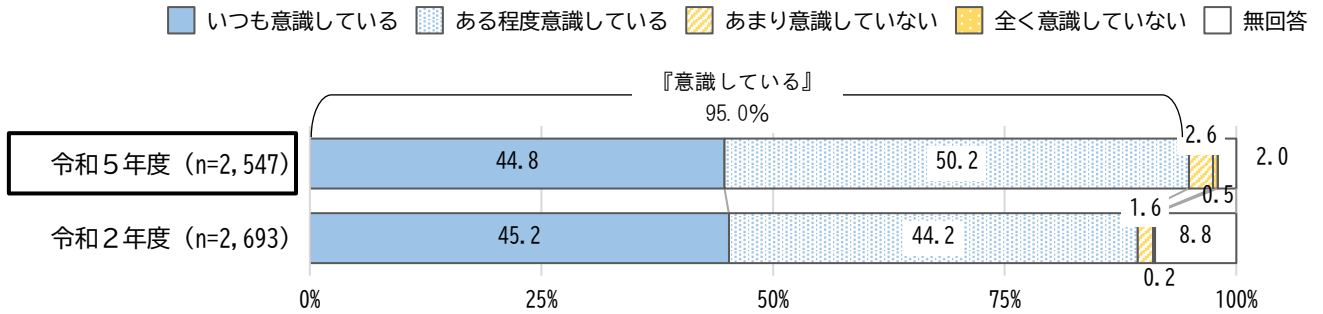
(単位：%)

サービス種別	回答者数	虐待の防止のための対策を検討する委員会の設置がされている	虐待の防止のための指針が作成されている	虐待の防止のための従事者に対する研修がされている	虐待の防止に関する措置を適切に実施するための担当者がいる
介護老人福祉施設	360	49.4	46.9	49.7	38.9
介護老人保健施設	298	52.7	41.9	44.6	36.6
短期入所生活介護	51	35.3	29.4	49.0	31.4
特定施設入居者生活介護	120	60.0	57.5	68.3	51.7
認知症対応型共同生活介護	281	40.2	45.6	55.9	35.6
訪問介護	354	36.7	38.7	54.5	34.5
通所介護	415	23.1	30.4	39.3	24.6
小規模多機能型居宅介護	110	30.9	29.1	45.5	25.5
(参考) 居宅介護支援事業所	151	17.9	21.2	38.4	15.9

3. 介護サービスについて

問 33 あなたは、利用者に対して自力でできることは自分で行うよう促し、必要時に介助を行うなど、自立支援・重度化防止を意識したケアを行うことを意識していますか。
（1つの番号に○）

自立支援・重度化防止について、『意識している』と回答した人の割合が前回調査より増加し95.0%となっています。また、特定施設入居者生活介護、訪問介護では『意識している』と回答した人の割合が高くなっています。



※『意識している』＝「いつも意識している」＋「ある程度意識している」

■ サービス種別

（単位：％）

	回答者数	いつも意識している	ある程度意識している	あまり意識していない	全く意識していない	『意識している』
介護老人福祉施設	360	36.9	57.5	3.3	0.3	94.4
介護老人保健施設	298	37.2	57.7	3.4	1.0	94.9
短期入所生活介護	51	41.2	51.0	2.0	3.9	92.2
特定施設入居者生活介護	120	43.3	55.0	0.8	0.8	98.3
認知症対応型共同生活介護	281	41.6	55.9	1.1	0.4	97.5
訪問介護	354	50.8	47.5	1.1	0.3	98.3
通所介護	415	49.2	46.0	3.1	0.2	95.2
小規模多機能型居宅介護	110	40.9	53.6	2.7	0.0	94.5
（参考）居宅介護支援事業所	151	48.3	47.0	2.6	0.0	95.3

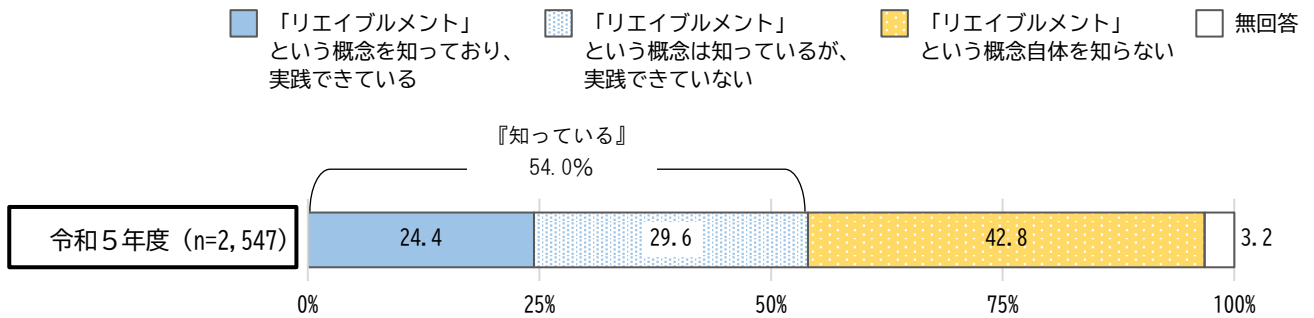
※『意識している』＝「いつも意識している」＋「ある程度意識している」

※「無回答」は掲載を省略

第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

問 34 介護予防における「リエイブルメント」という概念を知っていますか。
（1つの番号に○）

介護予防における「リエイブルメント」という概念について、『知っている』と回答した人の割合が 54.0%となっており、そのうち実践できていると回答した人の割合が 24.4%となっています。また、特定施設入居者生活介護、通所介護では『知っている』と回答した人の割合が高くなっており、通所介護では実践できていると回答した割合が高くなっています。



『知っている』 = 「リエイブルメント」という概念を知っており、実践できている」 + 「リエイブルメント」という概念は知っているが、実践できていない」

■ サービス種別

(単位：%)

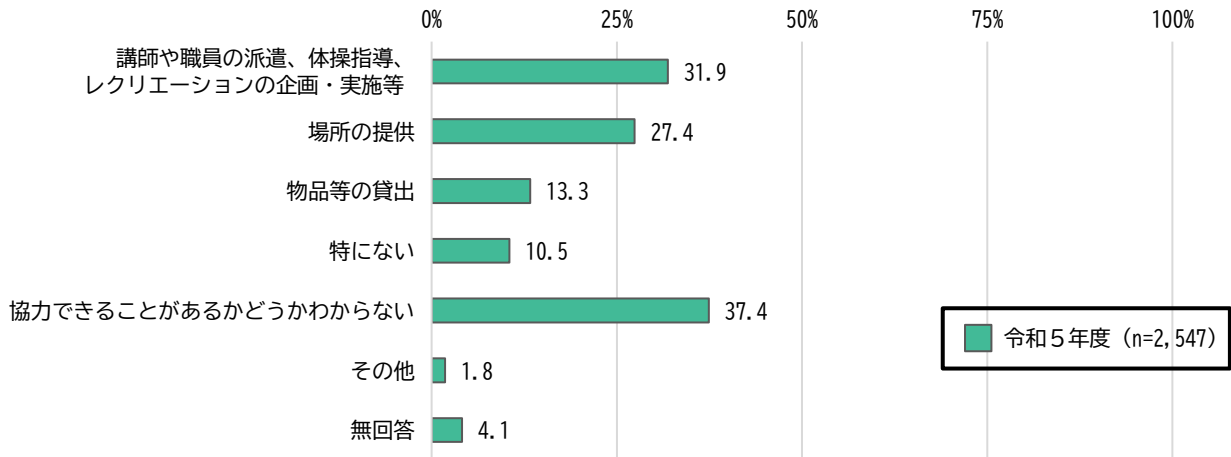
サービス種別	回答者数	「リエイブルメント」という概念を知っており、実践できている	「リエイブルメント」という概念は知っているが、実践できていない	「リエイブルメント」という概念自体を知らない	『知っている』
介護老人福祉施設	360	21.9	31.9	43.6	53.8
介護老人保健施設	298	19.5	33.6	45.6	53.1
短期入所生活介護	51	17.6	33.3	47.1	50.9
特定施設入居者生活介護	120	24.2	34.2	40.8	58.4
認知症対応型共同生活介護	281	20.6	31.0	43.8	51.6
訪問介護	354	27.1	28.8	41.8	55.9
通所介護	415	29.4	28.2	40.2	57.6
小規模多機能型居宅介護	110	24.5	23.6	49.1	48.1
(参考) 居宅介護支援事業所	151	27.2	29.8	37.7	57.0

※『知っている』 = 「リエイブルメント」という概念を知っており、実践できている」 + 「リエイブルメント」という概念は知っているが、実践できていない」

※「無回答」は掲載を省略

問 35 地域住民が介護予防の取組みを実施するにあたり、貴事業所・施設で協力できることはありますか。（あてはまるものすべての番号に○）

地域住民が介護予防の取組みを実施するにあたり、貴事業所・施設で協力できることについて、「協力できることがあるかどうかわからない」と回答した人の割合が 37.4%と最も高く、次いで「講師や職員の派遣、体操指導、レクリエーションの企画、実施等」が 31.9%となっています。また、介護老人福祉施設では「場所の提供」や「物品等の貸出」を含め協力できると回答した割合が高くなっています。



■ サービス種別

(単位：%)

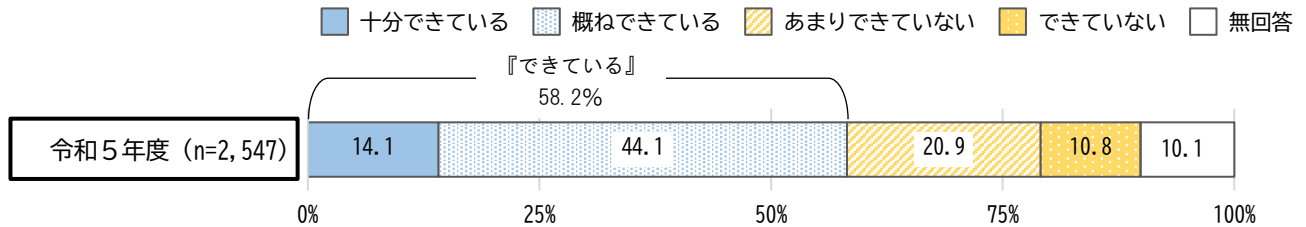
サービス種別	回答者数	企画・実施等 講師や職員の派遣、体操指導、レクリエーションの	場所の提供	物品等の貸出
介護老人福祉施設	360	39.2	41.7	20.3
介護老人保健施設	298	34.2	23.5	12.1
短期入所生活介護	51	39.2	31.4	13.7
特定施設入居者生活介護	120	33.3	27.5	11.7
認知症対応型共同生活介護	281	32.0	22.1	14.2
訪問介護	354	20.6	19.5	11.6
通所介護	415	32.5	29.9	10.8
小規模多機能型居宅介護	110	27.3	24.5	11.8
(参考) 居宅介護支援事業所	151	31.8	21.2	8.6

※「特にない」「協力できることがあるかどうかわからない」「その他」「無回答」は掲載を省略

4. 地域での活動について

問 36 地域包括支援センターとの連携は図れていますか。（1つの番号に○）

地域包括支援センターとの連携について、『できている』と回答した人の割合が 58.2%となっています。



※『できている』 = 「十分できている」 + 「概ねできている」

サービス種別

(単位：%)

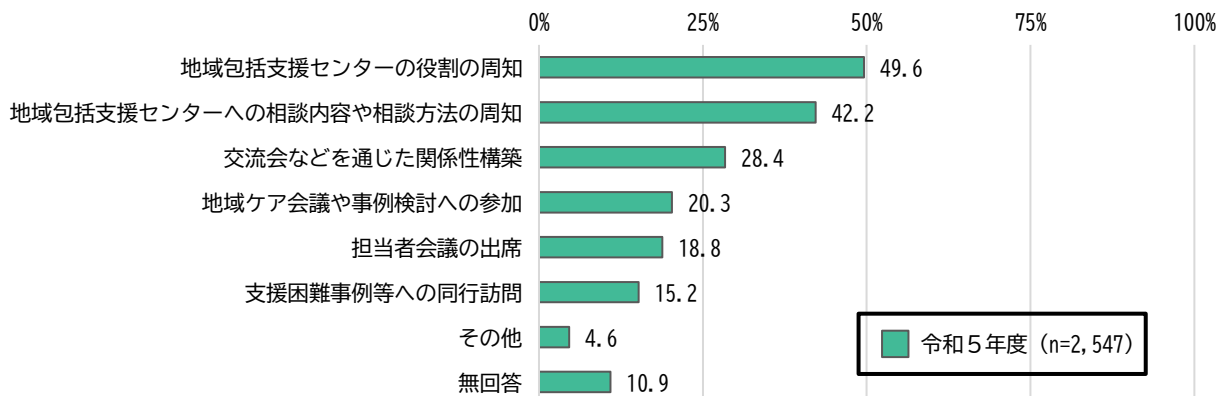
サービス種別	回答者数	十分できている	概ねできている	あまりできていない	できていない	『できている』
介護老人福祉施設	360	14.4	44.4	20.6	11.4	58.8
介護老人保健施設	298	11.4	34.9	25.5	17.1	46.3
短期入所生活介護	51	13.7	37.3	29.4	9.8	51.0
特定施設入居者生活介護	120	6.7	35.8	27.5	20.8	42.5
認知症対応型共同生活介護	281	15.3	37.4	22.8	14.2	52.7
訪問介護	354	13.3	47.2	22.3	6.8	60.5
通所介護	415	17.8	55.7	14.7	5.8	73.5
小規模多機能型居宅介護	110	16.4	53.6	17.3	6.4	70.0
(参考) 居宅介護支援事業所	151	14.6	55.0	15.2	7.9	69.6

※『できている』 = 「十分できている」 + 「概ねできている」

※「無回答」は掲載を省略

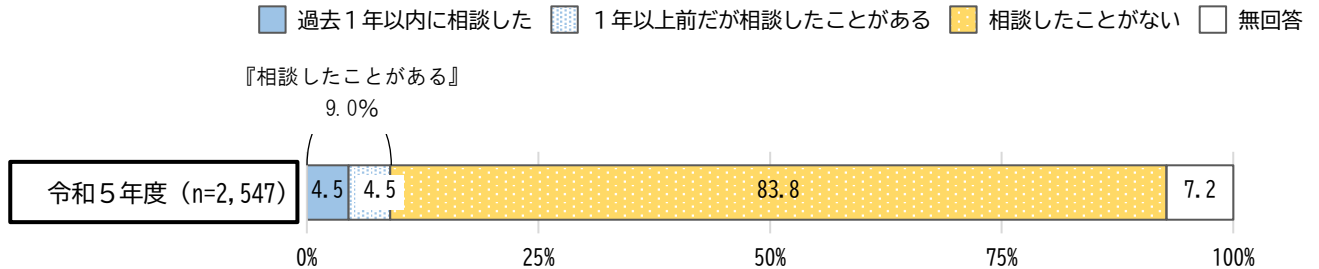
問 37 地域包括支援センターとのさらなる連携を図るために、必要と感じていることは何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

地域包括支援センターとのさらなる連携を図るために、必要と感じていることについて、「地域包括センターの役割の周知」と回答した人の割合が 49.6%と最も高く、次いで「地域包括センターへの相談内容や相談方法の周知」が 42.2%となっています。



問 38 地域包括支援センターに困難対応事例や虐待（疑い含む）事例等について相談したことがありますか。（1つの番号に○）

地域包括支援センターに困難対応事例や虐待（疑い含む）事例等の相談について、『相談したことがある』と回答した人の割合が9.0%となっています。



※『相談したことがある』＝「過去1年以内に相談した」＋「1年以上前だが相談したことがある」

■ サービス種別

（単位：％）

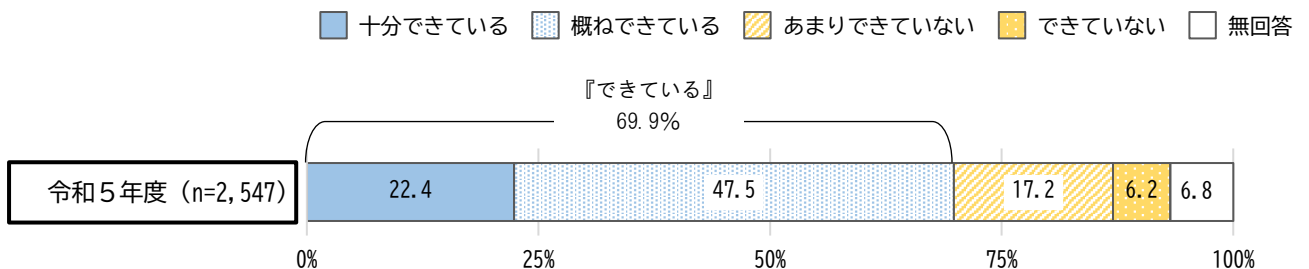
サービス種別	回答者数	過去1年以内に相談した	1年以上前だが相談したことがある	相談したことがない	『相談したことがある』
介護老人福祉施設	360	3.6	1.7	89.2	5.3
介護老人保健施設	298	3.0	3.7	85.6	6.7
短期入所生活介護	51	2.0	3.9	84.3	5.9
特定施設入居者生活介護	120	0.8	3.3	90.8	4.1
認知症対応型共同生活介護	281	1.8	3.6	85.8	5.4
訪問介護	354	4.0	5.9	85.3	9.9
通所介護	415	7.5	7.2	80.5	14.7
小規模多機能型居宅介護	110	14.5	1.8	76.4	16.3
（参考）居宅介護支援事業所	151	8.6	4.0	78.1	12.6

※『相談したことがある』＝「過去1年以内に相談した」＋「1年以上前だが相談したことがある」

※「無回答」は掲載を省略

問 39 医療機関・医療関係者との連携は図れていますか。（1つの番号に○）

医療機関・医療関係者との連携について、『できている』と回答した人の割合が69.9%となっています。



※『できている』＝「十分できている」＋「概ねできている」

第3章 介護事業所従事者調査（従事者）

■ サービス種別

（単位：％）

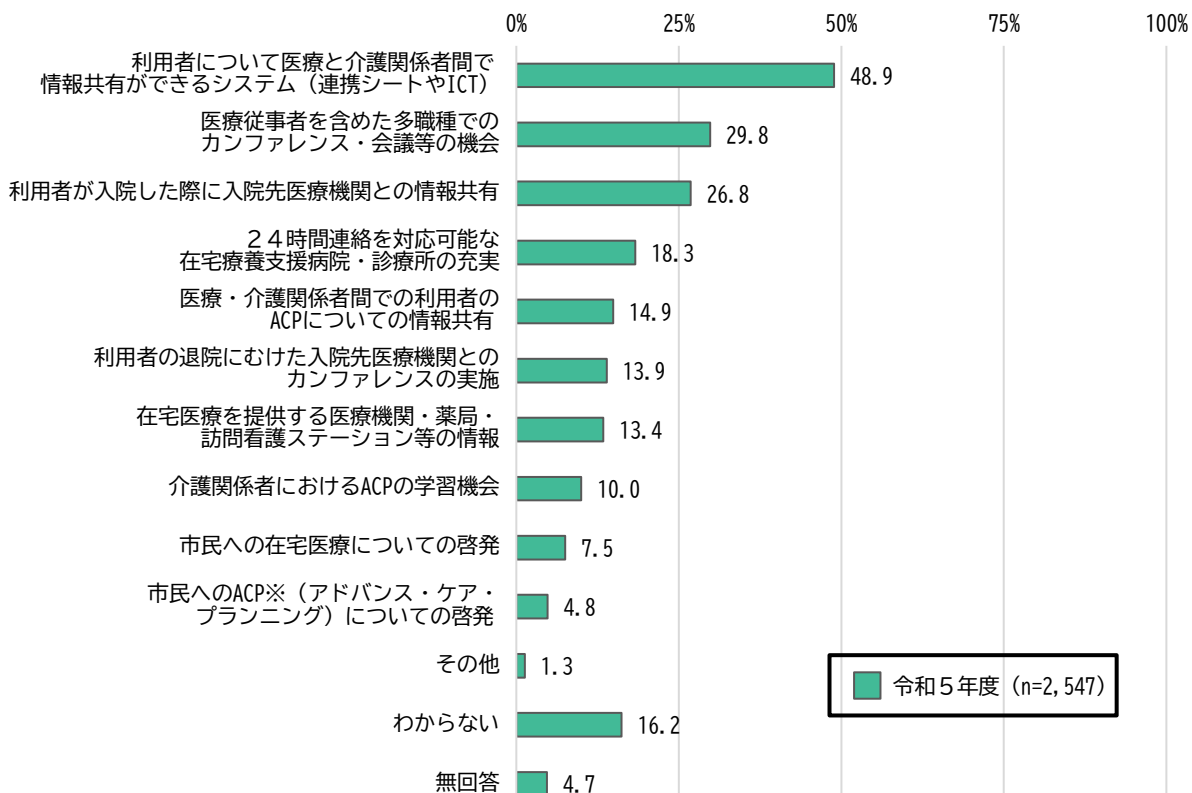
	回答者数	十分できている	概ねできている	あまりできていない	できていない	『わからない』
介護老人福祉施設	360	19.2	51.4	20.0	5.0	70.6
介護老人保健施設	298	17.4	45.0	20.8	9.4	62.4
短期入所生活介護	51	13.7	45.1	25.5	5.9	58.8
特定施設入居者生活介護	120	25.8	51.7	15.8	1.7	77.5
認知症対応型共同生活介護	281	46.3	39.9	7.8	2.5	86.2
訪問介護	354	22.3	53.1	13.6	4.0	75.4
通所介護	415	11.1	44.8	24.6	13.5	55.9
小規模多機能型居宅介護	110	20.9	55.5	16.4	1.8	76.4
（参考）居宅介護支援事業所	151	24.5	55.0	12.6	2.6	79.5

※『できていない』＝「十分できている」＋「概ねできている」

※「無回答」は掲載を省略

問 40 医療機関・医療関係者とさらなる連携を図るために、必要と感じていることは何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

医療機関・医療関係者とさらなる連携を図るために、必要と感じていることについて、「利用者について医療と介護関係者間で情報共有ができるシステム（連携シートやICT）」と回答した人の割合が48.9%と最も高く、次いで「医療従事者を含めた多職種でのカンファレンス・会議等の機会」が29.8%となっています。

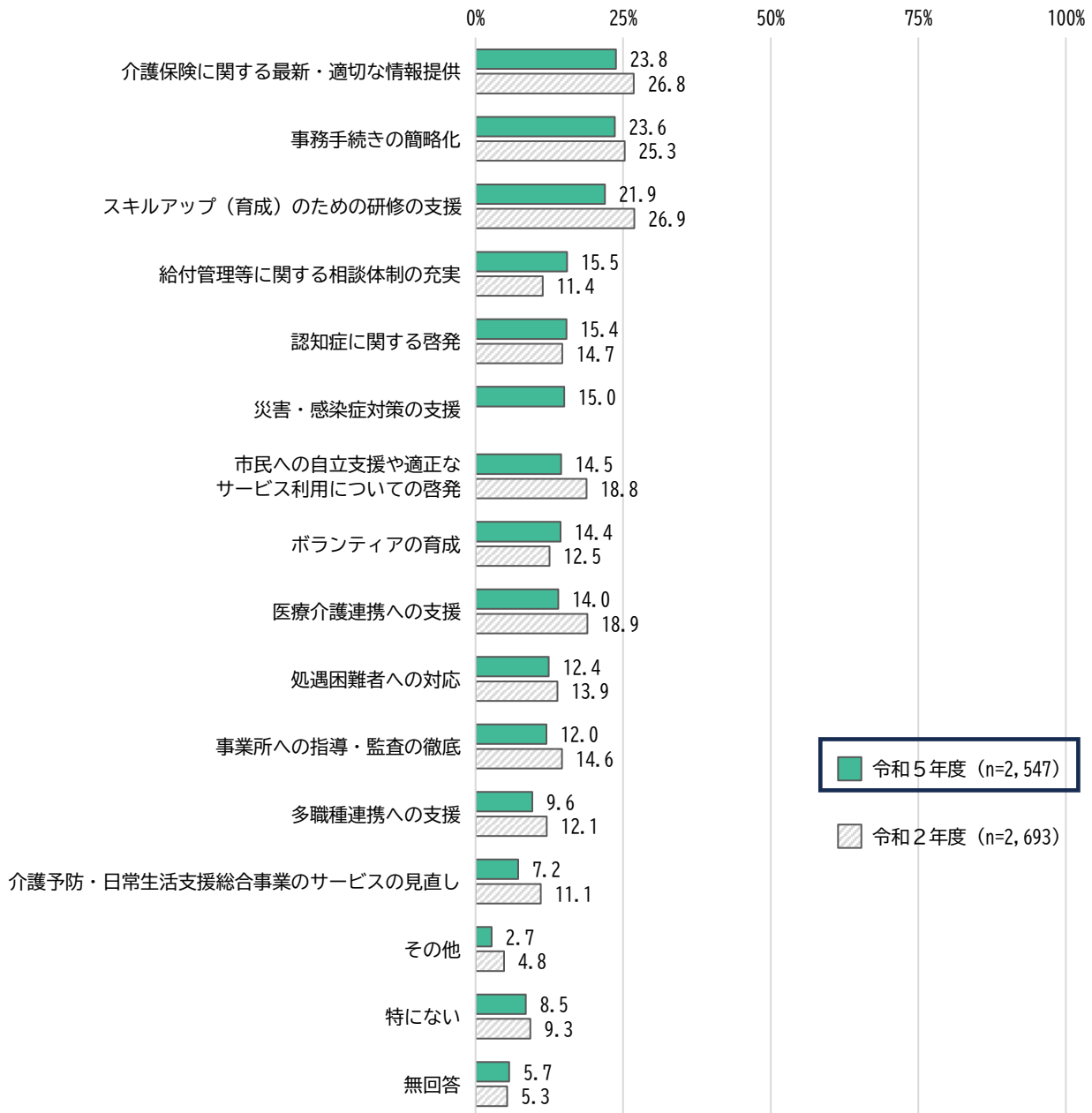


※ACPとは、人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセスのことです。

5. 市への要望

問 41 施設・事業所の従事者として、松戸市に対して望むことはどのようなことですか。
（あてはまるもの3つまで○）

施設・事業所の従事者として、松戸市に対して望むことについて、「介護保険に関する最新・適切な情報提供」と回答した人の割合が前回調査より減少しているものの 23.8%と最も高く、次いで「事務手続きの簡略化」が 23.6%となっています。



第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

1. 回答者の基本属性

（1）サービス種別（統合）

サービス種別によるクロス集計については、問4のサービス種別に関する設問により

- 居宅介護支援事業所：居宅介護支援事業所
- 地域包括支援センター：地域包括支援センター
- 介護老人福祉施設：介護老人福祉施設（地域密着型を含む）
- 介護老人保健施設：介護老人保健施設
- 特定施設入居者生活介護：特定施設入居者生活介護事業所
- 認知症対応型共同生活介護：認知症対応型共同生活介護
- 小規模多機能型居宅介護：小規模多機能型居宅介護＋看護小規模多機能型居宅介護

に属性統合して集計しています。なお、介護医療院については回答者母数が少ないためクロス集計対象外としています。

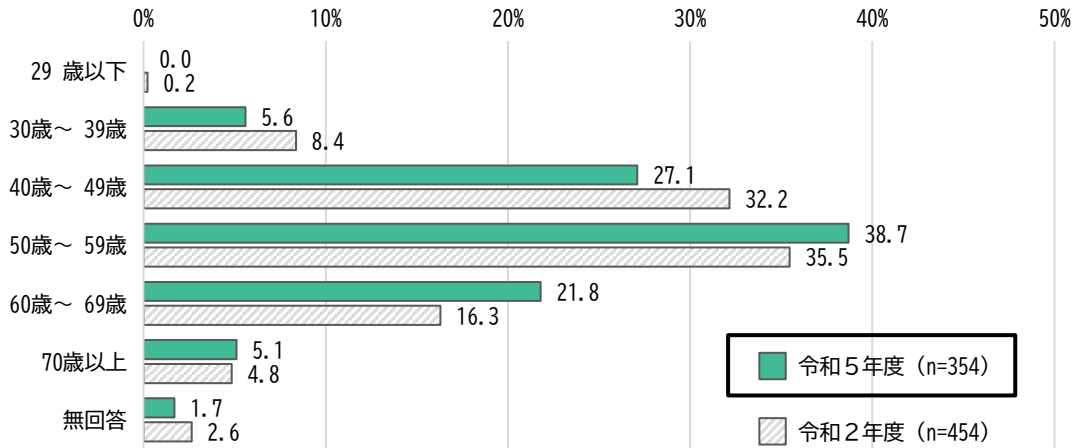
サービス種別（統合）	件数	%
居宅介護支援事業所	253	71.5
地域包括支援センター	10	2.8
介護老人福祉施設	17	4.8
介護老人保健施設	6	1.7
特定施設入居者生活介護	20	5.6
認知症対応型共同生活介護	31	8.8
小規模多機能型居宅介護	11	3.1
※ 介護医療院	1	0.3
※ その他	2	0.6
※ 無回答	3	0.8
合計	354	100.0

※クロス集計対象外

2. 基本的事項及び就労状況や就労意識について

問1 令和5年4月1日現在のあなたの年齢を記入してください。（数字を記入）

回答者の年齢について、「50歳～59歳」の割合が前回調査より増加し38.7%と最も高く、次いで「40歳～49歳」が27.1%となっています。また、平均年齢については前回調査より1.43歳高くなっています。



■ 平均年齢 (単位：歳)

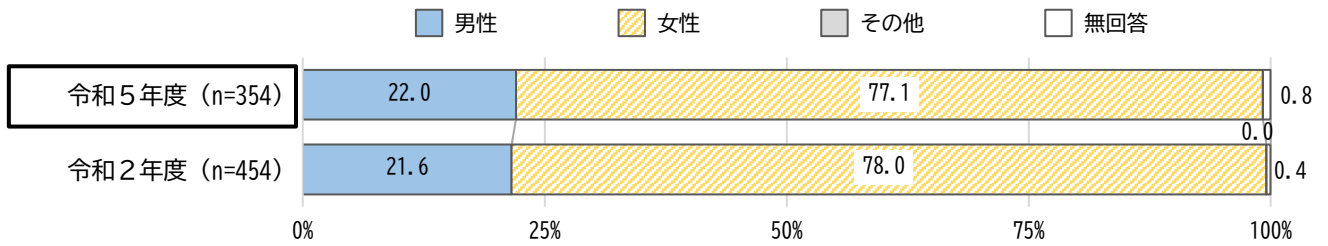
	回答者数	平均年齢
令和5年度	354	53.65
令和2年度	454	52.22
増減		+1.43

■ サービス種別 平均年齢 (単位：歳)

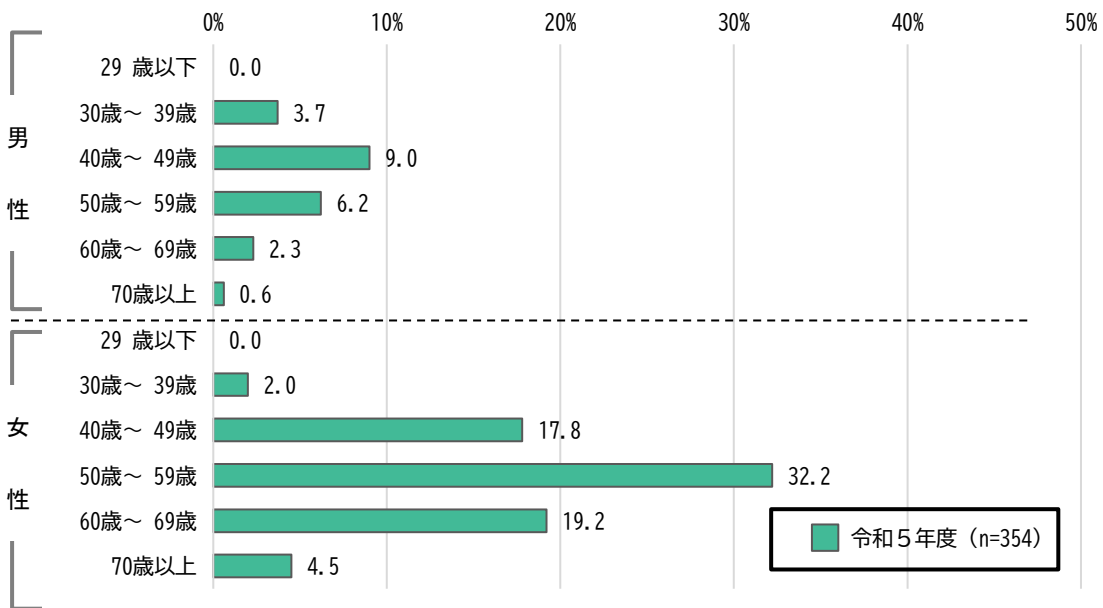
	回答者数	平均年齢
居宅介護支援事業所	253	54.21
地域包括支援センター	10	55.40
介護老人福祉施設	17	52.47
介護老人保健施設	6	50.67
特定施設入居者生活介護	20	53.74
認知症対応型共同生活介護	31	50.35
小規模多機能型居宅介護	11	52.09

問2 あなたの性別をお答えください。（1つの番号に○）

回答者の性別について、「男性」が22.0%、「女性」が77.1%となっています。



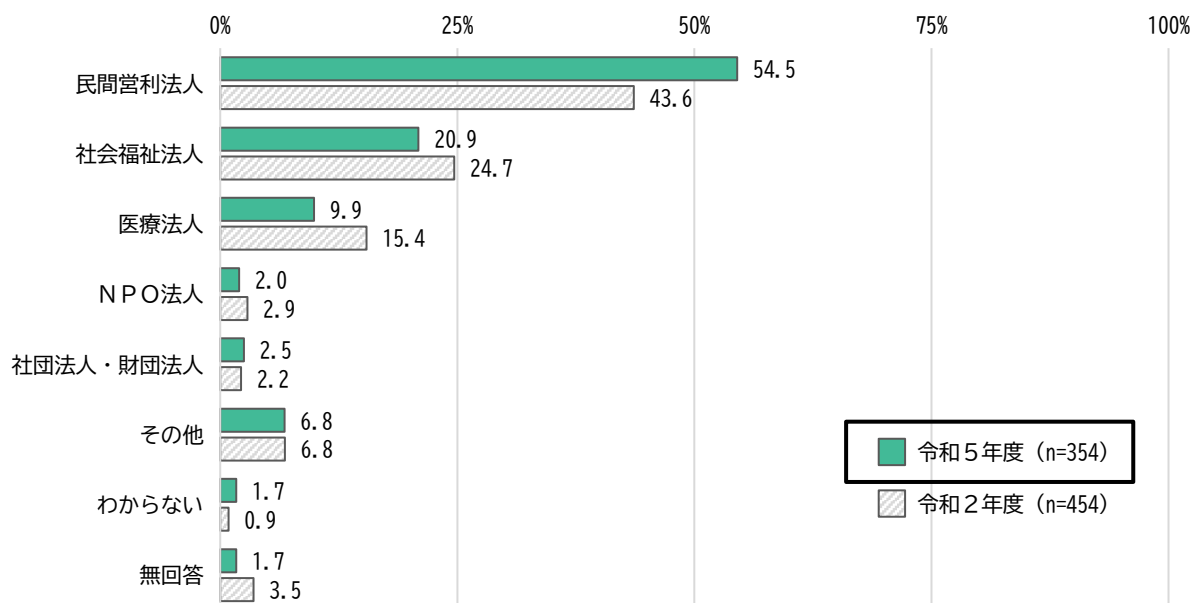
性別・年齢構成



第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

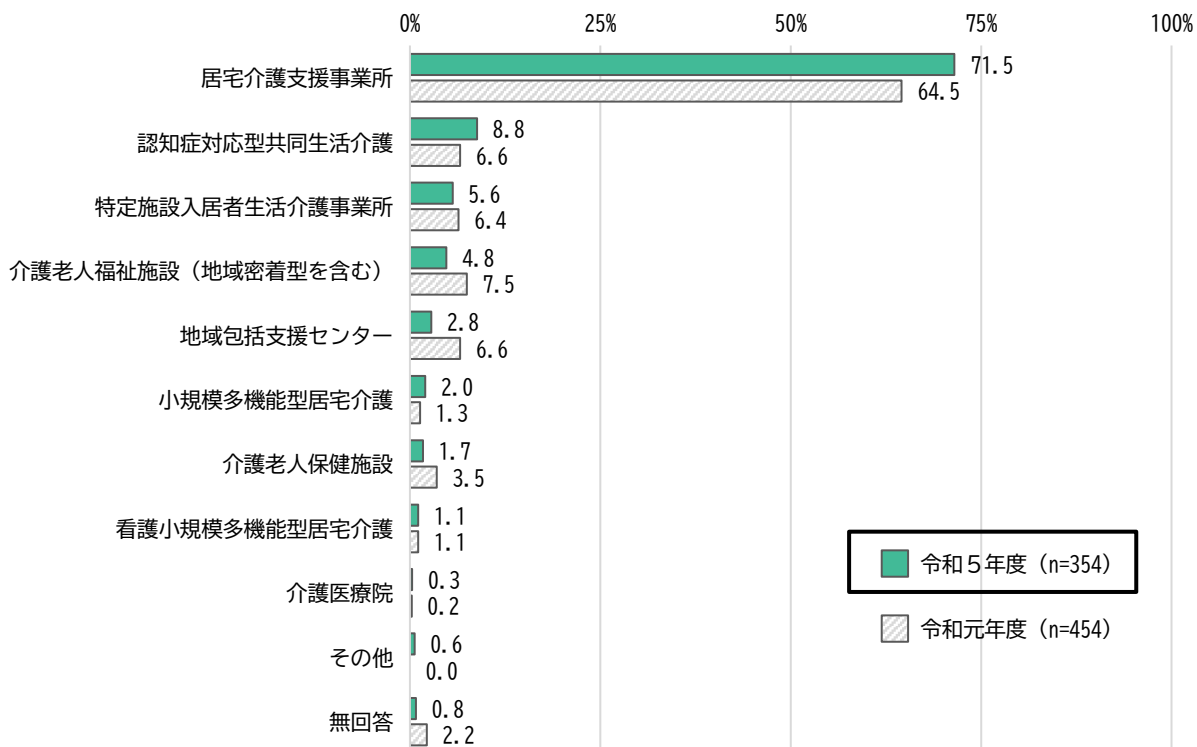
問3 あなたが現在働いている（調査票が配布された）事業所・施設を運営する法人の種別は次のうちどれですか。（1つの番号に○）

現在働いている事業所・施設を運営する法人の種別について、「民間営利法人」が前回調査より大幅に増加し 54.5%と最も高く、次いで「社会福祉法人」が 20.9%となっています。



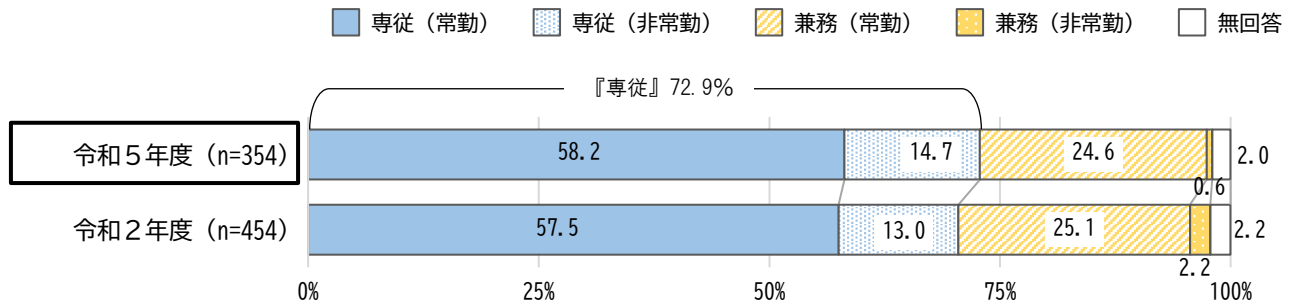
問4 あなたが現在働いている事業所・施設の種別は次のうちどれですか。（1つの番号に○）

現在働いている事業所・施設の種別について、「居宅介護支援事業所」が 71.5%となっています。



問5 現在働いている事業所・施設における勤務形態は次のうちどれですか。
（1つの番号に○）

現在働いている事業所・施設における勤務形態について、「専従（常勤）」と回答した人の割合が58.2%となっており、『専従』が72.9%となっています。

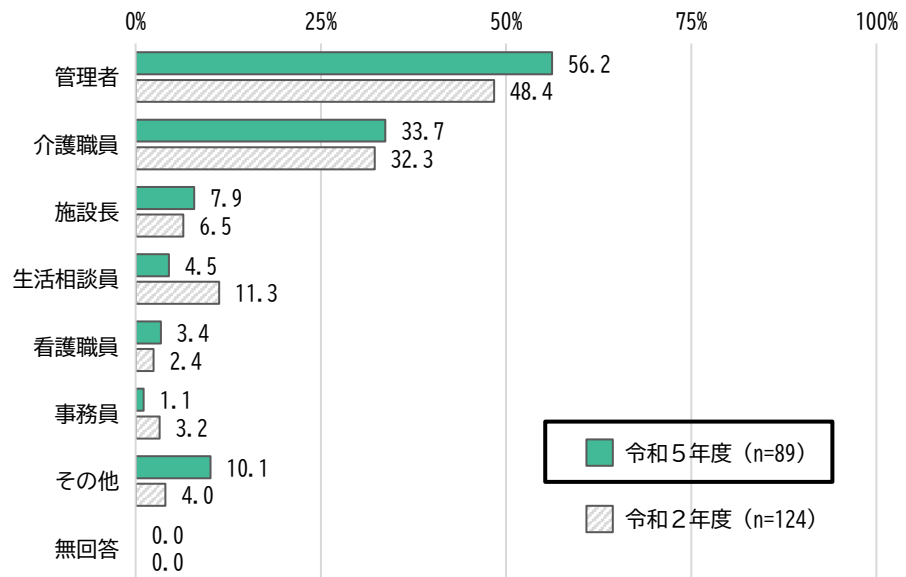


※『専従』 = 「専従（常勤）」 + 「専従（非常勤）」

雇用形態として「兼務」と答えた方におうかがいします。

問5-① 現職場で兼務している職種は何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

介護支援専門員以外に兼務している職種について、「管理者」と回答した人の割合が前回調査より増加し56.2%と最も高く、次いで「介護職員」が33.7%となっています。

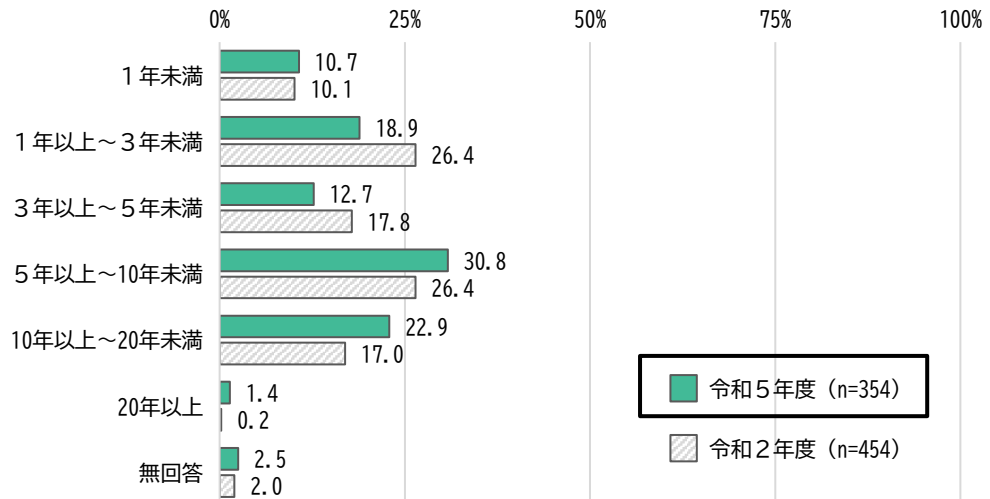


第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

問6 現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数と、以前の勤務先を含めた介護支援専門員としての通算経験年数をお答えください。（数字を記入）

① 現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数

現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数について、「5年以上～10年未満」と回答した人の割合が30.8%と最も高く、次いで「10年以上～20年未満」が22.9%となっています。また、平均在籍年数は6.50年と前回調査より1.16年延びています。



■ 平均在籍年数 (単位：年)

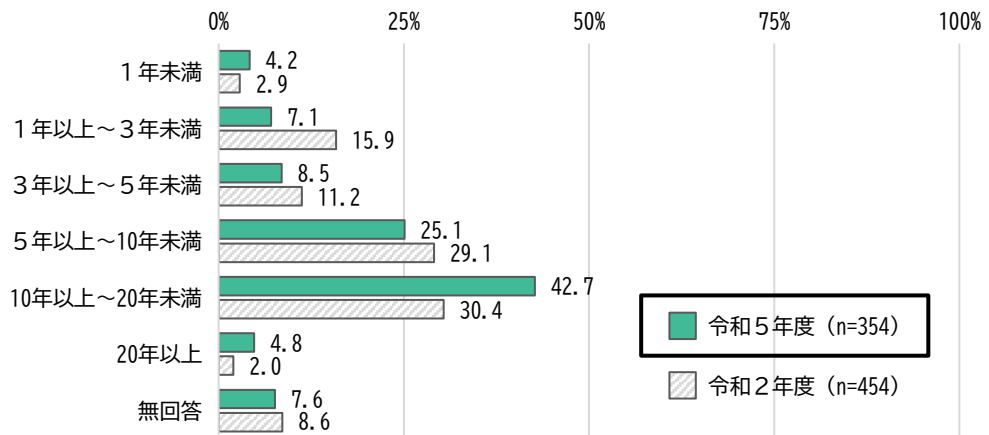
	回答者数	平均在籍年数
令和5年度	354	53.65
令和2年度	454	52.22
増減		+1.43

■ サービス種別 平均在籍年数 (単位：年)

	回答者数	平均在籍年数
居宅介護支援事業所	253	6.55
地域包括支援センター	10	8.93
介護老人福祉施設	17	7.29
介護老人保健施設	6	13.79
特定施設入居者生活介護	20	4.96
認知症対応型共同生活介護	31	5.42
小規模多機能型居宅介護	11	6.27

② 介護支援専門員としての通算経験年数

介護支援専門員としての通算経験年数について、「10年以上～20年未満」と回答した人の割合が42.7%と最も高く、次いで「5年以上～10年未満」が25.1%となっています。また、平均通算経験年数は9.91年と前回調査より1.91年延びています。



■ 平均通算経験年数 (単位：年)

	回答者数	平均通算経験年数
令和5年度	354	9.91
令和2年度	454	8.00
増減		+1.91

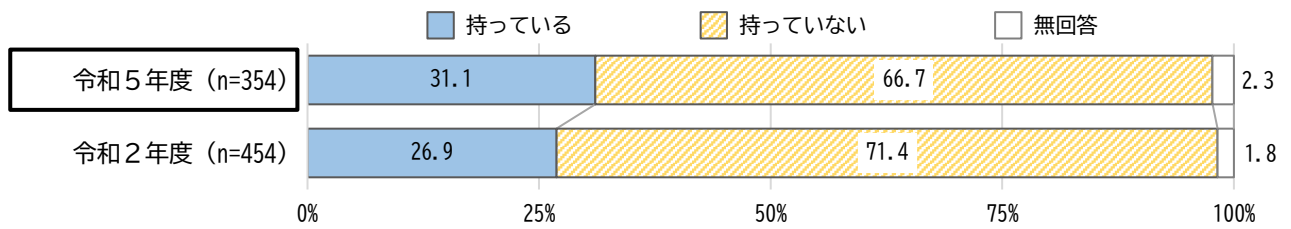
■ サービス種別 平均通算経験年数 (単位：年)

	回答者数	平均通算経験年数
居宅介護支援事業所	253	10.26
地域包括支援センター	10	11.52
介護老人福祉施設	17	9.95
介護老人保健施設	6	10.10
特定施設入居者生活介護	20	10.00
認知症対応型共同生活介護	31	7.00
小規模多機能型居宅介護	11	8.90

第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

問7 主任介護支援専門員の資格をお持ちですか。（1つの番号に○）

主任介護支援専門員の資格について、「持っている」と回答した人の割合が前回調査より増加し31.1%となっています。



サービス種別

(単位: %)

サービス種別	回答者数	持っている (%)	持っていない (%)
居宅介護支援事業所	253	39.1	59.7
地域包括支援センター	10	40.0	60.0
介護老人福祉施設	17	0.0	88.2
介護老人保健施設	6	16.7	83.3
特定施設入居者生活介護	20	5.0	95.0
認知症対応型共同生活介護	31	3.2	90.3
小規模多機能型居宅介護	11	36.4	63.6

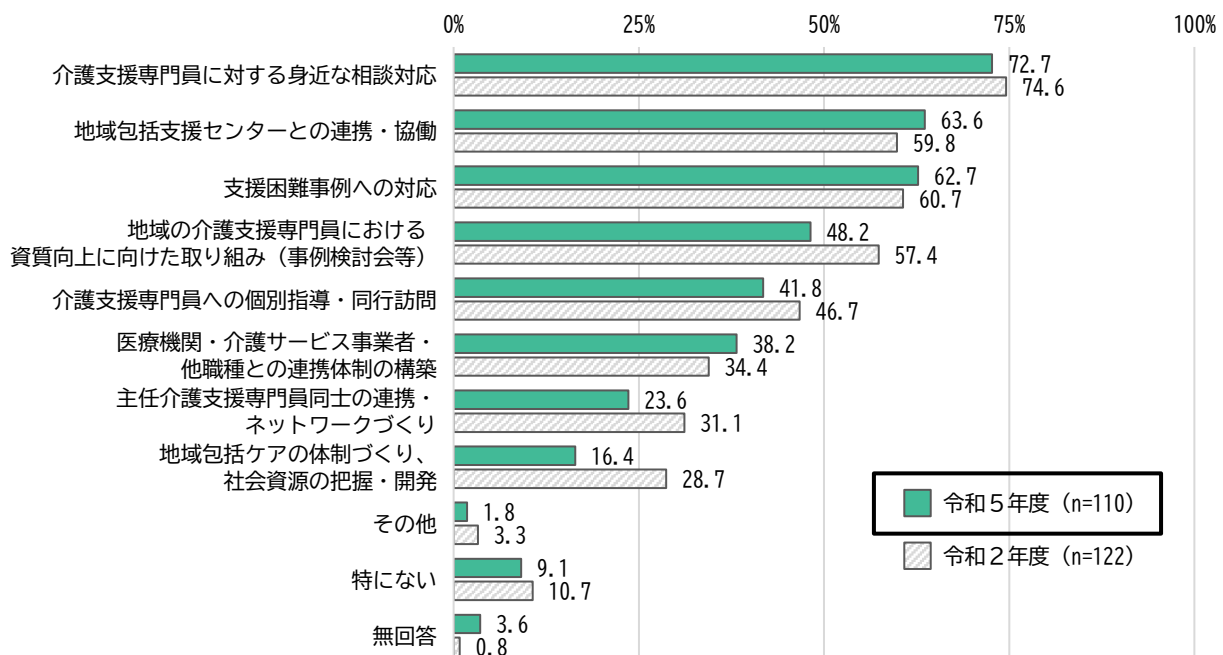
※「無回答」は掲載を省略

主任介護支援専門員の資格を「持っている」と答えた方におうかがいします。

問7-① 主任介護支援専門員として行っている業務は何ですか。

(あてはまるものすべての番号に○)

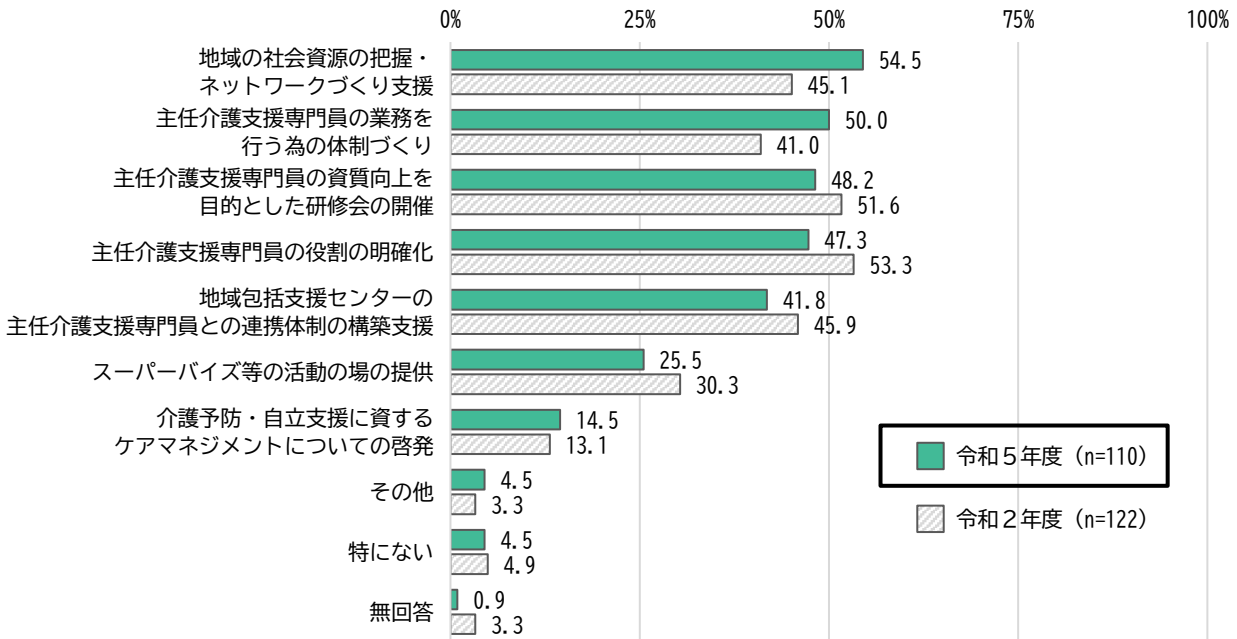
主任介護支援専門員として行っている業務について、「介護支援専門員に対する身近な相談対応」と回答した人の割合が前回調査より微減しているものの72.7%と最も高く、次いで「地域包括支援センターとの連携・協働」が63.6%となっています。



主任介護支援専門員の資格を「持っている」と答えた方におうかがいします。

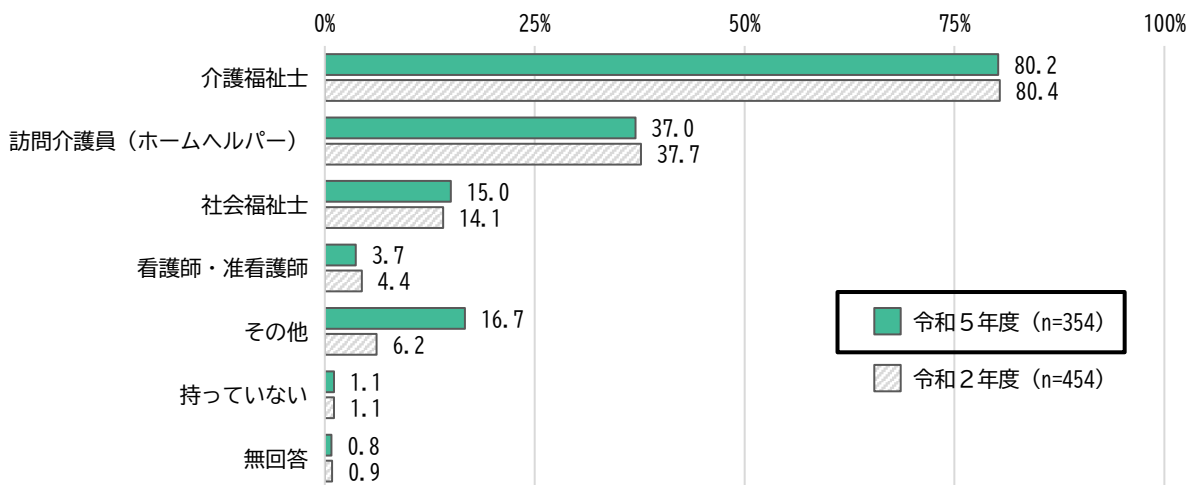
問7-② 主任介護支援専門員としてどのような支援の充実が必要ですか。
（あてはまるものすべての番号に○）

主任介護支援専門員として支援の充実が必要だと思うことについて、「地域の社会資源の把握・ネットワークづくり支援」と回答した人の割合が54.5%と前回調査同様最も高く、次いで「主任介護支援専門員の業務を行う為の体制づくり」が50.0%となっています。



問8 あなたは、介護支援専門員以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。（あてはまるものすべての番号に○）

介護支援専門員以外に保有している保健医療福祉関係の資格について、「介護福祉士」と回答した人の割合が80.2%と前回調査同様最も高く、次いで「訪問介護員（ホームヘルパー）」が37.0%となっています。



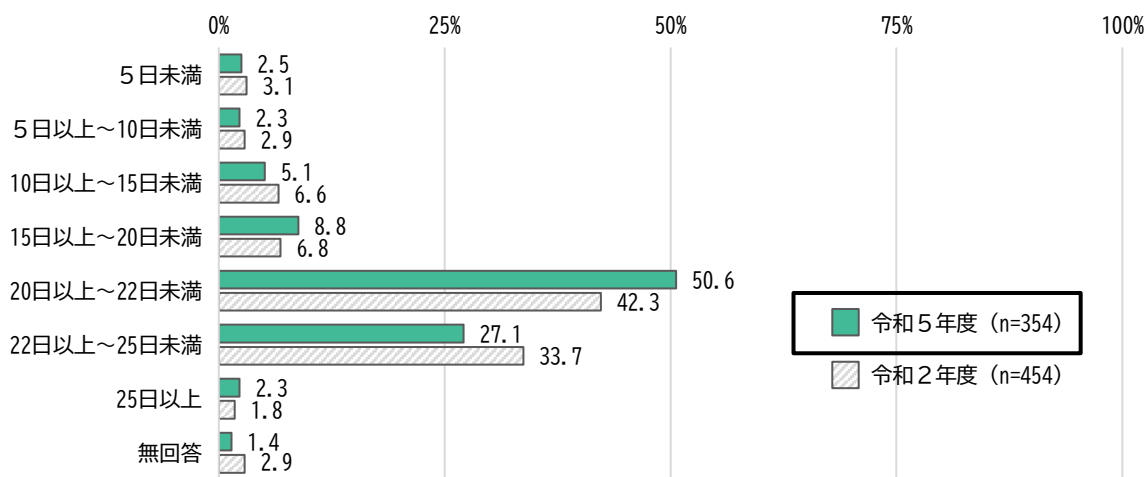
その他・・・社会福祉主事、歯科衛生士、精神保健福祉士など

第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

- 問9 現在働いている事業所・施設において、介護支援専門員として勤務する
- ① ひと月あたりの平均勤務日数
 - ② ひと月あたりの平均勤務時間（超過勤務時間を含む）
 - ③ ひと月あたりの平均超過勤務時間（超過勤務手当の有無は問いません）
- をお答えください。（数字を記入）

① 平均勤務日数

平均勤務日数について、「20日以上～22日未満」と回答した人の割合が50.6%と前回調査同様最も高く、次いで「22日以上～25日未満」が27.1%となっています。また、平均勤務日数は19.96日と前回調査より0.59日増加しています。



■ 平均勤務日数

（単位：日）

	回答者数	平均勤務日数
令和5年度	354	19.96
令和2年度	454	19.37
増減		+0.59

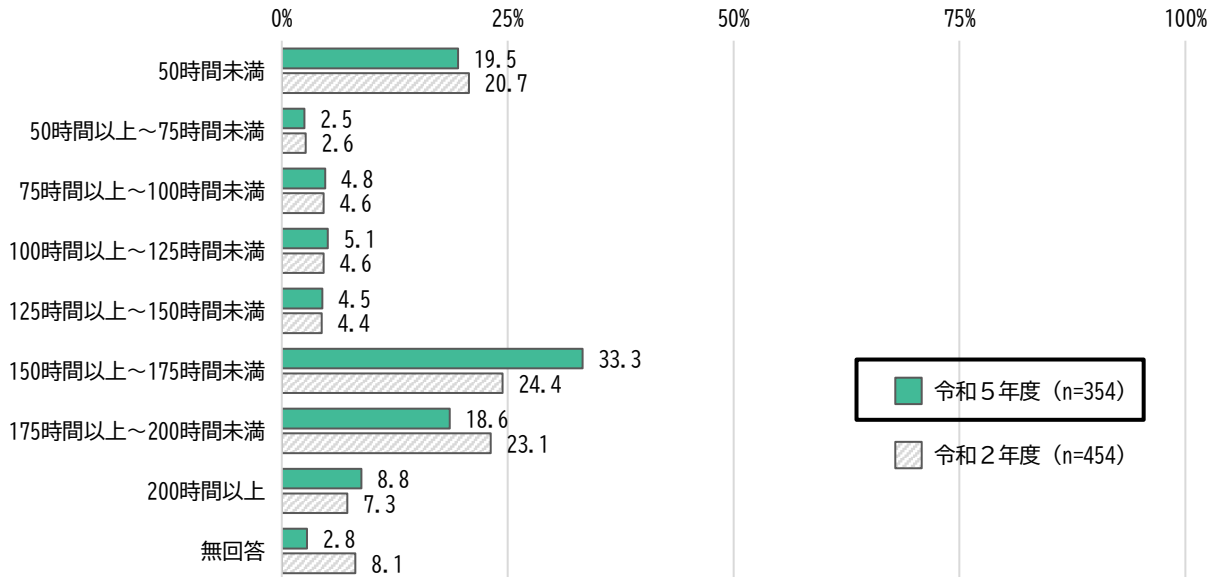
■ サービス種別 平均勤務日数

（単位：日）

	回答者数	平均勤務日数
居宅介護支援事業所	253	20.68
地域包括支援センター	10	20.00
介護老人福祉施設	17	20.25
介護老人保健施設	6	20.83
特定施設入居者生活介護	20	18.15
認知症対応型共同生活介護	31	14.97
小規模多機能型居宅介護	11	19.91

② 平均勤務時間（超過勤務時間を含む）

平均勤務時間について、「150時間以上～175時間未満」と回答した人の割合が前回調査より増加し33.3%と最も高く、次いで「50時間未満」が19.5%となっています。また、平均勤務時間は132.69時間と前回調査より13.16時間減少しています。



■ 平均勤務時間 (単位：時間)

	回答者数	平均勤務時間
令和5年度	354	132.69
令和2年度	454	145.85
増減		-13.16

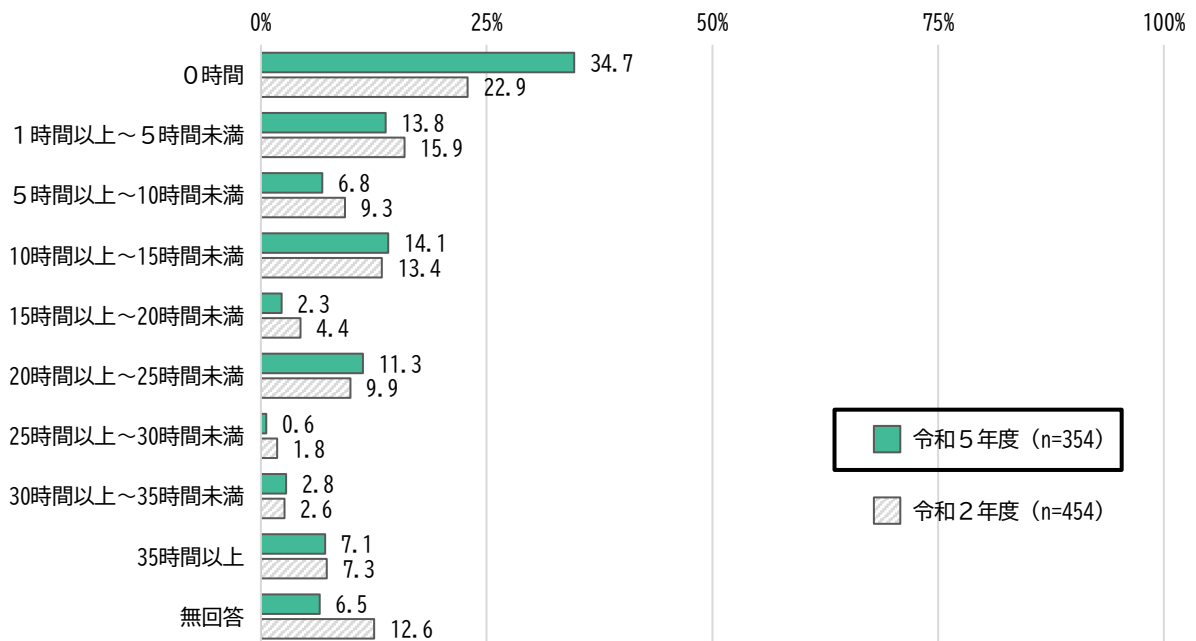
■ サービス種別 平均勤務時間 (単位：時間)

サービス種別	回答者数	平均勤務時間
居宅介護支援事業所	253	130.75
地域包括支援センター	10	132.60
介護老人福祉施設	17	169.44
介護老人保健施設	6	146.67
特定施設入居者生活介護	20	124.79
認知症対応型共同生活介護	31	120.14
小規模多機能型居宅介護	11	169.45

第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

③ 平均超過勤務時間（ない場合は“0”を記入）（超過勤務手当の有無は問いません）

平均超過勤務時間について、「0時間」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し 34.7%と最も高く、次いで「10時間以上～15時間未満」が 14.1%となっています。また、平均超過勤務時間は 10.78 時間と前回調査より 2.32 時間減少しています。



■ 平均超過勤務時間 (単位：時間)

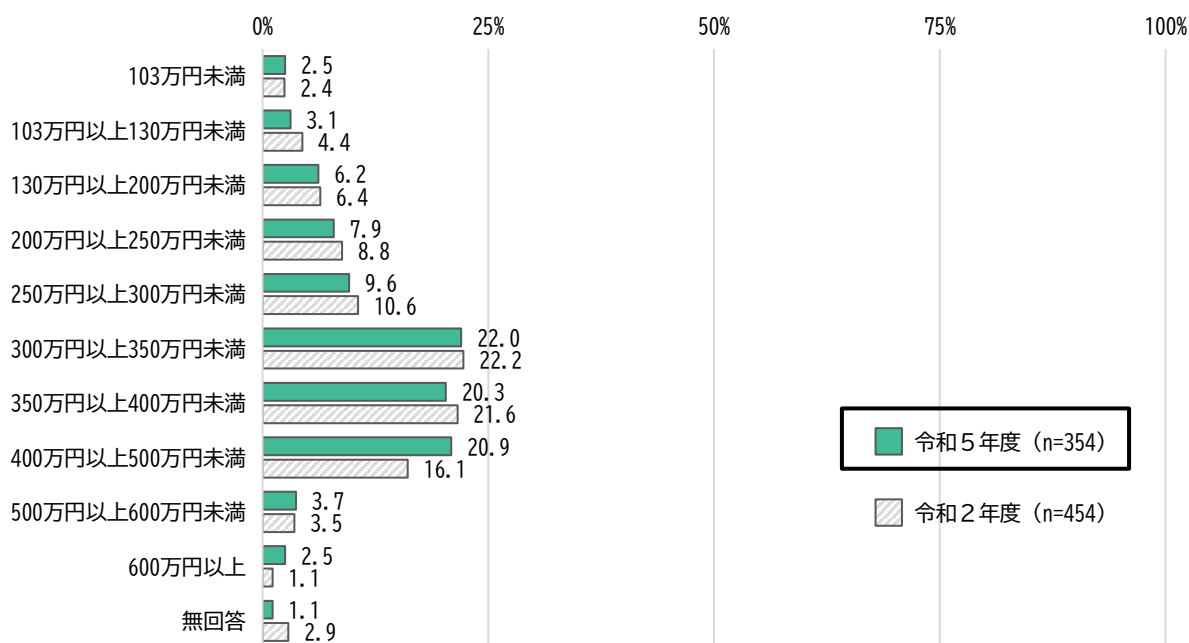
	回答者数	勤務平均超過時間
令和5年度	354	10.78
令和2年度	454	13.10
増減		-2.32

■ サービス種別 平均超過勤務時間 (単位：時間)

	回答者数	勤務平均超過時間
居宅介護支援事業所	253	11.85
地域包括支援センター	10	3.70
介護老人福祉施設	17	5.31
介護老人保健施設	6	10.83
特定施設入居者生活介護	20	8.95
認知症対応型共同生活介護	31	8.42
小規模多機能型居宅介護	11	15.55

問10 現在働いている事業所・施設において、あなたの昨年の「年収」はどのくらいですか。雇用期間が1年未満の方は、1年間の年収を想定してお答えください。（1つの番号に○）

現在働いている事業所・施設における昨年の「年収」について、「300万円以上350万円未満」と回答した人の割合が22.0%と前回調査同様最も高く、次いで「400万円以上500万円未満」が20.9%となっています。



■ サービス種別

(単位：%)

サービス種別	回答者数	年収区分										
		103万円未満	103万円以上130万円未満	130万円以上200万円未満	200万円以上250万円未満	250万円以上300万円未満	300万円以上350万円未満	350万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上600万円未満	600万円以上	無回答
居宅介護支援事業所	253	3.2	4.0	7.9	9.9	11.9	23.3	17.8	17.4	2.8	1.2	
地域包括支援センター	10	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	50.0	0.0	0.0	10.0	
介護老人福祉施設	17	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	11.8	23.5	41.2	5.9	0.0	
介護老人保健施設	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7	33.3	
特定施設入居者生活介護	20	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	15.0	25.0	40.0	5.0	10.0	
認知症対応型共同生活介護	31	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	19.4	25.8	29.0	3.2	3.2	
小規模多機能型居宅介護	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	36.4	27.3	9.1	0.0	

第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

問11 現在働いている事業所・施設に就職した主なきっかけは何ですか。（1つの番号に○）

現在働いている事業所・施設に就職した主なきっかけについて、「公共職業安定所を通じて応募」と回答した人の割合が16.9%と最も高く、次いで「家族、知人の紹介」が16.7%となっています。

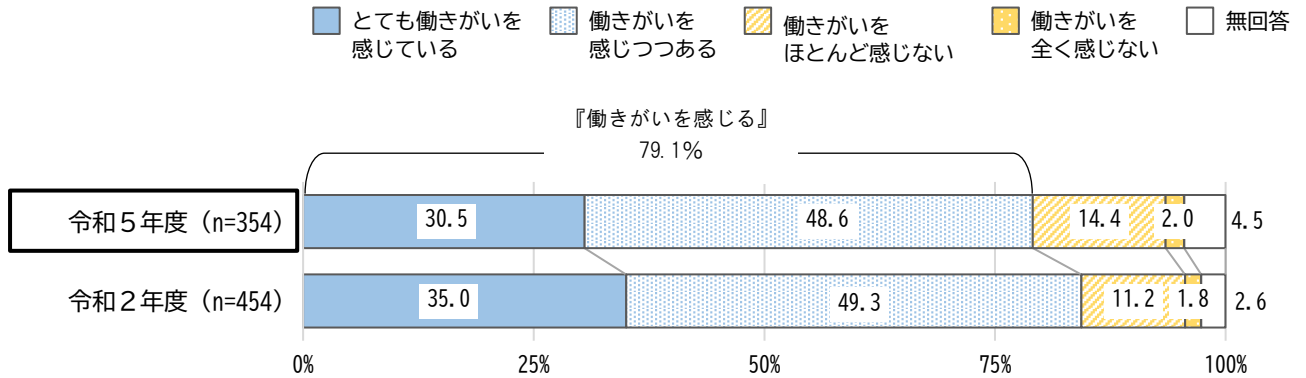


その他・・・自宅から近い、引っ越し、人事異動など

3. 介護支援専門員業務全般について

問12 あなたは、介護支援専門員の仕事に働きがいを感じていますか。（1つの番号に○）

介護支援専門員の仕事に働きがいを感じるかについて、『働きがいを感じる』と回答した人の割合が79.1%となっています。



※『働きがいを感じる』 = 「とても働きがいを感じている」 + 「働きがいを感じつつある」

■ サービス種別

(単位：%)

サービス種別	回答者数	とても働きがいを感じている (%)	働きがいを感じつつある (%)	働きがいを感じない (%)	働きがいを感じない (%)	『働きがいを感じる』 (%)
居宅介護支援事業所	253	33.6	46.2	14.2	2.0	79.8
地域包括支援センター	10	60.0	20.0	10.0	0.0	80.0
介護老人福祉施設	17	17.6	52.9	23.5	0.0	70.5
介護老人保健施設	6	33.3	50.0	0.0	16.7	83.3
特定施設入居者生活介護	20	30.0	55.0	10.0	5.0	85.0
認知症対応型共同生活介護	31	16.1	54.8	16.1	0.0	70.9
小規模多機能型居宅介護	11	9.1	72.7	18.2	0.0	81.8

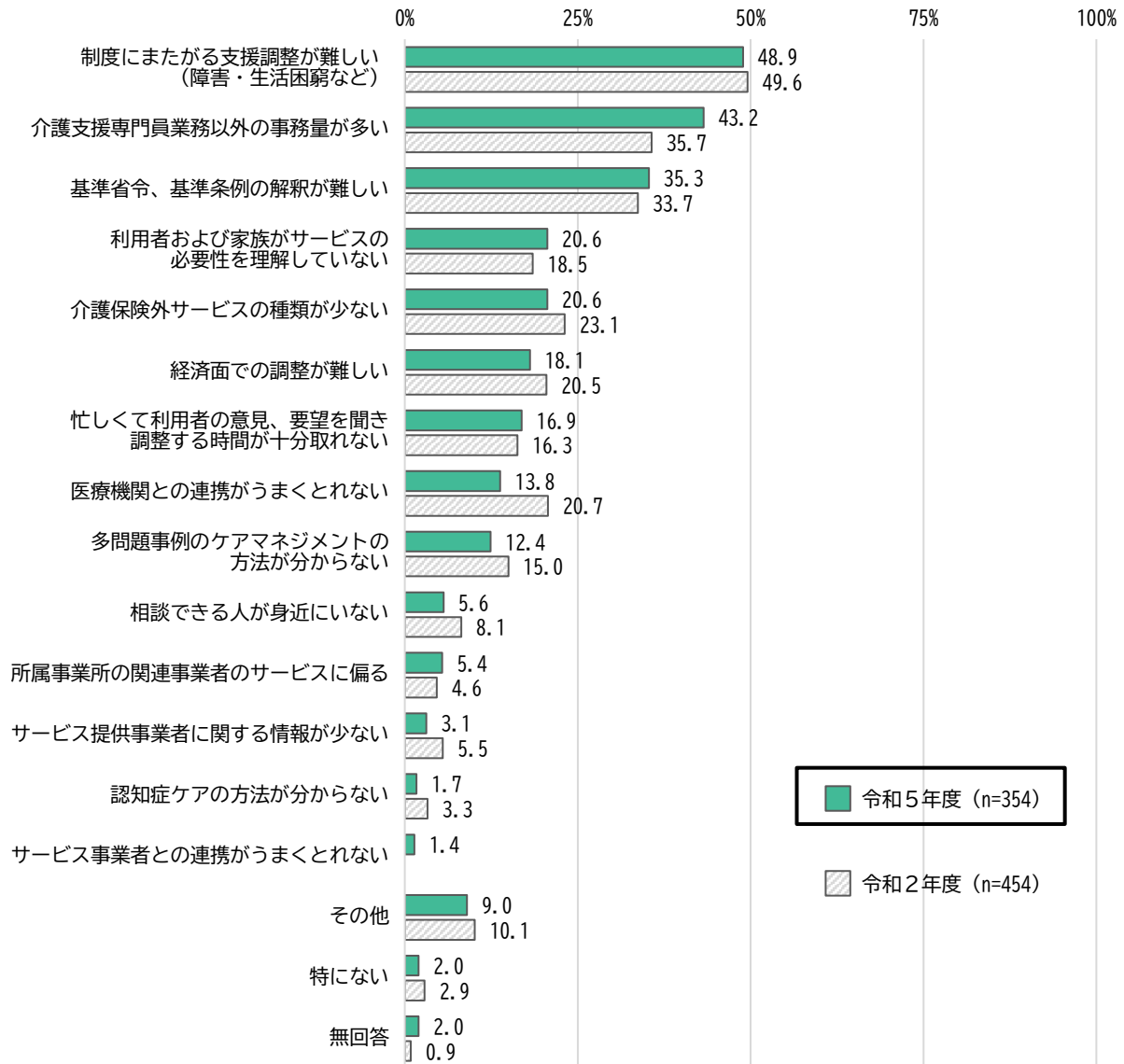
※『働きがいを感じる』 = 「とても働きがいを感じている」 + 「働きがいを感じつつある」

※「無回答」は掲載を省略

第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

問13 あなたは、ケアマネジメント業務を行う上での課題としてどのようなことをお考えですか。（あてはまるもの3つまで○）

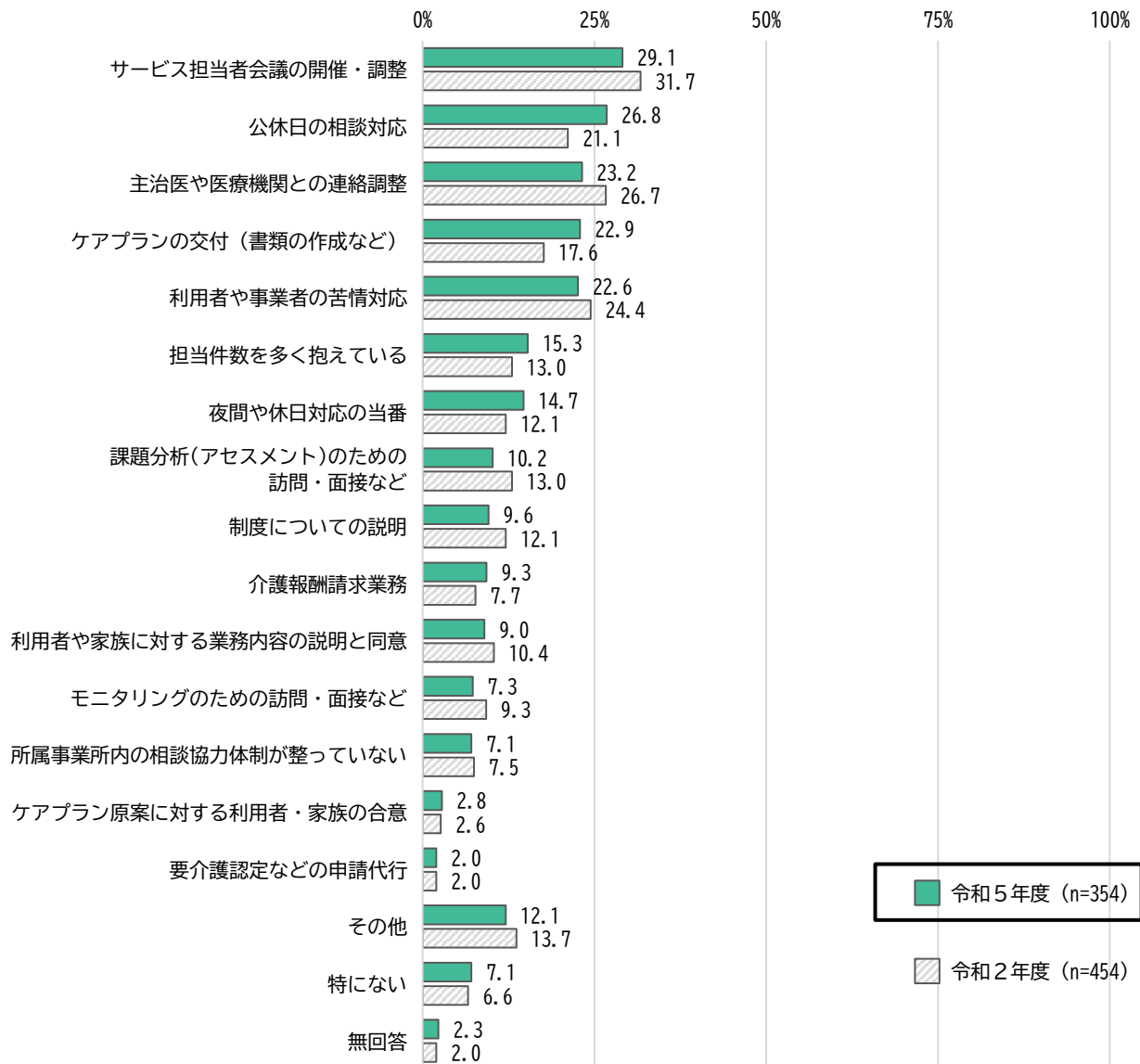
ケアマネジメント業務を行う上での課題について、「制度にまたがる支援調整が難しい」と回答した人の割合が48.9%と前回調査同様最も高く、次いで「介護支援専門員業務以外の事務量が多い」が前回調査より増加し43.2%となっています。



※「サービス事業者との連携がうまくとれない」は令和5年度調査より選択肢追加

問14 ケアマネジメント業務の中で、どのようなことに負担を感じていますか。
（あてはまるもの3つまで○）

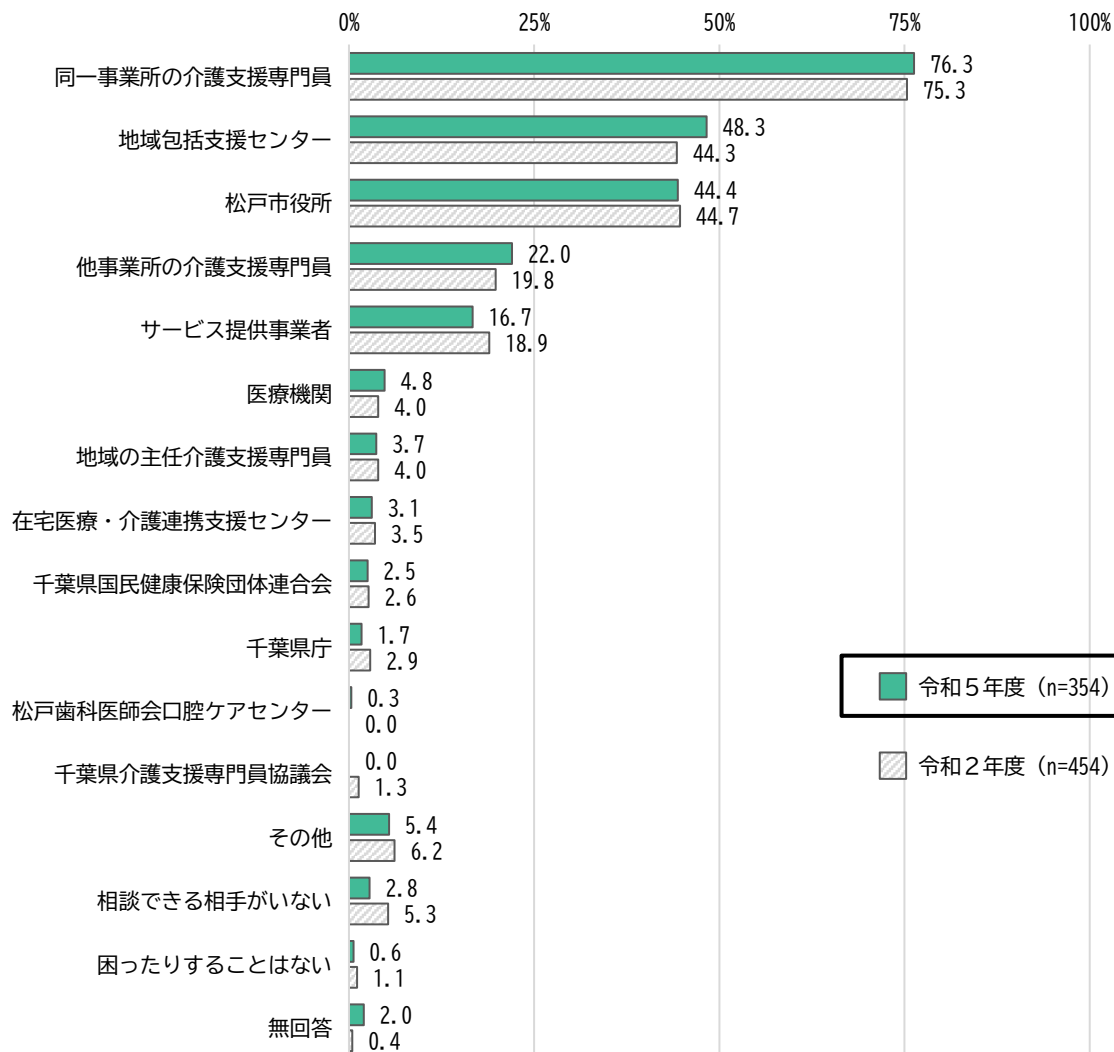
ケアマネジメント業務中での負担について、「サービス担当者会議の開催・調整」と回答した人の割合が29.1%と前回調査同様最も高く、次いで「公休日の相談対応」が26.8%となっています。



第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

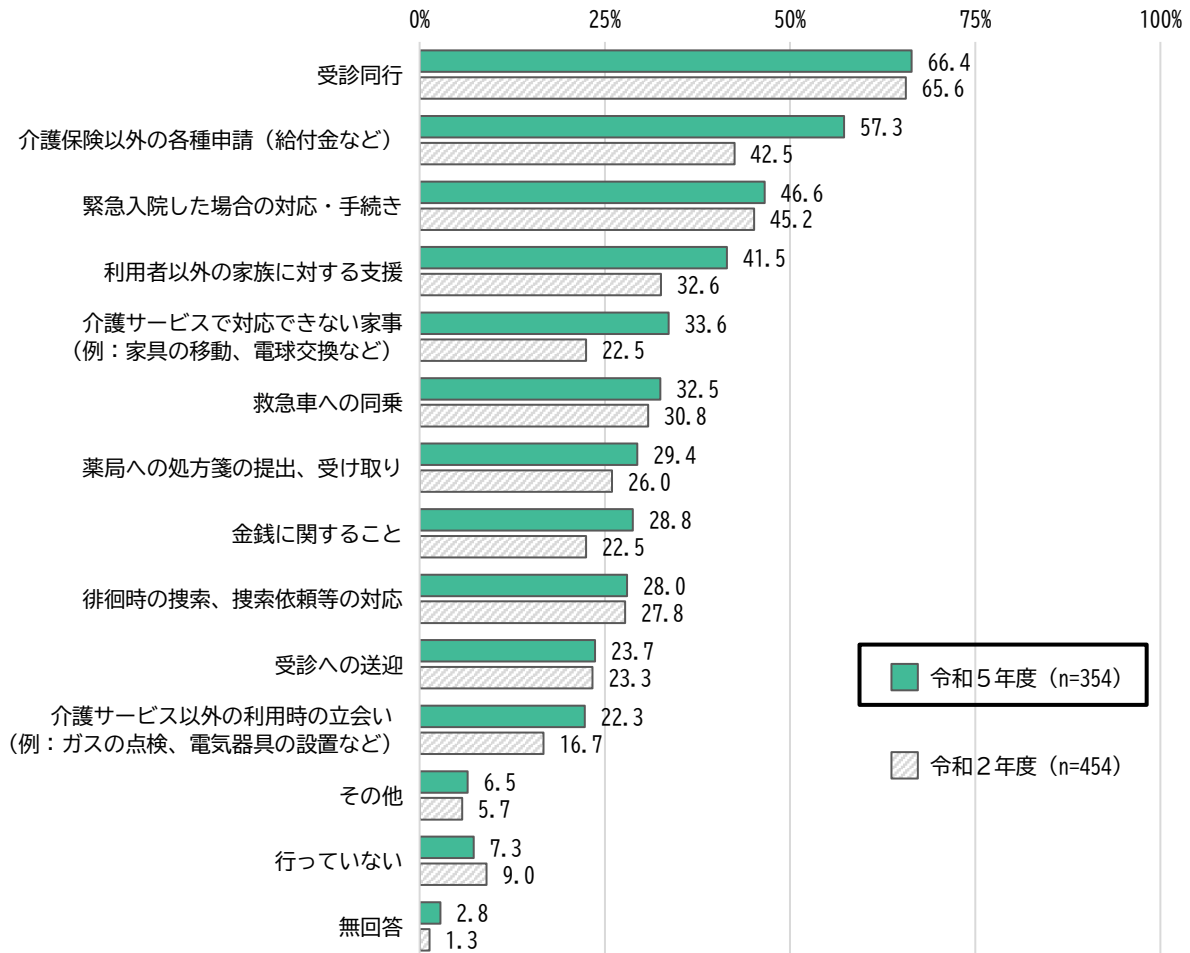
問15 ケアマネジメント業務の中で、分からないことや困ったことがあったときに誰に相談しますか。（あてはまるもの3つまで○）

ケアマネジメント業務の中で、分からないことや困ったことがあったときの相談相手について、「同一事業所の介護支援専門員」と回答した人の割合が76.3%と前回調査同様最も高く、次いで「地域包括支援センター」が前回調査より増加し48.3%となっています。



問16 担当利用者に対し、ケアマネジメント業務以外に、次のような支援を行っていますか。（あてはまるものすべての番号に○）

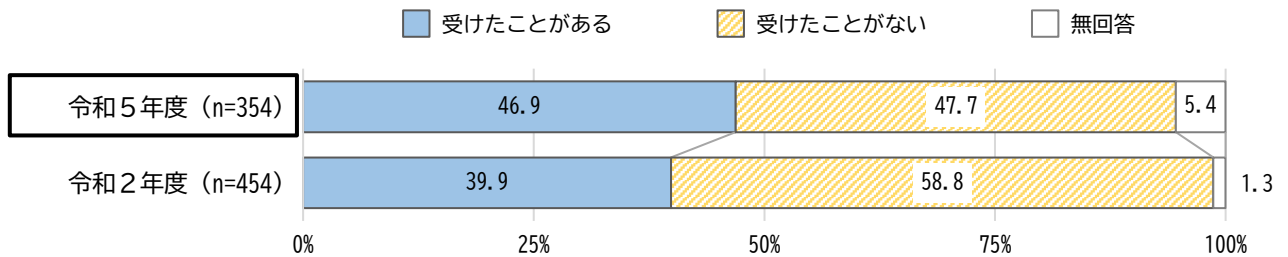
担当利用者に対するケアマネジメント業務以外の支援について、「受診同行」と回答した人の割合が66.4%と前回調査同様最も高く、次いで「介護保険以外の各種申請（給付金など）」が前回調査より大幅に増加し57.3%となっています。



第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

問 17 介護支援専門員として働く中で、これまでに利用者や家族からハラスメントを受けたことはありますか。（1つの番号に○）

介護支援専門員として働く中で、これまでに利用者や家族からハラスメントを受けたことがあるかについて、「受けたことがある」と回答した人の割合が前回調査より増加し 46.9%となっています。



サービス種別

(単位：%)

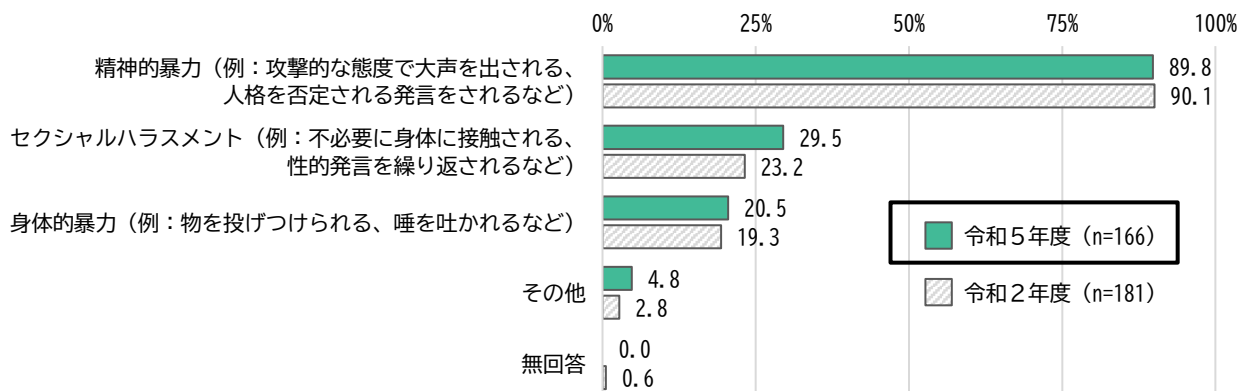
サービス種別	回答者数	受けたことがある (%)	受けたことがない (%)
居宅介護支援事業所	253	49.8	45.8
地域包括支援センター	10	50.0	40.0
介護老人福祉施設	17	29.4	58.8
介護老人保健施設	6	50.0	50.0
特定施設入居者生活介護	20	30.0	70.0
認知症対応型共同生活介護	31	38.7	48.4
小規模多機能型居宅介護	11	54.5	45.5

※「無回答」は掲載を省略

利用者や家族からハラスメントを「受けたことがある」と答えた方におうかがいします。

問 17-① その内容として、あてはまるものを教えてください。
(あてはまるものすべての番号に○)

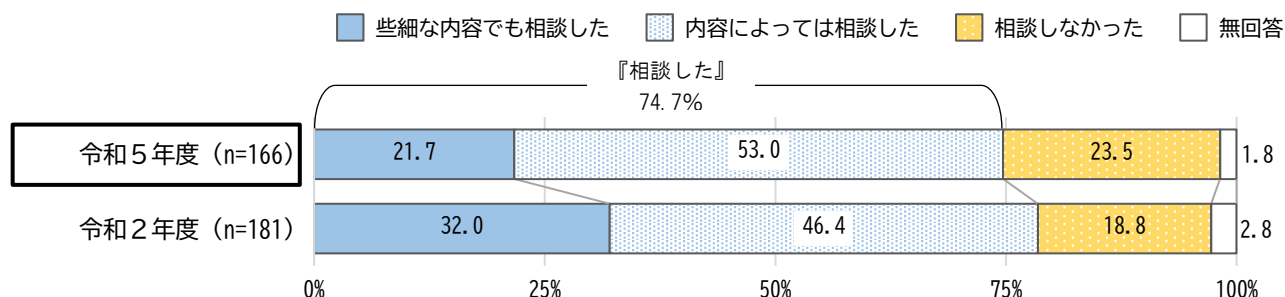
利用者や家族からのハラスメントの内容について、「精神的暴力」と回答した人の割合が 89.8%と前回調査同様最も高く、次いで「セクシャルハラスメント」が前回調査より増加し 29.5%となっています。



利用者や家族からハラスメントを「受けたことがある」と答えた方におうかがいします。

問 17-② その際の相談状況を教えてください。（1つの番号に○）

利用者や家族からハラスメントを受けた際の相談について、『相談した』と回答した人の割合が前回調査より減少し 74.7%となる一方、「相談しなかった」が前回調査より増加し 23.5%となっています。



※『相談した』 = 「些細な内容でも相談した」 + 「内容によっては相談した」

■ サービス種別

(単位：%)

	回答者数	些細な内容でも相談した	内容によっては相談した	相談しなかった	『相談した』
居宅介護支援事業所	253	20.6	53.2	24.6	73.8
地域包括支援センター	10	40.0	40.0	20.0	80.0
介護老人福祉施設	17	40.0	40.0	20.0	80.0
介護老人保健施設	6	0.0	100.0	0.0	100.0
特定施設入居者生活介護	20	16.7	66.7	16.7	83.4
認知症対応型共同生活介護	31	25.0	50.0	16.7	75.0
小規模多機能型居宅介護	11	33.3	33.3	33.3	66.6

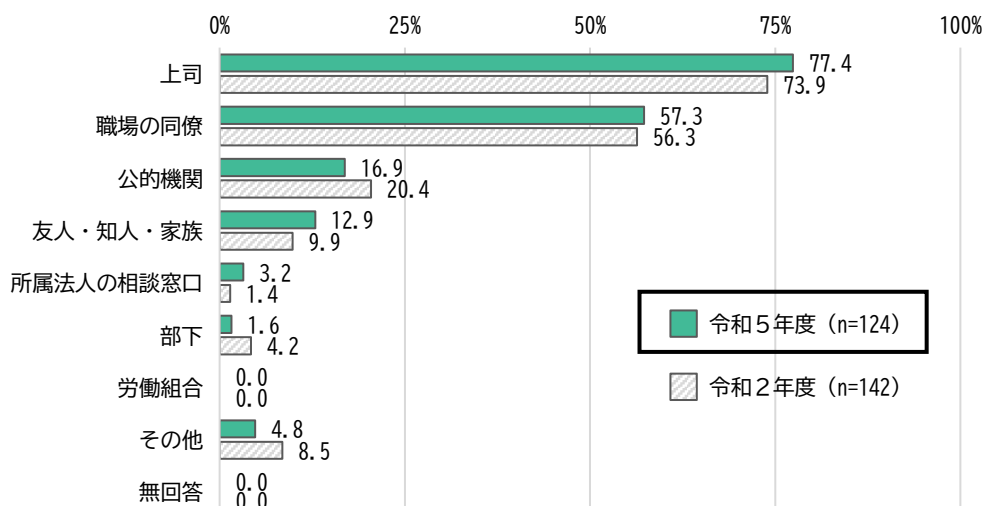
※『相談した』 = 「些細な内容でも相談した」 + 「内容によっては相談した」

※「無回答」は掲載を省略

問 17-②で「相談した」と答えた方におうかがいします。

問 17-③ その際に相談した相手を教えてください。（あてはまるものすべての番号に○）

利用者や家族からハラスメントを受けた際の相談した相手について、「上司」と回答した人の割合が 77.4%と前回調査同様最も高く、次いで「職場の同僚」が 57.3%となっています。

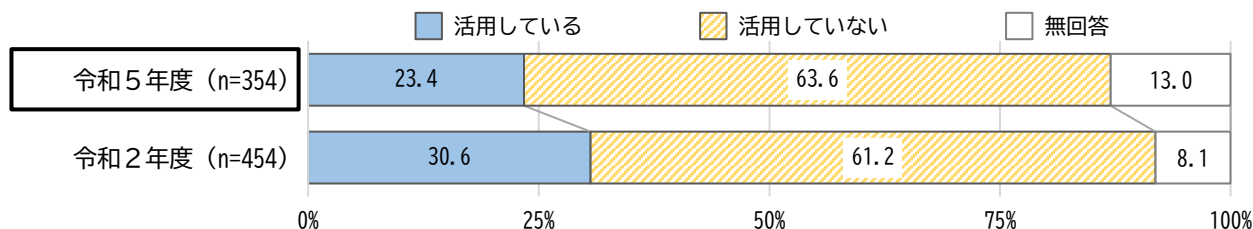


第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

問 18 以下のケアマネジメント業務における、ICT（電子データによるコンピュータ処理等情報通信技術）の活用状況についてお答えください。

① 利用者・家族からの相談受付業務

利用者・家族からの相談受付業務における ICT の活用について、「活用している」と回答した人の割合が前回調査より減少し 23.4%となっています。



■ サービス種別

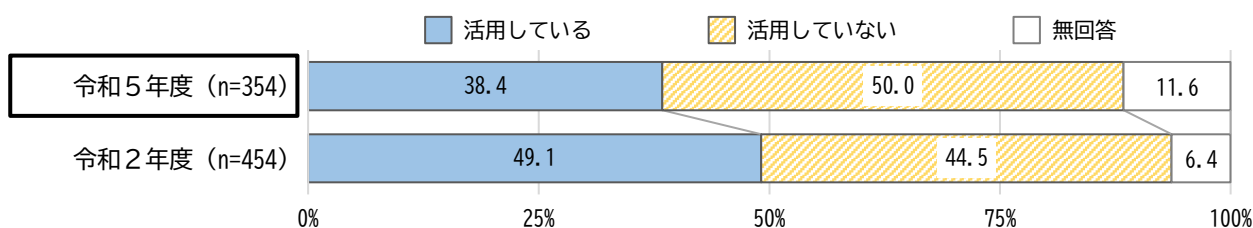
(単位：%)

	回答者数	活用している (%)	活用していない (%)
居宅介護支援事業所	253	22.9	64.8
地域包括支援センター	10	30.0	60.0
介護老人福祉施設	17	41.2	47.1
介護老人保健施設	6	16.7	33.3
特定施設入居者生活介護	20	25.0	65.0
認知症対応型共同生活介護	31	16.1	64.5
小規模多機能型居宅介護	11	27.3	72.7

※「無回答」は掲載を省略

② 利用者のアセスメント

利用者のアセスメントにおける ICT の活用について、「活用している」と回答した人の割合が前回調査より大幅に減少し 38.4%となっています。



■ サービス種別

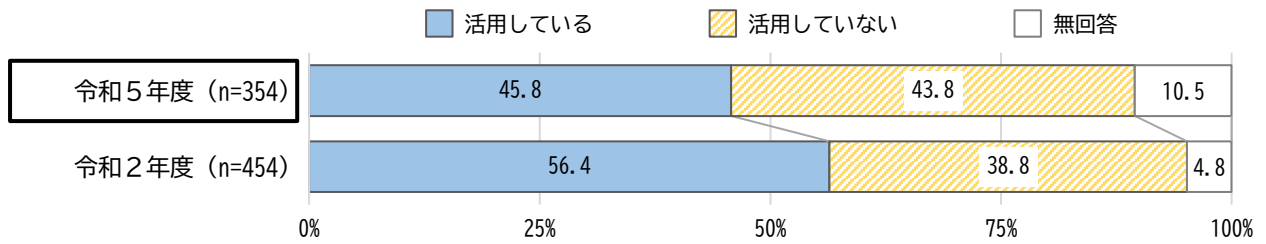
(単位：%)

	回答者数	活用している (%)	活用していない (%)
居宅介護支援事業所	253	36.0	53.4
地域包括支援センター	10	30.0	60.0
介護老人福祉施設	17	70.6	17.6
介護老人保健施設	6	33.3	16.7
特定施設入居者生活介護	20	50.0	40.0
認知症対応型共同生活介護	31	35.5	48.4
小規模多機能型居宅介護	11	54.5	45.5

※「無回答」は掲載を省略

③ ケアプラン作成

ケアプラン作成における ICT の活用について、「活用している」と回答した人の割合が前回調査より大幅に減少し 45.8%となっています。



■ サービス種別

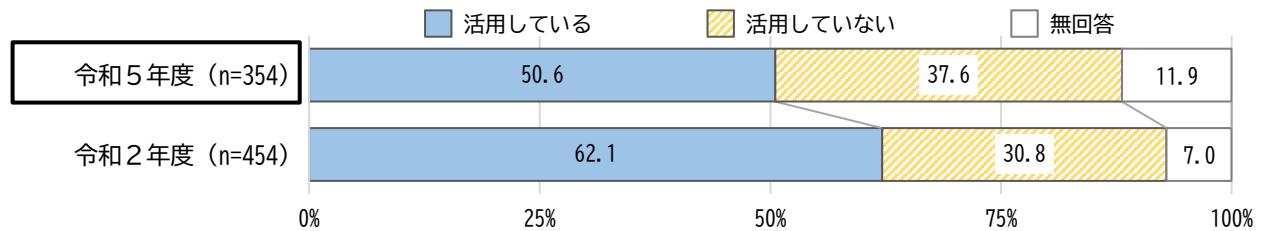
(単位：%)

	回答者数	活用している (%)	活用していない (%)
居宅介護支援事業所	253	41.1	48.2
地域包括支援センター	10	40.0	60.0
介護老人福祉施設	17	82.4	11.8
介護老人保健施設	6	50.0	0.0
特定施設入居者生活介護	20	65.0	30.0
認知症対応型共同生活介護	31	51.6	35.5
小規模多機能型居宅介護	11	54.5	45.5

※「無回答」は掲載を省略

④ 給付管理

給付管理における ICT の活用について、「活用している」と回答した人の割合が前回調査より大幅に減少し 50.6%となっています。



■ サービス種別

(単位：%)

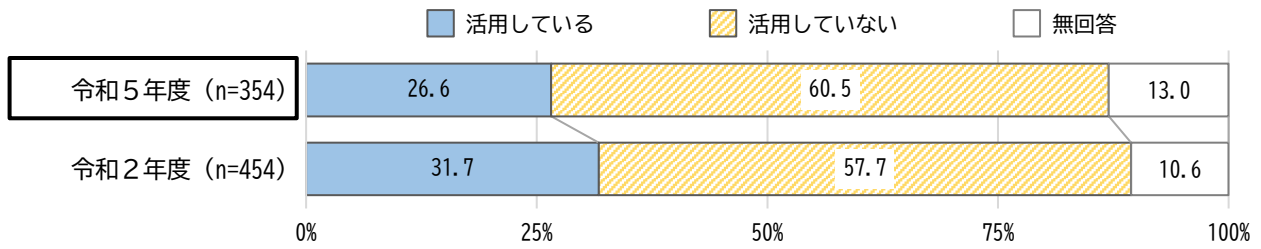
	回答者数	活用している (%)	活用していない (%)
居宅介護支援事業所	253	49.8	39.5
地域包括支援センター	10	50.0	50.0
介護老人福祉施設	17	70.6	17.6
介護老人保健施設	6	33.3	16.7
特定施設入居者生活介護	20	50.0	35.0
認知症対応型共同生活介護	31	48.4	32.3
小規模多機能型居宅介護	11	63.6	36.4

※「無回答」は掲載を省略

第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

⑤ サービス事業所への連絡（提供票の配信含む）

サービス事業所への連絡における ICT の活用について、「活用している」と回答した人の割合が前回調査より減少し 26.6%となっています。



■ サービス種別

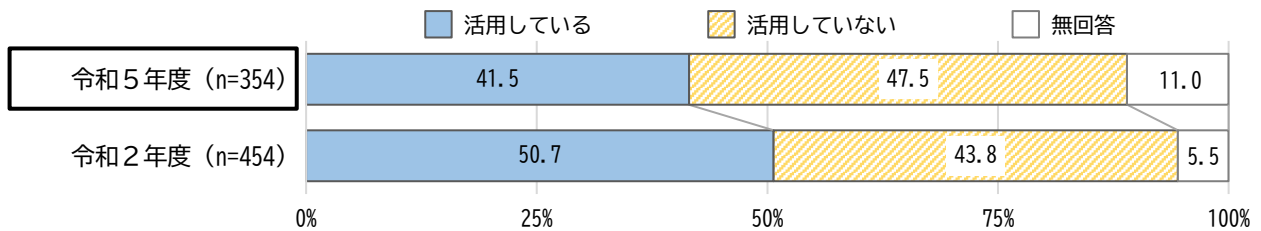
(単位：%)

	回答者数	活用している (%)	活用していない (%)
居宅介護支援事業所	253	29.2	59.3
地域包括支援センター	10	20.0	70.0
介護老人福祉施設	17	35.3	52.9
介護老人保健施設	6	0.0	50.0
特定施設入居者生活介護	20	5.0	75.0
認知症対応型共同生活介護	31	25.8	54.8
小規模多機能型居宅介護	11	27.3	72.7

※「無回答」は掲載を省略

⑥ モニタリング管理

モニタリング管理における ICT の活用について、「活用している」と回答した人の割合が前回調査より減少し 41.5%となっています。



■ サービス種別

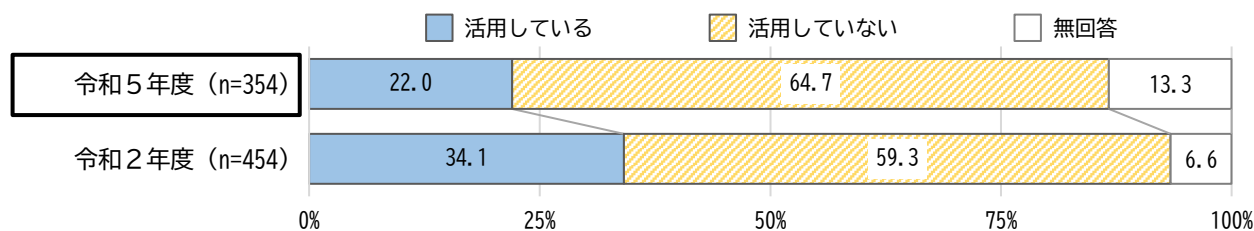
(単位：%)

	回答者数	活用している (%)	活用していない (%)
居宅介護支援事業所	253	39.1	51.0
地域包括支援センター	10	30.0	60.0
介護老人福祉施設	17	70.6	23.5
介護老人保健施設	6	33.3	16.7
特定施設入居者生活介護	20	55.0	35.0
認知症対応型共同生活介護	31	41.9	38.7
小規模多機能型居宅介護	11	45.5	54.5

※「無回答」は掲載を省略

⑦ サービス担当者会議の情報共有

サービス担当者会議の情報共有における ICT の活用について、「活用している」と回答した人の割合が前回調査より大幅に減少し 22.0%となっています。



■ サービス種別

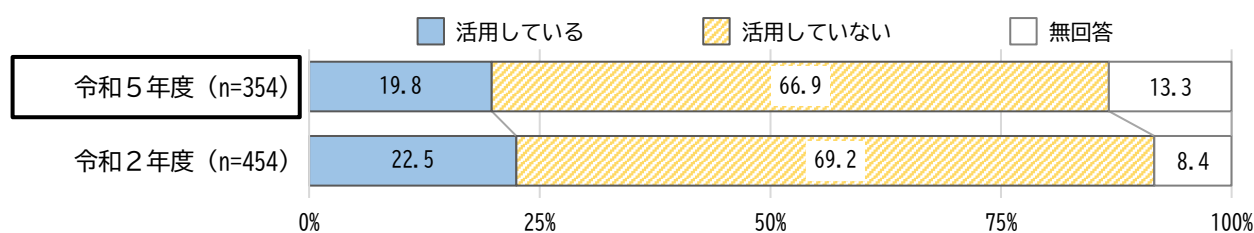
(単位: %)

	回答者数	活用している (%)	活用していない (%)
居宅介護支援事業所	253	19.0	68.4
地域包括支援センター	10	20.0	70.0
介護老人福祉施設	17	64.7	29.4
介護老人保健施設	6	33.3	16.7
特定施設入居者生活介護	20	35.0	55.0
認知症対応型共同生活介護	31	12.9	64.5
小規模多機能型居宅介護	11	18.2	81.8

※「無回答」は掲載を省略

⑧ 医療機関との連携

医療機関との連携における ICT の活用について、「活用している」と回答した人の割合が 19.8%となっています。



■ サービス種別

(単位: %)

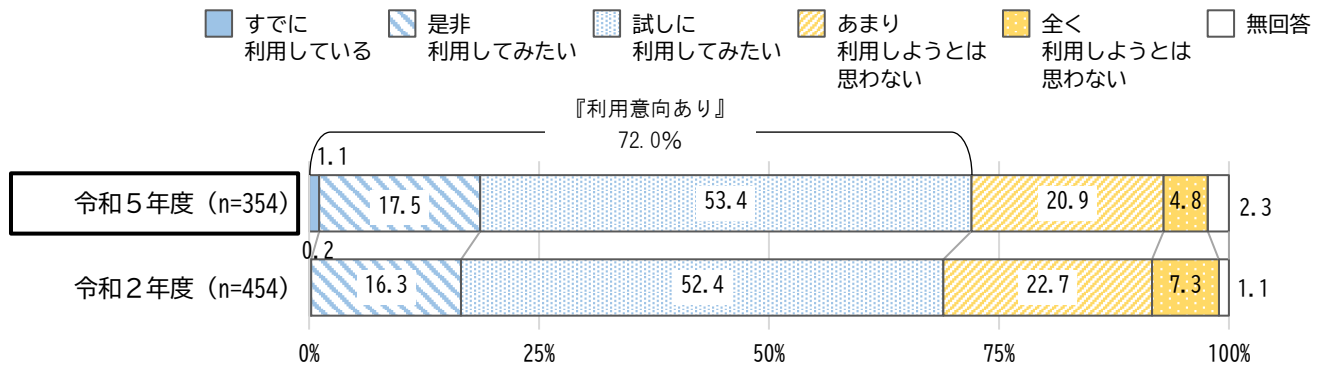
	回答者数	活用している (%)	活用していない (%)
居宅介護支援事業所	253	18.6	69.2
地域包括支援センター	10	10.0	80.0
介護老人福祉施設	17	41.2	47.1
介護老人保健施設	6	16.7	33.3
特定施設入居者生活介護	20	20.0	70.0
認知症対応型共同生活介護	31	16.1	61.3
小規模多機能型居宅介護	11	45.5	54.5

※「無回答」は掲載を省略

第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

問19 人工知能（AI）を活用したケアプランソフトウェアを利用してみたいと思いますか。
（1つの番号に○）

人工知能を活用したケアプランソフトウェアについて、「すでに利用している」と回答した人の割合が1.1%となっており、『利用意向あり』を示す割合が72.0%となっています。



※『利用意向あり』＝「すでに利用している」＋「是非利用してみたい」＋「試しに利用してみたい」

■ サービス種別

（単位：％）

	回答者数	すでに利用している	是非利用してみたい	試しに利用してみたい	あまり利用しようとは思わない	全く利用しようとは思わない	『利用意向あり』
居宅介護支援事業所	253	1.6	17.4	52.6	21.7	5.5	71.6
地域包括支援センター	10	0.0	30.0	70.0	0.0	0.0	10.00
介護老人福祉施設	17	0.0	11.8	76.5	5.9	0.0	88.3
介護老人保健施設	6	0.0	0.0	33.3	50.0	16.7	33.3
特定施設入居者生活介護	20	0.0	15.0	45.0	35.0	5.0	60.0
認知症対応型共同生活介護	31	0.0	16.1	58.1	16.1	0.0	74.2
小規模多機能型居宅介護	11	0.0	27.3	54.5	9.1	9.1	81.8

※『利用意向あり』＝「すでに利用している」＋「是非利用してみたい」＋「試しに利用してみたい」

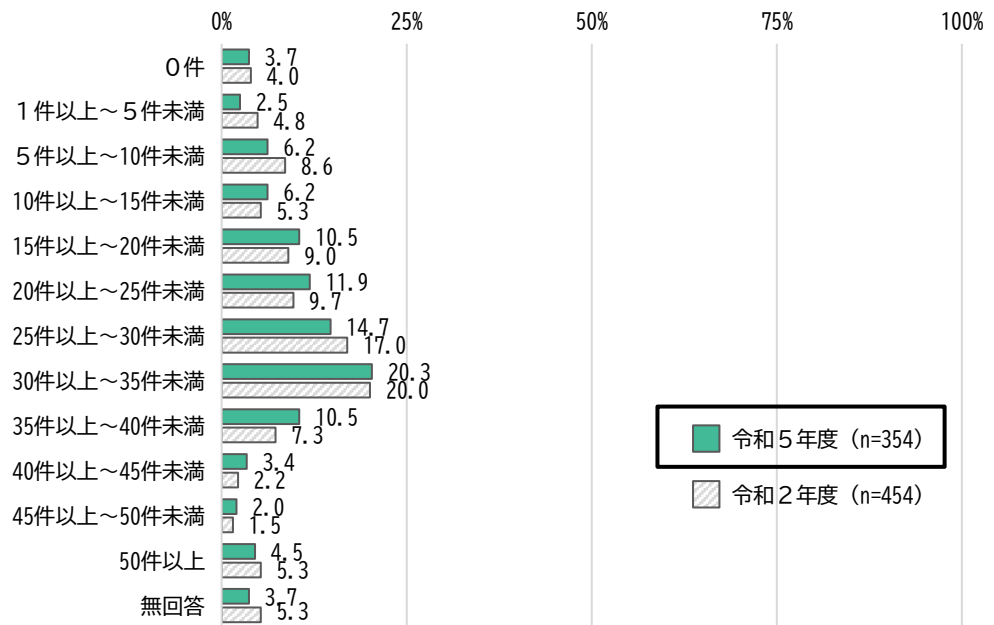
※「無回答」は掲載を省略

4. ケアプランの作成状況等について

問 20 令和5年3月の担当ケアプラン件数（実績）を介護・予防それぞれにお答えください。（数字を記入）

① 介護ケアプラン（要介護者）

介護ケアプラン（要介護者）の担当ケアプラン件数について、「30件以上～35件未満」と回答した人の割合が20.3%と最も高くなっています。また、平均担当ケアプラン件数は26.17件と前回調査より0.98件増加しており、居宅介護支援事業所では平均担当ケアプラン件数が26.94件となっています。



■ 平均担当ケアプラン件数 (単位：件)

	回答者数	ケアプラン平均担当件数
令和5年度	354	26.17
令和2年度	454	25.19
増減		+0.98

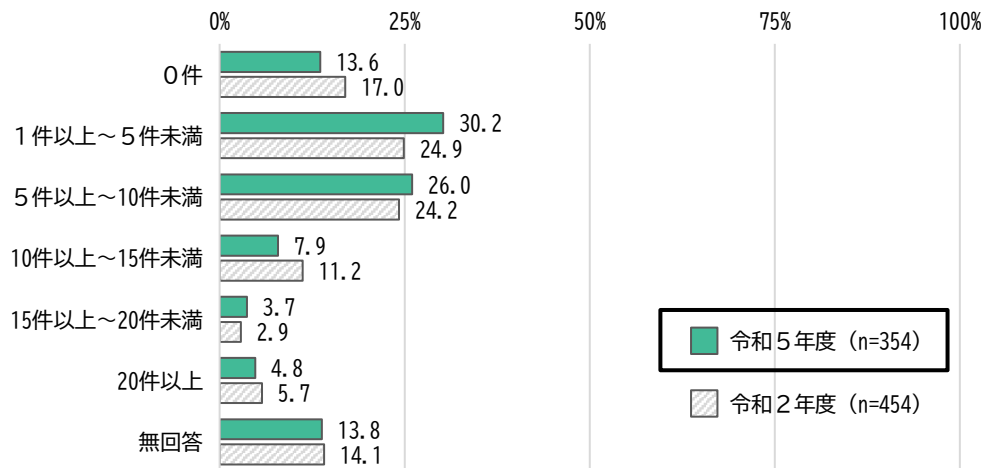
■ サービス種別 平均担当ケアプラン件数 (単位：件)

	回答者数	ケアプラン平均担当件数
居宅介護支援事業所	253	26.94
介護老人福祉施設	17	45.53
介護老人保健施設	6	54.00
特定施設入居者生活介護	20	32.00
認知症対応型共同生活介護	31	9.14
小規模多機能型居宅介護	11	16.73

第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

② 予防ケアプラン（要支援者・事業対象者）

予防ケアプラン（要支援者・事業対象者）の担当ケアプラン件数について、「1件以上～5件未満」と回答した人の割合が30.2%と最も高くなっています。また、平均担当ケアプラン件数は7.76件と前回調査より0.20件増加しており、地域包括支援センターでは平均担当ケアプラン件数が54.70件となっています。



■ 平均担当ケアプラン件数 (単位：件)

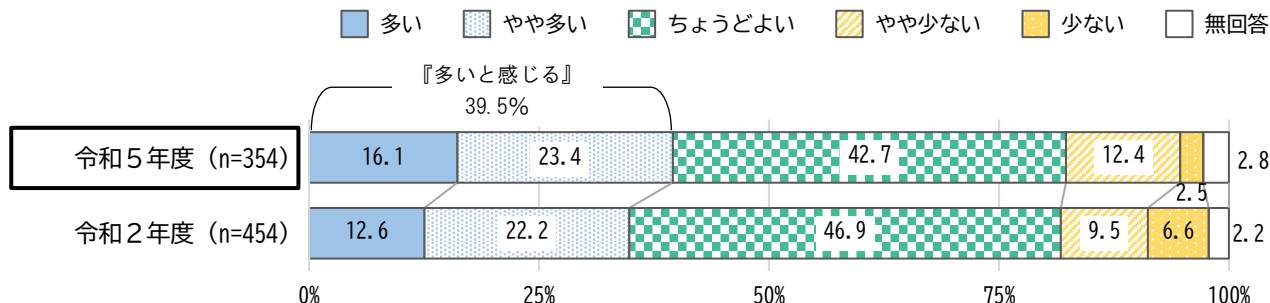
	回答者数	ケアプラン平均担当件数
令和5年度	354	7.76
令和2年度	454	7.56
増減		+0.20

■ サービス種別 平均担当ケアプラン件数 (単位：件)

サービス種別	回答者数	ケアプラン平均担当件数
居宅介護支援事業所	253	6.22
地域包括支援センター	10	54.70
介護老人福祉施設	17	0.13
介護老人保健施設	6	0.00
特定施設入居者生活介護	20	8.13
認知症対応型共同生活介護	31	0.00
小規模多機能型居宅介護	11	0.88

問 21 現在担当しているケアプラン件数について、どのようにお考えですか。
（1つの番号に○）

現在担当しているケアプラン件数について、「ちょうどよい」と回答した人の割合が42.7%と最も高くなる一方、『多いと感じる』と回答した人の割合が前回調査より増加し39.5%となっています。



※『多いと感じる』＝「多い」＋「やや多い」

■ サービス種別

（単位：％）

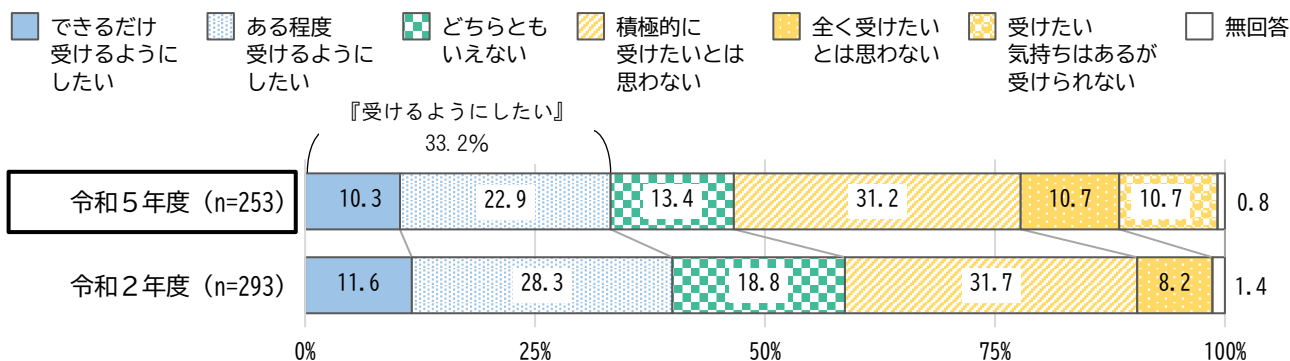
	回答者数	多い	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少ない	『多いと感じる』
居宅介護支援事業所	253	17.4	24.9	40.3	13.4	2.8	42.3
地域包括支援センター	10	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	60.0
介護老人福祉施設	17	23.5	17.6	52.9	0.0	0.0	41.1
介護老人保健施設	6	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3
特定施設入居者生活介護	20	15.0	45.0	20.0	20.0	0.0	60.0
認知症対応型共同生活介護	31	0.0	3.2	74.2	6.5	3.2	3.2
小規模多機能型居宅介護	11	0.0	9.1	45.5	36.4	9.1	9.1

※『多いと感じる』＝「多い」＋「やや多い」

※「無回答」は掲載を省略

問 22・問 23 は居宅介護支援事業所の方のみ、お答えください。
問 22 あなたは、地域包括支援センターから介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの委託を受けることについて、どのようにしたいとお考えですか。（1つの番号に○）

地域包括支援センターから介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの委託を受けることについて、『受けるようにしたい』と回答した人の割合が前回調査より減少し33.2%となっています。



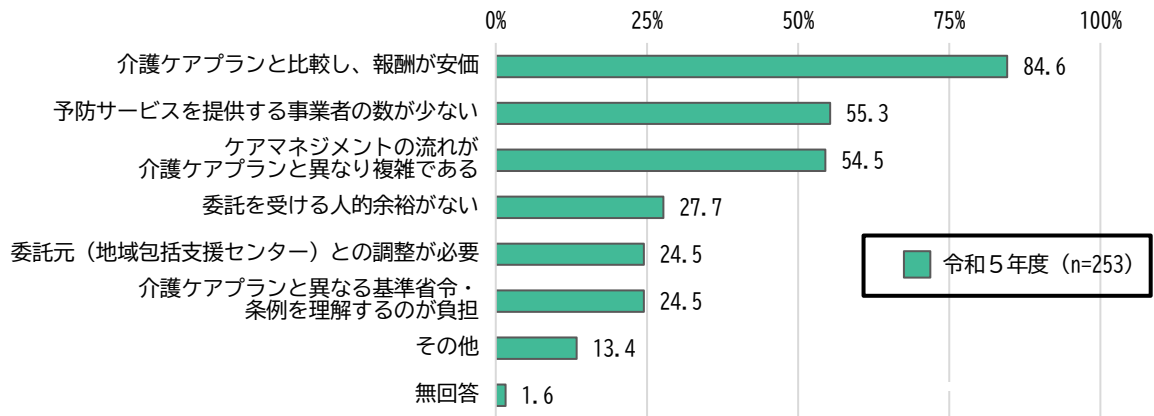
※『受けるようにしたい』＝「できるだけ受けるようにしたい」＋「ある程度受けるようにしたい」

第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

問22・問23は居宅介護支援事業所の方のみ、お答えください。

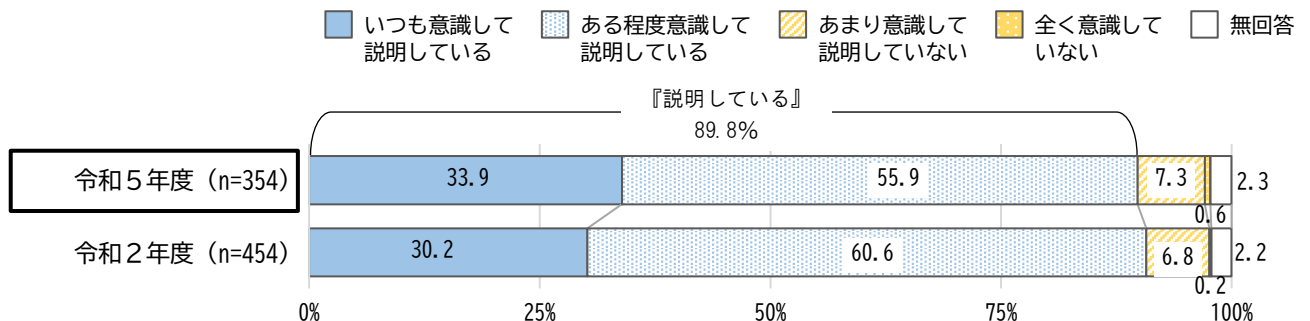
問23 予防ケアプランの委託を受けるにあたり課題と感じていることは何ですか。
（あてはまるものすべての番号に○）

予防ケアプランの委託を受けるにあたっての課題について、「介護ケアプランと比較し、報酬が安価」と回答した人の割合が84.6%と最も高く、次いで「予防サービスを提供する事業者の数が少ない」が55.3%となっています。



問24 日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標を利用者や家族と共有し、自立支援・重度化防止を意識した介護を行うことについて説明を行っていますか。（1つの番号に○）

自立支援・重度化防止を意識した介護を行うことの説明について、『説明している』と回答した人の割合が89.8%となっています。



※『説明している』＝「いつも意識して説明している」＋「ある程度意識して説明している」

サービス種別

（単位：％）

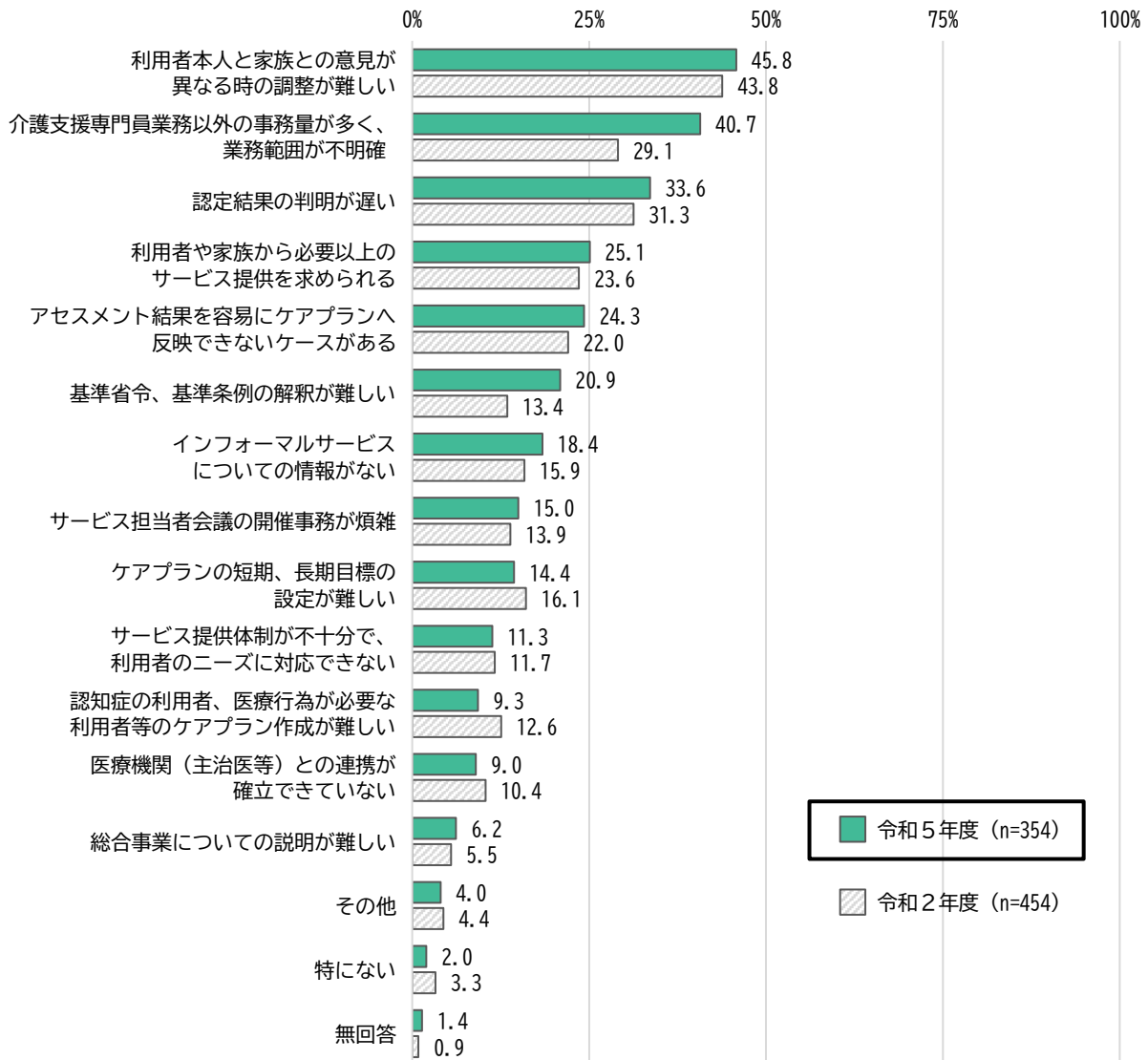
サービス種別	回答者数	いつも意識して説明している	説明している	説明していません	あまり意識して説明していません	全く意識していません	『説明している』
居宅介護支援事業所	253	36.0	56.1	5.5	0.4	92.1	
地域包括支援センター	10	70.0	30.0	0.0	0.0	100.0	
介護老人福祉施設	17	23.5	47.1	29.4	0.0	70.6	
介護老人保健施設	6	16.7	83.3	0.0	0.0	100.0	
特定施設入居者生活介護	20	15.0	65.0	20.0	0.0	80.0	
認知症対応型共同生活介護	31	32.3	54.8	3.2	3.2	87.1	
小規模多機能型居宅介護	11	18.2	63.6	18.2	0.0	81.8	

※『説明している』＝「いつも意識して説明している」＋「ある程度意識して説明している」

※「無回答」は掲載を省略

問25 あなたがケアプランの作成に際し、現在特に困っていることや、これまで特に困ったことはありますか。（あてはまるもの3つまで○）

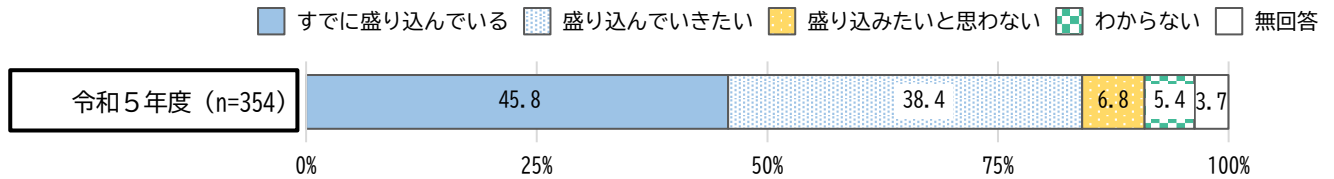
ケアプランの作成に際し、現在特に困っていることや、これまでに特に困ったことについて、「利用者本人と家族との意見が異なる時の調整が難しい」と回答した人の割合が前回調査より微増し、45.8%と前回調査同様最も高く、次いで「介護支援専門員業務以外の事務量が多く、業務範囲が不明確」が前回調査より大幅に増加し、40.7%となっています。



第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

問 26 ケアプランを作成する上で、介護保険外サービスを盛り込んでいますか。（1つの番号に○）

ケアプランを作成する上で、介護保険外サービスを盛り込んでいるかについて、「すでに盛り込んでいる」と回答した人の割合が45.8%となっています。



■ サービス種別

（単位：％）

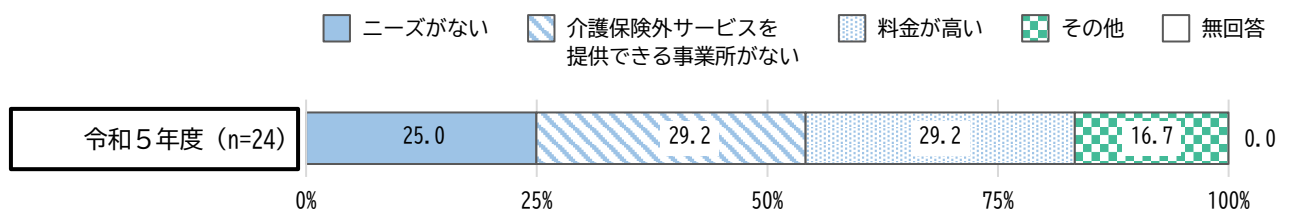
サービス種別	回答者数	すでに盛り込んでいる	盛り込んでいきたい	盛り込みたいと思わない	わからない
居宅介護支援事業所	253	51.0	39.5	4.7	2.0
地域包括支援センター	10	70.0	20.0	10.0	0.0
介護老人福祉施設	17	11.8	58.8	11.8	5.9
介護老人保健施設	6	16.7	0.0	16.7	50.0
特定施設入居者生活介護	20	40.0	20.0	5.0	30.0
認知症対応型共同生活介護	31	38.7	29.0	12.9	12.9
小規模多機能型居宅介護	11	18.2	54.5	27.3	0.0

※「無回答」は掲載を省略

介護保険外サービスを「盛り込みたいと思わない」と答えた方におうかがいします。

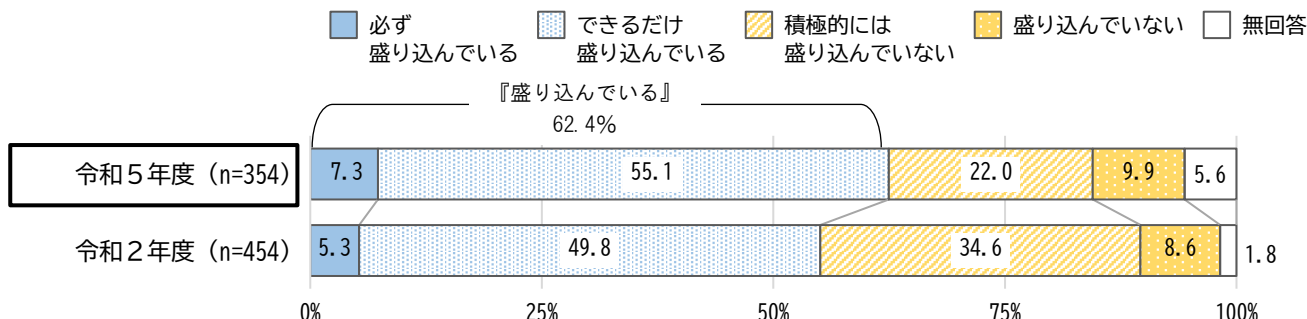
問 26-① 介護保険外サービスを盛り込みたいと思わない理由は何ですか。（1つの番号に○）

介護保険外サービスを盛り込みたいと思わない理由について、「介護保険外サービスを提供できる事業所がない」「料金が高い」と回答した人の割合がともに29.2%となっています。



問 27 ケアプランを作成する上で、インフォーマルサービスや地域の互助活動をプランに盛り込んでいますか。（1つの番号に○）

ケアプランを作成する上で、インフォーマルサービスや地域の互助活動をプランに盛り込んでいるかについて、『盛り込んでいる』と回答した人の割合が前回調査より増加し 62.4%となっています。



※『盛り込んでいる』 = 「必ず盛り込んでいる」 + 「できるだけ盛り込んでいる」

■ サービス種別

(単位：%)

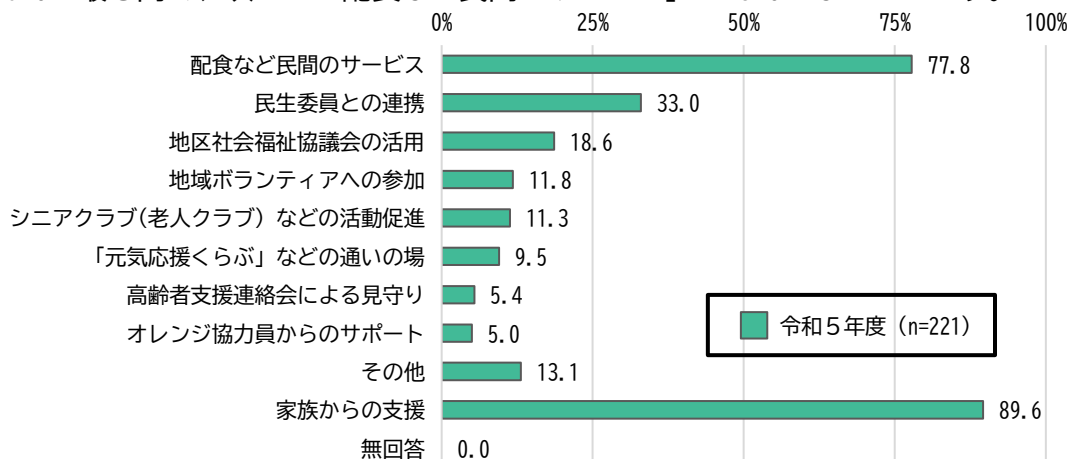
サービス種別	回答者数	必ず盛り込んでいる	できるだけ盛り込んでいる	積極的には盛り込んでいない	盛り込んでいない	『盛り込んでいる』
居宅介護支援事業所	253	8.3	64.4	19.4	4.0	72.7
地域包括支援センター	10	10.0	70.0	10.0	10.0	80.0
介護老人福祉施設	17	0.0	17.6	23.5	41.2	17.6
介護老人保健施設	6	33.3	0.0	0.0	66.7	33.3
特定施設入居者生活介護	20	5.0	15.0	45.0	30.0	20.0
認知症対応型共同生活介護	31	3.2	35.5	25.8	19.4	38.7
小規模多機能型居宅介護	11	0.0	45.5	36.4	9.1	45.5

※『盛り込んでいる』 = 「必ず盛り込んでいる」 + 「できるだけ盛り込んでいる」

※「無回答」は掲載を省略

インフォーマルサービス等をプランに「盛り込んでいる」と答えた方におうかがいします。
 問 27-① インフォーマルサービスのうち、どのようなサービスや地域の互助活動についてケアプランに盛り込んでいますか。（あてはまるものすべての番号に○）

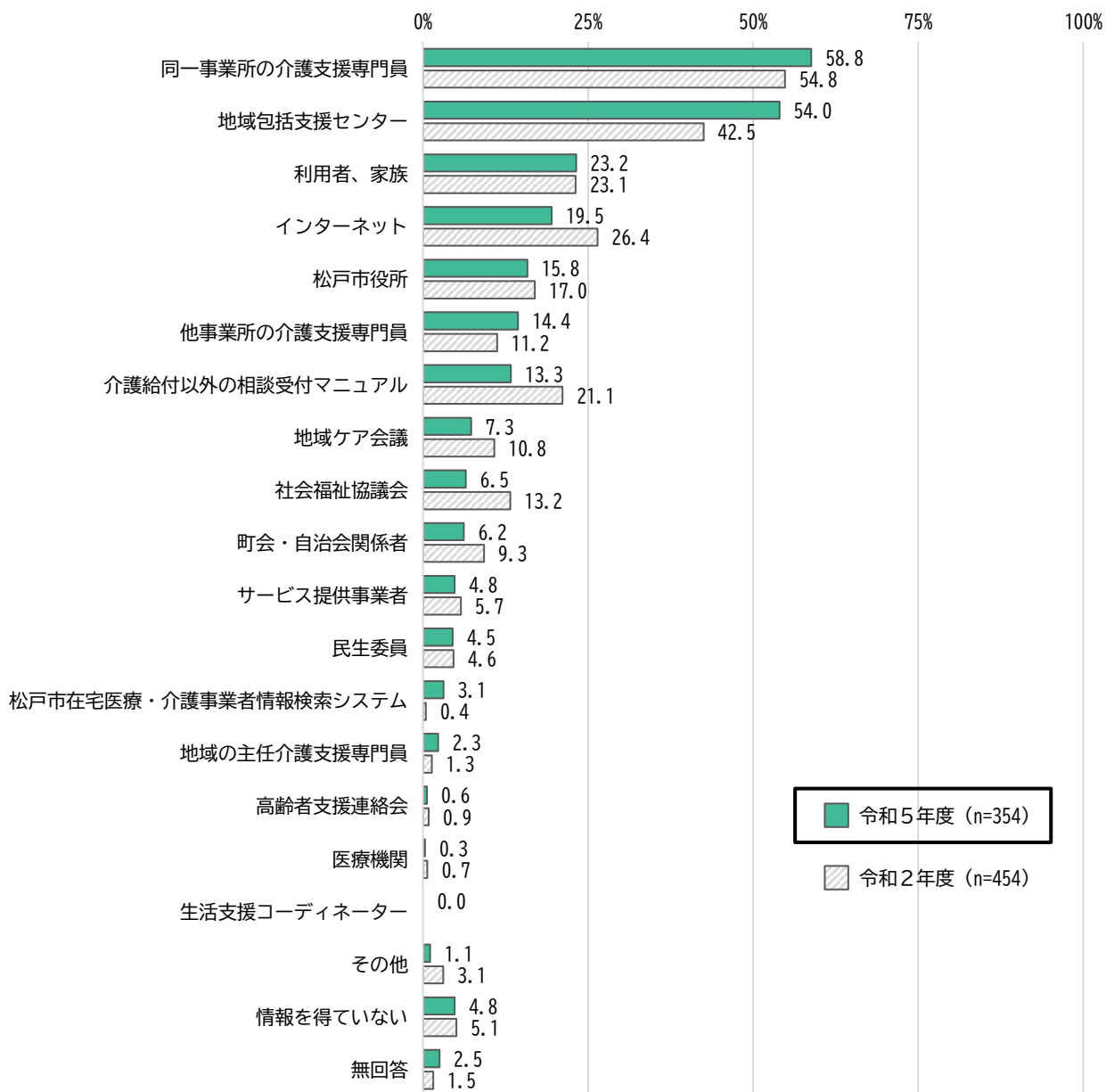
ケアプランに盛り込んでいるインフォーマルサービスについて、「家族からの支援」と回答した人の割合が 89.6%と最も高く、次いで「配食など民間のサービス」77.8%となっています。



第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

問 28 ケアプランを作成する上で、インフォーマルサービスや地域の互助活動についての情報をどこから得ていますか。（あてはまるもの3つまで○）

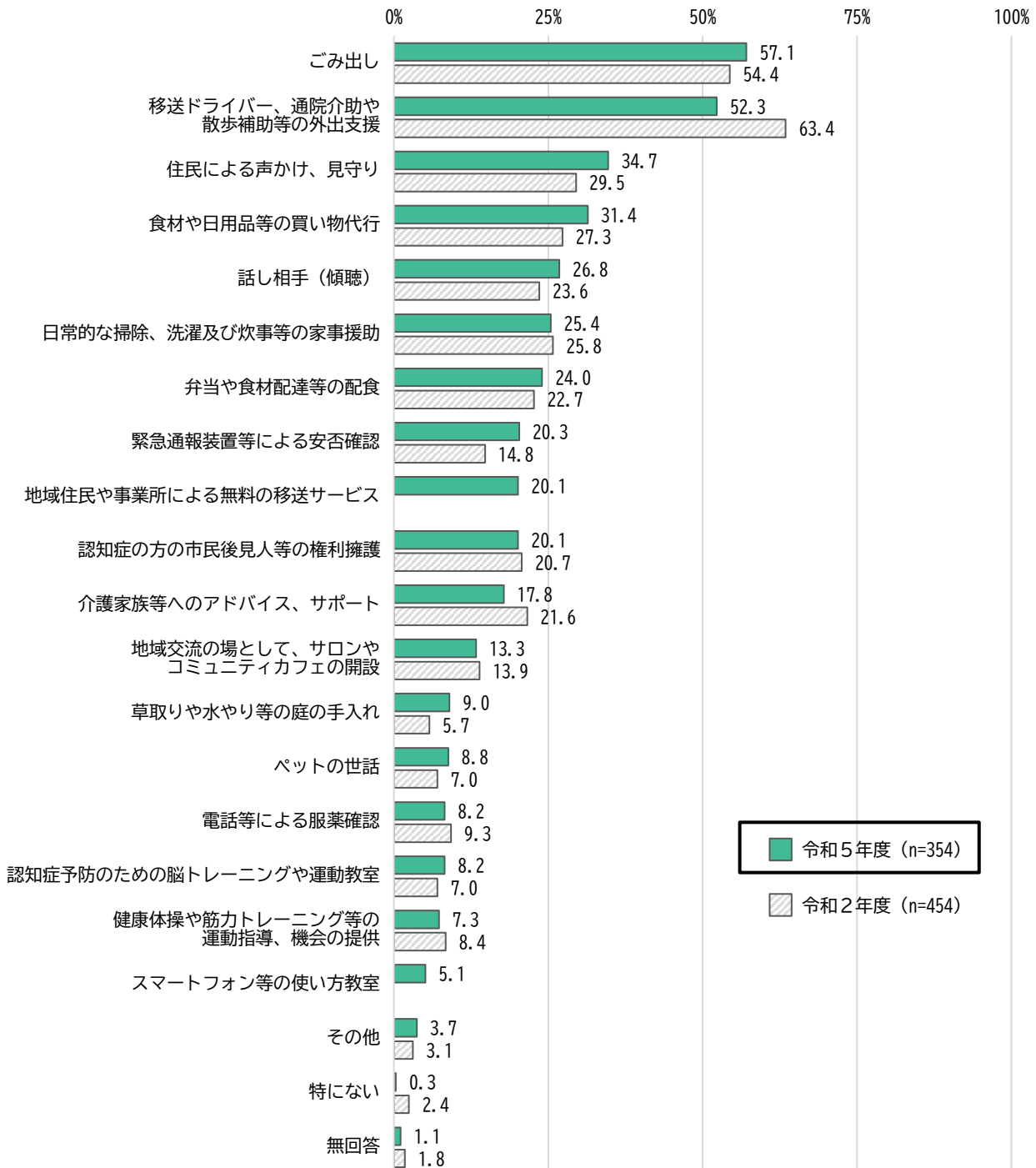
インフォーマルサービスや地域の互助活動の情報をどこから得ているかについて、「同一事業所の介護支援専門員」と回答した人の割合が 58.8%と前回調査同様最も高く、次いで「地域包括支援センター」が 54.0%となっています。



※「生活支援コーディネーター」は令和5年度調査より選択肢追加

問 29 今後、高齢になっても住み慣れた地域（在宅）での生活を続けるために、地域において特に必要と思う生活支援はどのようなことですか。（あてはまるもの4つまで○）

高齢になっても住み慣れた地域（在宅）での生活を続けるために、特に必要と思う生活支援について、「ごみ出し」と回答した人の割合が 57.1%と最も高く、次いで「移送ドライバー、通院介助や散歩補助等の外出支援」が前回調査より大幅に減少し 52.3%となっています。



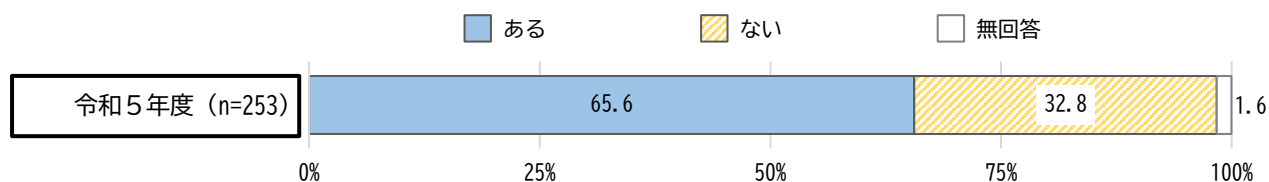
※「地域住民や事業所による無料の移送サービス」「スマートフォン等の使い方教室」は令和5年度調査より選択肢追加

第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

問30（①・②・③・④）問31（①・②）は居宅介護支援事業所の方のみ、お答えください。

問30 （看護）小規模多機能型居宅介護のサービスについて、利用者に紹介したことがありますか。（1つの番号に○）

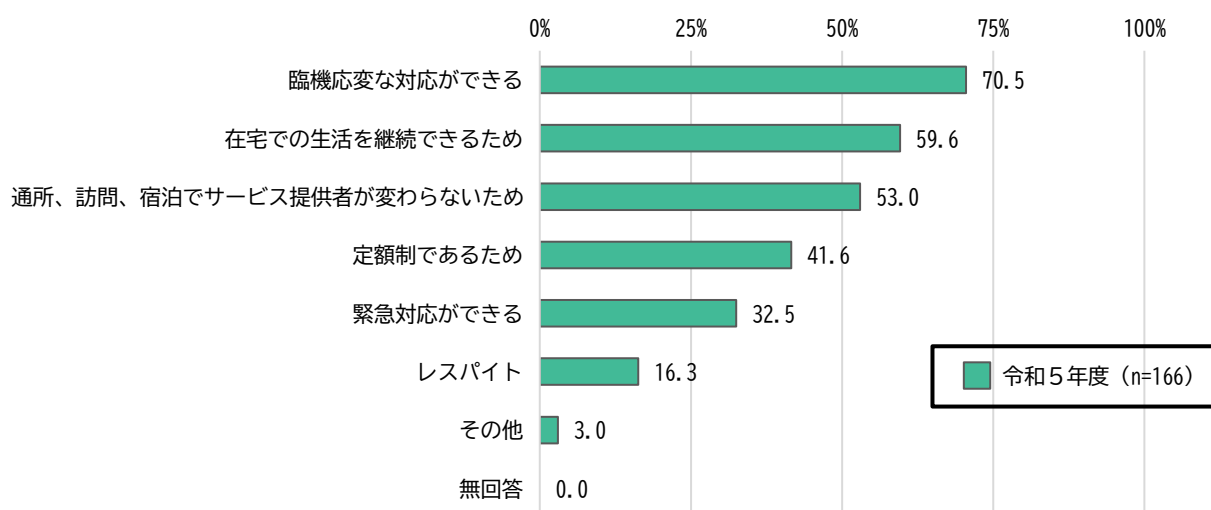
（看護）小規模多機能型居宅介護のサービスを利用者に紹介したことがあるかについて、「ある」と回答した人の割合が65.6%となっています。



利用者に紹介したことが「ある」と答えた方におうかがいします。

問30-① （看護）小規模多機能型居宅介護のサービスを利用者に紹介した理由は何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

（看護）小規模多機能型居宅介護のサービスを利用者に紹介した理由について、「臨機応変な対応ができる」と回答した人の割合が70.5%と最も高く、次いで「在宅での生活を継続できるため」が59.6%となっています。



問 30-② 紹介してよかった点がございましたらご記入ください。（自由記入）

- お金が定額制であり、利用者にとっては金銭的に安くなる。
- コロナ禍で、退院直後に行ってもらえる事業所がなかったので助かった。
- コロナ禍でも家族と過ごしながらか泊まりサービスが使えた。
- ご家族が自分の時間が持てるようになったと喜ばれたこと。
- ヘルパーさんが訪問時、デイ、泊まりと変わらないところ。
- 看多機に変更したことで、日々の変化に伴う対応が柔軟に行え、本人、家族にとってより良い在宅生活を送れるようになった。
- 看多機を利用して、看護師が緊急時にも対応してくれ癌末期等、助かった。
- 癌末期で目が離せない状況で主介護者就労中の見守りを行っていただいた。家族が対応困難な際の医療との連携を取ってくれた。
- 急な対応に応じてもらえた。
- 居宅サービスでは調整が難しかったサービスでも小多機で提供可能だったため、在宅生活が継続できた。
- 限度額におさまらないサービスを、在宅生活で何とかまかなえた。
- 限度額の問題があったが定額のため必要な支援を入れることが出来た。
- 自宅での生活を続けることができた。
- 通所できない時に訪問介護が対応してくれるため。
- 定額の中で必要なサービスの選択が出来る。
- 定額制のため金銭面での不安がなく必要なサービスを必要な質量で利用できる。
- 認知症でも在宅生活が続けられた。
- 臨機応変な対応、緊急的な対応が出来る為、利用者本人、家族から喜ばれる。

問 30-③ 紹介して悪かった点がございましたらご記入ください。（自由記入）

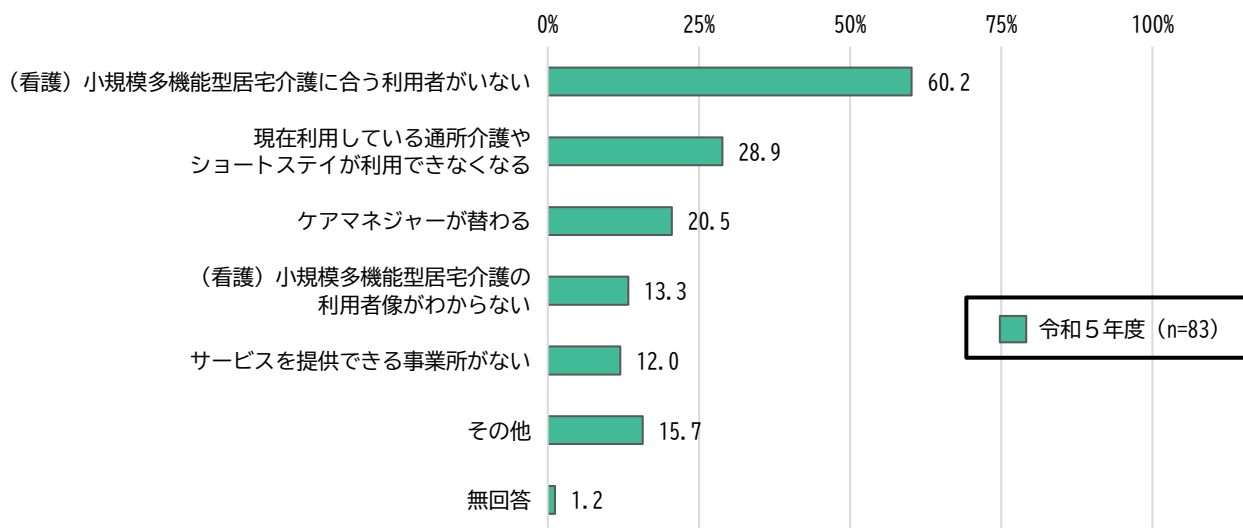
- ケアマネジャーが変わってしまい、家族が不安になってしまった。
- ケアマネが替わる事に不安を抱える家族が多かった。
- ケアマネが変更になることに対して家族が難色を示し、説得するのが大変だった。
- 1か所からのサービス提供であるため、相性が悪かった時に事業所の変更が困難。事業所の数が少ない、地域のしぼりがあり、小多機から別の小多機に変更することが容易でないと思う。
- そりの合わない利用者がいたり取り組みがニーズに合わなかった時、逃げ場がない
- 思っていた利用の仕方ができなかった。デイやヘルパー、宿泊の回数など。
- 職員が少ないとの理由で、イメージよりサービスの自由度が低かった。
- 臨機応変な対応ができると思っていたが介護度により決められている為、使いづらく感じた。
- 臨機応変な対応に備える事でサービス量に依存せず在宅で自立した暮らしを実現する計画も立てるが、報酬が包括式であるため利用側としては割高感がある。宿泊について負担限度額認定対象外である事も影響し、費用負担が結果大きくなる。また、サービスが包括的である性質上他のサービスの利用を行えないため、例えば小規模多機能の必要性はあるものの機能訓練の必要性もある場合、小規模多機能の事業所の能力によっては機能訓練の提供が十分に行う事が出来ない（通所において）。

第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

利用者に紹介したことが「ない」と答えた方におうかがいします。

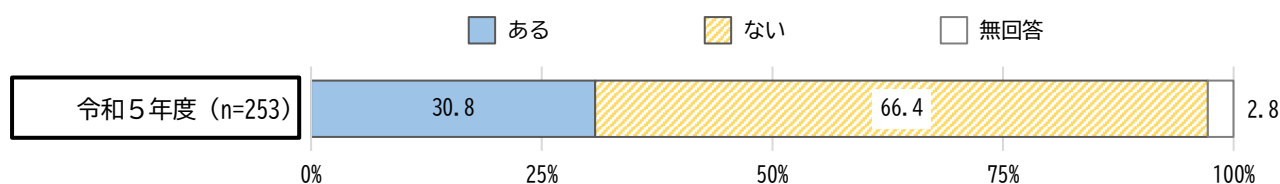
問 30-④ （看護）小規模多機能型居宅介護のサービスを利用者に紹介したことがない理由は何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

（看護）小規模多機能型居宅介護のサービスを利用者に紹介したことがない理由について、「（看護）小規模多機能型居宅介護に合う利用者がない」と回答した人の割合が 60.2%と最も高く、次いで「現在利用している通所介護やショートステイが利用できなくなる」が 28.9%となっています。



問 31 定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスについて、利用者に紹介したことがありますか。（1つの番号に○）

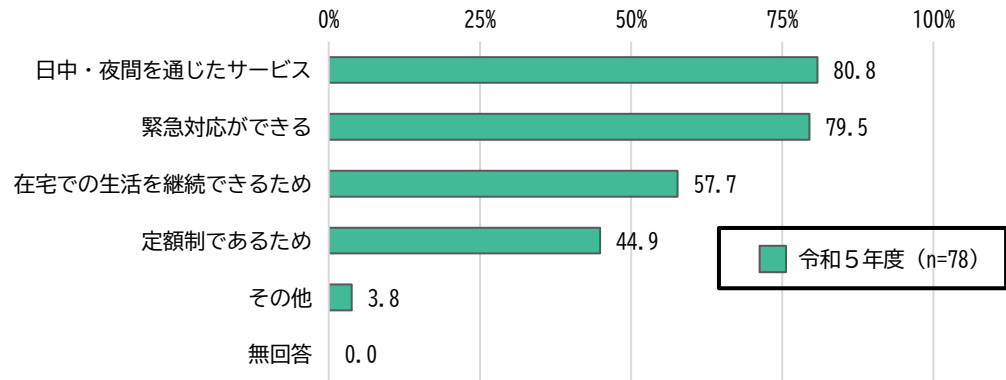
定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスを利用者に紹介したことがあるかについて、「ある」と回答した人の割合が 30.8%となっています。



利用者に紹介したことが「ある」と答えた方におうかがいします。

問 31-① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスを利用者に紹介した理由は何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

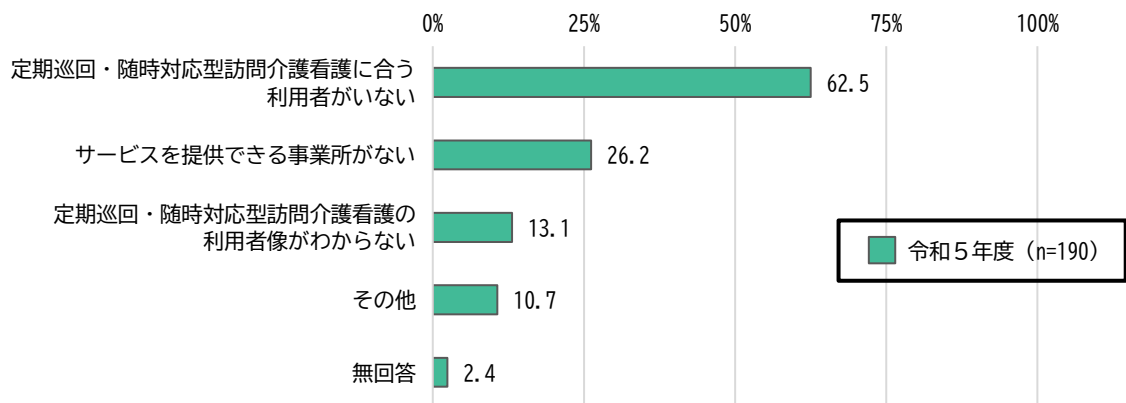
定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスを利用者に紹介した理由について、「日中・夜間を通じたサービス」と回答した人の割合が 80.8%と最も高く、次いで「緊急対応ができる」が 79.5%となっています。



利用者に紹介したことが「ない」と答えた方におうかがいします。

問 31-② 定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスを利用者に紹介したことがない理由は何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスを利用者に紹介したことがない理由について、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護に合う利用者がいない」と回答した人の割合が 62.5%と最も高く、次いで「サービスを提供できる事業所がない」が 26.2%となっています。



第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所の方のみ、お答えください

問32 令和5年4月1日現在であなたが担当している利用者は、どの機関から紹介されましたか。（数字を記入）

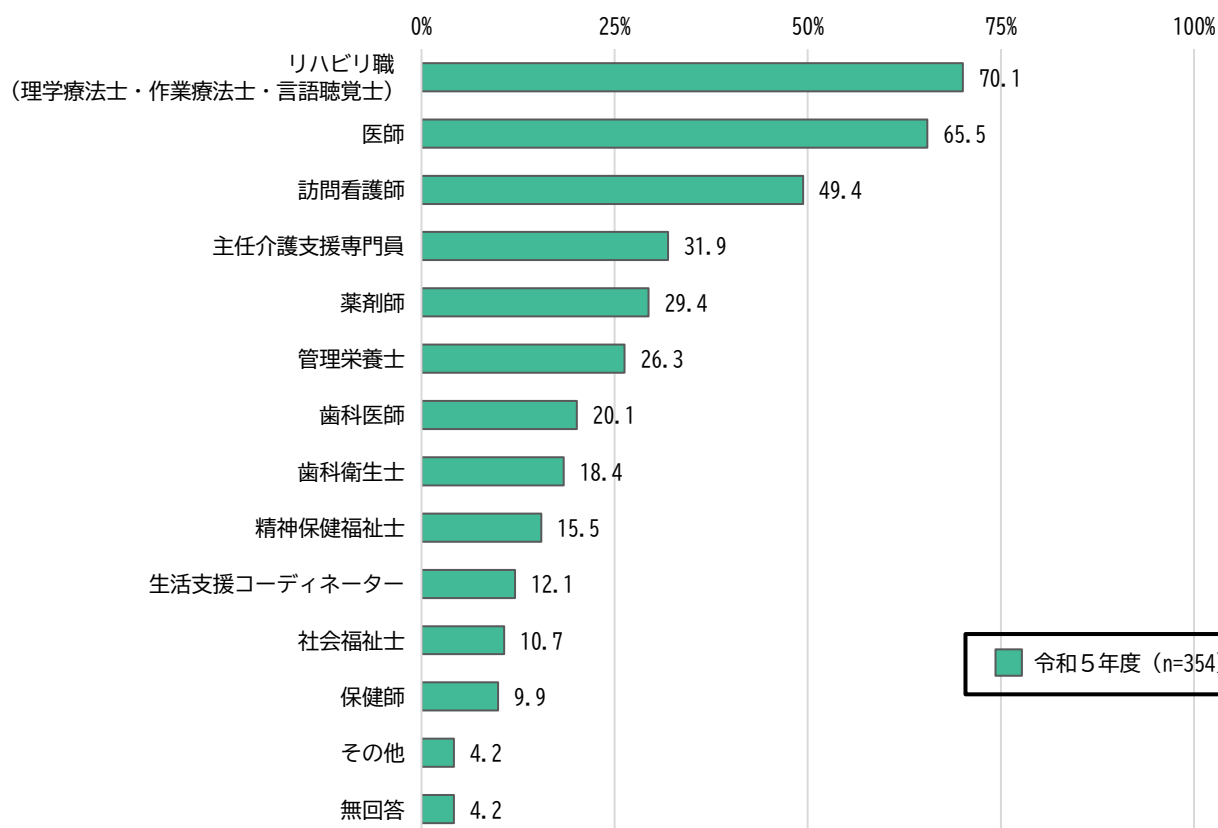
担当している利用者について、地域包括支援センターから紹介された平均人数は4.44人、居宅介護支援事業所は4.11人、病院は6.29人となっています。

(n=11)

	紹介された利用者がある	平均人数
① 地域包括支援センター	72.7%	4.44人
② 居宅介護支援事業所	81.8%	4.11人
③ 病院	63.6%	6.29人
④ その他・・・家族、知人		

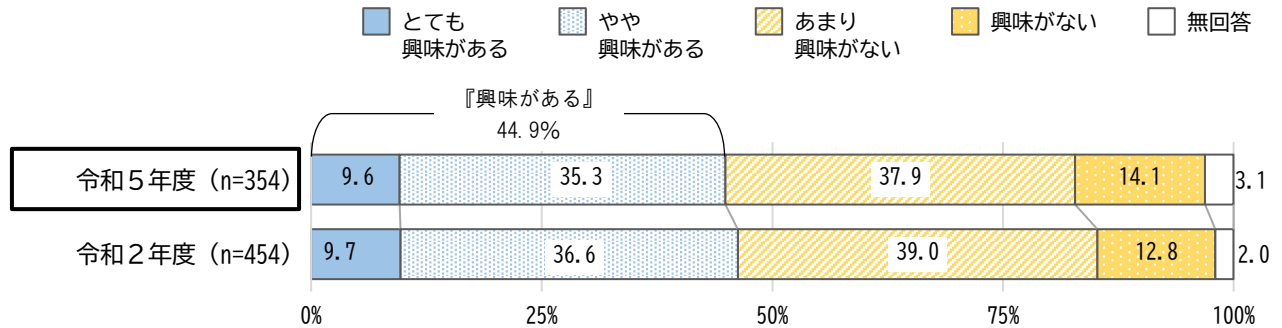
問33 ケアプラン作成時やアセスメント時にどのような人からのアドバイスが欲しいですか。（あてはまるものすべての番号に○）

ケアプラン作成時やアセスメント時にどのような人からのアドバイスが欲しいかについて、「リハビリ職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）」と回答した人の割合が70.1%と最も高く、次いで「医師」が65.5%となっています。



問 34 介護支援専門員地域同行型研修について、どのようにお考えですか。
（1つの番号に○）

介護支援専門員地域同行型研修について、『興味がある』と回答した人の割合が前回調査より微減し44.9%となっています。



※『興味がある』 = 「とても興味がある」 + 「やや興味がある」

■ サービス種別

(単位：%)

	回答者数	とても興味がある	やや興味がある	あまり興味がない	興味がない	『興味がある』
居宅介護支援事業所	253	9.5	35.2	38.3	14.2	44.7
地域包括支援センター	10	20.0	30.0	30.0	20.0	50.0
介護老人福祉施設	17	0.0	29.4	47.1	17.6	29.4
介護老人保健施設	6	0.0	33.3	16.7	50.0	33.3
特定施設入居者生活介護	20	20.0	25.0	45.0	10.0	45.0
認知症対応型共同生活介護	31	12.9	38.7	35.5	3.2	51.6
小規模多機能型居宅介護	11	0.0	45.5	27.3	27.3	45.5

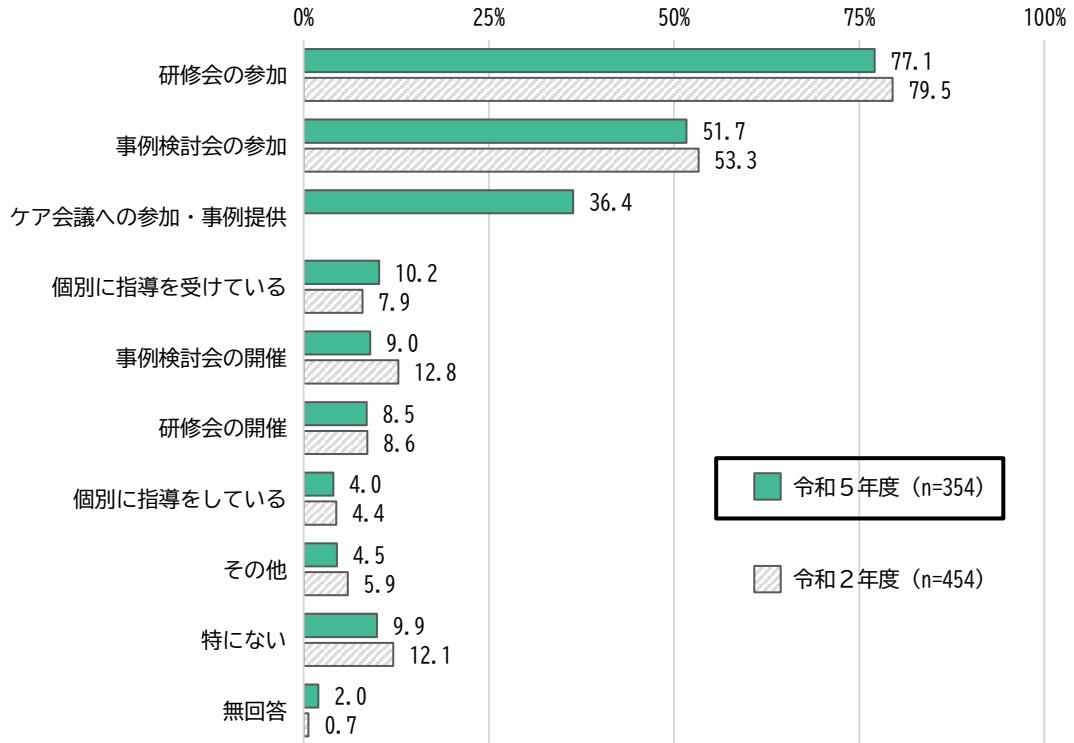
※『興味がある』 = 「とても興味がある」 + 「やや興味がある」

※「無回答」は掲載を省略

第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

問 35 介護支援専門員のスキルアップとして取り組んでいることはありますか。
（あてはまるもの3つまで○）

介護支援専門員のスキルアップとしての取り組んでいることについて、「研修会の参加」と回答した人の割合が 77.1%と前回調査同様最も高く、次いで「事例検討会の参加」が 51.7%となっています。



※「ケア会議への参加・事例提供」は令和5年度調査より選択肢追加

■ サービス種別

（単位：％）

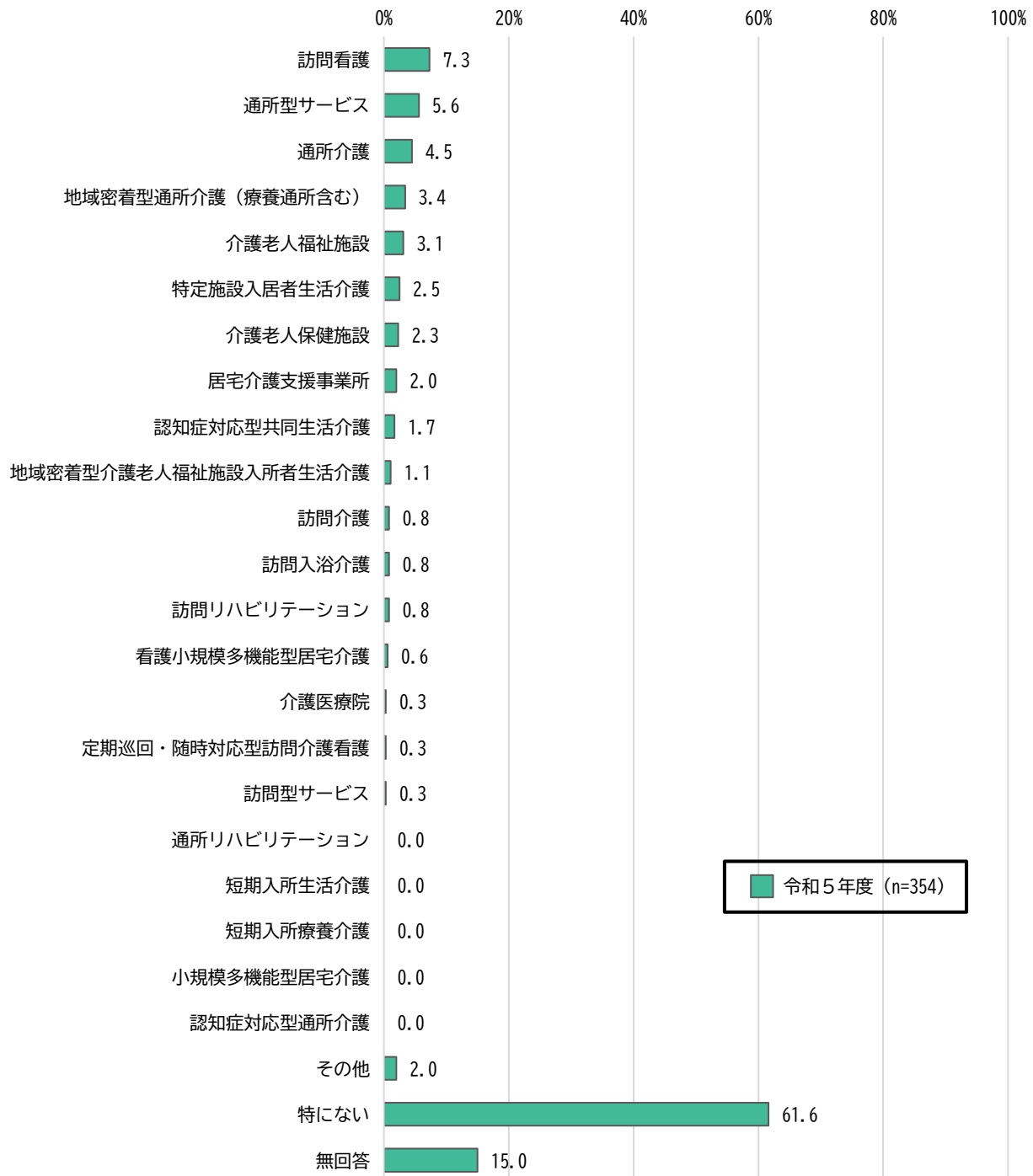
サービス種別	回答者数	研修会の参加	事例検討会の参加	ケア会議への参加・事例提供	個別に指導を受けている	事例検討会の開催	研修会の開催	個別に指導をしている
居宅介護支援事業所	253	85.4	62.5	44.7	11.1	10.7	8.7	3.6
地域包括支援センター	10	90.0	50.0	20.0	20.0	30.0	40.0	20.0
介護老人福祉施設	17	58.8	5.9	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	6	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特定施設入居者生活介護	20	25.0	10.0	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0
認知症対応型共同生活介護	31	64.5	29.0	19.4	9.7	0.0	9.7	6.5
小規模多機能型居宅介護	11	54.5	45.5	36.4	0.0	9.1	0.0	9.1

※「その他」「特にない」「無回答」は掲載を省略

5. 居宅サービス事業者との関わりについて

問 36 現在の松戸市における介護保険サービス利用者のニーズより、多すぎると思う介護保険サービスをお答えください。（あてはまるものすべての番号に○）

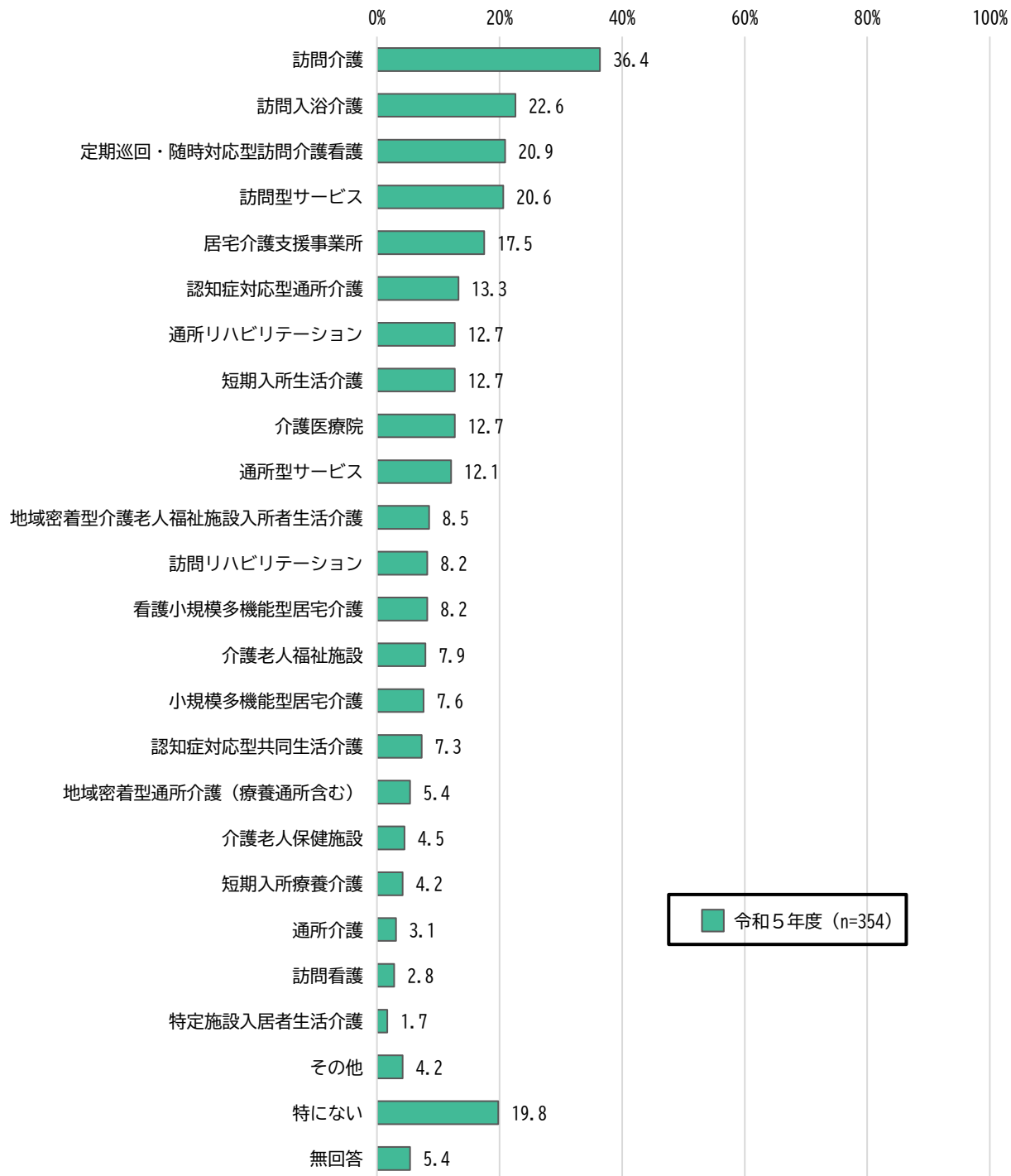
介護保険サービス利用者のニーズより、多すぎると思う介護保険サービスについて、「特にない」と回答した人の割合が 61.6%となっており、「訪問看護」が 7.3%、「通所型サービス」が 5.6%となっています。



第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

問37 現在の松戸市における介護保険サービスで利用者のニーズより、少ないと思う介護保険サービスをお答えください。（あてはまるものすべての番号に○）

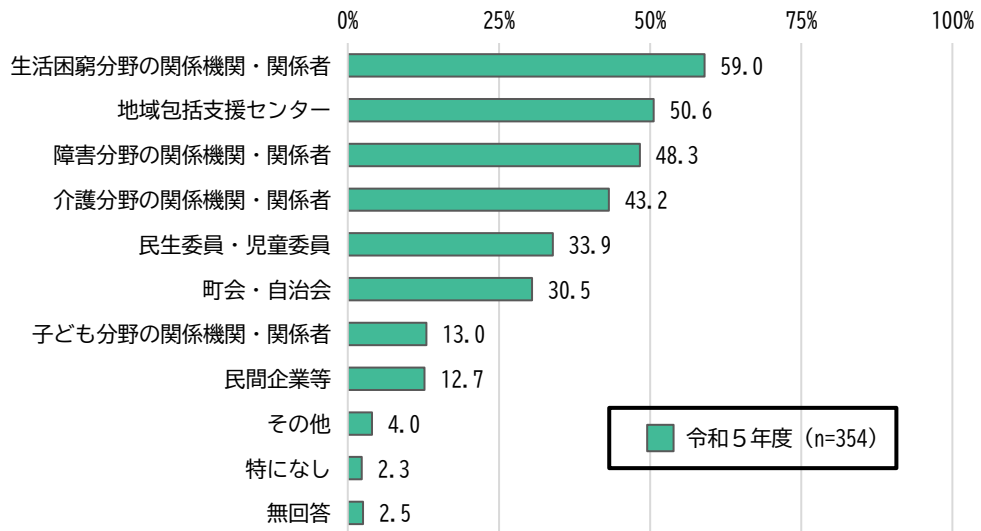
介護保険サービスで利用者のニーズより、少ないと思う介護保険サービスについて、「訪問介護事業所」と回答した人の割合が36.4%と最も高く、次いで「訪問入浴介護事業所」が22.6%となっています。



6. 地域連携について

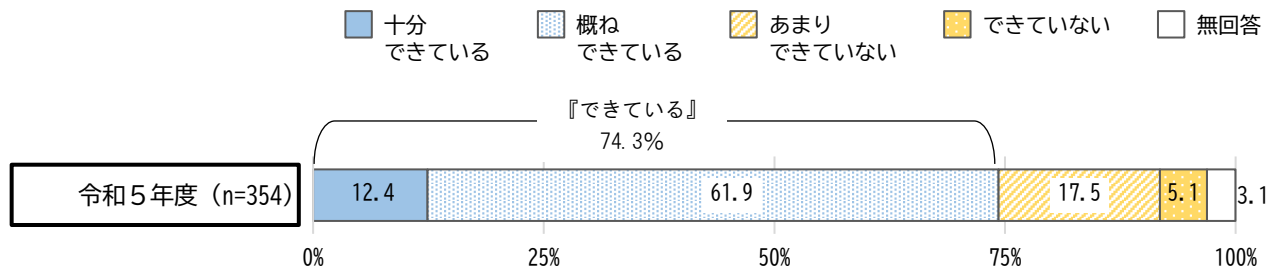
問 38 今後、連携がより必要と考えるのは、どのような関係機関・関係者ですか。
（あてはまるものすべての番号に○）

今後、連携がより必要と考えられる関係機関・関係者について、「生活困窮分野の関係機関・関係者」と回答した人の割合が 59.0%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が 50.6%となっています。



問 39 地域包括支援センターとの連携は図れていますか。（1つの番号に○）

地域包括支援センターとの連携について、『できている』と回答した人の割合が 74.3%となっています。



※『できている』 = 「十分できている」 + 「概ねできている」

サービス種別

(単位：%)

サービス種別	回答者数	十分できている	概ねできている	あまりできていない	できていない	『できている』
居宅介護支援事業所	253	13.0	70.4	13.4	1.2	83.4
介護老人福祉施設	17	5.9	52.9	17.6	17.6	58.8
介護老人保健施設	6	16.7	33.3	33.3	16.7	50.0
特定施設入居者生活介護	20	0.0	15.0	30.0	50.0	15.0
認知症対応型共同生活介護	31	3.2	48.4	38.7	3.2	51.6
小規模多機能型居宅介護	11	36.4	54.5	9.1	0.0	90.9

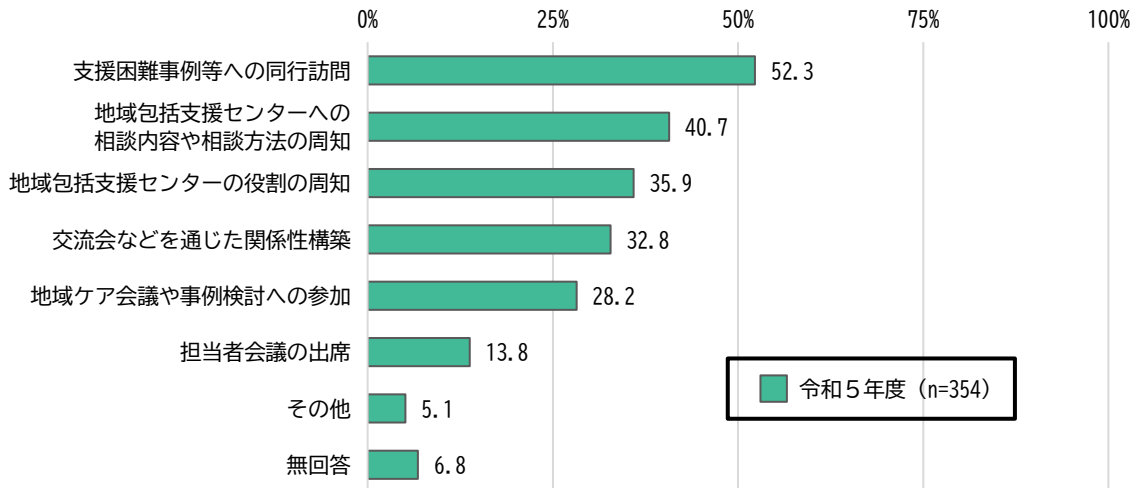
※『できている』 = 「十分できている」 + 「概ねできている」

※「無回答」は掲載を省略

第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

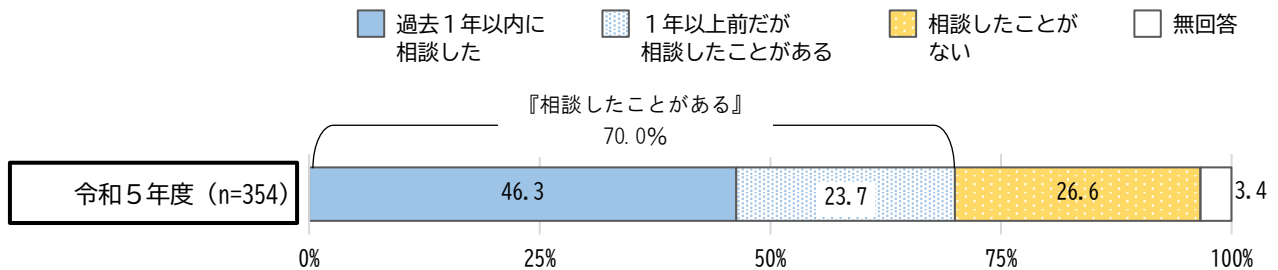
問 40 地域包括支援センターとのさらなる連携を図るために、必要と感じていることは何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

地域包括支援センターとのさらなる連携を図るために、必要と感じていることについて、「支援困難事例等への同行訪問」と回答した人の割合が 52.3%と最も高く、次いで「地域包括支援センターへの相談内容や相談方法の周知」が 40.7%となっています。



問 41 地域包括支援センターに困難対応事例や虐待（疑い含む）事例等について相談したことがありますか。（1つの番号に○）

地域包括支援センターに困難対応事例や虐待事例等に相談したことがあるかについて、『相談したことがある』と回答した人の割合が 70.0%となっています。



※『相談したことがある』＝「過去1年以内に相談した」＋「1年以上前だが相談したことがある」

サービス種別

（単位：％）

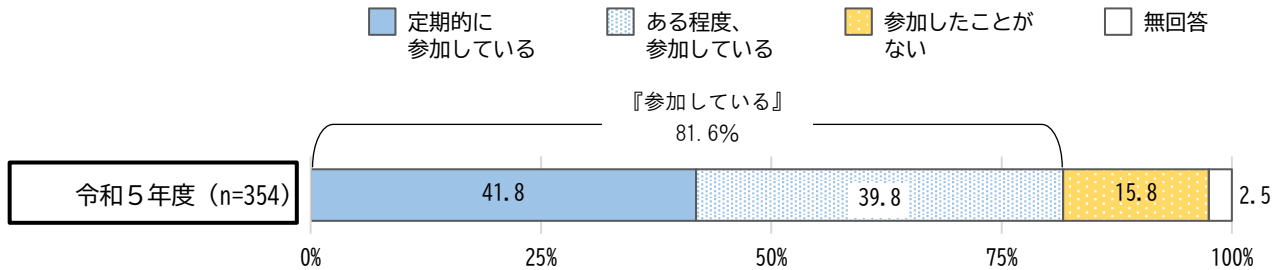
サービス種別	回答者数	過去1年以内に相談した	1年以上前だが相談したことがある	相談したことがない	『相談したことがある』
居宅介護支援事業所	253	55.3	27.7	15.4	83.0
介護老人福祉施設	17	11.8	11.8	58.8	23.6
介護老人保健施設	6	16.7	33.3	50.0	50.0
特定施設入居者生活介護	20	0.0	10.0	80.0	10.0
認知症対応型共同生活介護	31	16.1	22.6	58.1	38.7
小規模多機能型居宅介護	11	72.7	0.0	27.3	72.7

※『相談したことがある』＝「過去1年以内に相談した」＋「1年以上前だが相談したことがある」

※「無回答」は掲載を省略

問 42 貴事業所・施設では地域包括支援センターが主催する研修や会議に参加していますか。（1つの番号に○）

地域包括支援センターが主催する研修や会議の参加について、『参加している』と回答した人の割合が81.6%となっています。



※ 『参加している』 = 「定期的に参加している」 + 「ある程度、参加している」

■ サービス種別

(単位：%)

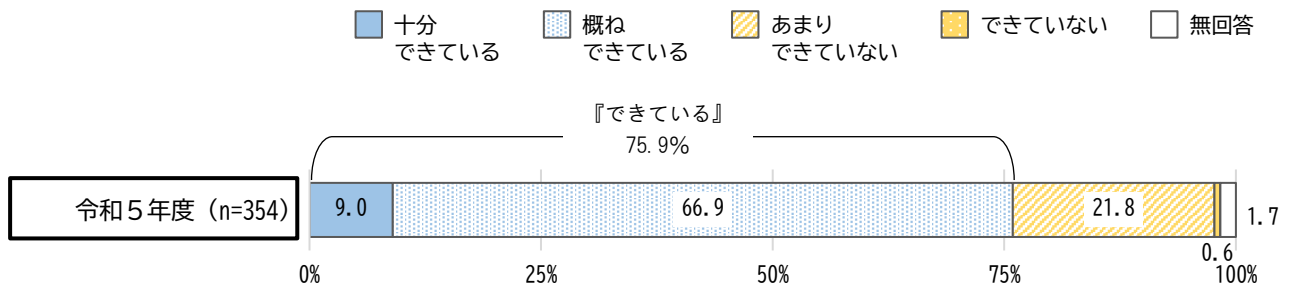
サービス種別	回答者数	定期的に参加している	ある程度、参加している	参加したことがない	『参加している』
居宅介護支援事業所	253	51.0	44.7	2.8	95.7
介護老人福祉施設	17	17.6	35.3	47.1	52.9
介護老人保健施設	6	0.0	0.0	100.0	0.0
特定施設入居者生活介護	20	5.0	5.0	80.0	10.0
認知症対応型共同生活介護	31	12.9	38.7	45.2	51.6
小規模多機能型居宅介護	11	27.3	54.5	18.2	81.8

※ 『参加している』 = 「定期的に参加している」 + 「ある程度、参加している」

※ 「無回答」は掲載を省略

問 43 医療機関・医療関係者との連携は図れていますか。（1つの番号に○）

医療機関・医療関係者との連携が図れているかについて、『できている』と回答した人の割合が75.9%となっています。



※ 『できている』 = 「十分にできている」 + 「概ねできている」

第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

■ サービス種別

（単位：％）

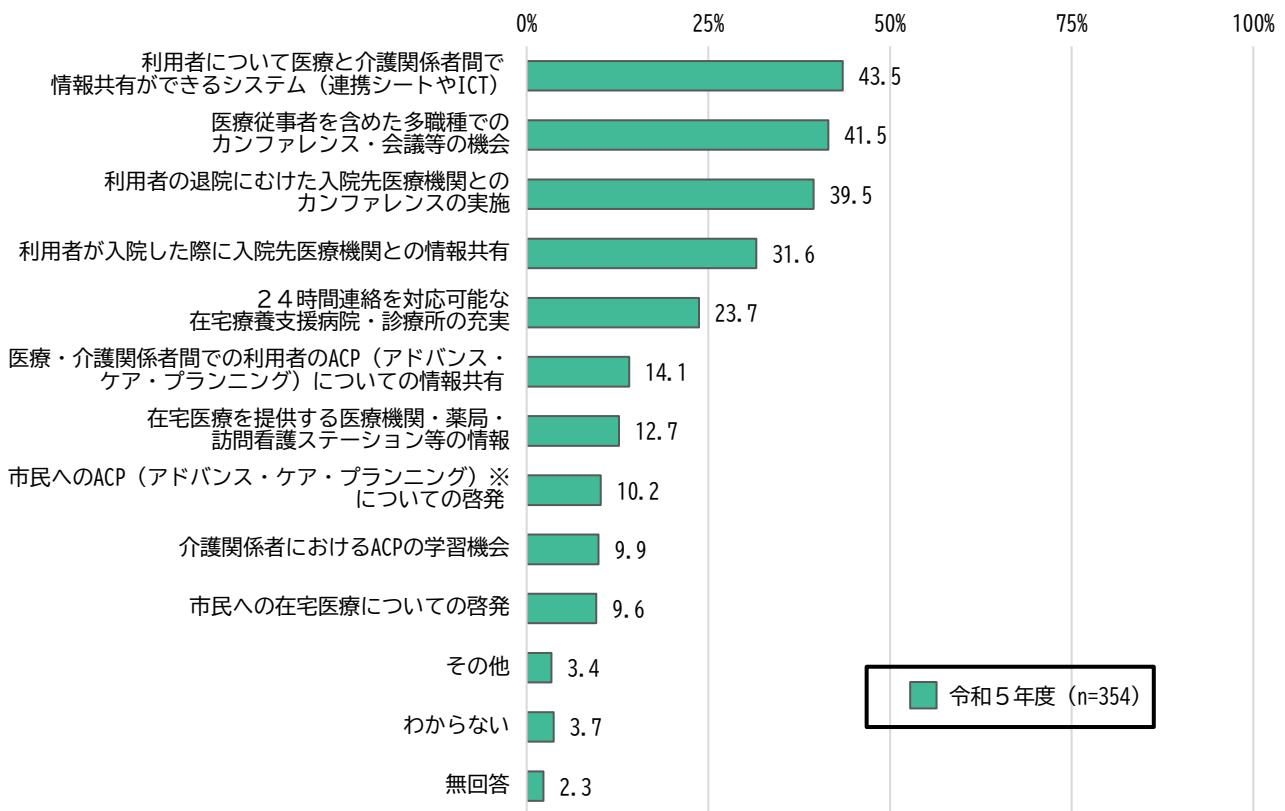
	回答者数	十分できている	概ねできている	あまりできていない	できていない	『わからない』
居宅介護支援事業所	253	4.7	68.0	24.5	0.8	72.7
地域包括支援センター	10	20.0	40.0	40.0	0.0	60.0
介護老人福祉施設	17	11.8	76.5	11.8	0.0	88.3
介護老人保健施設	6	33.3	66.7	0.0	0.0	100.0
特定施設入居者生活介護	20	30.0	70.0	0.0	0.0	100.0
認知症対応型共同生活介護	31	22.6	58.1	16.1	0.0	80.7
小規模多機能型居宅介護	11	9.1	81.8	9.1	0.0	90.9

※『できていない』＝「十分できていない」＋「概ねできていない」

※「無回答」は掲載を省略

問 44 医療機関・医療関係者とさらなる連携を図るために、必要と感じていることは何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

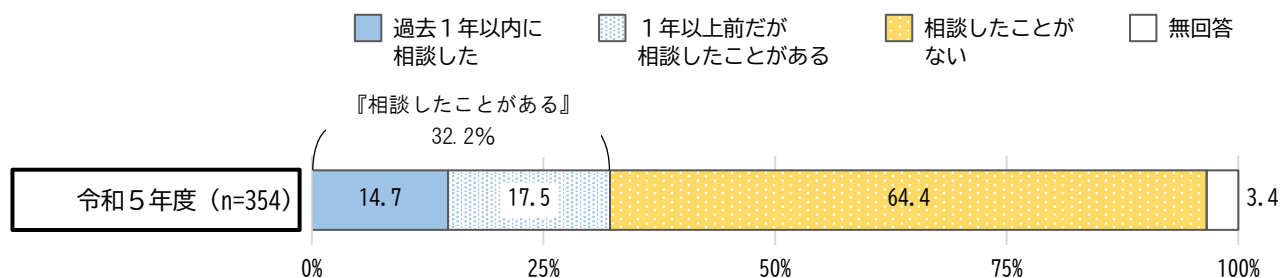
医療機関・医療関係者とさらなる連携を図るために必要と感じていることについて、「利用者について医療と介護関係者間で情報共有ができるシステム（連携シートやICT）」と回答した人の割合が43.5%と最も高く、次いで「医療従事者を含めた多職種でのカンファレンス・会議等の機会」が41.5%となっています。



※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）・・・人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセスのこと

問 45 松戸市在宅医療・介護連携支援センターに相談をしたことがありますか。
（1つの番号に○）

松戸市在宅医療・介護連携支援センターに相談したことがあるかについて、『相談したことがある』と回答した人の割合が32.2%となっています。



※『相談したことがある』＝「過去1年以内に相談した」＋「1年以上前だが相談したことがある」

■ サービス種別

（単位：％）

サービス種別	回答者数	過去1年以内に相談した	1年以上前だが相談したことがある	相談したことがない	『相談したことがある』
居宅介護支援事業所	253	17.0	21.3	58.9	38.3
地域包括支援センター	10	30.0	20.0	50.0	50.0
介護老人福祉施設	17	5.9	5.9	82.4	11.8
介護老人保健施設	6	0.0	0.0	100.0	0.0
特定施設入居者生活介護	20	0.0	5.0	85.0	5.0
認知症対応型共同生活介護	31	6.5	3.2	83.9	9.7
小規模多機能型居宅介護	11	18.2	27.3	54.5	45.5

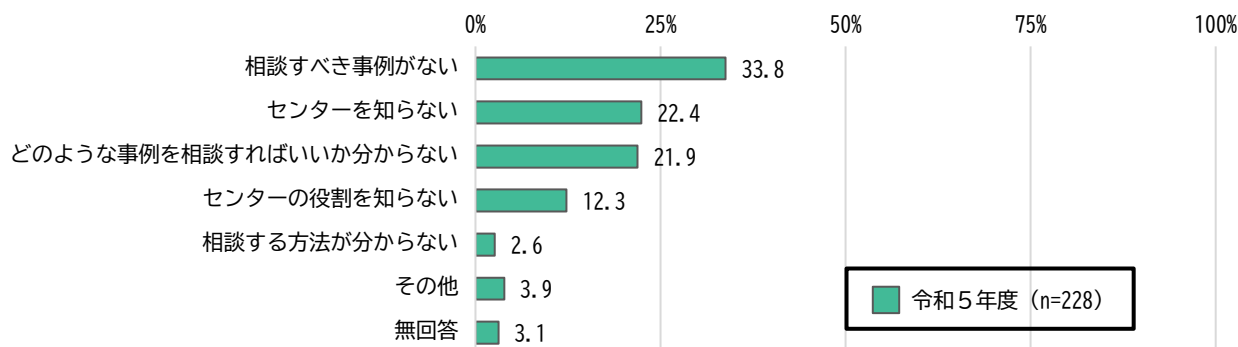
※『相談したことがある』＝「過去1年以内に相談した」＋「1年以上前だが相談したことがある」

※「無回答」は掲載を省略

松戸市在宅医療・介護連携支援センターに「相談したことがない」と答えた方におうかがいします。

問 45-① その理由は何ですか。（1つの番号に○）

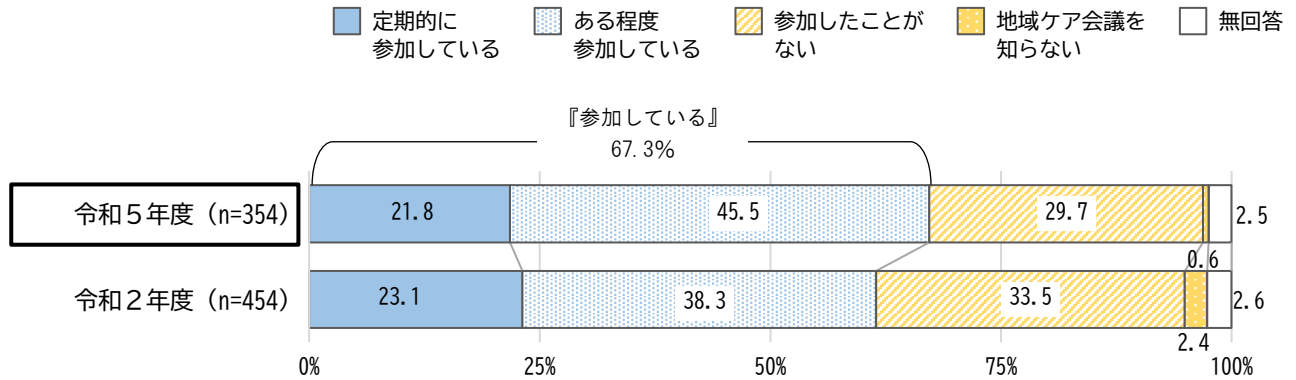
松戸市在宅医療・介護連携支援センターに相談したことがない理由について、「相談すべき事例がない」と回答した割合が33.8%と最も高くなっており、次いで「センターを知らない」が22.4%となっています。



第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

問46 地域ケア会議にどのくらい参加していますか。（1つの番号に○）

地域ケア会議の参加について、『参加している』と回答した人の割合が前回調査より増加し67.3%となっています。



※『参加している』＝「定期的に参加している」＋「ある程度、参加している」

■ サービス種別

（単位：％）

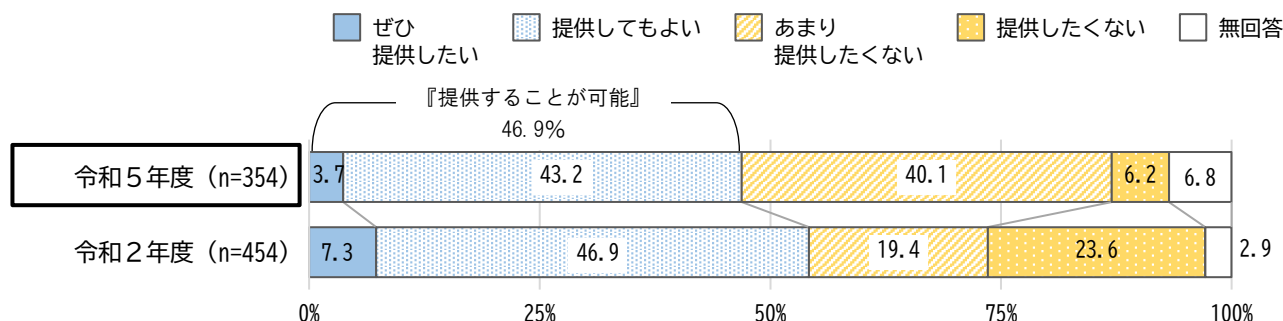
サービス種別	回答者数	定期的に参加している	ある程度、参加している	参加したことがない	『参加している』
居宅介護支援事業所	253	25.3	55.7	16.6	81.0
介護老人福祉施設	17	0.0	23.5	76.5	23.5
介護老人保健施設	6	0.0	0.0	83.3	0.0
特定施設入居者生活介護	20	5.0	0.0	85.0	5.0
認知症対応型共同生活介護	31	16.1	25.8	51.6	41.9
小規模多機能型居宅介護	11	27.3	36.4	36.4	63.7

※『参加している』＝「定期的に参加している」＋「ある程度、参加している」

※「無回答」は掲載を省略

問 47 地域ケア会議（地域個別ケア会議・自立支援型個別ケア会議）では困難事例や自立支援に資する事例の検討を行っています。これらの会議に事例提供することについてどう考えますか。（1つの番号に○）

地域ケア会議に事例提供することについて、『提供することが可能』と回答した人の割合が前回調査より減少し 46.9%となっています。



※『提供することが可能』＝「ぜひ提供したい」＋「提供してもよい」

■ サービス種別

（単位：％）

	回答者数	ぜひ提供したい	提供してもよい	あまり提供したくない	提供したくない	『提供することが可能』
居宅介護支援事業所	253	3.6	44.7	40.3	6.3	48.3
介護老人福祉施設	17	0.0	41.2	47.1	5.9	41.2
介護老人保健施設	6	16.7	16.7	33.3	16.7	33.4
特定施設入居者生活介護	20	0.0	25.0	60.0	5.0	25.0
認知症対応型共同生活介護	31	3.2	45.2	41.9	3.2	48.4
小規模多機能型居宅介護	11	0.0	63.6	9.1	18.2	63.6

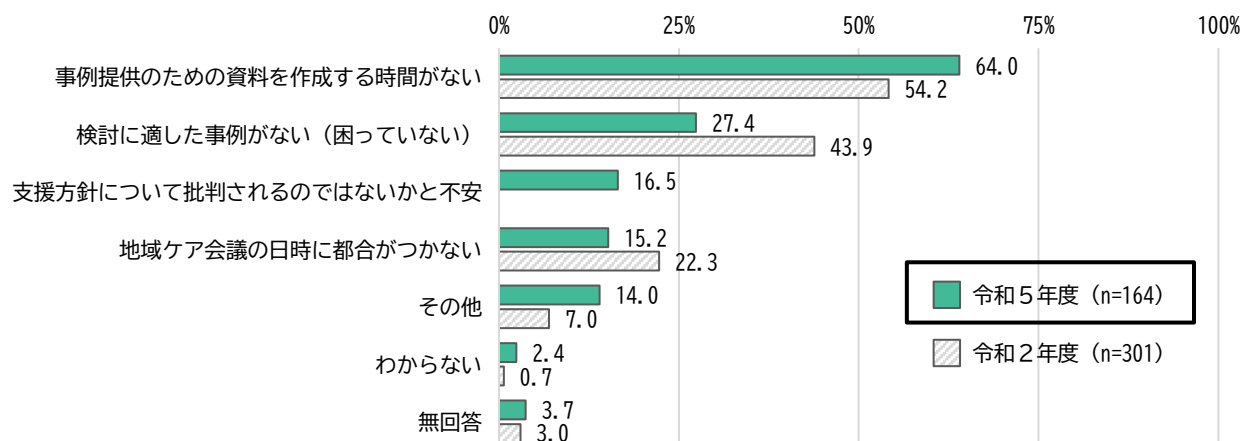
※『提供することが可能』＝「ぜひ提供したい」＋「提供してもよい」

※「無回答」は掲載を省略

会議に事例を「提供したくない」と答えた方におうかがいします。

問 47-① その理由は何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

地域ケア会議に事例を提供したくない理由について、「事例提供のための資料を作成する時間がない」と回答した人の割合が 64.0%と最も高くなっており、次いで「検討に適した事例がない（困っていない）」が 27.4%となっています。



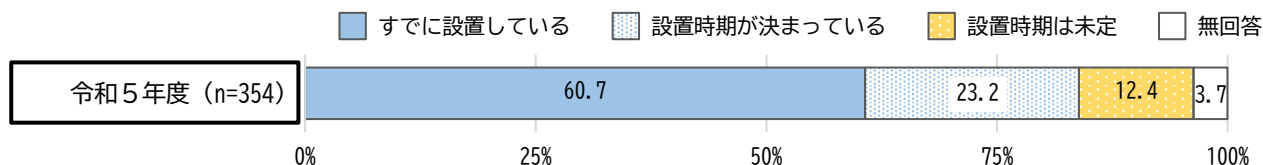
※「支援方針について批判されるのではないかと不安」は令和5年度調査より選択肢追加

第4章 介護事業所従事者調査（介護支援専門員）

問 48 令和3年度介護報酬改定・基準省令改正によって、すべての介護事業所における高齢者虐待防止のための体制整備等の取り組みが義務化されています。（3年間の経過措置）貴事業所における高齢者虐待防止の取り組みの状況はいかがですか。

① 虐待の防止のための対策を検討する委員会の設置

虐待の防止のための対策を検討する委員会の設置について、「すでに設置している」と回答した人の割合が60.7%となっています。



■ サービス種別

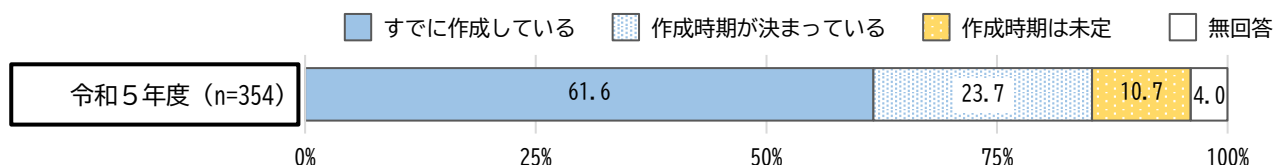
(単位: %)

サービス種別	回答者数	すでに設置している	設置時期が決まっている	設置時期は未定
居宅介護支援事業所	253	53.8	29.6	13.0
介護老人福祉施設	17	88.2	5.9	5.9
介護老人保健施設	6	100.0	0.0	0.0
特定施設入居者生活介護	20	90.0	0.0	5.0
認知症対応型共同生活介護	31	80.6	3.2	12.9
小規模多機能型居宅介護	11	54.5	36.4	9.1

※「無回答」は掲載を省略

② 虐待の防止のための指針の作成

虐待の防止のための指針の作成について、「すでに作成している」と回答した人の割合が61.6%となっています。



■ サービス種別

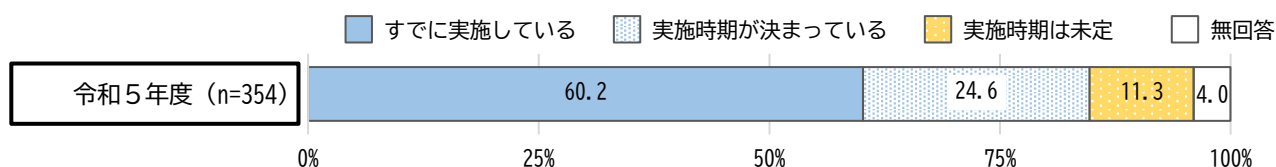
(単位: %)

サービス種別	回答者数	すでに作成している	作成時期が決まっている	作成時期は未定
居宅介護支援事業所	253	55.7	29.2	11.5
介護老人福祉施設	17	88.2	5.9	5.9
介護老人保健施設	6	83.3	16.7	0.0
特定施設入居者生活介護	20	85.0	0.0	5.0
認知症対応型共同生活介護	31	77.4	6.5	12.9
小規模多機能型居宅介護	11	54.5	36.4	9.1

※「無回答」は掲載を省略

③ 虐待の防止のための従業者に対する研修

虐待の防止のための従業者に対する研修について、「すでに実施している」と回答した人の割合が60.2%となっています。



■ サービス種別

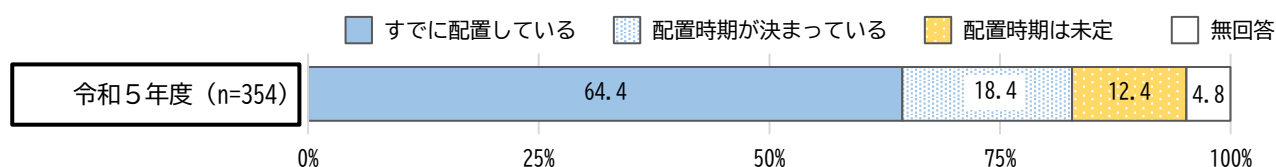
(単位：%)

サービス種別	回答者数	すでに実施している	実施時期が決まっている	実施時期は未定
居宅介護支援事業所	253	53.8	30.0	12.3
介護老人福祉施設	17	70.6	17.6	11.8
介護老人保健施設	6	100.0	0.0	0.0
特定施設入居者生活介護	20	85.0	5.0	5.0
認知症対応型共同生活介護	31	77.4	9.7	9.7
小規模多機能型居宅介護	11	72.7	18.2	9.1

※「無回答」は掲載を省略

④ 虐待の防止に関する措置を適切に実施するための担当者

虐待の防止に関する措置を適切に実施するための担当者について、「すでに配置している」と回答した人の割合が64.4%となっています。



■ サービス種別

(単位：%)

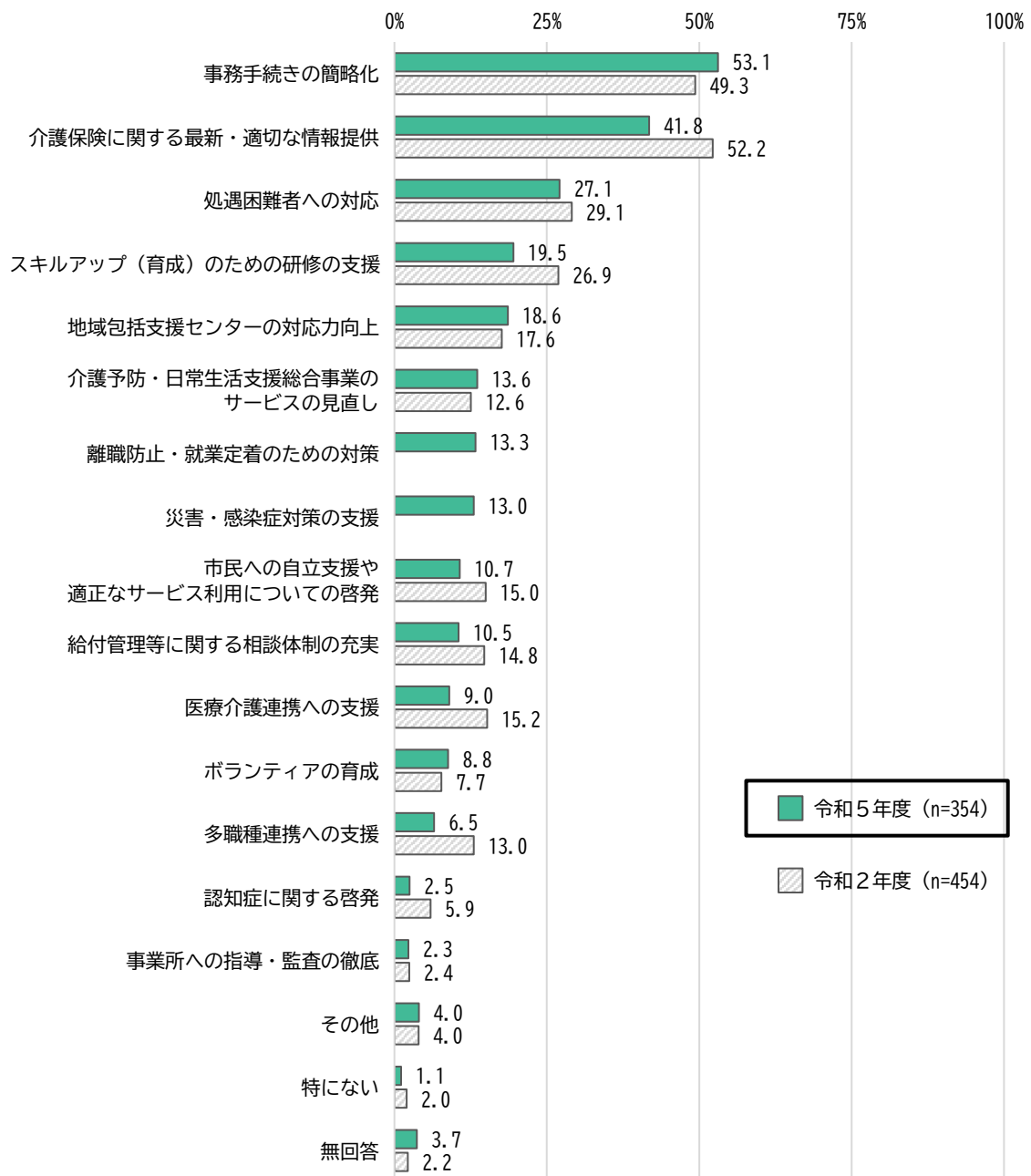
サービス種別	回答者数	すでに配置している	配置時期が決まっている	配置時期は未定
居宅介護支援事業所	253	59.3	22.9	12.6
介護老人福祉施設	17	70.6	17.6	11.8
介護老人保健施設	6	83.3	16.7	0.0
特定施設入居者生活介護	20	80.0	5.0	10.0
認知症対応型共同生活介護	31	83.9	3.2	9.7
小規模多機能型居宅介護	11	81.8	0.0	18.2

※「無回答」は掲載を省略

7. 市への要望

問 49 施設・事業所の介護支援専門員として、松戸市に対して望むことはどのようなことですか。（あてはまるもの3つまで○）

松戸市に対して望むことについて、「事務手続きの簡略化」と回答した人の割合が前回調査より増加し 53.1%と最も高く、次いで「介護保険に関する最新・適切な情報提供」が前回調査より大幅に減少し、41.8%となっています。

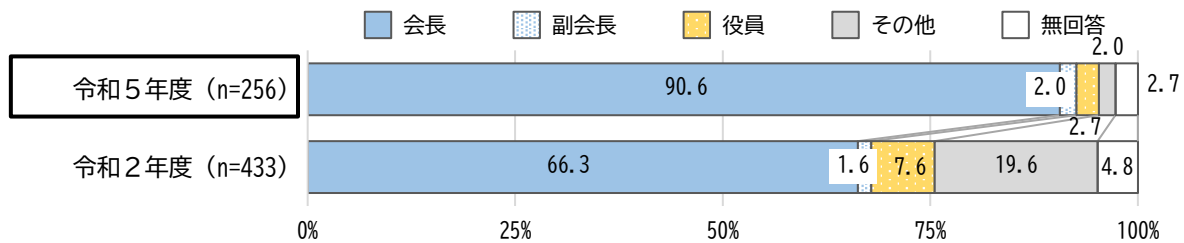


※「離職防止・就業定着のための対策」「災害・感染症対策の支援」は令和5年度調査より選択肢追加

第 5 章 町会・自治会調査

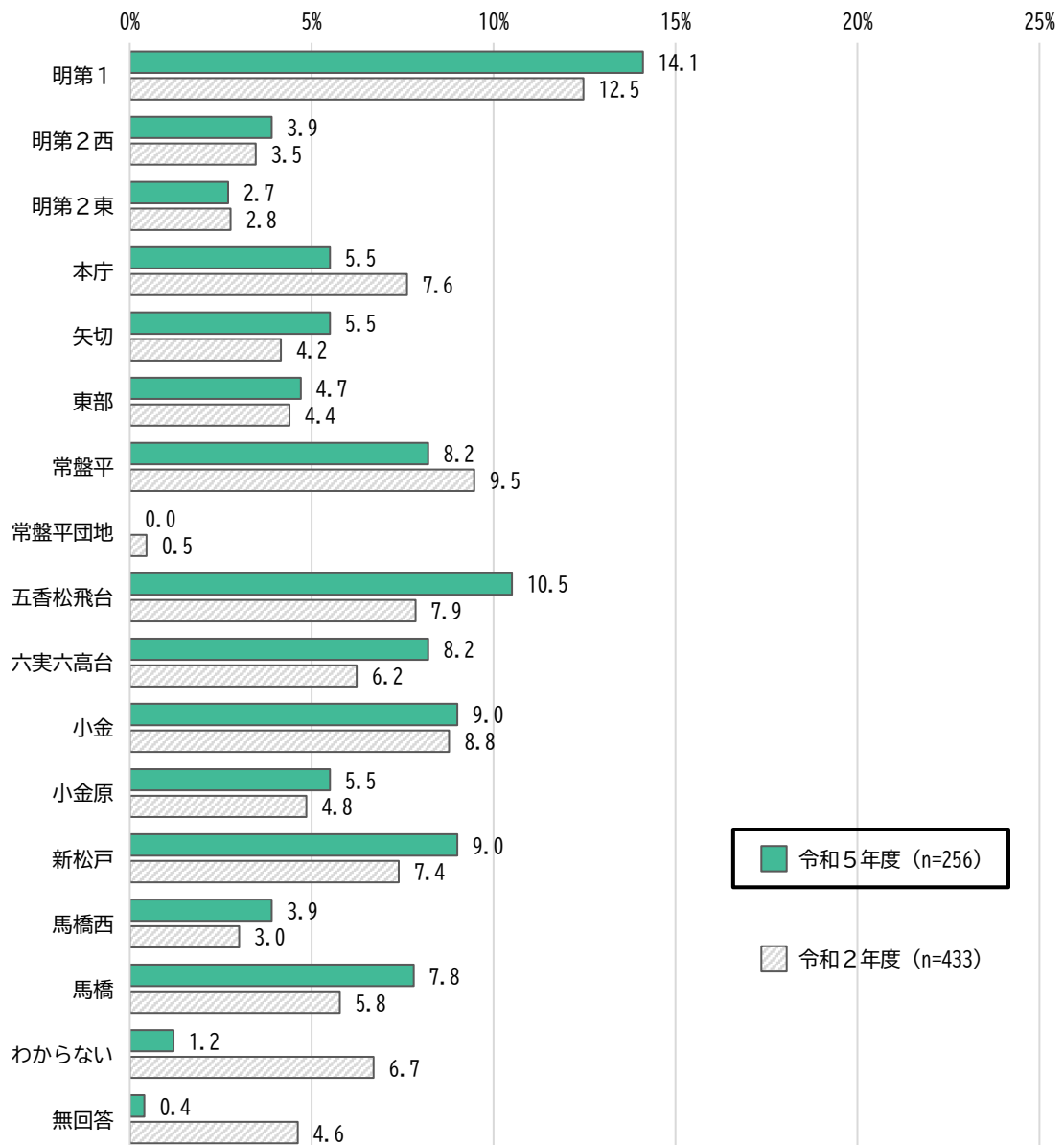
1. 回答者の基本属性

問1 この調査票を記入される方の町会等内における役職をお答えください。
(1つの番号に○)



※令和2年度調査では調査対象にマンション管理組合長等が含まれています。

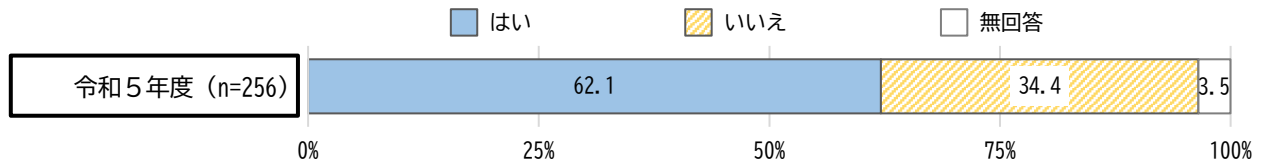
問2 町会等のある日常生活圏域はどこですか。(1つの番号に○)



2. 地域づくり等について

問3 町会等が主体となって行う活動について、運営側・担い手に現役世代（20～64歳）が参加していますか。（1つの番号に○）

町会等が主体となって行う活動について、運営側・担い手に現役世代が参加していると回答した人の割合は62.1%と6割を超えています。



運営側・担い手に現役世代が参加していると答えた方におうかがいします。

問3-① 現役世代が参加するようになった経緯を教えてください。（自由記入）

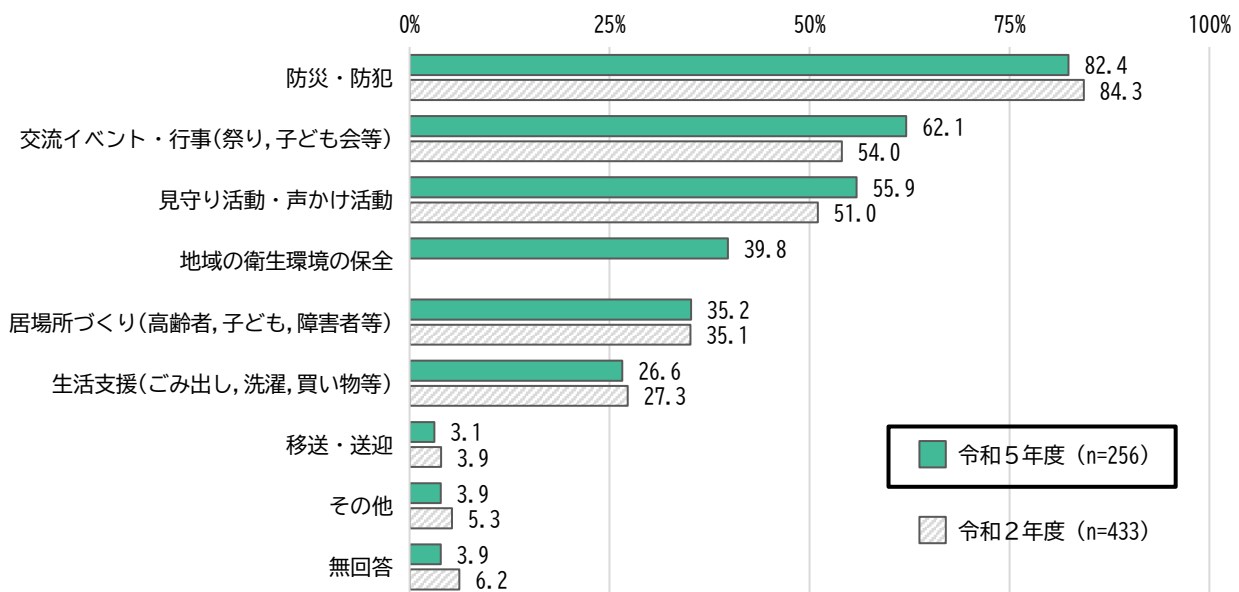
現役世代が参加するようになった経緯について、

- ・ 輪番制で全世帯が参加する仕組みとなっている
- ・ できるだけ若い人に役員になるように声かけしている
- ・ 自治会チラシ等で募集した
- ・ 子どもを対象としたクリスマス会等の行事を開催したときに協力していただいた親御さん達
- ・ お祭り行事の参加を通じて
- ・ 「防犯パトロール」や「クリーンデー」など夜や休日に実施しているイベントを通じて

といった回答となっています。

問4 日頃、町会等が住民から特に求められていることはどのような活動だと思いますか。（あてはまるものすべての番号に○）

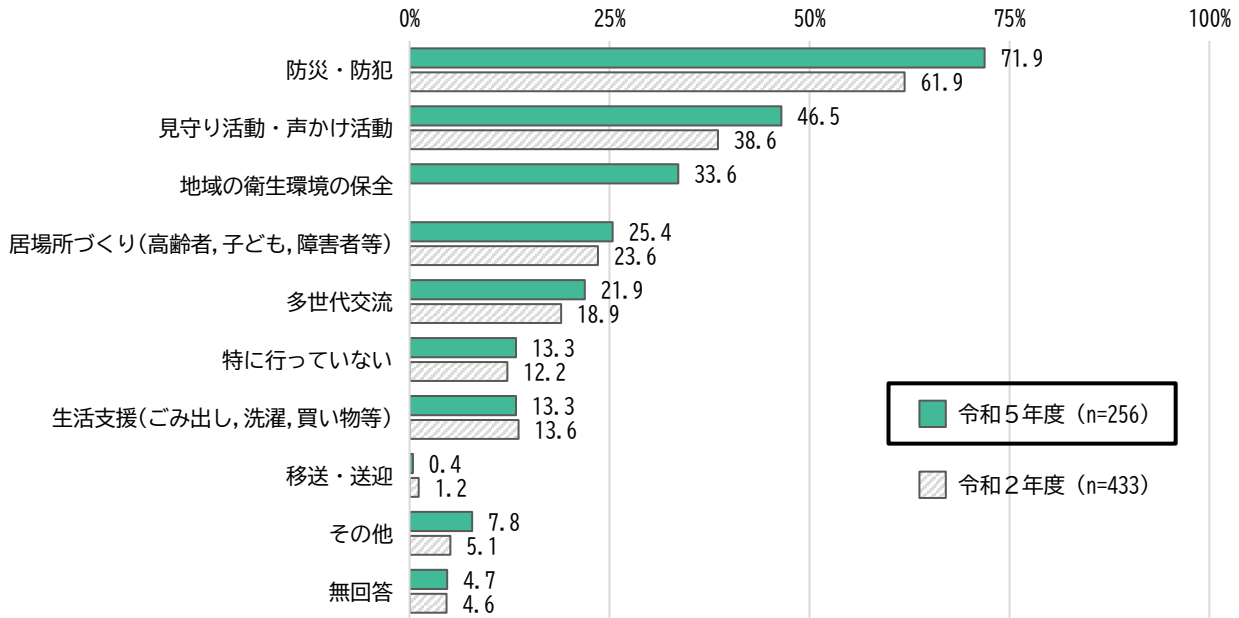
日頃、町会等が住民から特に求められている活動について、「防災・防犯」と回答した人の割合が前回調査より微減しているものの82.4%と前回調査同様最も高く、次いで「交流イベント・行事（祭り、子ども会等）」が前回調査より増加し62.1%となっています。



※「地域の衛生環境の保全」は令和5年度調査より選択肢追加

問5 日頃、町会等が主体となって、どのような活動を行っていますか。
(あてはまるものすべての番号に○)

日頃、町会等が主体となっている活動について、「防災・防犯」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し71.9%と前回調査同様最も高く、次いで「見守り活動・声かけ活動」も前回調査より増加し46.5%となっています。

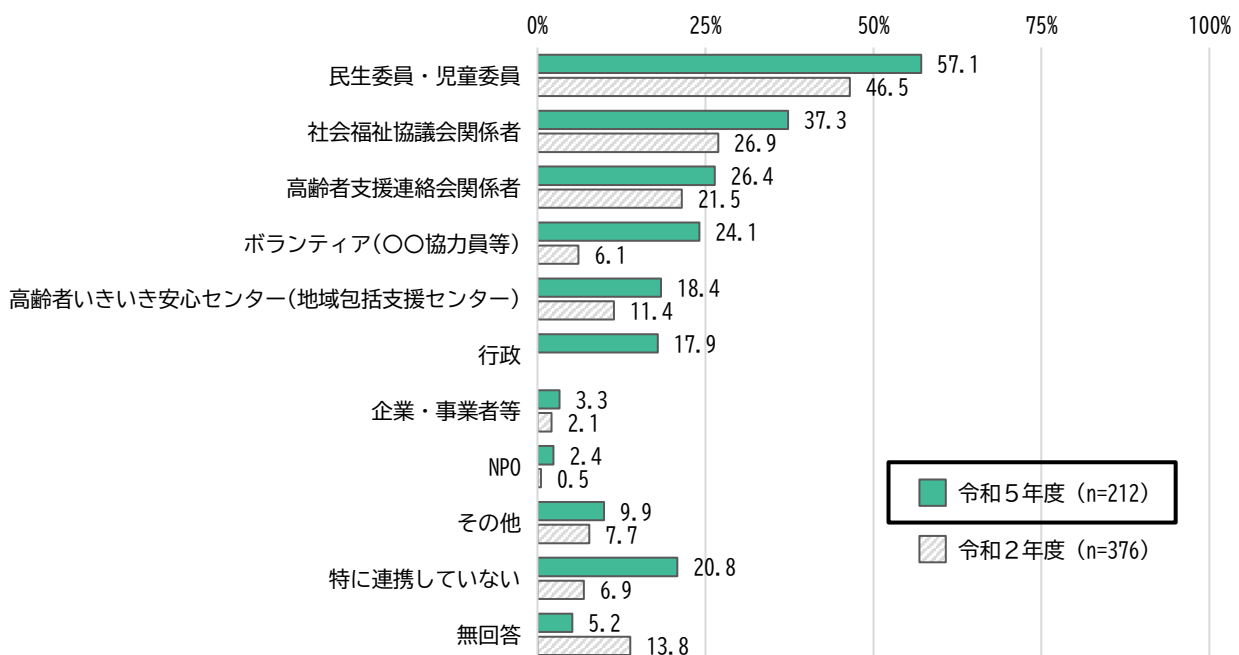


※「地域の衛生環境の保全」は令和5年度調査より選択肢追加

町会等が主体となって活動を行っているとお答えの方におうかがいします。

問5-① その活動は、どのような方と協力・連携して行っていますか。
(あてはまるものすべての番号に○)

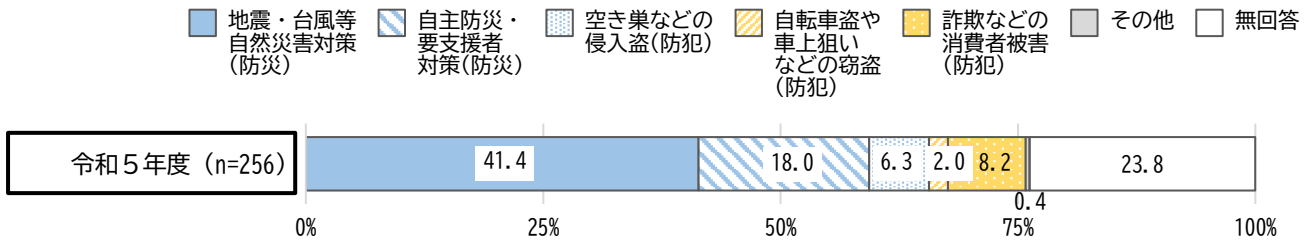
町会等が主体となって行っている活動を、どのような方と協力・連携して行っているかについて、「民生委員・児童委員」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し57.1%と最も高く、次いで「社会福祉協議会関係者」も前回調査より大幅に増加し37.3%となっています。



※「行政」は令和5年度調査より選択肢追加、「ボランティア(〇〇協力員等)」は「オレンジ協力員等」から選択肢名称変更

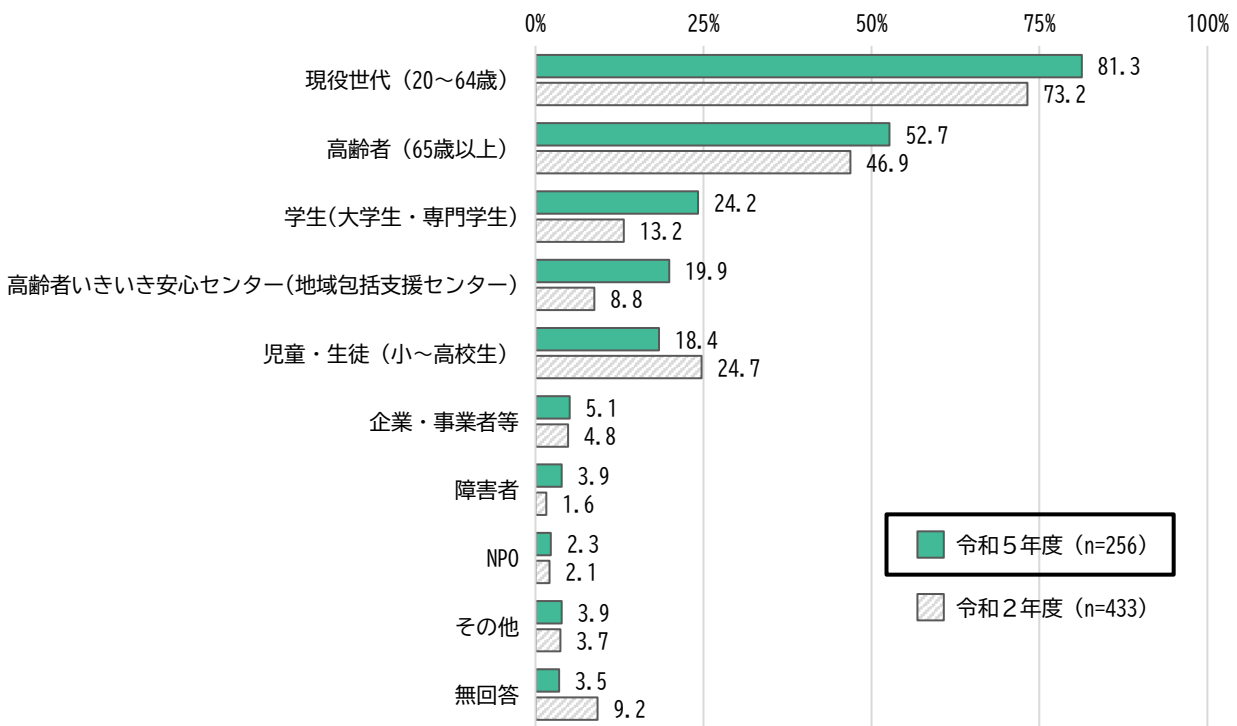
問6 防災・防犯のうち特に関心の高いものは何ですか。(1つの番号に○)

防災・防犯のうち特に関心の高いものについて、「地震・台風等自然災害対策(防災)」と回答した人の割合が41.4%と最も高く、次いで「自主防災・要支援者対策(防災)」が18.0%となっています。



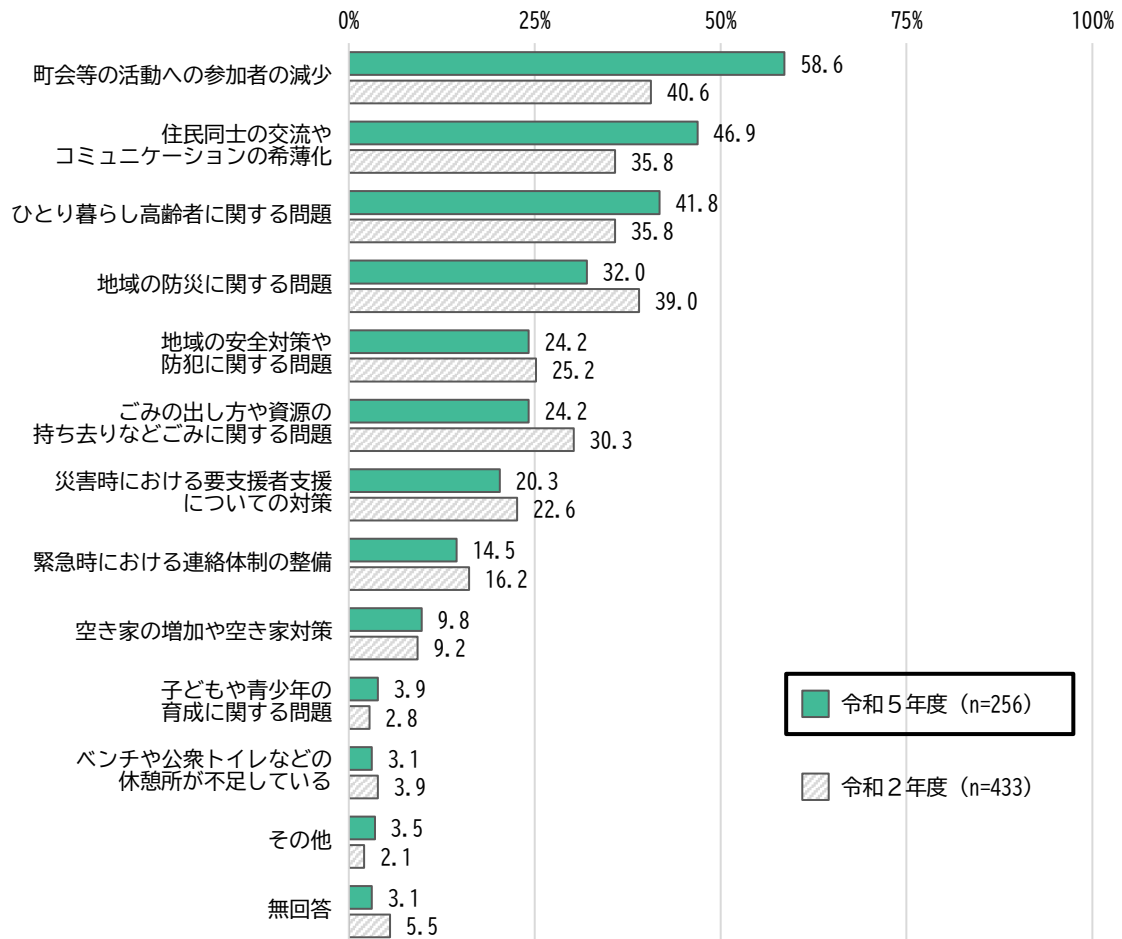
問7 今後の町会等の活動において、どのような方に特に企画・運営に関わっていただきたいと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)

今後の町会等の活動に関わっていただきたい方について、「現役世代(20~64歳)」と回答した人の割合が前回調査より増加し81.3%と前回調査同様最も高く、次いで「高齢者(65歳以上)」も前回調査より増加し52.7%となっています。



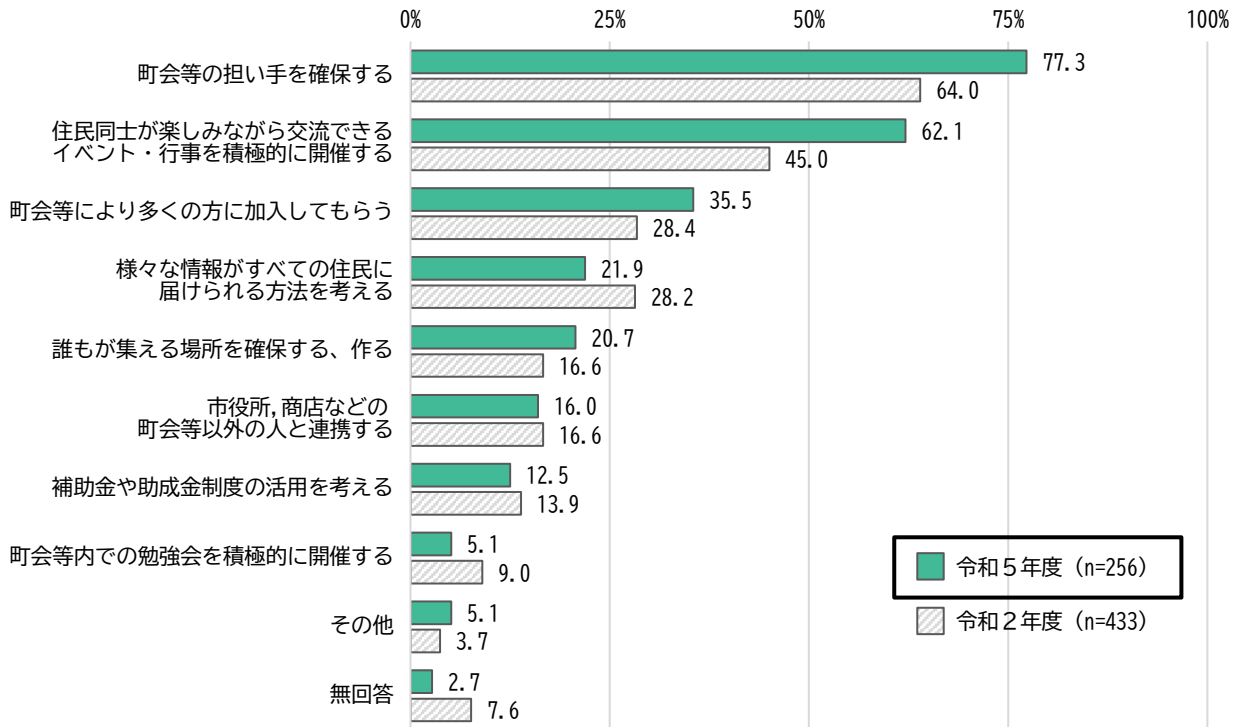
問8 町会等において感じている地域の課題を教えてください。
 (あてはまるもの3つまで○)

町会等において感じている地域の課題について、「町会等の活動への参加者の減少」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し 58.6%と前回調査同様最も高く、次いで「住民同士の交流やコミュニケーションの希薄化」も前回調査より大幅に増加し 46.9%となっています。



問9 町会等として、問8の課題を解決するために実施すべきと思っていることを教えてください。(あてはまるもの3つまで○)

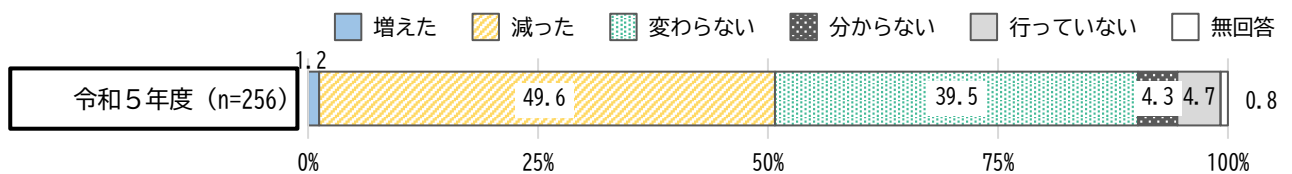
町会等において感じている地域の課題を解決するために実施すべきことについて、「町会等の担い手を確保する」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し77.3%と前回調査同様最も高く、次いで「住民同士が楽しみながら交流できるイベント・行事を積極的に開催する」も前回調査より大幅に増加し62.1%となっています。



問10 コロナ禍の影響により、町会等の以下の活動はどのように変化しましたか。

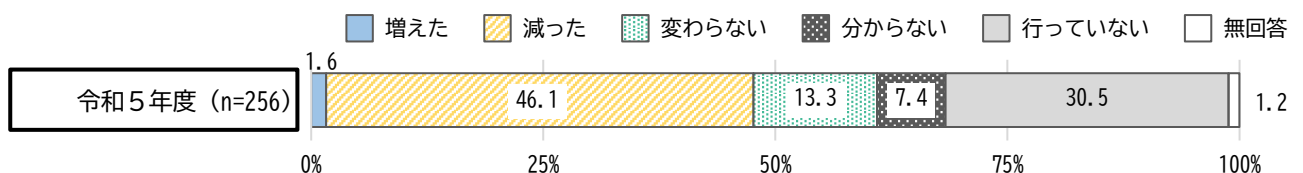
問10-① 防災・防犯

「防災・防犯活動」について、49.6%と約5割の町会・自治会にて「減った」と回答しています。



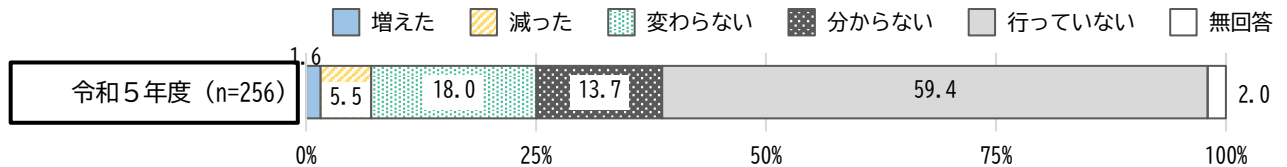
問10-② 通いの場・サロンの開催

「通いの場・サロンの開催」について、46.1%と4割を超える町会・自治会にて「減った」と回答しています。



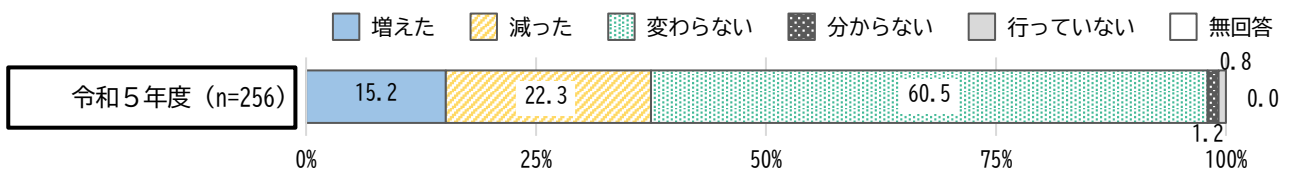
問10-③ 買い物支援等の生活支援

「買い物支援等の生活支援」について、59.4%と約6割の町会・自治会にて「行っていない」と回答しています。



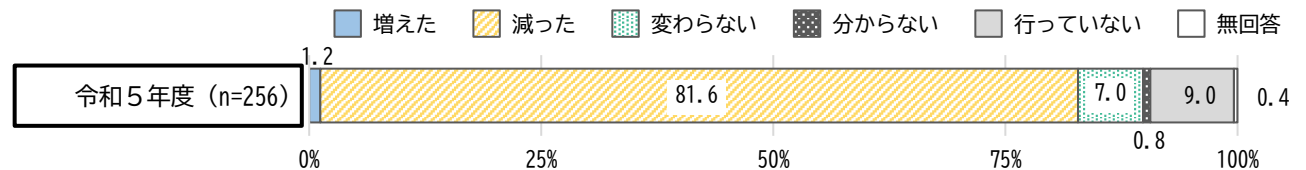
問10-④ 資料の閲覧や掲示活動

「資料の閲覧や掲示活動」について、60.5%と約6割の町会・自治会にて「変わらない」と回答しています。



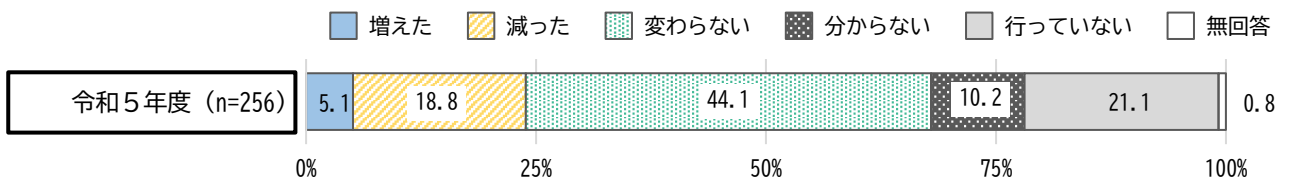
問10-⑤ 町会等のイベント・行事

「町会等のイベント・行事」について、81.6%と約8割の町会・自治会にて「減った」と回答しています。



問10-⑥ 高齢者等への見守り活動・声かけ活動

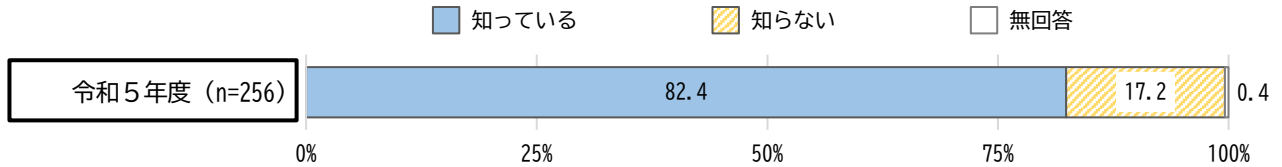
「高齢者等への見守り活動・声かけ活動」について、44.1%の町会・自治会にて「変わらない」と回答しています。



3. 地域連携について

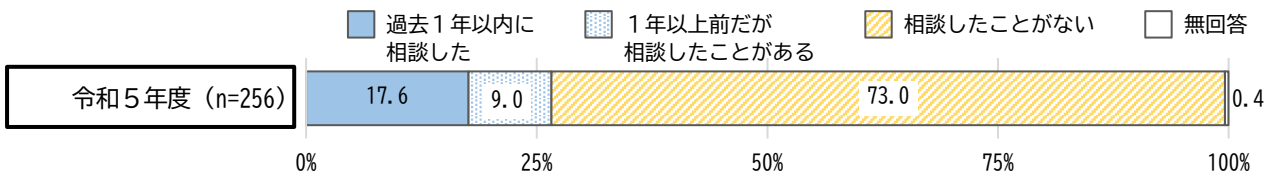
問11 お住まいの地域を担当する高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）を知っていますか。（1つの番号に○）

地域を担当する高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について、「知っている」と回答した人の割合は82.4%と約8割となっています。



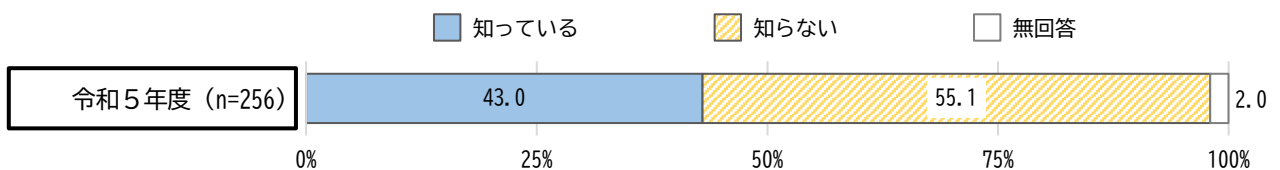
問12 町会等での活動に関して、高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）に相談したことがありますか。（1つの番号に○）

高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）への相談について、「過去1年以内に相談した」と回答した人の割合は17.6%、「1年以上前だが相談したことがある」が9.0%となっており、過去に相談したことがあると回答した人の割合は26.6%となっています。



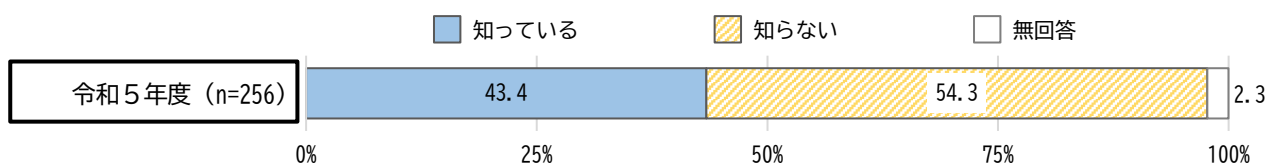
問13 「松戸市虐待防止条例」について知っていますか。（1つの番号に○）

「松戸市虐待防止条例」について、「知っている」と回答した人の割合は43.0%と約4割となっています。



問14 虐待が疑われる状況を発見した際の、通報・相談先について知っていますか。（1つの番号に○）

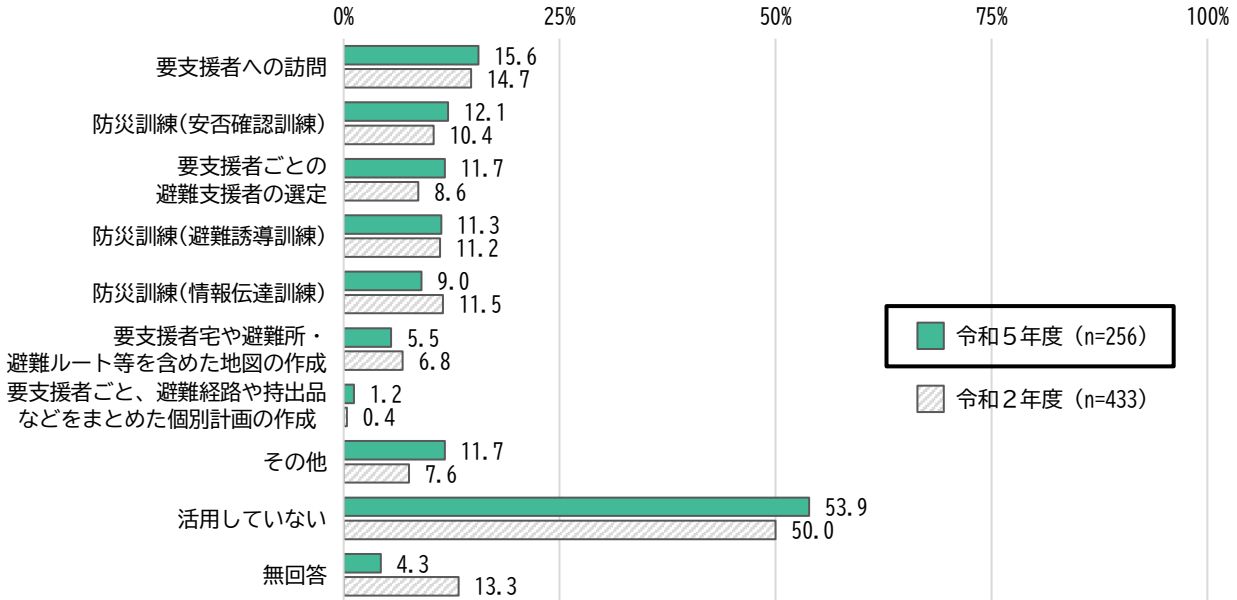
虐待が疑われる状況を発見した際の、通報・相談先について、「知っている」と回答した人の割合は43.4%と約4割となっています。



4. 災害について

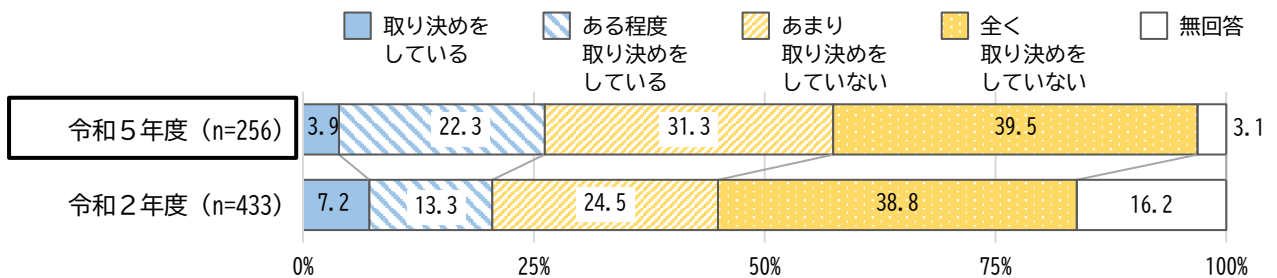
問 15 松戸市避難行動要支援者名簿を活用して、実際にどのような活動をしていますか。
(あてはまるものすべての番号に○)

松戸市避難行動要支援者名簿を活用した活動について、「要支援者への訪問」と回答した人の割合が前回調査から変化はないものの15.6%と最も高くなっており、次いで「防災訓練(安否確認訓練)」が前回調査より微増し12.1%となっています。



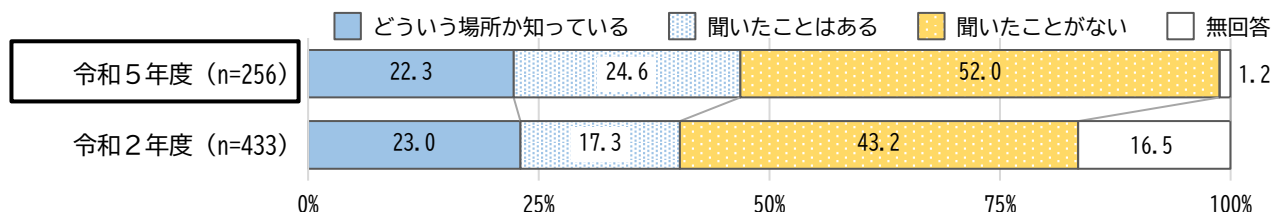
問 16 町会等として避難行動要支援者に対する避難行動が必要になった場合、どのような支援を行うか取り決めをしていますか。(1つの番号に○)

避難行動要支援者に対して避難行動が必要になった場合の支援の取り決めについて、「取り決めをしている」と回答した人の割合は3.9%、「ある程度取り決めをしている」は22.3%となっており、取り決めをしていると回答した割合が前回調査より増加し26.2%となっています。



問 17 福祉避難所について知っていますか。(1つの番号に○)

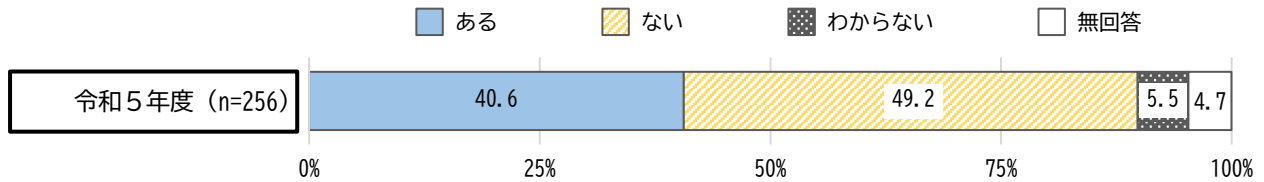
福祉避難所について、「どういう場所か知っている」と回答した人の割合は前回調査からほぼ変化はなく22.3%となり、「聞いたことはある」は前回調査より増加し24.6%となっています。



5. 町会等内の「通いの場」について

問 18 町会等が主体で開催している通いの場はありますか。(1つの番号に○)

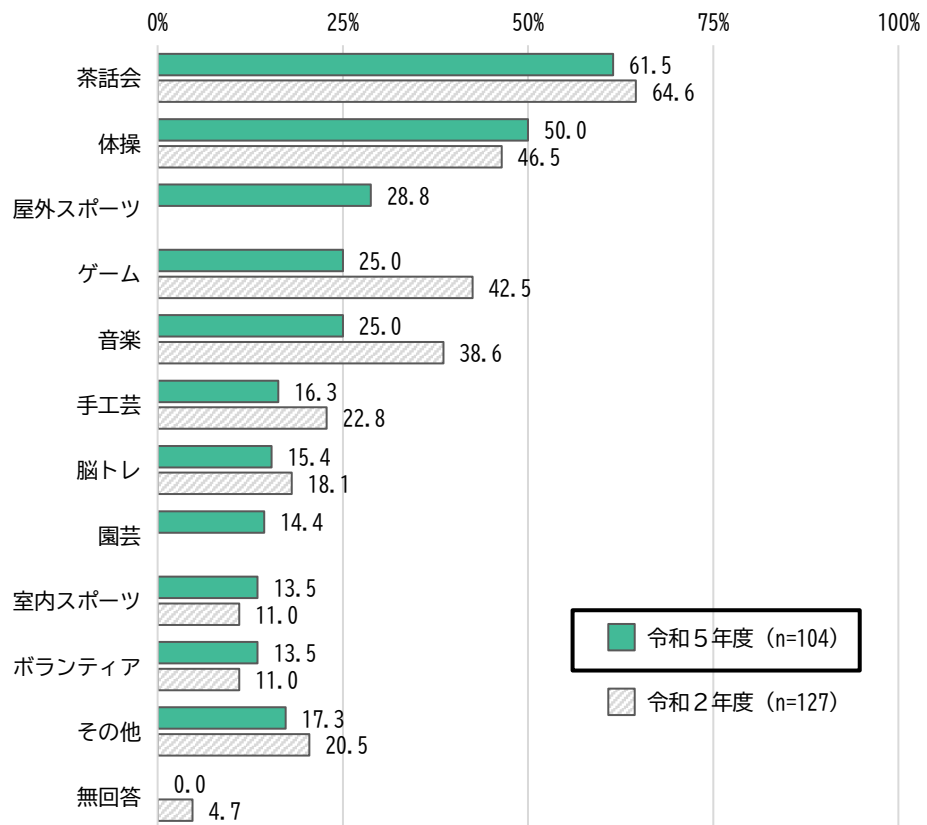
町会等が主体で開催している通いの場が「ある」と回答した人の割合は40.6%と約4割となっています。



町会等が主体で開催している通いの場が「ある」と答えた方におうかがいします。

問 18-① 通いの場の活動内容を教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

通いの場の活動内容について、「茶話会」と回答した人の割合が前回調査より減少しているものの61.5%と前回調査同様最も高く、次いで「体操」が前回調査より増加し、50.0%となっています。

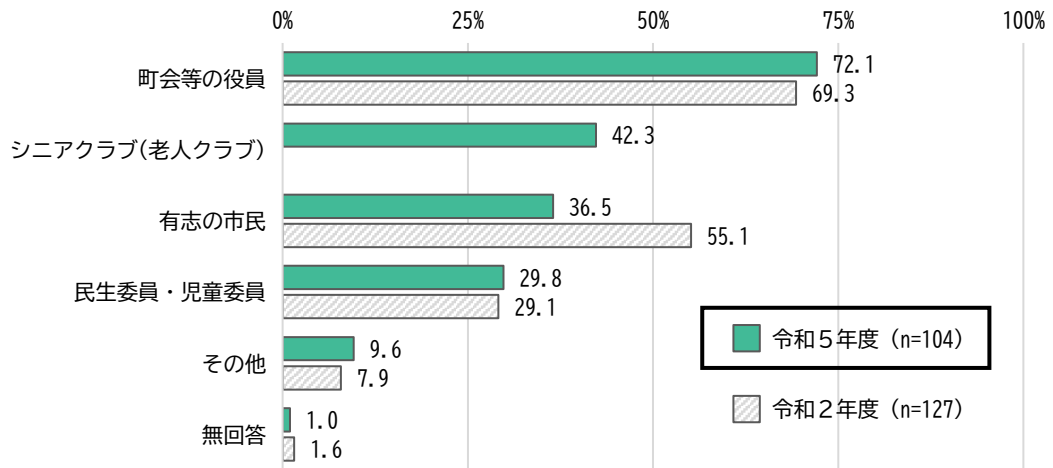


※「屋外スポーツ」、「園芸」は令和5年度調査より選択肢追加

町会等が主体で開催している通いの場が「ある」と答えた方におうかがいします。

問 18-② どのような方が中心となっていますか。(あてはまるものすべての番号に○)

通いの場をどのような方が中心となって行っているかについて、「町会等の役員」と回答した人の割合が前回調査より微増し 72.1%と前回調査同様最も高く、次いで「シニアクラブ(老人クラブ)」が 42.3%となっています。

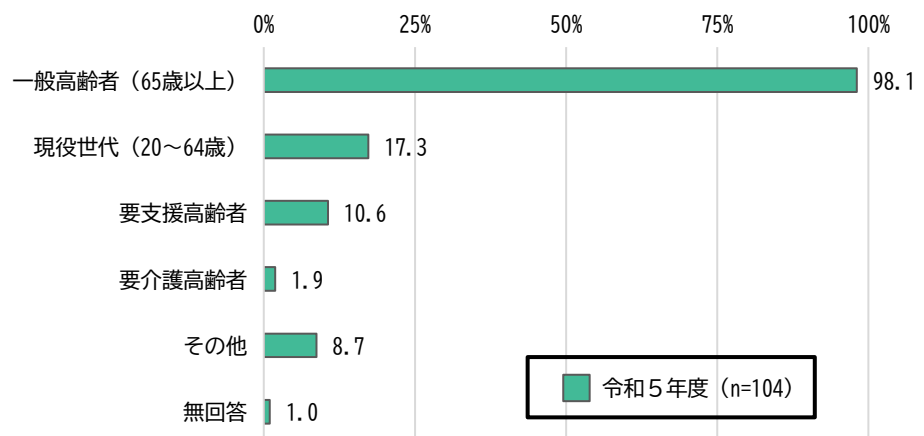


※「シニアクラブ(老人クラブ)」は令和5年度調査より選択肢追加

町会等が主体で開催している通いの場が「ある」と答えた方におうかがいします。

問 18-③ どのような方が参加していますか。(あてはまるものすべての番号に○)

通いの場に参加している方について、「一般高齢者(65歳以上)」と回答した人の割合が 98.1%となる一方、「現役世代(20~64歳)」は 17.3%となっています。



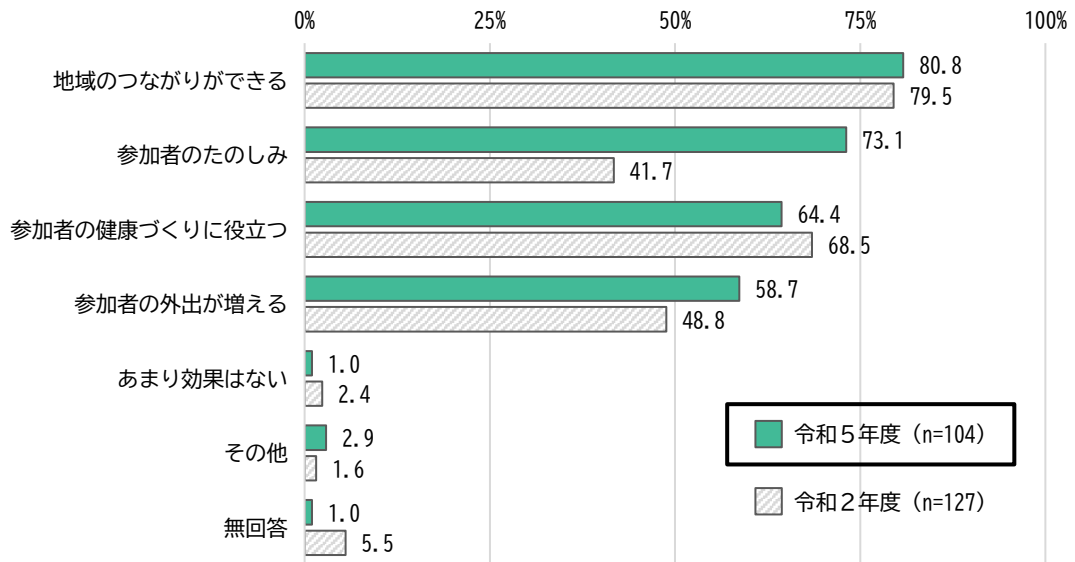
第5章 町会・自治会調査

町会等が主体で開催している通いの場が「ある」と答えた方におうかがいします。

問 18-④ 通いの場があることで、どのような効果を期待しますか。

(あてはまるものすべての番号に○)

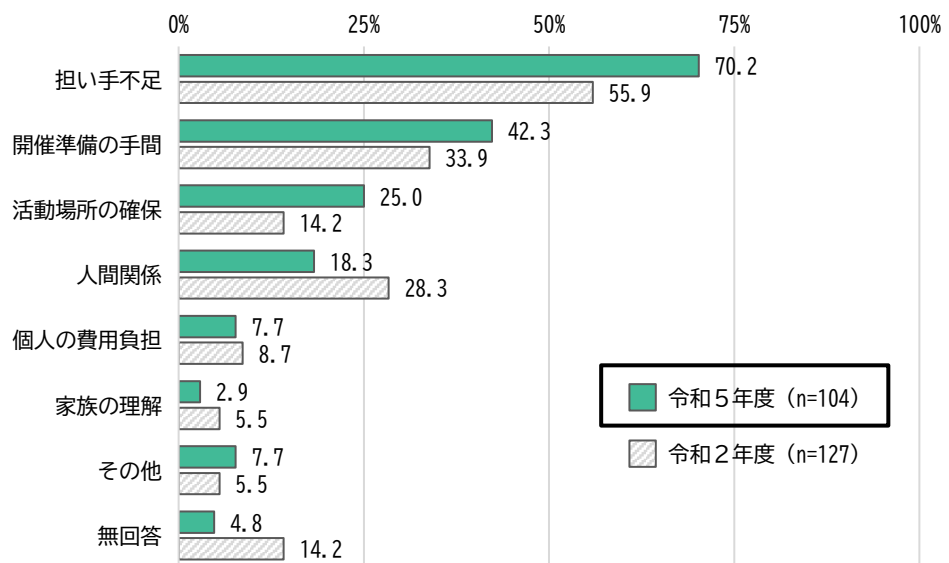
通いの場があることによる期待する効果について、「地域のつながりができる」と回答した人の割合が 80.8%と前回調査同様最も高く、次いで「参加者のたのしみ」が前回調査より大幅に増加し 73.1%となっています。



町会等が主体で開催している通いの場が「ある」と答えた方におうかがいします。

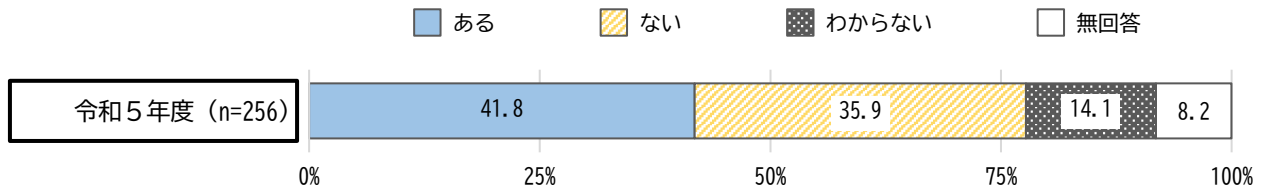
問 18-⑤ 町会等が通いの場を開催するとき、どのようなことが問題となりますか。(あてはまるものすべての番号に○)

通いの場を開催する時の問題について、「担い手不足」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し 70.2%と前回調査同様最も高く、次いで「開催準備の手間」も前回調査より増加し 42.3%となっています。



問 19 町会等以外が主体になって開催している通いの場はありますか。(1つの番号に○)

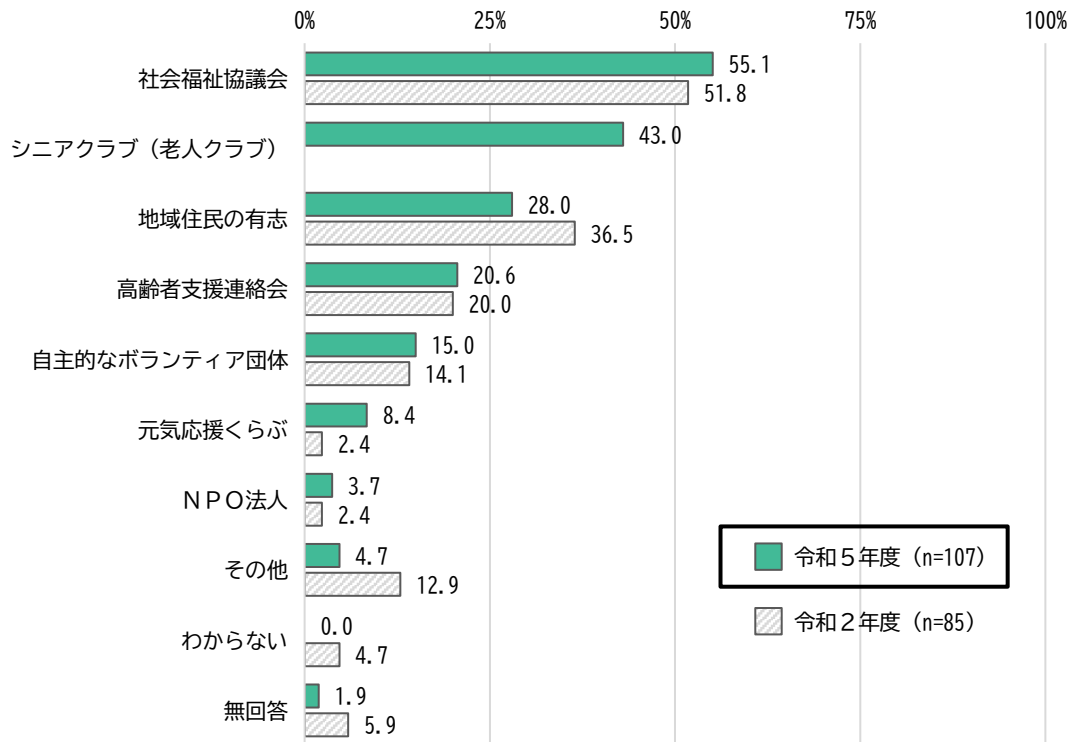
町会等以外が主体になって開催している通いの場について、「ある」と回答した人の割合は41.8%と約4割となっています。



町会等以外が主体で開催している通いの場が「ある」と答えた方におうかがいします。

問 19-① その運営母体はどのようなものですか。(あてはまるものすべての番号に○)

町会等以外が主体になって開催している通いの場の運営母体について、「社会福祉協議会」と回答した人の割合が前回調査より増加し55.1%と前回調査同様最も高くなっており、次いで「シニアクラブ(老人クラブ)」が43.0%となっています。



※「シニアクラブ(老人クラブ)」は令和5年度調査より選択肢追加

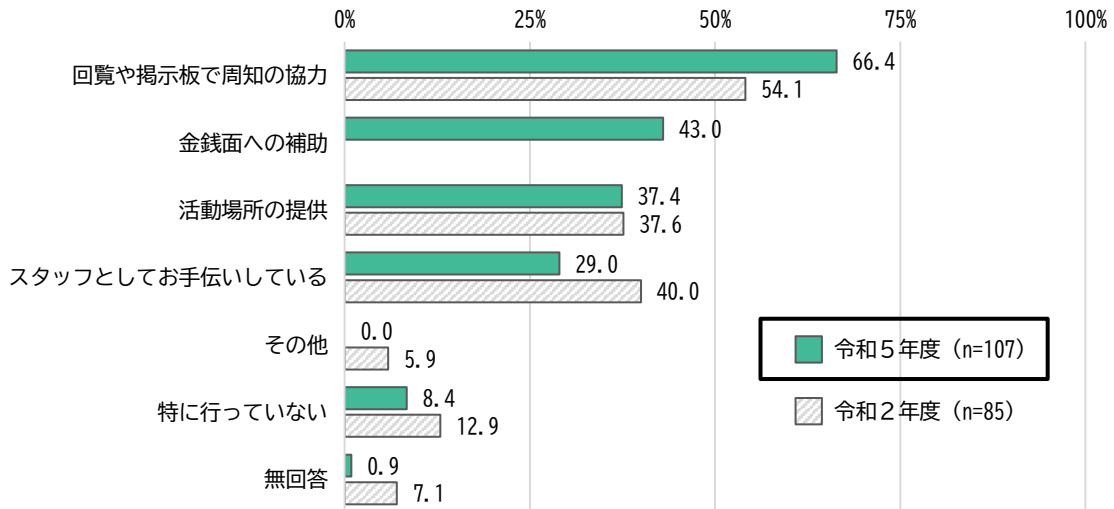
第5章 町会・自治会調査

町会等以外が主体で開催している通いの場が「ある」と答えた方におうかがいします。

問 19-② 通いの場の運営のために何か支援をしていますか。

(あてはまるものすべての番号に○)

町会等以外が主体になって開催している通いの場に対する運営のための支援について、「回覧や掲示板上で周知の協力」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し 66.4%と前回調査同様最も高く、次いで「金銭面への補助」が 43.0%となっています。

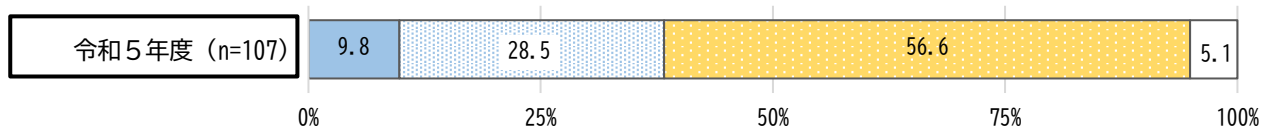


※「金銭面への補助」は令和5年度調査より選択肢追加

問 20 松戸市が推進している通いの場を支援する事業である「元気応援くらぶ」を知っていますか。(1つの番号に○)

「元気応援くらぶ」について、『「元気応援くらぶ」を知っており、補助金を交付している等松戸市が活動支援していることについても知っている』と回答した人の割合は 9.8%と約1割にとどまっています。

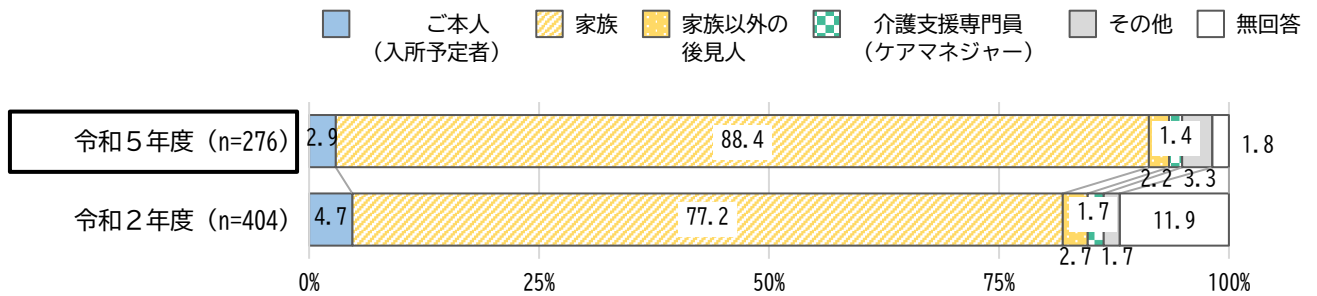
- 「元気応援くらぶ」を知っており、補助金を交付している等松戸市が活動支援していることについても知っている
- 「元気応援くらぶ」自体は知っているが、具体的にどのようなものかは分からない
- 「元気応援くらぶ」自体知らない
- 無回答



第 6 章 特別養護老人ホーム入所待機者調査

1. 回答者の基本属性

この調査票を記入されるのはどなたですか。(1つの番号に○)

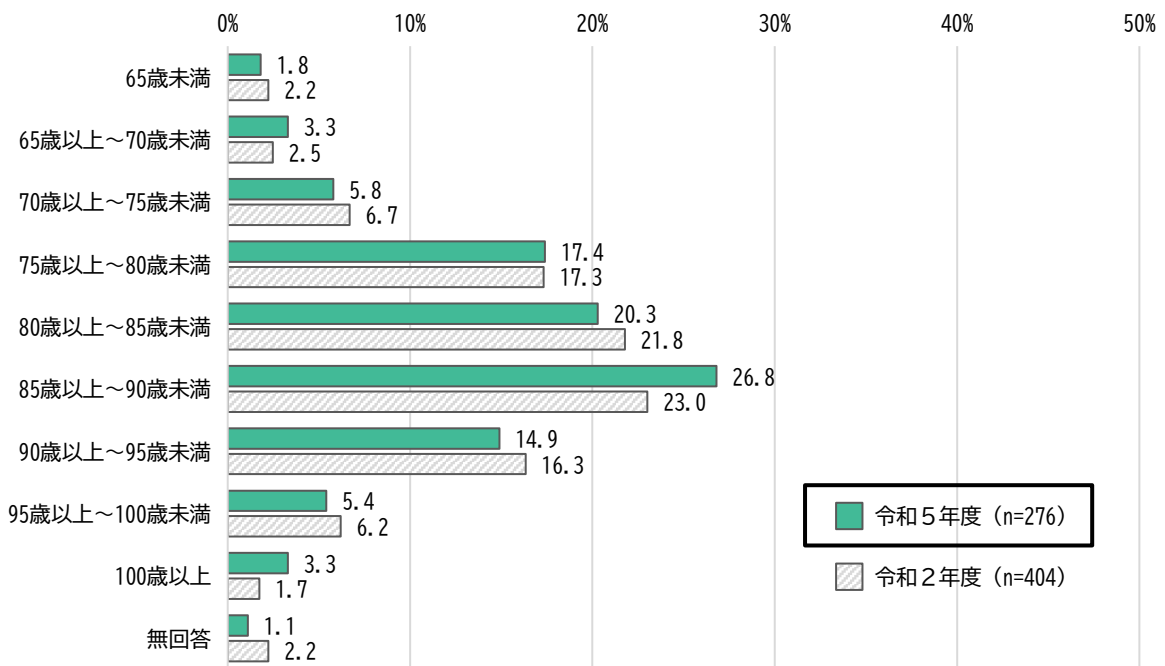


※家族の続柄 妻、夫、息子、娘、義理の子ども等

2. ご本人 (入所予定者) の基本属性

(1) 年齢

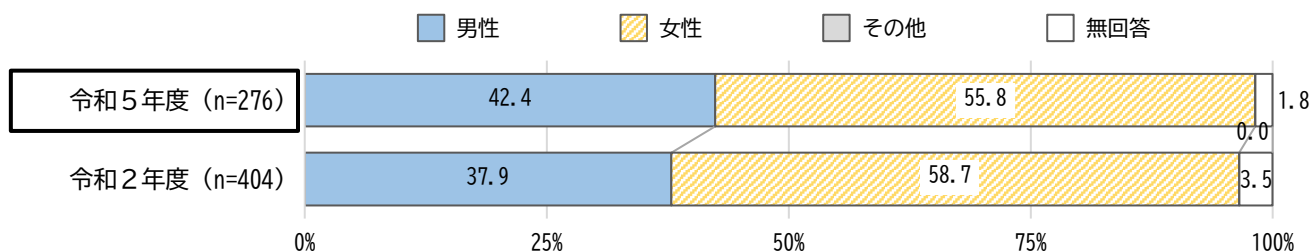
問1 令和5年4月1日現在のご本人 (入所予定者) の年齢を記入してください。(数字を記入)



第6章 特別養護老人ホーム入所待機者調査

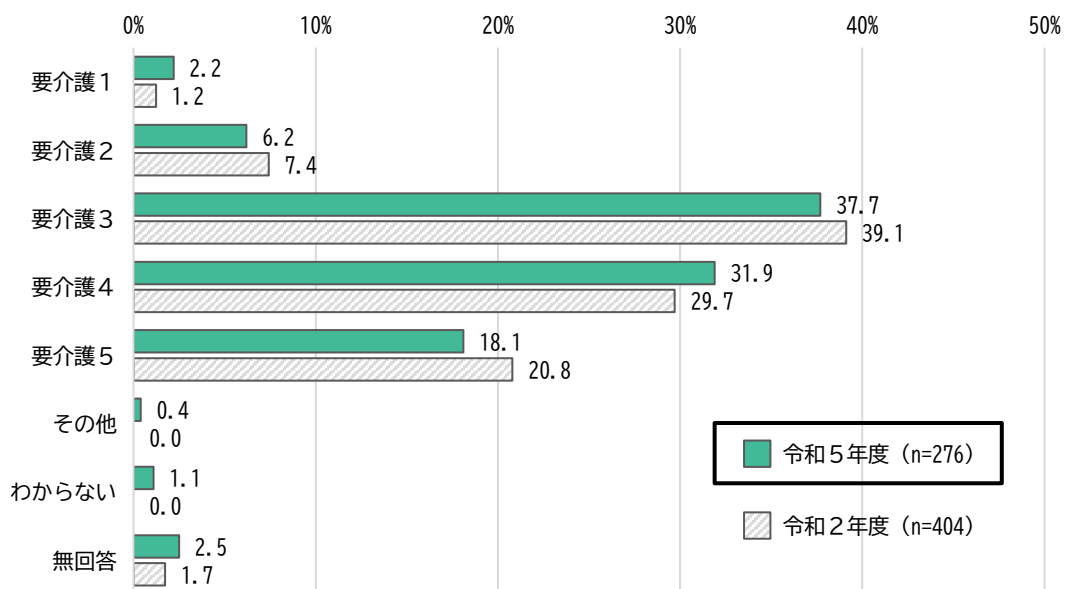
(2) 性別

問2 ご本人（入所予定者）の性別をお答えください。（1つの番号に○）



(3) 要介護等状態区分

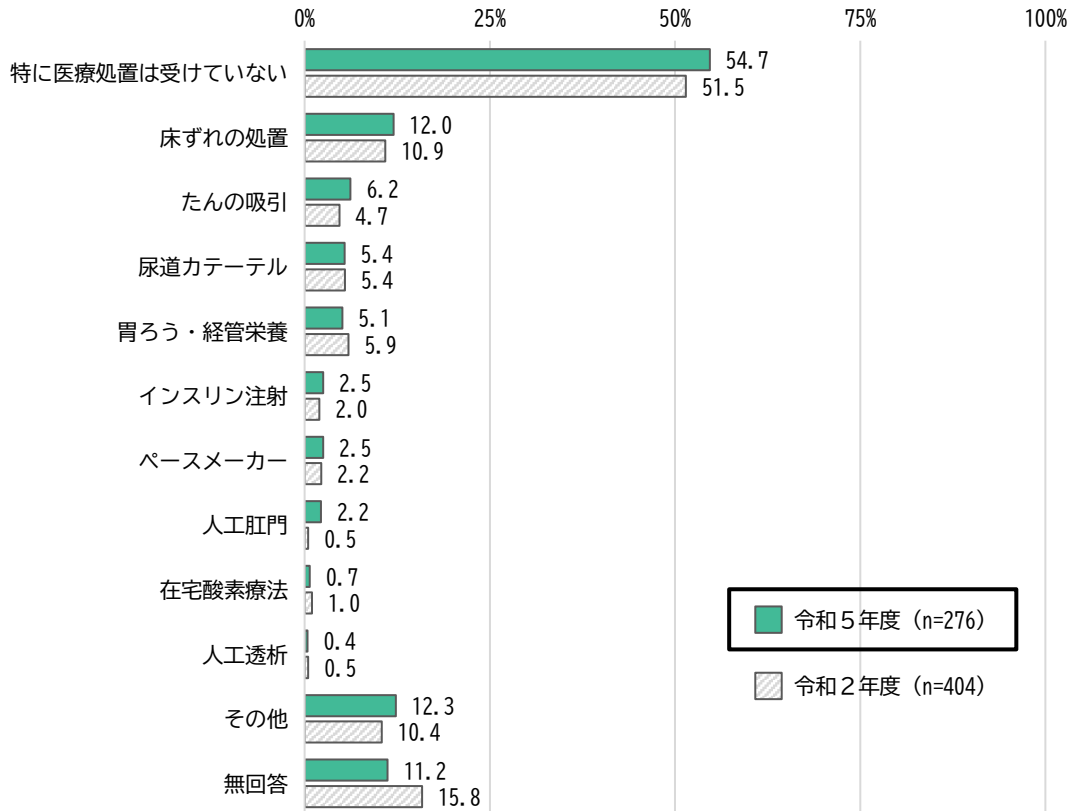
問3 ご本人（入所予定者）の現在の要介護等状態区分は、次のうちどれですか。（1つの番号に○）



3. ご本人（入所予定者）や家族の状況について

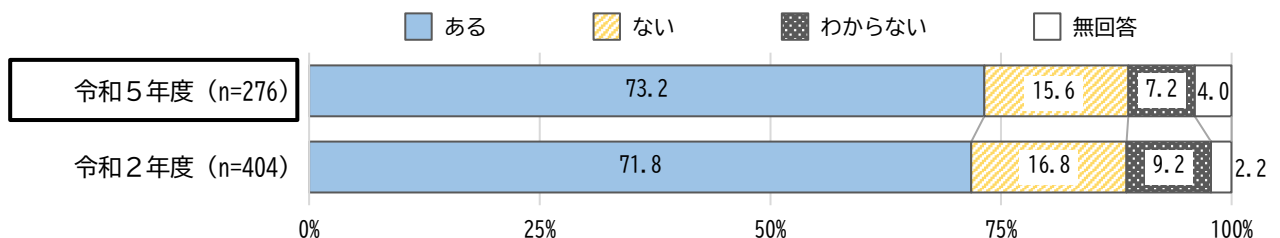
問4 ご本人（入所予定者）は次のような医療処置を日常的に必要としていますか。
（あてはまるすべての番号に○）

ご本人（入所予定者）は医療処置を日常的に必要としているかについて、「特に医療処置は受けていない」と回答した人の割合が前回調査より増加し 54.7%と前回調査同様最も高く、次いで「床ずれの処置」が前回調査より微増し 12.0%となっています。



問5 ご本人（入所予定者）は、認知症と思われる症状がありますか。（1つの番号に○）

ご本人（入所予定者）に認知症と思われる症状について、「ある」と回答した人の割合が前回調査より微増し 73.2%となっています。

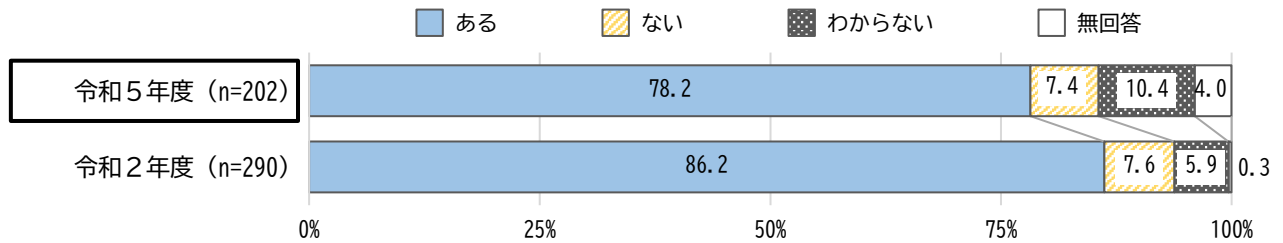


第6章 特別養護老人ホーム入所待機者調査

ご本人（入所予定者）に認知症と思われる症状が「ある」と答えた方におうかがいします。

問5-① 医師から認知症と診断されたことがありますか。（1つの番号に○）

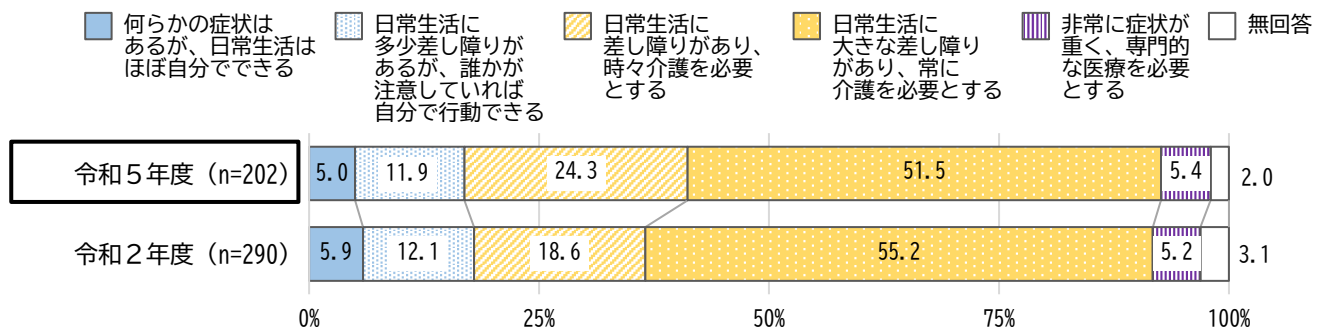
医師から認知症と診断されたことについて、「ある」と回答した人の割合が前回調査より減少し78.2%となっています。



ご本人（入所予定者）に認知症と思われる症状が「ある」と答えた方におうかがいします。

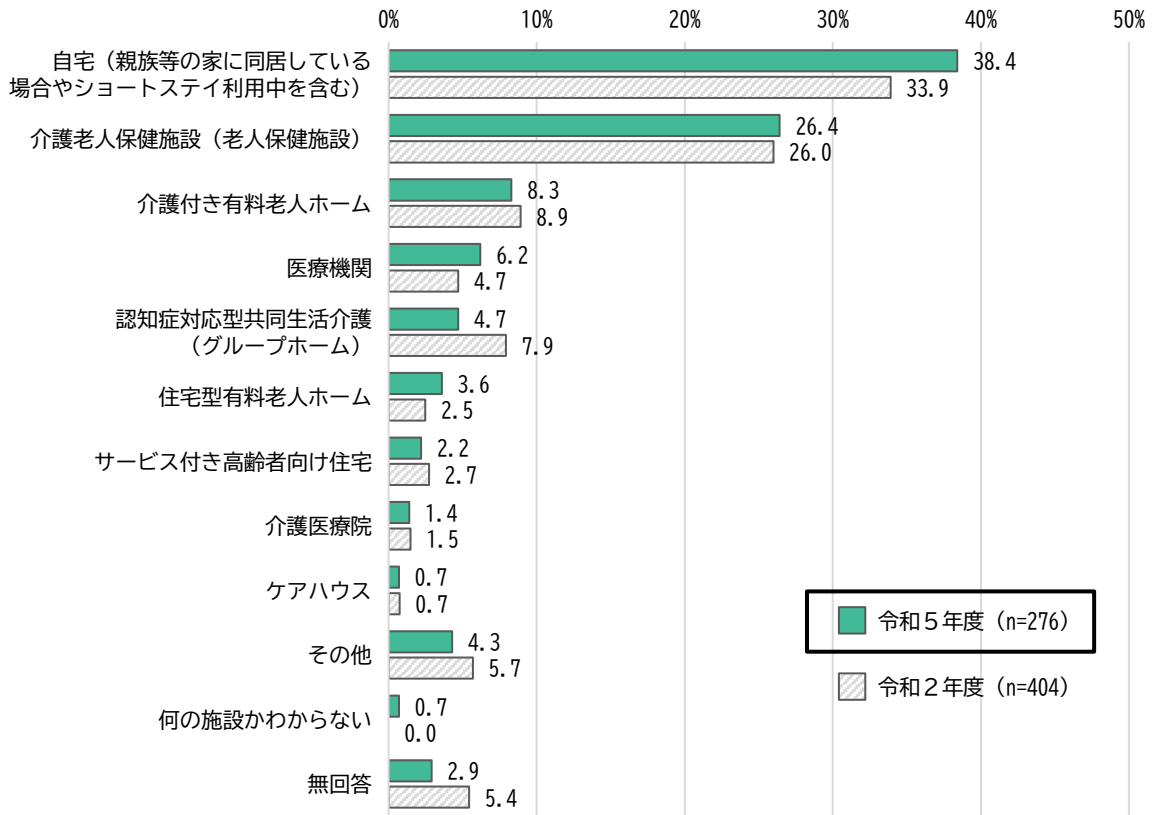
問5-② 認知症状はどの程度ですか。現在の状況に最も近いものをお答えください。（1つの番号に○）

認知症状の程度について、「日常生活に大きな差し障りがあり、常に介護を必要とする」と回答した人の割合が前回調査より減少しているものの51.5%となっており、「日常生活に差し障りがあり、時々介護を必要とする」が前回調査より増加し24.3%となっています。



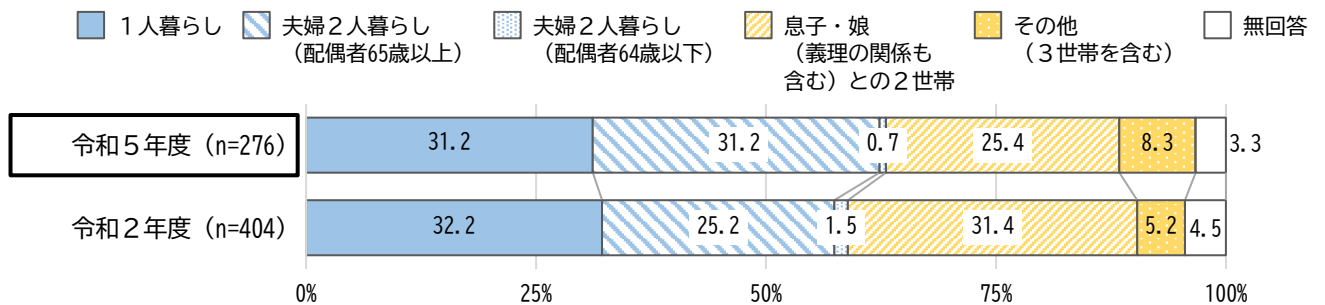
問6 ご本人（入所予定者）は、現在どこで生活していますか。（1つの番号に○）

ご本人（入所予定者）の現在の生活している場所について、「自宅（親族等の家に同居している場合やショートステイ利用中を含む）」と回答した人の割合が前回調査より増加し38.4%と前回調査同様最も高く、次いで「介護老人保健施設（老人保健施設）」が26.4%となっています。



問7 家族構成をお教えてください。（1つの番号に○）

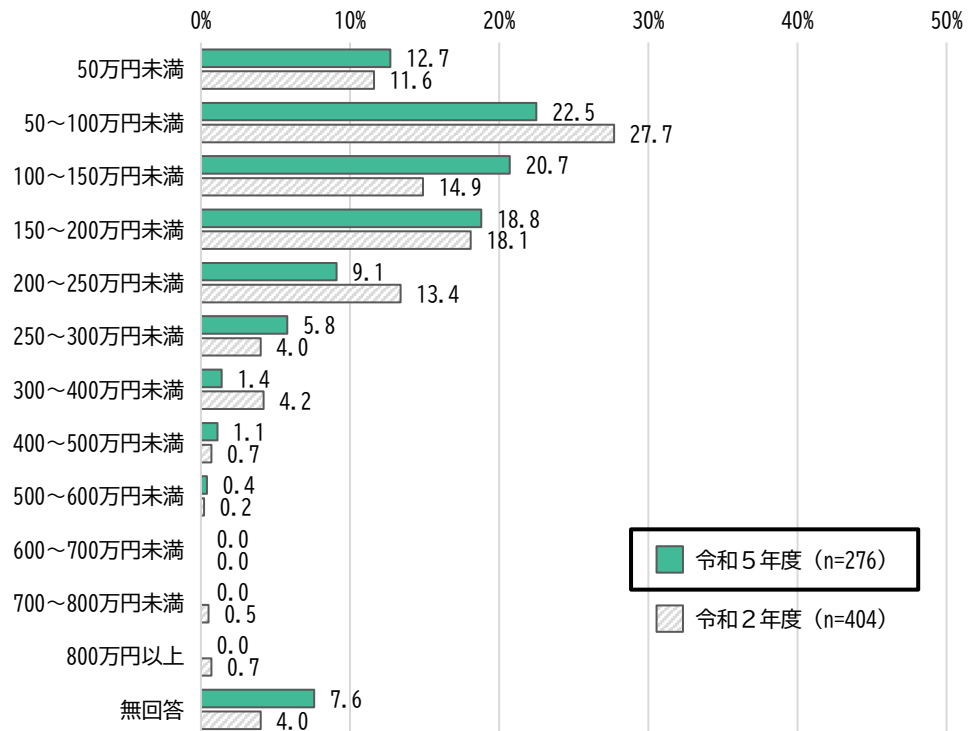
家族構成について、「1人暮らし」、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」と回答した人の割合がともに31.2%となっており、「息子・娘（義理の関係も含む）との2世帯」が前回調査より減少し25.4%となっています。



第6章 特別養護老人ホーム入所待機者調査

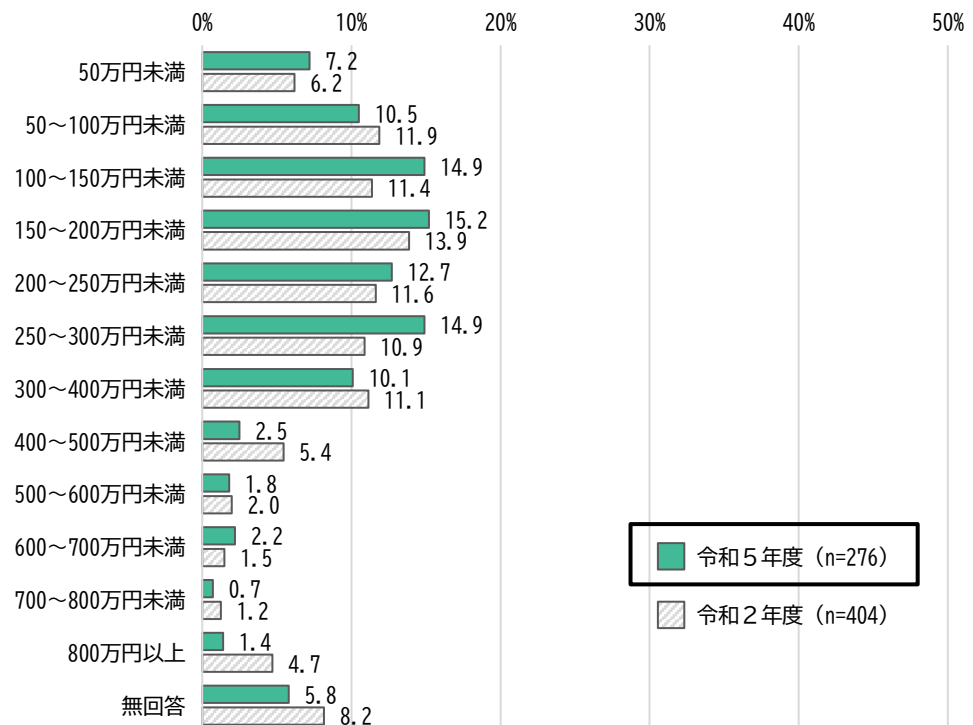
問8 ご本人（入所予定者）の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和4年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（1つの番号に○）

ご本人（入所予定者）の合計収入額について、「50～100万円未満」と回答した人の割合が前回調査より減少したものの22.5%と前回調査同様最も高くなっています。



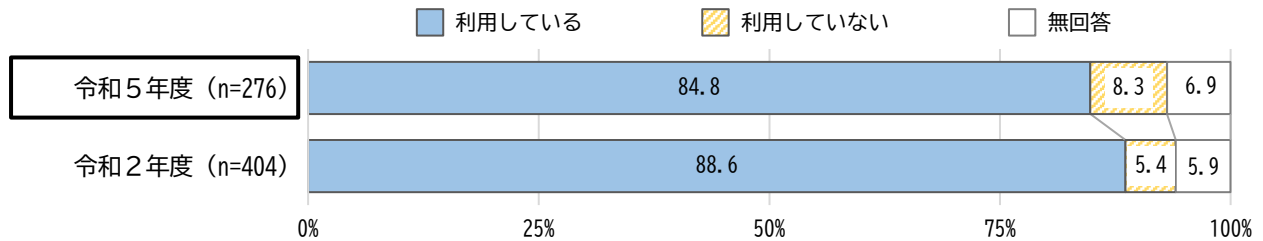
問9 世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和4年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（1つの番号に○）

世帯全体の合計収入額について、「150～200万円未満」と回答した人の割合が前回調査より微増し15.2%と前回調査同様最も高くなっています。



問10 ご本人（入所予定者）は、現在介護保険サービスを利用していますか。
（どちらかの番号に○）

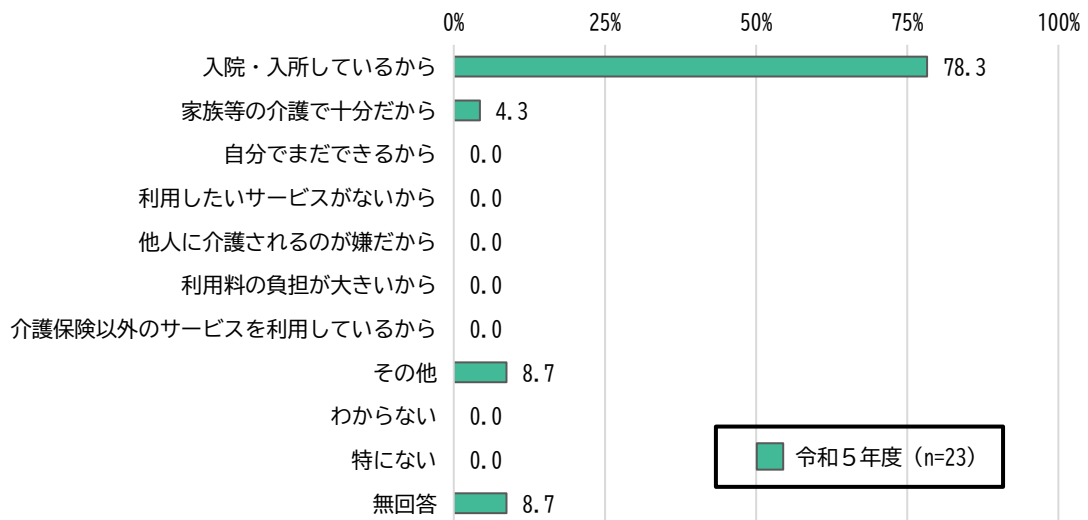
ご本人（入所予定者）が現在介護保険サービスを利用しているかについて、「利用している」と回答した人の割合が前回調査より減少し84.8%となっています。



ご本人（入所予定者）は現在介護保険サービスを「利用していない」と答えた方におうかがいします。

問10-① 利用していない理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

介護保険サービスを利用していない理由について、「入院・入所しているから」と回答した人の割合が78.3%と最も高くなっています。



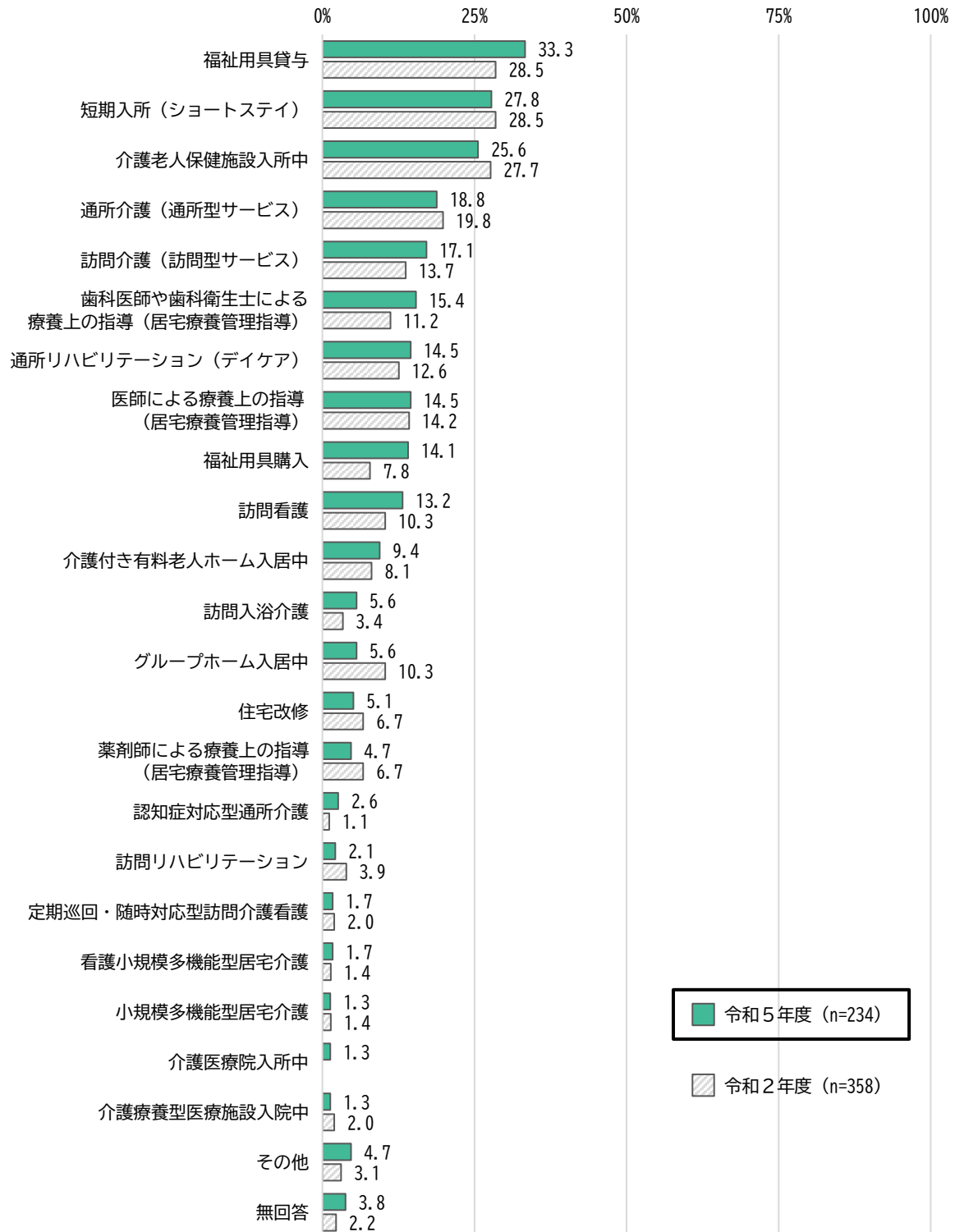
その他・・・可能な限り、家族で介護したいから

第6章 特別養護老人ホーム入所待機者調査

ご本人（入所予定者）は現在介護保険サービスを「利用している」と答えた方におうかがいします。

問 10-② 現在、ご本人はどのような介護保険サービスを利用していますか。
（あてはまるすべての番号に○）

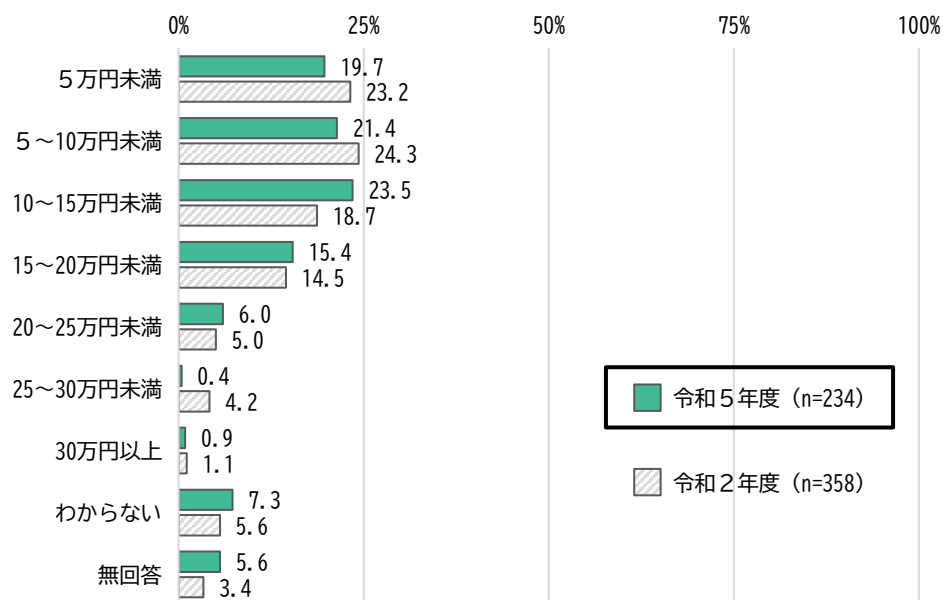
利用している介護保険サービスについて、「福祉用具貸与」と回答した人の割合が前回調査より増加し 33.3%と前回調査同様最も高く、次いで「短期入所（ショートステイ）」が前回調査からほぼ変化はないものの 27.8%となっています。



ご本人（入所予定者）は現在介護保険サービスを「利用している」と答えた方におうかがいします。

問 10-③ 介護サービスに要する1か月あたりの利用者負担額の総額はどの程度ですか。
（1つの番号に○）

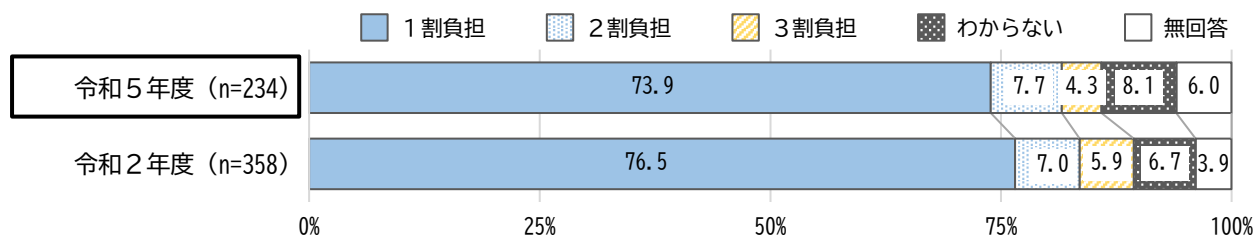
介護サービスに要する1か月あたりの利用者負担額の総額について、「10～15万円未満」と回答した人の割合が前回調査より増加し23.5%と最も高く、次いで「5～10万円未満」が前回調査より微減し21.4%となっています。



ご本人（入所予定者）は現在介護保険サービスを「利用している」と答えた方におうかがいします。

問 10-④ 現在の介護保険利用負担割合は何割ですか。（1つの番号に○）

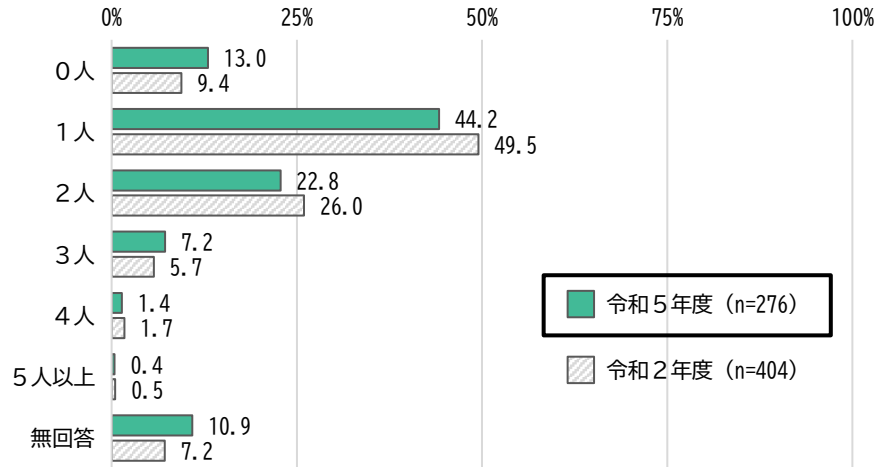
現在の介護保険利用の負担割合について、「1割負担」と回答した人の割合が前回調査より微減しているものの73.9%となっています。



第6章 特別養護老人ホーム入所待機者調査

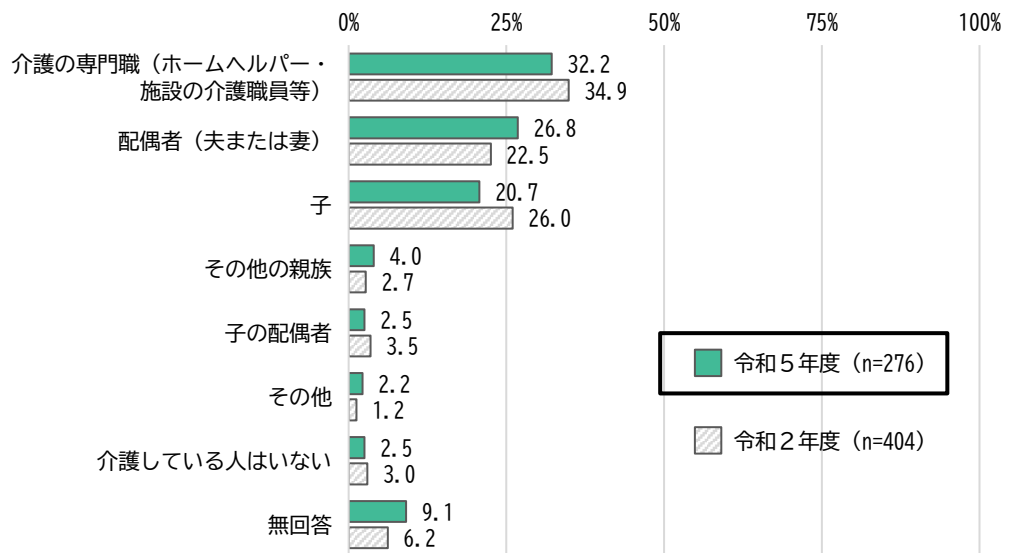
問11 ご本人（入所予定者）の介護にかかわっている家族・親族は何人いますか。
（数字を記入）

ご本人（入所予定者）の介護にかかわっている家族・親族の人数について、「1人」と回答した人の割合が前回調査より減少しているものの44.2%と前回調査同様最も高く、次いで「2人」が前回調査より減少し22.8%となっています。



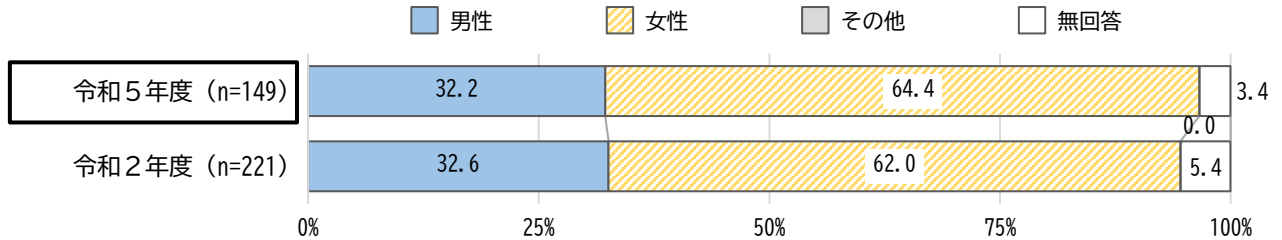
問12 ご本人（入所予定者）の介護を主に（一番長い時間）行っているのはどなたですか。
（1つの番号に○）

ご本人（入所予定者）の介護を主に（一番長い時間）行っている方について、「介護の専門職（ホームヘルパー・施設の介護職員等）」と回答した人の割合が前回調査より微減しているものの32.2%と前回調査同様最も高く、次いで「配偶者（夫または妻）」が26.8%となっています。



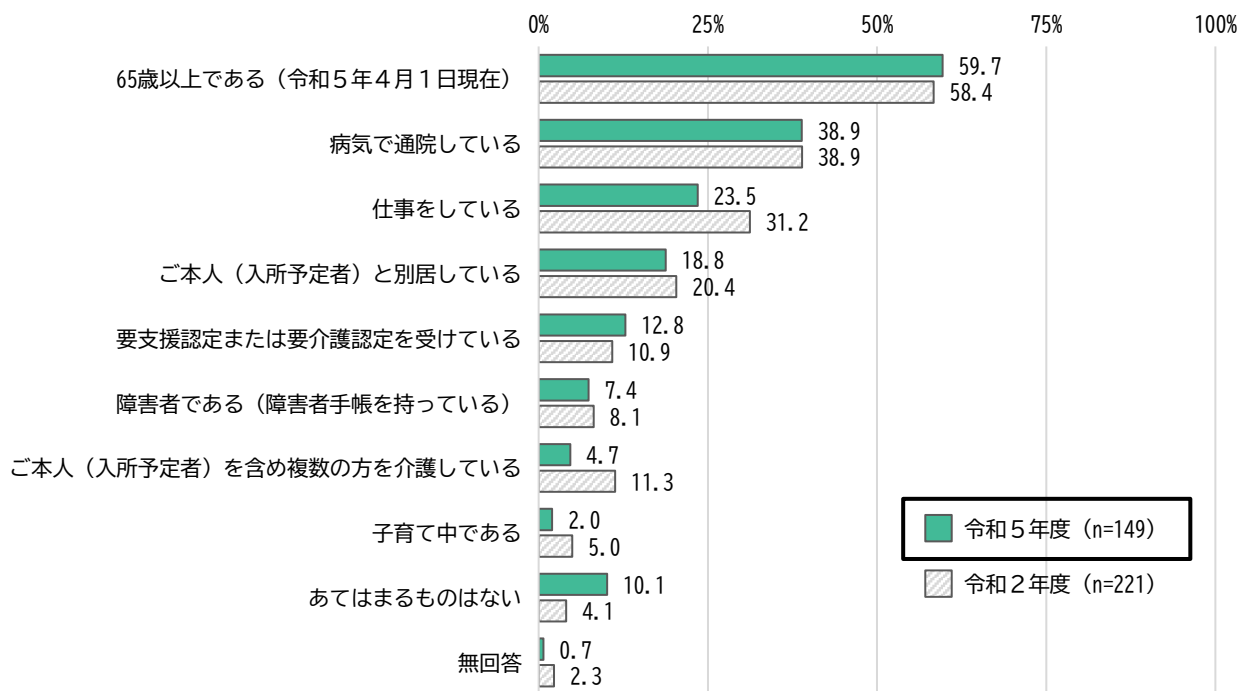
ご本人（入所予定者）の介護を主に行っているのが家族・親族と答えた方におうかがいします。
 問12-① ご本人（入所予定者）を主に介護している方の性別をお答えください。
 （1つの番号に○）。

ご本人（入所予定者）を主に介護している方の性別について、「女性」の割合が前回調査より微増し64.4%となっています。



ご本人（入所予定者）の介護を主に行っているのが家族・親族と答えた方におうかがいします。
 問12-② ご本人（入所予定者）を主に介護している方について、次の中からあてはまるものをお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

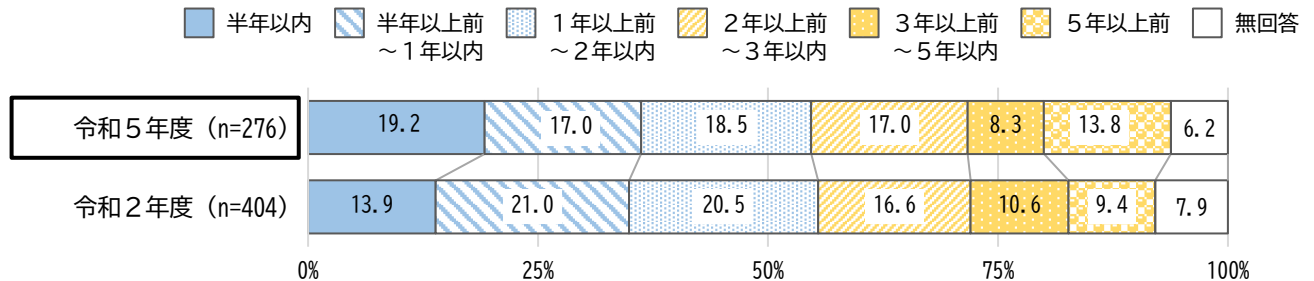
ご本人（入所予定者）を主に介護している方について、「65歳以上である（令和5年4月1日現在）」と回答した人の割合が前回調査より微増し59.7%と前回調査同様最も高く、次いで「病気で通院している」が前回調査から変化はないものの38.9%となっています。



4. 特別養護老人ホームの入所申込み等について

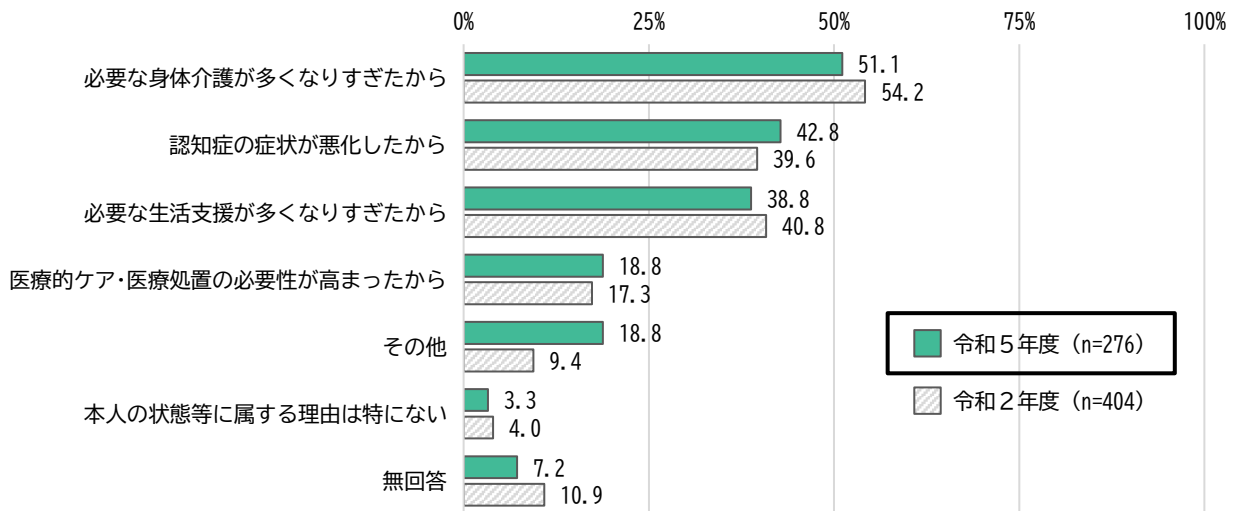
問13 特別養護老人ホームの入所を初めて申込んだのはいつですか。(1つの番号に○)

特別養護老人ホームの入所を初めて申込んだ時期について、「半年以内」と回答した人の割合が前回調査より増加し19.2%となっており、「1年以上前～2年以内」が18.5%となっています。



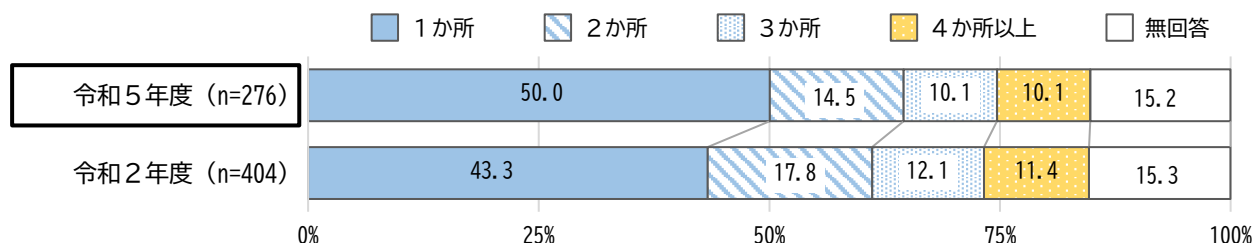
問14 特別養護老人ホームに申込んだ主な理由のうち、本人の状態等を踏まえた理由を教えてください。(あてはまるすべての番号に○)

特別養護老人ホームに申込んだ主な理由のうち、本人の状態等を踏まえた理由について、「必要な身体介護が多くなりすぎたから」と回答した人の割合が前回調査より減少しているものの51.1%と前回調査同様最も高く、次いで「認知症の症状が悪化したから」が42.8%となっています。



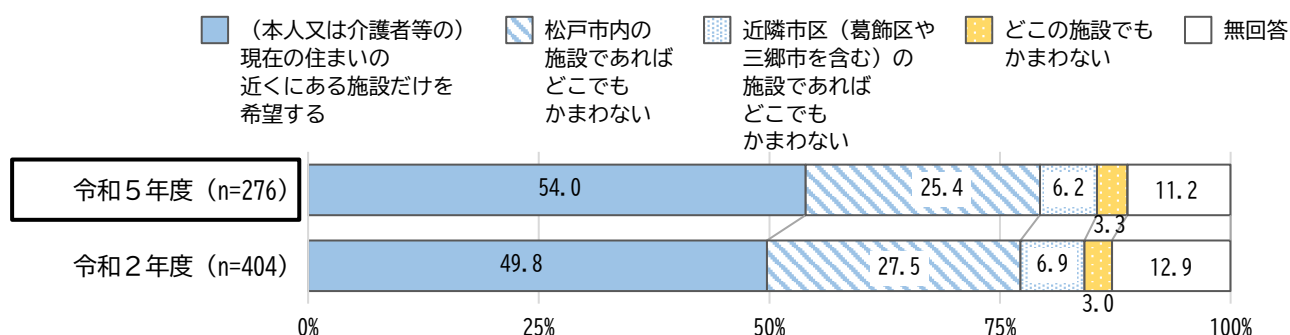
問15 現在、何か所の特別養護老人ホームについて入所申込みをしていますか。
(1つの番号に○)

現在の特別養護老人ホームの入所申込み箇所について、「1か所」と回答した人の割合が前回調査より増加し50.0%となっています。



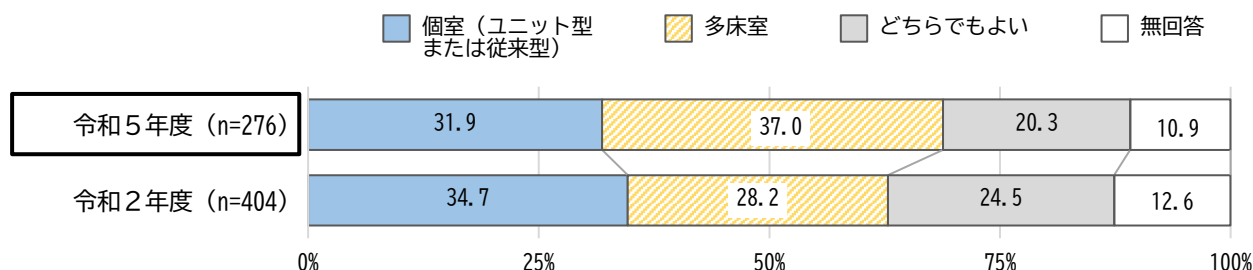
問16 どちらの地域の特別養護老人ホームへの入所を希望しますか。(1つの番号に○)

希望する特別養護老人ホームの地域について、「(本人又は介護者等の)現在の住まいの近くにある施設だけを希望する」と回答した人の割合が前回調査より増加し54.0%となっており、「松戸市内の施設であればどこでもかまわない」が25.4%となっています。



問17 特別養護老人ホームへ入所される場合、どのような部屋を希望されますか。
(1つの番号に○)

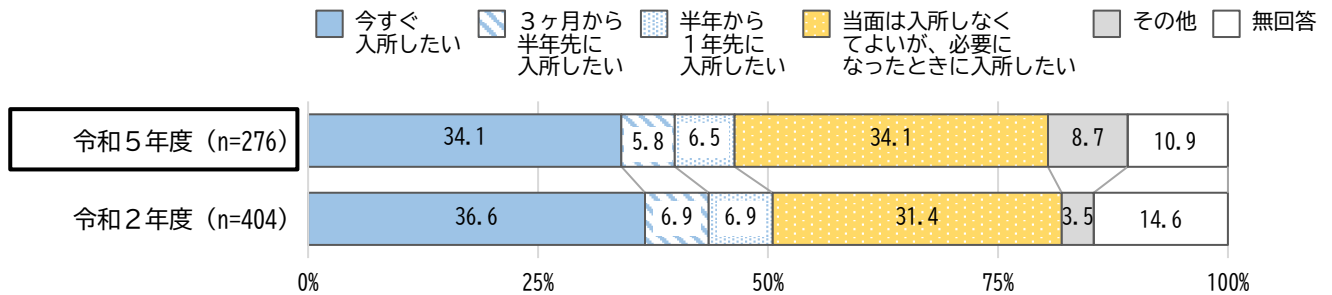
特別養護老人ホームへ入所される場合、どのような部屋を希望するかについて、「多床室」と回答した人の割合が前回調査より増加し37.0%となっており、「個室(ユニット型または従来型)」が前回調査より微減し31.9%となっています。



第6章 特別養護老人ホーム入所待機者調査

問 18 特別養護老人ホームへ入所したい時期はいつですか。(1つの番号に○)

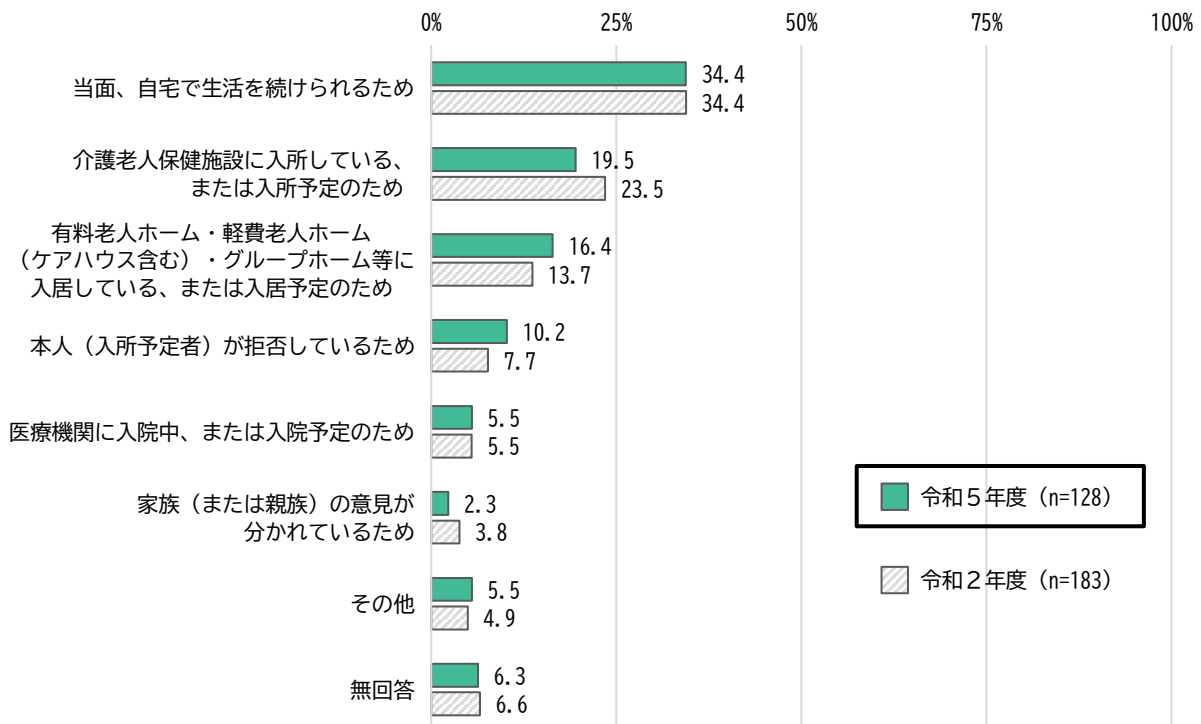
特別養護老人ホームへ入所を希望する時期について、「今すぐ入所したい」あるいは「当面は入所しなくてよいが、必要になった時に入所したい」と回答した人の割合がともに 34.1%となっています。



特別養護老人ホームへ3ヶ月以上先、当面は入所しなくてよいと答えた方におうかがいします。

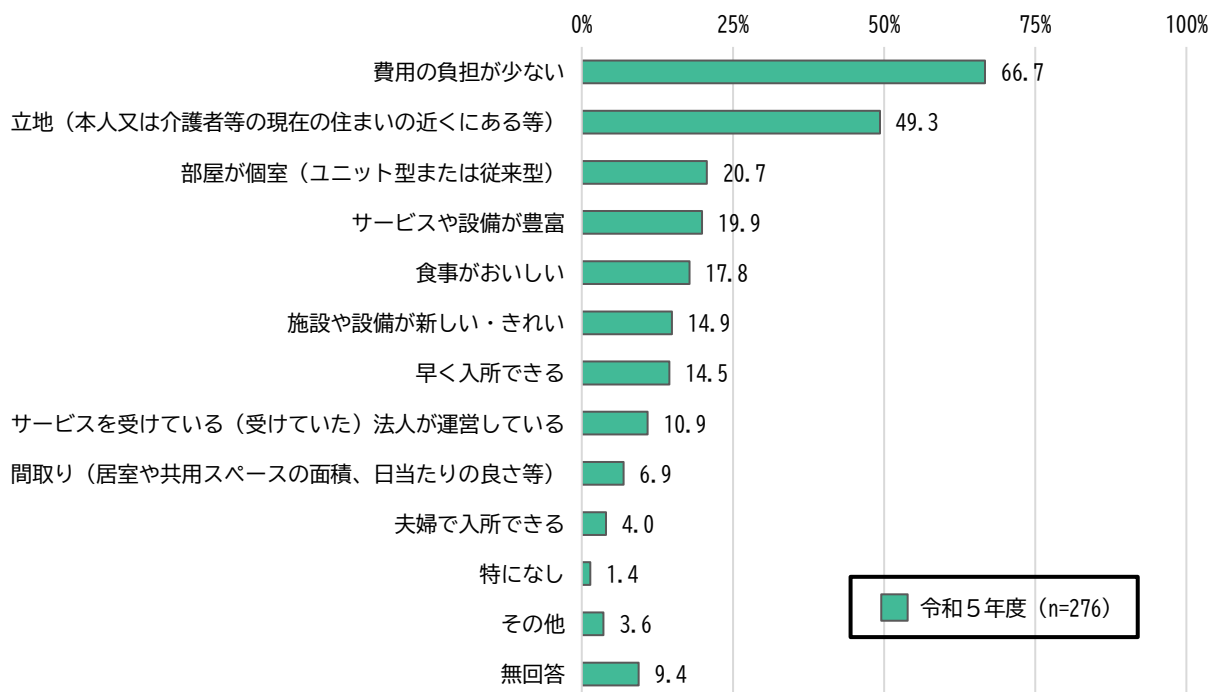
問 18-① 理由は何ですか。最も大きな理由をお答えください。(1つの番号に○)

今すぐ入所しなくてよい最も大きな理由について、「当面、自宅で生活を続けられるため」と回答した人の割合が前回調査から変化はなく 34.4%と前回調査同様最も高く、次いで「介護老人保健施設に入所している、または入所予定のため」が前回調査より減少し 19.5%となっています。



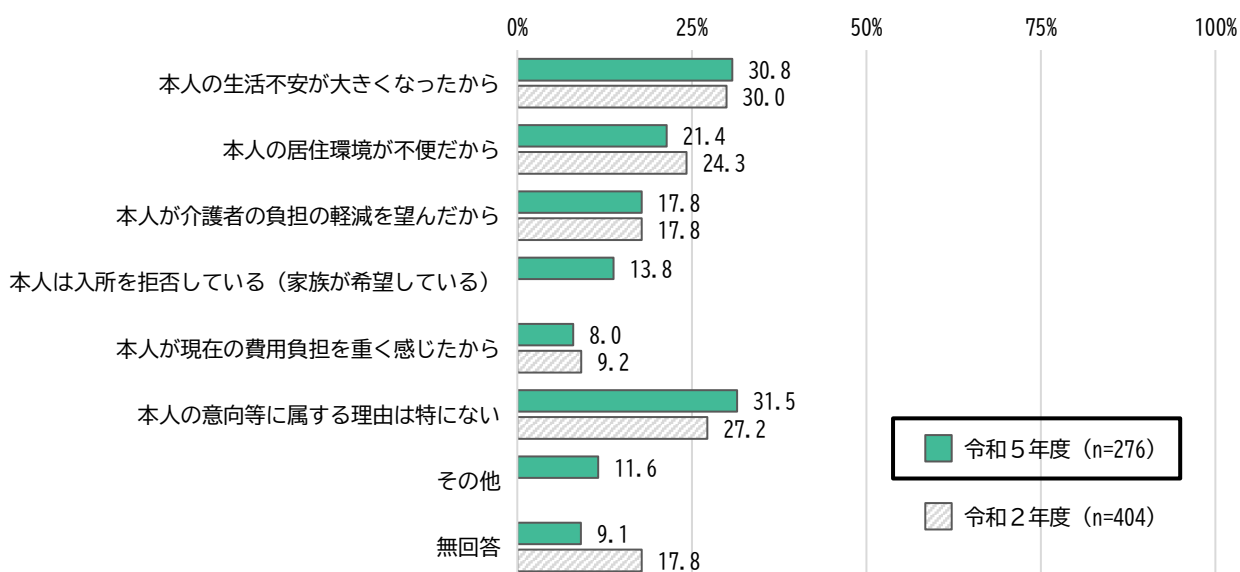
問19 特別養護老人ホームを選ぶ際に重視することは何ですか。
(あてはまるもの3つまで○)

特別養護老人ホームを選ぶ際に重視することについて、「費用の負担が少ない」と回答した人の割合が66.7%と最も高く、次いで「立地（本人又は介護者等の現在の住まいの近くにある等）」が49.3%となっています。



問20 施設での生活を選んだ主な理由のうち、本人の意向等に属する理由を教えてください。
(あてはまるすべての番号に○)

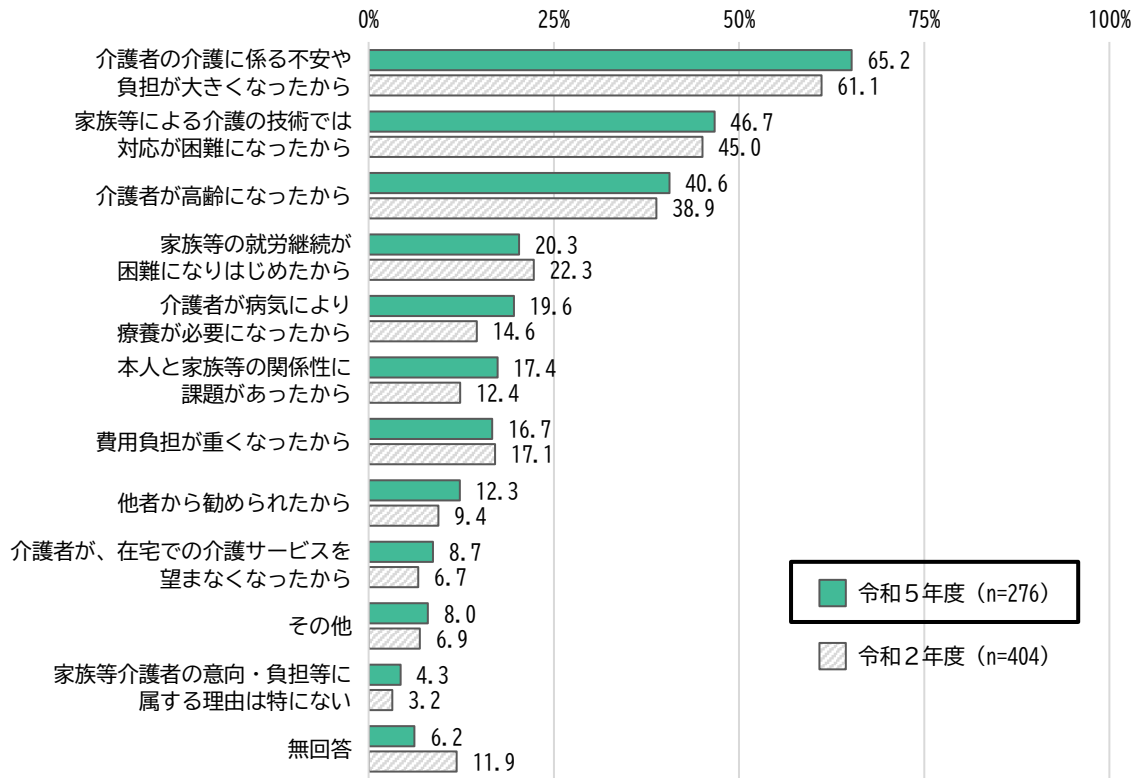
施設での生活を選んだ主な理由のうち本人の意向等に属する理由について、「本人の意向等に属する理由は特になし」と回答した人の割合が前回調査から増加し31.5%と最も高く、次いで「本人の生活不安が大きくなったから」が30.8%となっています。



第6章 特別養護老人ホーム入所待機者調査

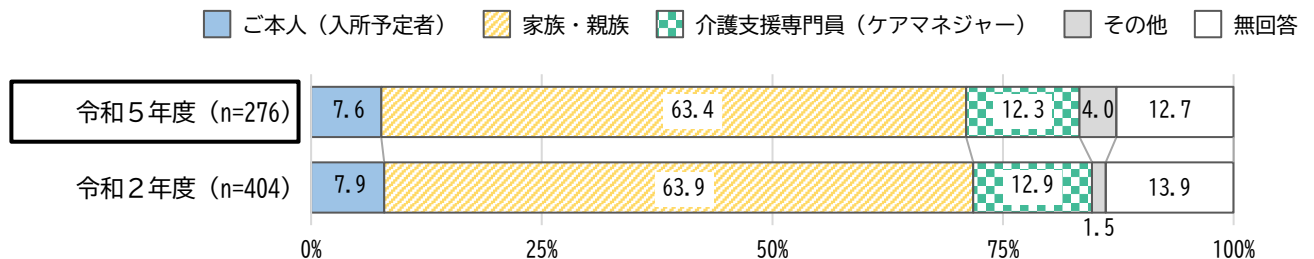
問 21 施設での生活を選んだ主な理由のうち、主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由を教えてください。(あてはまるすべての番号に○)

施設での生活を選んだ主な理由のうち、介護者の意向・負担等に属する理由について、「介護者の介護に係る不安や負担が大きくなったから」と回答した人の割合が前回調査より増加し 65.2%と前回調査同様最も高く、次いで「家族等による介護の技術では対応が困難になったから」が前回の調査より微増し 46.7%となっています。



問 22 特別養護老人ホームの入所申込みを決めた方はどなたですか。「主にこの人の意見で決めた」あるいは「主にこの人の勧めで決めた」という方をお答えください。(1つの番号に○)

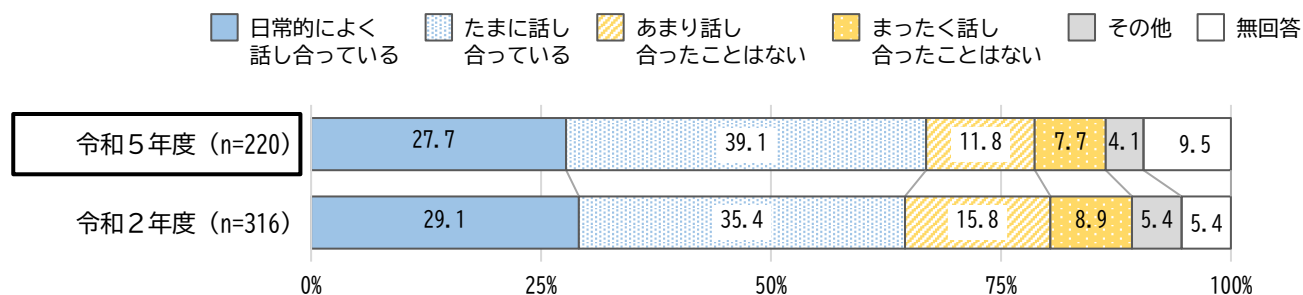
特別養護老人ホームの入所申込みを決めた方について、「家族・親族」と回答した人の割合が前回調査からほぼ変化はないものの 63.4%となっており、「介護支援専門員(ケアマネジャー)」が 12.3%となっています。



特別養護老人ホームの入所申込みを決めた方がご本人以外と答えた方におうかがいします。

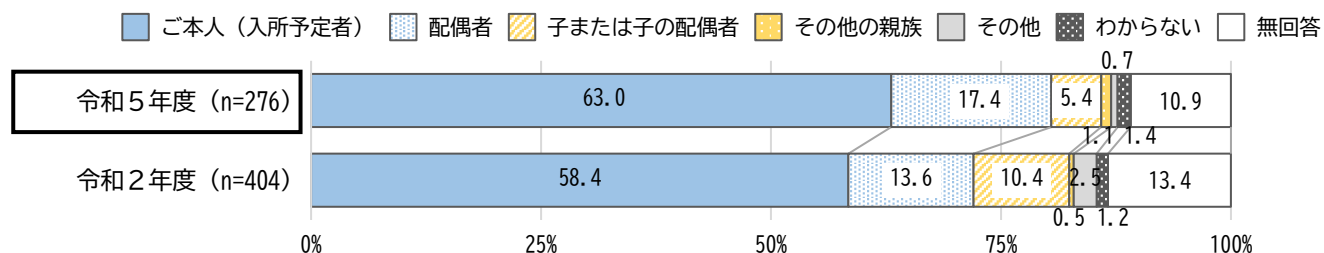
問 22-① ご本人（入所予定者）の特別養護老人ホームへの入所について、家族（または親族）で話し合っていますか。（1つの番号に○）

特別養護老人ホームへの入所を家族で話し合っているかについて、「日常的によく話し合っている」と回答した人の割合が前回調査より微減し 27.7%となっており、「たまに話し合っている」と回答した割合が前回調査より増加し 39.1%となっています。



問 23 特別養護老人ホームに入所された場合、主に費用を負担される予定の方はどこですか。（1つの番号に○）

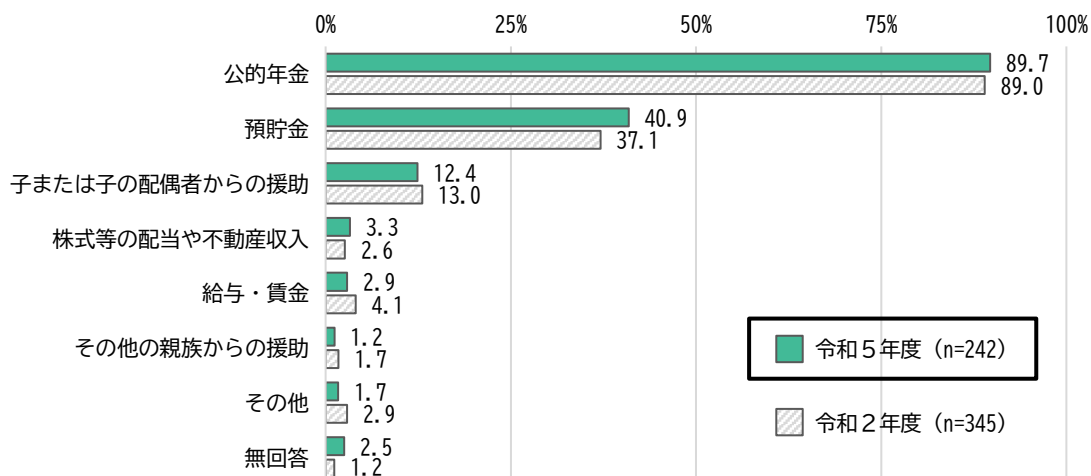
特別養護老人ホームに入所した場合に主に費用を負担する予定の方について、「ご本人（入所予定者）」と回答した人の割合が前回調査より増加し 63.0%となっています。



主に費用を負担される予定の方がご本人ご家族等と回答した方におうかがいします。

問 23-① 入所費用にあてる主な収入（資金）は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

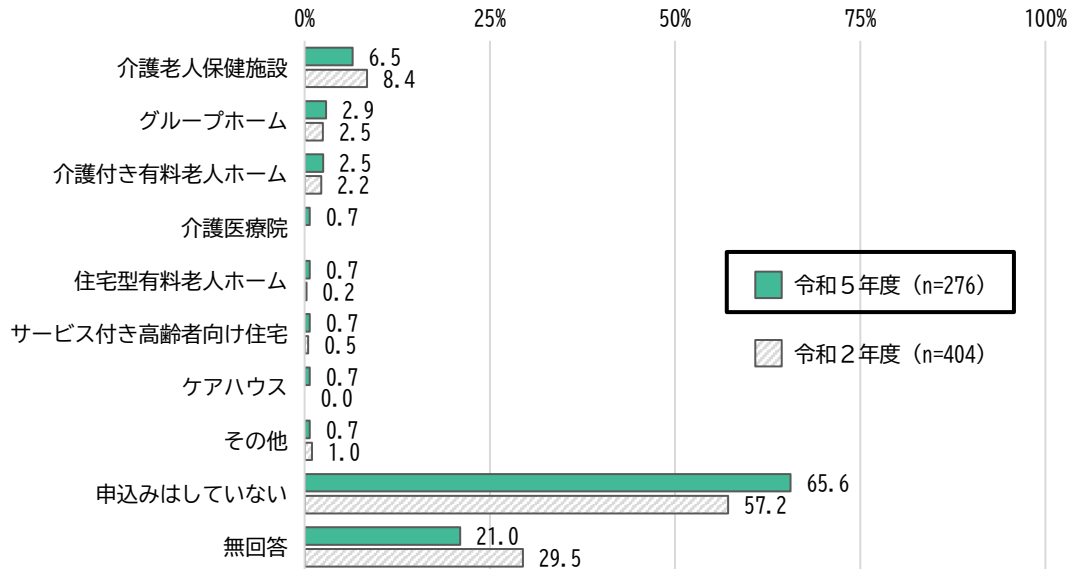
入所費用にあてる主な収入について、「公的年金」と回答した人の割合が前回調査からほぼ変化はないものの 89.7%と前回調査同様最も高く、次いで「預貯金」が前回調査より微増し 40.9%となっています。



第6章 特別養護老人ホーム入所待機者調査

問 24 特別養護老人ホーム以外で申込みをしている施設をお答えください。
(あてはまるすべての番号に○)

特別養護老人ホーム以外で申込みをしている施設について、「申込みはしていない」と回答した人の割合が前回調査より増加し 65.6%となっており、「介護老人保健施設」が 6.5%となっています。



なお、特別養護老人ホーム以外で申込みをしている人のうち、施設別の申込か所数の回答割合については、それぞれ以下の通りとなっています。

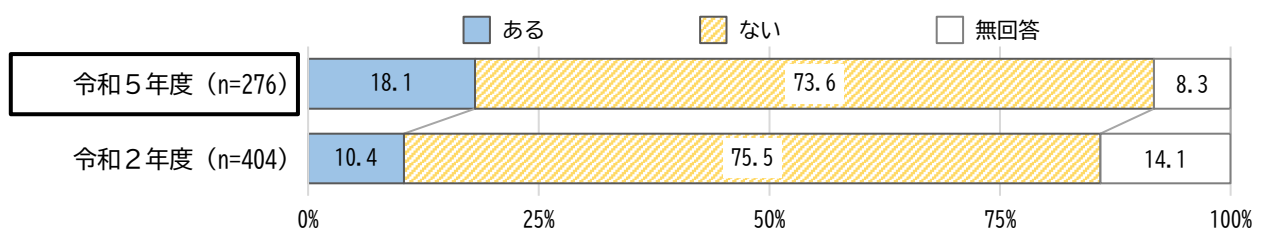
■ 特別養護老人ホーム以外で申込みをしている人 (n=37)

(単位：%)

	1 か所	2 か所	3 か所	4 か所	無回答
介護老人保健施設	35.1	8.1	2.7	0.0	2.7
介護医療院	2.7	0.0	0.0	0.0	2.7
グループホーム	10.8	0.0	2.7	2.7	5.4
介護付き有料老人ホーム	8.1	0.0	0.0	5.4	5.4
住宅型有料老人ホーム	2.7	0.0	0.0	0.0	2.7
サービス付き高齢者向け住宅	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0
ケアハウス	2.7	0.0	0.0	0.0	2.7
その他	2.7	0.0	0.0	0.0	2.7

問 25 特別養護老人ホームから入所可能の連絡があった際に辞退したことがありますか。
(1つの番号に○)

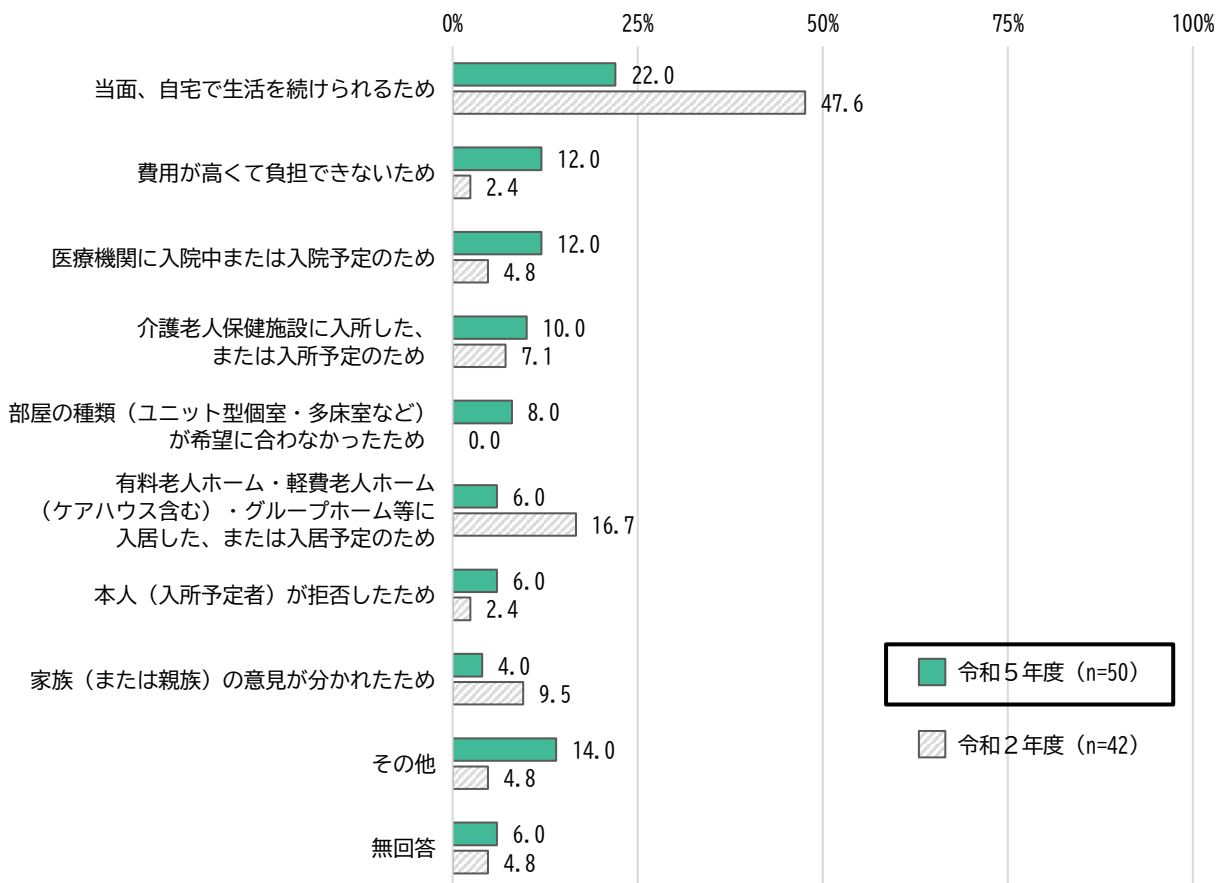
特別養護老人ホームから入所可能の連絡があった際に辞退したことがあるかについて、「ある」と回答した人の割合が前回調査より増加し 18.1%となっています。



入所可能な連絡があった際に辞退したことが「ある」と答えた方にお伺いします。

問 25-① 辞退した理由はなんですか。最も大きな理由をお答えください。
(1つの番号に○)

辞退した理由について、「当面、自宅で生活を続けられるため」と回答した人の割合が前回調査より大幅に減少したものの 22.0%と前回調査同様最も高く、次いで「費用が高くて負担できないため」「医療機関に入院中または入院予定のため」が前回調査より増加し、ともに 12.0%となっています。

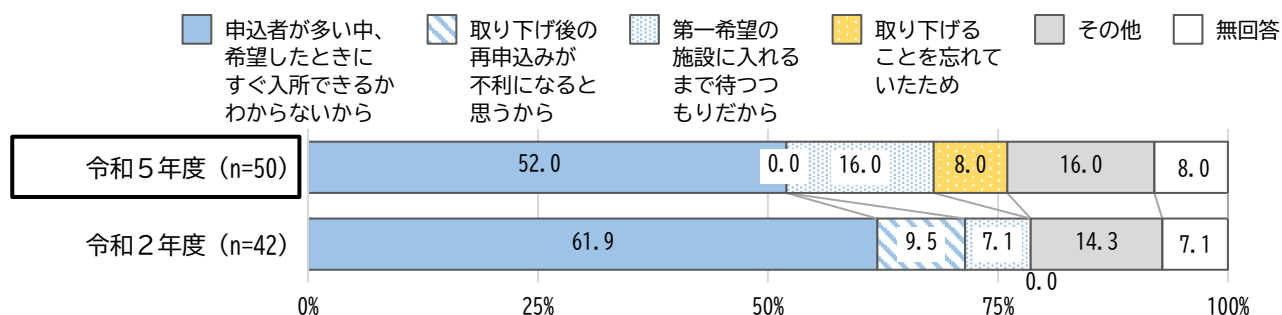


その他・・・本人がいないと、夫が落ちつかなくなる為、要介護が2になってしまったからなど

入所可能な連絡があった際に辞退したことが「ある」と答えた方にお伺いします。

問 25-② 入所を辞退した後も、入所申込みを取り下げているもっとも大きな理由はなんですか。(1つの番号に○)

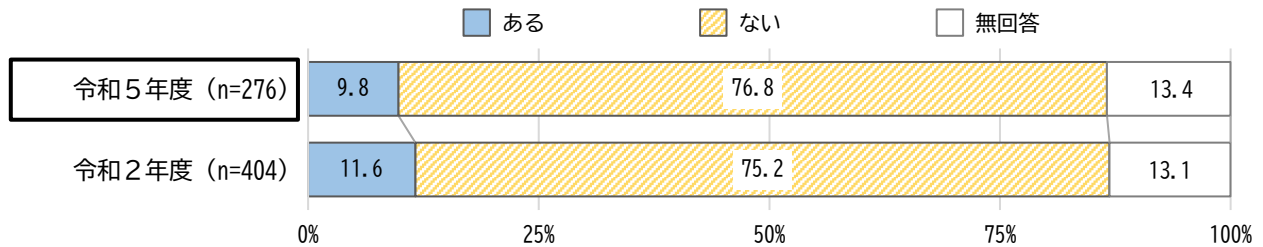
入所申込みを取り下げている理由について、「申込者が多い中、希望したときにすぐ入所できるかわからないから」と回答した人の割合が前回調査より減少したものの 52.0%となっており、「第一希望の施設に入れるまで待つつもりだから」が 16.0%となっています。



第6章 特別養護老人ホーム入所待機者調査

問 26 特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことがありますか。
(1つの番号に○)

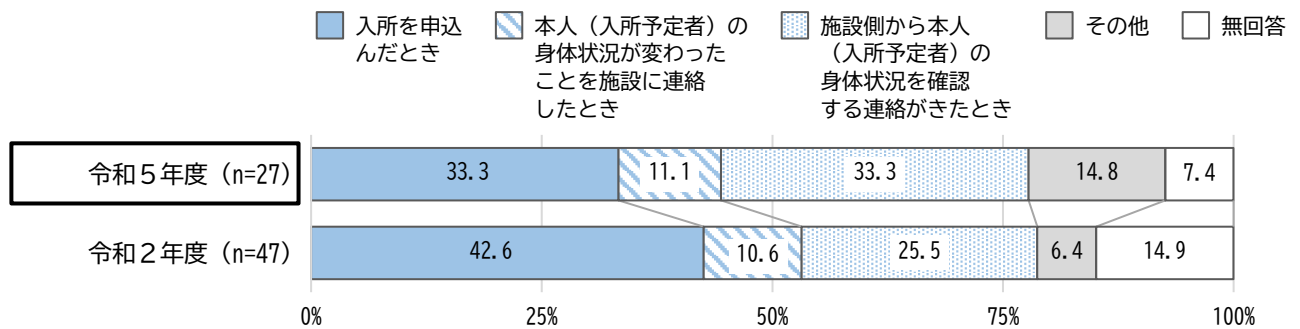
特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことがあるかについて、「ある」と回答した人の割合が前回調査より微減し9.8%となっています。



特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことが「ある」と答えた方におうかがいします。

問 26-① 入所を断られた時期はいつですか。(1つの番号に○)

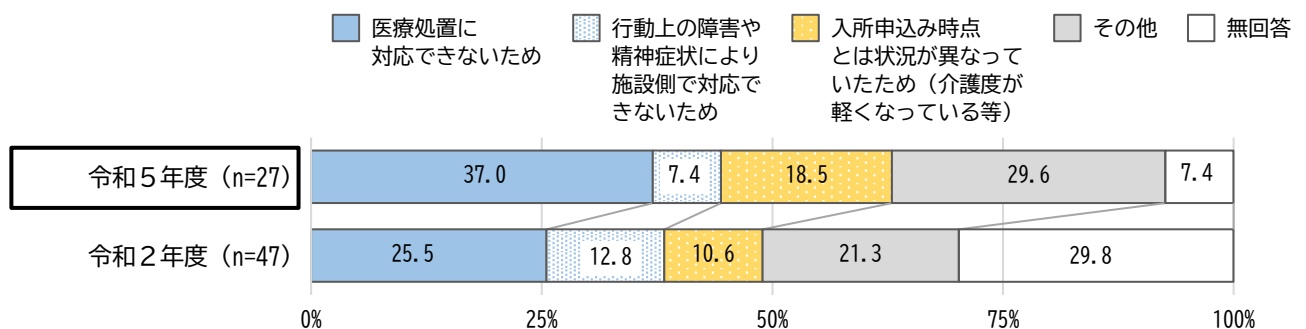
入所を断られた時期について、「入所を申込んだとき」と回答した人の割合が前回調査より減少したものの33.3%となっており、「施設側から本人(入所予定者)の身体状況を確認する連絡がきたとき」も33.3%となっています。



特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことが「ある」と答えた方におうかがいします。

問 26-② 入所を断られた理由は何ですか。最も大きな理由をお答えください。
(1つの番号に○)

入所を断られた理由について、「医療処置に対応できないため」と回答した人の割合が前回調査より大幅に増加し37.0%となっています。



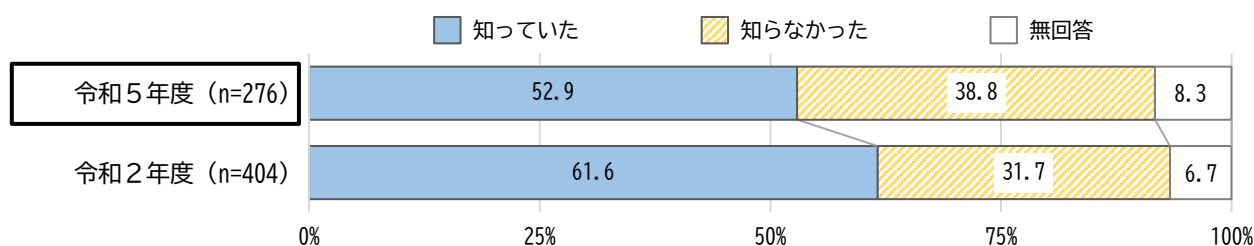
5. 特別養護老人ホーム入所の優先順位について

問 27 松戸市は、必要性が高い方から特別養護老人ホームに入所できるよう、本人の状況や介護者の状況を客観的に判断するための基準を定め、基準に従って付けられた点数の大小により入所優先順位を決定しています。

こうした基準によって入所の優先順位が決まっていることを知っていましたか。

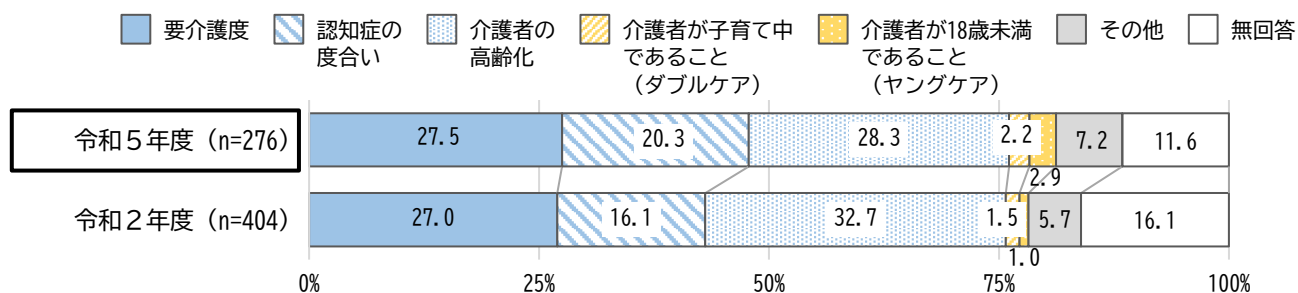
(1つの番号に○)

必要性が高い方から入所できるよう基準を定めて点数で優先順位を決定していることについて、「知っていた」と回答した人の割合が前回調査より減少し52.9%となっています。



問 28 今後、入所基準で優先すべき事項は何だと思えますか。(1つの番号に○)

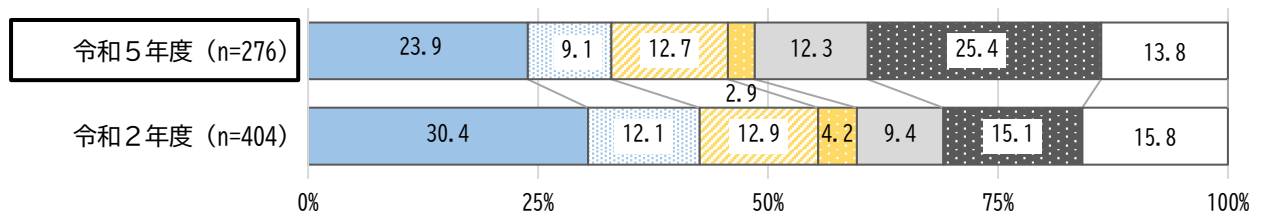
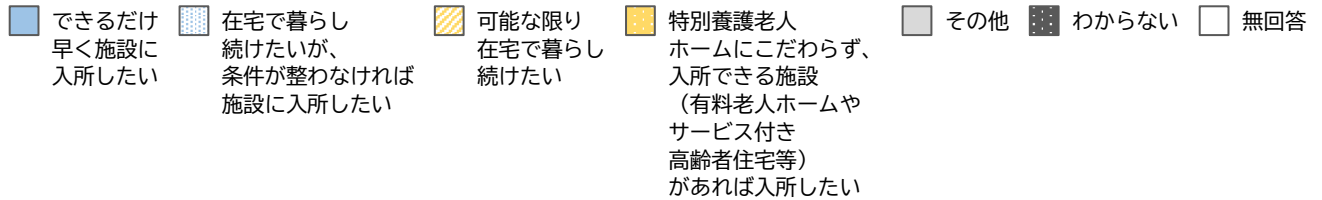
今後、入所基準で優先すべき事項について、「介護者の高齢化」と回答した人の割合が前回調査より減少したものの28.3%と前回調査同様最も高く、次いで「要介護度」が27.5%となっています。



6. 今後の生活や介護保険のサービスについて

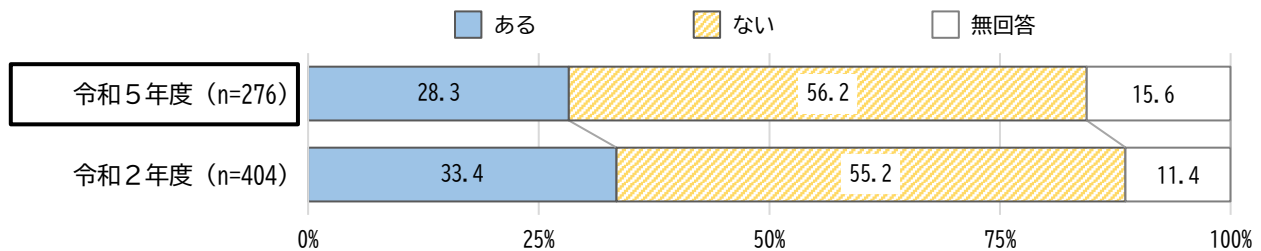
問29 ご本人（入所予定者）は特別養護老人ホームに申込んだ時点と比較して現在では入所に関してどのように考えていますか。（1つの番号に○）

ご本人が現在入所に関してどのように考えているかについて、「できるだけ早く施設に入所したい」と回答した人の割合が前回調査より減少したものの23.9%となっています。



問30 特別養護老人ホームへの入所以外で対応できる介護サービスがあれば入所希望について再検討する可能性はありますか。（1つの番号に○）

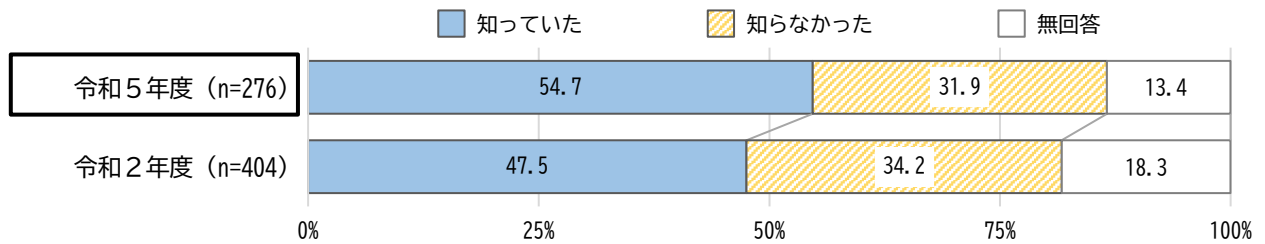
特別養護老人ホームへの入所以外で対応できる介護サービスがあれば入所希望について再検討する可能性があるかについて、「ある」と回答した人の割合が前回調査より減少し28.3%となっています。



問 31 松戸市では「要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で生活し続けたい」という方の希望を実現するため、重度の方を支える以下の在宅サービスの整備を進めていますが、これらの在宅サービスを知っていましたか。また、ご本人（入所予定者）は利用してみたいと思いますか。①～③それぞれに回答してください

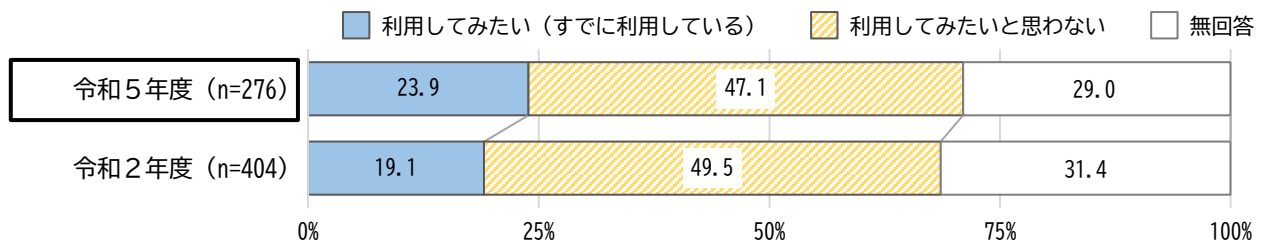
問 31 ①小規模多機能型居宅介護を知っていましたか。（1つの番号に○）

小規模多機能型居宅介護を知っていたかについて、「知っていた」と回答した人の割合が前回調査より増加し 54.7%となっています。



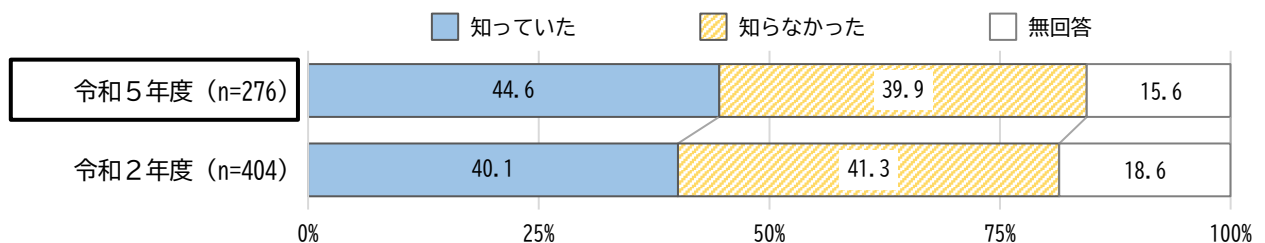
問 31 ①小規模多機能型居宅介護を利用してみたいと思いますか。（1つの番号に○）

小規模多機能型居宅介護を利用してみたいかについて、「利用してみたい(すでに利用している)」と回答した人の割合が前回調査より増加し 23.9%となっています。



問 31 ②看護小規模多機能型居宅介護を知っていましたか。（1つの番号に○）

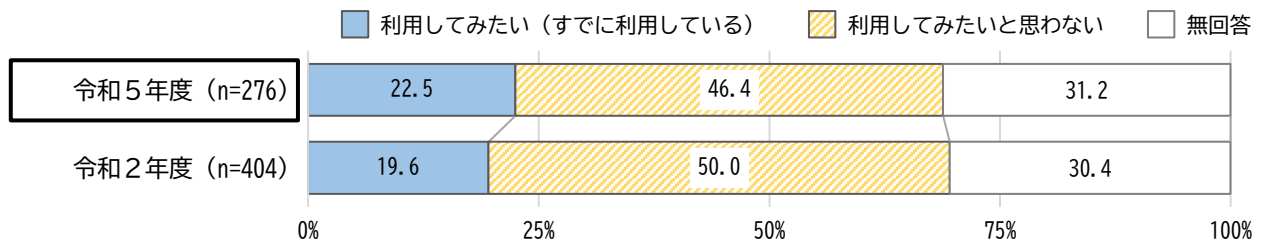
看護小規模多機能型居宅介護を知っていたかについて、「知っていた」と回答した人の割合が前回調査より増加し 44.6%となっています。



第6章 特別養護老人ホーム入所待機者調査

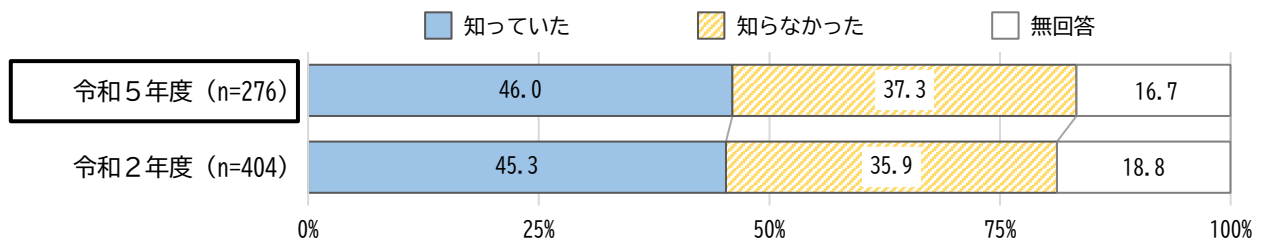
問 31 ②看護小規模多機能型居宅介護を利用してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

看護小規模多機能型居宅介護を利用してみたいかについて、「利用してみたい(すでに利用している)」と回答した人の割合が前回調査より微増し22.5%となっています。



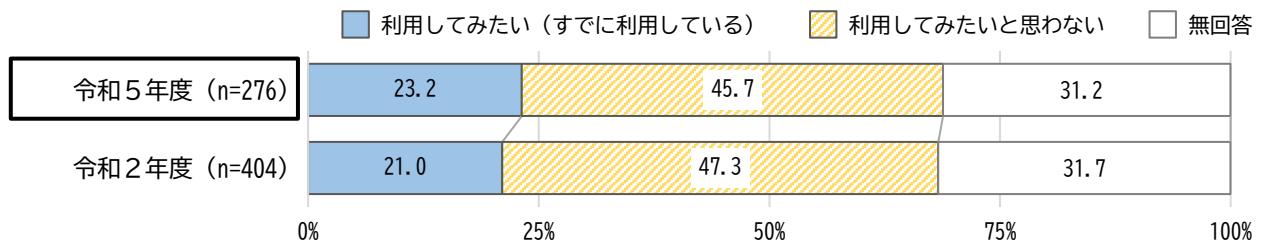
問 31 ③定期巡回・随時対応型訪問介護看護を知っていましたか。(1つの番号に○)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護を知っていたかについて、「知っていた」と回答した人の割合が前回調査からほぼ変化はないものの46.0%となっています。



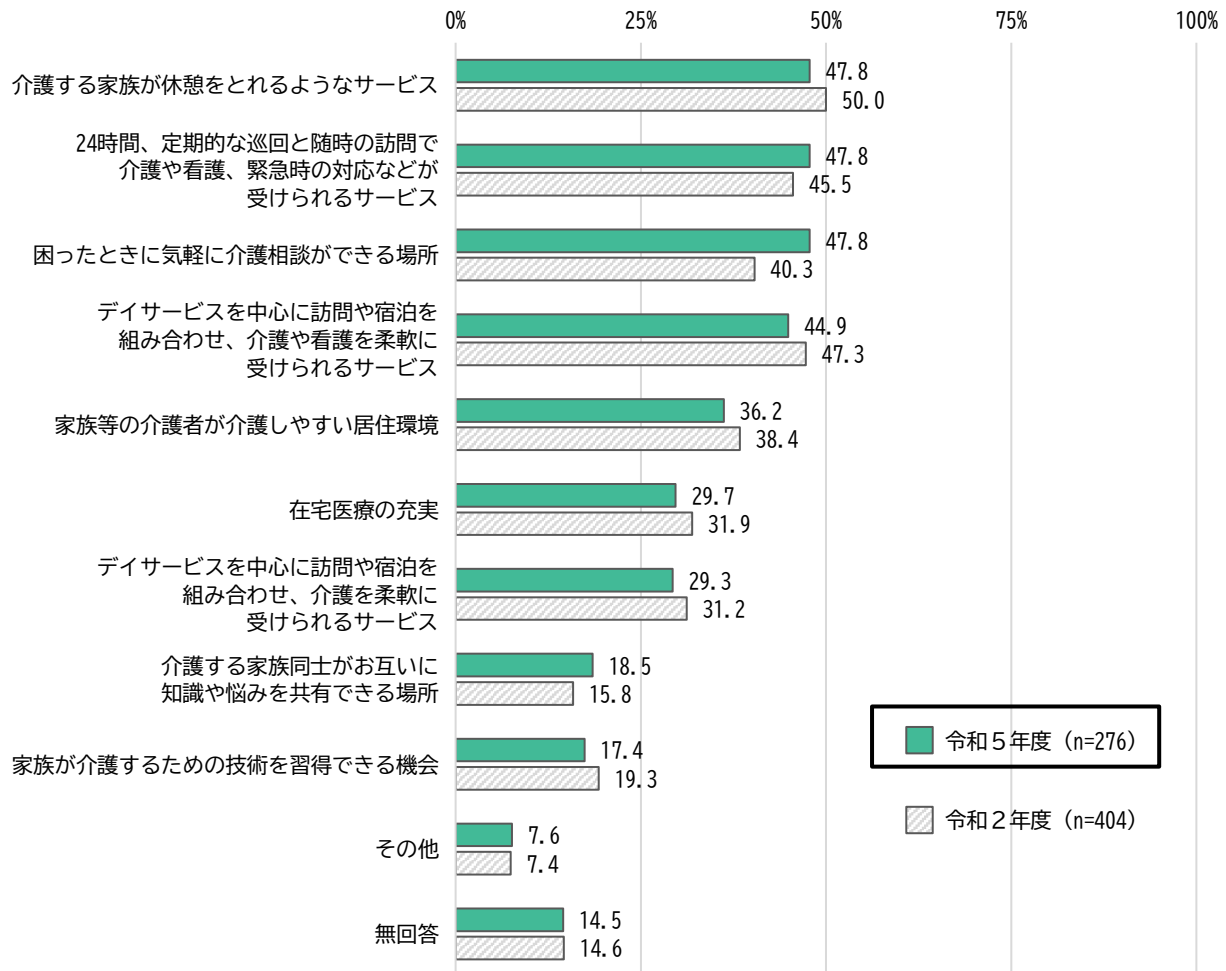
問 31 ③利用してみたいと思いますか。(1つの番号に○)

定期巡回・随時対応型訪問介護看護を利用してみたいかについて、「利用してみたい(すでに利用している)」と回答した人の割合が前回調査より微増し23.2%となっています。



問 32 自宅で介護を受けながら生活していくためには何が必要だと思いますか。
(あてはまるすべての番号に○)

自宅で介護を受けながら生活していくために必要なことについて、「介護する家族が休憩をとれるようなサービス」、「24時間、定期的な巡回と随時の訪問で介護や看護、緊急時の対応などが受けられるサービス」、「困ったときに気軽に介護相談ができる場所」と回答した人の割合が最も高く47.8%となっています。



卷末資料 調査票

1. 介護事業所従事者調査（経営者・管理者） 調査票

松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関するアンケート調査
介護事業所従事者調査（経営者・管理者） 調査票

<<郵便番号>>
<<住所>>
<<事業所名>>
介護保険施設・事業所経営者・管理者 様
<<事業所番号>>
<<サービス種類>>

WEB（インターネット）で回答する場合は
下のログインID・パスワードにて
回答フォームにログインし、回答してください。

ログインID：
パスワード：

この調査票を記入される方の役職をお答えください。（1つの番号に○）

32990 ▶ 1. 法人代表者
2. 役員
3. 施設長・管理者
4. 管理職
5. 一般職員
6. その他（ ）

32990 ▼

貴事業所・施設の人材や業務に関することについてお答えください。

問1 令和4年4月1日時点における貴事業所・施設の従業員数を雇用形態別・性別・年齢別にご記入ください。（数字を記入、該当がない場合は0を記入）
※ 併設事業所と兼務している職員については、2つのサービス業務の場合は0.5、3つのサービス業務の場合は0.3として記入ください。

	① 正規職員		② 非正規職員（嘱託、契約、臨時、パート等） ※派遣職員は除く	
	男性	女性	男性	女性
29歳以下	人	人	人	人
30歳代	人	人	人	人
40歳代	人	人	人	人
50歳代	人	人	人	人
60歳代	人	人	人	人
70歳以上	人	人	人	人

問2 令和4年4月1日時点における貴事業所・施設従業員の保健医療福祉関係の保有資格者数をご記入ください。（複数資格を持っている方も、それぞれの資格ごとに1人としてカウントしてください）（数字を記入、該当がない場合は0を記入）

① 介護支援専門員	人	④ 社会福祉士	人
② 主任介護支援専門員	人	⑤ 看護師・准看護師	人
③ 介護福祉士	人		

問3 令和3年4月～令和4年3月の間に貴事業所・施設に入職された方の人数を雇用形態別にご記入ください。（数字を記入、該当がない場合は0を記入）

① 正規職員	人
② 非正規職員（嘱託、契約、臨時、パート等） ※派遣職員は除く	人

32990 ▼

問4 令和3年4月～令和4年3月の間に貴事業所・施設を退職された方の人数を雇用形態別にご記入ください。（数字を記入、該当がない場合は0を記入）

① 正規職員	人
② 非正規職員（嘱託、契約、臨時、パート等） ※派遣職員は除く	人

問5 貴事業所・施設に入職された方の主な採用ルートはどれですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. ハローワーク	6. 実習の受け入れ	11. 求人情報誌
2. 福祉人材センター	7. 学校訪問	12. 求人サイト
3. 事業所の掲示	8. 講義校からの推薦	13. 新聞折り込み広告
4. ホームページ	9. 職員からの紹介	14. 人材紹介会社 →問5-1を お答えください
5. SNS	10. 合同説明会への出席	15. その他（ ）

→「14. 人材紹介会社」以外をお答えの方は問6にお進みください

採用ルートとして「人材紹介会社」と答えた方にお答えください。
問5-1 過去1年の間で紹介料として負担した金額をお答えください。（1つの番号に○）

1. 0円	5. 400万円以上～600万円未満
2. 1円以上～100万円未満	6. 600万円以上～800万円未満
3. 100万円以上～200万円未満	7. 800万円以上～1,000万円未満
4. 200万円以上～400万円未満	8. 1,000万円以上

問6 採用に係る費用負担（月額）についてお答えください。（1つの番号に○）

1. 0円	5. 40万円以上～60万円未満
2. 1円以上～10万円未満	6. 60万円以上～80万円未満
3. 10万円以上～20万円未満	7. 80万円以上～100万円未満
4. 20万円以上～40万円未満	8. 100万円以上

問7 貴事業所・施設を退職された方の主な退職理由はどれですか。（主なものを2つまでの番号に○）

1. 市内他介護事業所への転職	5. 心身の不調による退職
2. 市外他介護事業所への転職	6. 不明
3. 介護業界以外への転職	7. その他（ ）
4. 結婚・出産・育児・介護・転居等による退職	

問8 貴事業所・施設では派遣職員を活用していますか。（1つの番号に○）

1. 活用している。 2. 活用していない

→問8-1・8-2をお答えください 2. 活用していない →次のページ問9にお進みください

派遣職員を「活用している」と答えた方にお答えください。
問8-1 令和4年4月1日時点における貴事業所・施設の派遣職員数、令和3年4月～令和4年3月の間に貴事業所・施設にて新たに受け入れた派遣職員数をご記入ください。（数字を記入、該当がない場合は0を記入）

① 令和4年4月1日時点における貴事業所・施設の派遣職員数	人
② 令和3年4月～令和4年3月の間に新たに受け入れた派遣職員数	人

32990 ▼

1/12

→ 派遣職員を「活用している」と答えた方におうかがいします。

問8-2 派遣職員に関する費用負担はどう感じていますか。(1つの番号に○)

1. かなり負担である 3. 負担感は妥当である 5. 全く負担ではない
2. 少し負担である 4. あまり負担ではない

問9 貴事業所・施設において、外国籍の職員はいますか。(1つの番号に○)

1. いる →問9-1・9-2をお答えください 2. いない →問10にお進みください

外国籍の職員が「いる」と答えた方におうかがいします。

問9-1 外国籍の介護職員について、下記の受け入れの枠組み毎に人数をご記入ください。(数字を記入、該当がない場合は0を記入)

① EPA 介護福祉士として	人	④ 在留資格「特定技能」として	人
② 外国人留学生 在留資格「介護」として	人	⑤ 日本人の配偶者・永住者・定住者として	人
③ 外国人技能実習生として	人	⑥ その他 ()	人

外国籍の職員が「いる」と答えた方におうかがいします。

問9-2 外国籍の職員について、国籍名とそれぞれの人数をご記入ください。(国籍名と数字を記入)

① 国籍名		人	④ 国籍名		人
② 国籍名		人	⑤ 国籍名		人
③ 国籍名		人	⑥ 国籍名		人

問10 タスクシェア・タスクシフティング*が有効だと感じる業務はありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

* タスクシェア・タスクシフティングとは、介護職の業務を明確化し、介護職員の業務の一部を、介護助手やボランティア等へ移管・共同実施することを指しています。

1. 居室や施設の清掃 5. その他 ()
2. 備品の準備・片付け・補充作業 6. 有効だとは思わない
3. ベッドメイキング 7. わからない(介護職の業務の明確化・切り分けができていない)
4. 洗濯・洗濯物の回収・配布

問11 「介護助手」を採用したいと思いますか。(1つの番号に○)

1. すでに採用している 2. 採用したい 3. 採用したとは思わない

問12 ボランティアを受け入れたいと思いますか。(1つの番号に○)

1. すでに受け入れている 2. 受け入れたい 3. 受け入れたいとは思わない

問13 内部事務(請求・労務管理等)のみを行う専任の職員はいますか。(1つの番号に○)

1. いる 2. いない(兼務である)

問14 貴事業所・施設における、介護職員配置の過不足状況はどうですか。(1つの番号に○)

1. 非常に不足感がある →問14-1をお答えください 3. 現在が妥当
2. 少し不足感がある →問14-1をお答えください 4. やや余裕がある →問15にお進みください
5. 余裕がある

→ 介護職員配置について「非常に不足感がある」「少し不足感がある」と答えた方におうかがいします。

問14-1 不足感を感じる業務は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 食事介助 5. 夜勤 9. リネン交換
2. 食事の準備(配膳) 6. レクリエーション 10. 請求等管理事務
3. 入浴介助 7. 通院等外出付き添い 11. モーニング/ナイトケア
4. 排泄介助 8. 記録書類作成 12. その他 ()

問15 不足感を感じる職種は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護職員(身体介護を行う) 5. 看護師
2. 補助介護職員(身体介護以外の見守り・生活援助等を行う) 6. 理学・作業療法士
3. 事務職 7. その他 ()
4. 送迎運転手 8. 不足感を感じている職種はない

→問15-1をお答えください →問16にお進みください

「不足感を感じる職種がある」と答えた方におうかがいします。

問15-1 不足感を感じる業務や職種に対してどのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 求人活動 6. 同一法人からの異動
2. 時間外労働での対応 7. 利用者の受け入れ制限
3. 労働時間変更や調整 8. 事業縮小の検討
4. 派遣職員の採用 9. その他 ()
5. 他業務との兼務 10. 特に行っていない

問16 貴事業所・施設から離職する理由のうち、主な理由はどのようなことだと思われますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 能力や実績に照らして、給与(賞金)や手当が低いため
2. 業務量、労働時間、超過勤務が多いため
3. 勤務ローテーションやシフトが不規則なため
4. 有給休暇や特別休暇等が取りにくい
5. キャリアアップ・研修制度・資格取得等の人材育成が不十分なため
6. 人員不足による、個々の責任の負担が大きい
7. 夜間や深夜時間帯の勤務における緊急対応への不安があるため
8. 身体的負担が大きい(体力に不安がある)ため
9. 精神的負担が大きい
10. 介護保険事業に対する社会的評価が低い
11. 職員の人間関係が難しい
12. 利用者との人間関係が難しい
13. 重務の利用者や看取りに対する負担が大きい
14. その他 ()

問 21 ハラスメントの防止に必要な取り組みはどのようなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 利用者・家族への啓発	4. ハラスメント対策に関する法制度の整備
2. 利用者・家族等と事業所の相互確認	5. その他 ()
3. 事業所内の情報共有	

問 22 従業員が利用者等から暴力等の被害を受けた際に備えた損害保険に加入していますか。(1つの番号に○)

1. 加入している	3. 未定
2. 加入する予定である	4. 加入するつもりはない

問 23 経営の安定を図る一手法として、法人の大規模化や事務等の協働化[※]について検討していますか。(1つの番号に○)

※ 例えば、社会福祉推進法人（2以上の社会福祉法人等の法人が社員として参画し、地域福祉の充実、災害対応力の強化、福祉サービス事業に係る経営の効率化、人材の確保・育成等を推進する法人制度）の設立。

1. 検討している	→問 23-1 をお答えください	3. あまり検討する必要性を感じない	→問 24 にお進みください
2. 今後検討する必要性を感じている	→問 23-1 をお答えください	4. 全く検討する必要性を感じない	

法人の大規模化や事務等の協働化について「検討している」「今後検討する必要性を感じている」と答えた方におかがいします。

問 23-1 どのような有益性があると考えますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 地域共生社会の実現に向けた種別を超えた連携	5. 福祉人材の確保や人材育成
2. 災害・感染症対応に係る連携	6. 設備、物資の共同購入
3. 事務処理の協働化	7. その他 ()
4. 資金の貸付	

問 24 貴事業所・施設における、運営上の課題はどのようなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 職員の確保	→問 24-1 をお答えください	6. 他事業所との連携
2. 職員の定着率が低い	→問 24-1 をお答えください	7. 医療ニーズへの対応
3. 利用者の確保		8. その他 ()
4. 設備等の職場環境		9. 特にない
5. 物品購入等の仕入コスト		

→「1. 職員の確保」「2. 職員の定着率が低い」以外をお答えの方は次のページ問 25 にお進みください

運営上の課題として「職員の確保」「職員の定着率が低い」と答えた方におかがいします。

問 24-1 人材確保や職員の定着率を高めるうえで、課題と感じているのはどのようなことですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 求人経費（広告料、紹介料等）の負担が大きい	7. 介護実習の際に運利感が生じるなど仕事に就く前と就いた後のギャップ
2. 求人しても応募がない	8. 賃金など労働条件の改善
3. 人材を確保する手段やノウハウが乏しい	9. 職場の人間関係の改善
4. 介護業界内で人材が流動的で取り合いになっている	10. その他 ()
5. 介護業界のイメージアップ	11. 特にない
6. 求職者と求人ニーズのマッチングの難しさ	

6/12

問 17 貴事業所・施設において、これまで取り組んだ離職防止や就業定着のための方策で、特に効果が高かったものはどれですか。(あてはまるもの3つまでの番号に○)

1. 能力や実績に応じた発給や給与体系（キャリアアップの仕組み）を構築すること
2. 超過勤務手当等の贈与の支給を充実させること
3. 人材育成のための研修・資格取得制度を構築すること
4. 規則的な勤務ローテーションやシフト体制等を確立すること
5. ICT（電子データによるコンピュータ処理等情報通信技術）等の導入による書類作成の軽減等、事務作業の効率化、省略化を図ること
6. 育児・介護の休暇等の支援体制や資格取得支援等の福利厚生を充実させること
7. 研修や相談体制の確立により、メンタルヘルスクエアを充実させること
8. カスタマー・ハラスメント（利用者や家族等からの身体的暴力や精神的暴力、セクシュアルハラスメント）の対策研修
9. 職場内のハラスメント（セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメント）の対策研修
10. 面談等でコミュニケーションを図り、職場内の人間関係を良好にすること
11. 苦情等のトラブル対応への組織的サポート体制を整備すること
12. その他 ()
13. どの方策も効果が上がらなかった
14. 特に取り組んだことはない

問 18 人事評価や役職・給与の決定は、何に基づいて行っていますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護技術・マネジメント等の能力や実績	5. 年齢
2. 資格の取得状況、研修の受講状況	6. 従業員自身による自己評価
3. 介護職としての経験年数	7. その他 ()
4. 自らの組織での経験年数	

問 19 人材育成のために、どのような取り組みを行っていますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 職員の育成計画の作成	5. 評価項目に基づく人事評価の実施
2. 外部研修や資格取得のための講義等を受講できる	6. 人事評価や研修についての従業員の意見の聴取
3. 外部研修受講や資格取得に要する費用の助成	7. その他 ()
4. OJT（職場での仕事の経験を通じた職業訓練）の仕組みの構築	

問 20 貴事業所・施設において、利用者又は家族等からのハラスメント行為の発生を把握した時どのように対応します（しています）か。(あてはまるものすべての番号に○)

1. ハラスメントの事実確認を行う	6. 被害を受けた職員が関わらないように調整する
2. 職員に対し今後の対応を明確に示す	7. 利用者家族と話し合い再発防止策を検討する
3. 職員と具体的な対応について話し合う場を設定する	8. 別の事業所等を紹介し、契約解除を求める
4. ハラスメントの情報を他の施設、事業所と共有し、連携して対応する	9. その他 ()
5. 再発防止が確認されるまで、複数人で対応する	10. 特にない

5/12

問 25 介護職のイメージについて6年前（平成29年）頃と比較して変わってしまったか。 (1つの番号に○)

- 1. かなり良くなった
- 2. 良くなった
- 3. かわらない
- 4. 悪くなった
- 5. かなり悪くなった

問 26 今後、障害者や外国人等の幅広い人材を新たに採用する予定はありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 障害者
- 2. 元高齢者
- 3. 子育て等により離職している方
- 4. 外国人
- 5. その他 ()

問 27 多くの方に介護の仕事の魅力について知ってもらうために、松戸市からのどのような情報発信が有効だと考えますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. YouTube配信（地元高校生や専門学校とのコラボ企画、市内事業所への取材など）
- 2. イベント（合同就職相談会や映画上映会など）
- 3. 広報まつど介護保険特集号（介護従事者インタビューなど）
- 4. 松戸市公式ホームページ
- 5. SNS
- 6. その他 ()

問 28 以下の①～⑥の千葉県が実施している事業について活用状況をお答えください。(①～⑥それぞれ別の事業ごとに1つの番号に○)

① 千葉県介護サービス事業所 ICT 導入支援事業費補助金	1. 実績がある	3. 活用するつもりはない
	2. 活用したい	4. 制度を知らない
② 千葉県介護ロボット導入支援事業費補助金	1. 実績がある	3. 活用するつもりはない
	2. 活用したい	4. 制度を知らない
③ 千葉県新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制強化事業費補助金	1. 実績がある	3. 活用するつもりはない
	2. 活用したい	4. 制度を知らない
④ 千葉県介護施設等整備事業補助金（介護施設等における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策支援事業）	1. 実績がある	3. 活用するつもりはない
	2. 活用したい	4. 制度を知らない
⑤ 千葉県介護施設等整備事業補助金（介護職員の居着施設整備事業）	1. 実績がある	3. 活用するつもりはない
	2. 活用したい	4. 制度を知らない
⑥ 千葉県介護現場における働き方改革促進事業	1. 実績がある	3. 活用するつもりはない
	2. 活用したい	4. 制度を知らない

問 29 以下の①～③の松戸市が実施している事業について活用状況をお答えください。(①～③それぞれの事業ごとに1つの番号に○)

① 松戸市介護職員初任者研修等費用補助金（介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修）	1. 実績がある	3. 活用するつもりはない
	2. 活用したい	4. 制度を知らない
② 松戸市介護人材育成事業費補助金	1. 実績がある	3. 活用するつもりはない
	2. 活用したい	4. 制度を知らない
③ 松戸市介護職員等永年勤続表彰	1. 実績がある	3. 活用するつもりはない
	2. 活用したい	4. 制度を知らない

介護サービスについてお答えをお願いします。

問 30 今後、高齢になっても住み慣れた地域（住宅）での生活を続けるために、地域において特に必要と思う生活支援はどのようなことですか。(あてはまるもの4つまでの番号に○)

- 1. 日常的な補給、洗濯及び炊事等の家事援助
- 2. ごみ出し
- 3. 食材や日用品等の買い物代行
- 4. 草取りや水やり等の庭の手入れ
- 5. ペットの世話
- 6. 住民による声かけ、見守り
- 7. 緊急通報装置等による安否確認
- 8. 電話等による服薬確認
- 9. 話し相手（傾聴）
- 10. 移送ドライバー、通院介護や散歩補助等の外出支援
- 11. 健康体操や筋力トレーニング等の運動指導、梅会の提供
- 12. 認知症予防のための脳トレーニングや運動教室
- 13. 地域交流の場として、サロンやコミュニティカフェの開設
- 14. 弁当や食料配達等の配達
- 15. 認知症の方の市民後見人等の権利保護
- 16. 介護家族等へのアドバイス、サポート
- 17. その他 ()
- 18. 特になし

問 31 貴事業所・施設では、日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標を利用者や家族と共有し、自立支援・重症化防止を意識した介護を行うことについて説明を行っていますか。(1つの番号に○)

- 1. いつも説明を行っている
- 2. ある程度説明を行っている
- 3. あまり説明を行っていない
- 4. 全く説明を行っていない

問 32 介護予防における「リエイブルメント※」という概念を知っていますか。(1つの番号に○)

- 1. 「リエイブルメント」という概念を知っており、実践できている
- 2. 「リエイブルメント」という概念は知っているが、実践できていない
- 3. 「リエイブルメント」という概念自体を知らない

※ リエイブルメントとは、「再び自分でできるようにする」というもので、高齢者が、自立した在宅生活を継続するために、本人の潜在的な力や、活用できる周囲の資源を見出し、自身の生活を自らでコントロールできるような支援を目指すものです。

問 33 地域住民が介護予防の取組みを実施するにあたり、貴事業所・施設で協力できることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 場所の提供
- 2. 物品等の貸出
- 3. 講師や職員の派遣、体験指導、レクリエーションの企画・実施等
- 4. 特になし
- 5. その他 ()

問38 地域包括支援センターに困難対応事例や虐待（疑い含む）事例等について相談したことがありますか。（1つの番号に○）

1. 過去1年以内に相談した	3. 相談したことがない
2. 1年以上前だが相談したことがある	

問39 貴事業所・施設では地域包括支援センターが主催する研修や会議に参加していますか。（1つの番号に○）

1. 定期的に参加している	3. 参加したことがない
2. ある程度、参加している	

問40 貴事業所・施設では地域ケア会議にどのくらい参加していますか。（1つの番号に○）

1. 定期的に参加している	3. 参加したことがない
2. ある程度、参加している	4. 地域ケア会議を知らない

問41 医療機関・医療関係者との連携は図れていますか。（1つの番号に○）

1. 十分できている	3. あまりできていない
2. 概ねできている	4. できていない

問42 医療機関・医療関係者とさらなる連携を図るために、必要と感じていることは何ですか。（あてはまるもの3つまでの番号に○）

1. 利用者について医療と介護関係者間で情報共有ができるシステム（連携シートやICT）
2. 医療従事者を含めた多職種でのカンファレンス・会議等の機会
3. 市民への在宅医療についての啓発
4. 在宅医療を提供する医療機関・薬局・訪問看護ステーション等の情報
5. 利用者が入院した際に入院先医療機関との情報共有
6. 利用者の退院に向けた入院先医療機関とのカンファレンスの実施
7. 24時間連絡を対応可能な在宅療養支援病院・診療所の充実
8. 市民へのACP*（アドバンス・ケア・プランニング）についての啓発
9. 医療・介護関係者間での利用者のACPについての情報共有
10. 介護関係者におけるACPの学習機会
11. その他（ ）
12. わからない

※ ACP：人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセス

問43 松戸市在宅医療・介護連携支援センター*との連携を図れていますか。（1つの番号に○）

1. 十分できている	3. あまりできていない	5. センターを知らない
2. 概ねできている	4. できていない	

※ 市内の医療・介護関係者・地域包括支援センター等のための在宅医療・介護連携に関する相談窓口です。

問34 自立支援・重症化防止について、身体状態の維持・改善の状況を評価し、事業者へのインセンティブ（成果報酬）を付与することに關してどのように考えますか。（1つの番号に○）

1. 賛成	3. どちらともいえない	5. 反対
2. どちらかといえば賛成	4. どちらかといえば反対	6. わからない

問34-1 その理由をお答えください。

◎ 問35（問35-1）は訪問介護・通所介護を提供している事業所のみお答えください。
 →訪問介護・通所介護以外の事業所は問36にお進みください

問35 介護保険サービスと保険外サービス*を組み合わせ提供することについて、どのようにお考えですか。（1つの番号に○）

※ 保険外サービスとは、介護保険給付の対象とはならないもの、高齢者のニーズに対応するサービスです。例えば、散歩や週末のための外出の付き添いや、家族への食事・掃除・買い物等の家事援助、認知症の方の車なる見守り、宿泊サービスなどのことです。

1. すでに提供している	→問36にお進みください
2. 取り組みたい	→問36にお進みください
3. 取り組みたいと思わない	→問35-1をお答えください
4. わからない	→問36にお進みください

組み合わせ提供することに「取り組みたいと思わない」と答えた方におうかがいします。
 問35-1 保険外サービスに取り組みたいと思わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. ニーズがない	3. 資金が足りない	5. ノウハウがない
2. 人員が足りない	4. 他に有力な事業所がある	6. その他（ ）

地域連携についておうかがいします。

問36 地域包括支援センターとの連携は図れていますか。（1つの番号に○）

1. 十分できている	3. あまりできていない
2. 概ねできている	4. できていない

問37 今後、連携がより必要と考えるのは、どのような関係機関・関係者ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 介護分野の関係機関・関係者	6. 町会・自治会
2. 地域包括支援センター	7. 民生委員・児童委員
3. 子ども分野の関係機関・関係者	8. 民間企業等
4. 障害分野の関係機関・関係者	9. その他（ ）
5. 生活困窮分野の関係機関・関係者	10. 特になし

問37-1 その理由をお答えください。

○ 問 44・45 は入所施設の方のみご回答ください。
 →入所施設以外の事業所は問 46 にお進みください

問 44 配属医師・協力医療機関についてお答えください。(1つの番号に○)

- 1. 市内の医療機関である
- 2. 市外の医療機関である

問 45 かかりつけ医のいる方が入所された場合、その後を担当する主治医について、どのような体制をとっていますか。(1つの番号に○)

- 1. 主治医は配属医師・協力医療機関に交代することが多い
- 2. 主治医は配属医師・協力医療機関に交代せず、それまでのかかりつけ医が可能な引き継ぎ担当することが多い

問 46 共生型サービス[※]について関心がありますか。(1つの番号に○)

※ 共生型サービスは、同一事業所において、介護保険サービスと障害福祉サービスの両方を提供しやすくすることを目的とした指定手続きの特例として設けられた制度です。

- 1. 非常に関心がある
- 2. ある程度関心がある
- 3. あまり関心がない
- 4. 全く関心がない

共生型サービスについて「あまり関心がない」「全く関心がない」と答えた方におうかがいします。
 問 46-1 共生型サービスに取り組みたいと思わない理由は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. ニーズがない
- 2. 人員が足りない
- 3. 資金が足りない
- 4. 他に有力な事業所がある
- 5. ノウハウがない
- 6. その他 ()

問 47 令和3年度介護報酬改定・基準省令改正によって、すべての介護事業所における高齢者虐待防止のための体制整備等の取り組みが義務化されています。(3年間の経過措置)
 貴事業所における高齢者虐待防止の取り組みの状況はいかがですか。(①～④それぞれの取り組みごとに1つの番号に○)

① 虐待の防止のための対策を検討する委員会の設置	1. すでに設置している 2. 設置時期が決まっている 3. 設置時期は未定 ⇒ 理由 ()
② 虐待の防止のための指針の作成	1. すでに作成している 2. 作成時期が決まっている 3. 作成時期は未定 ⇒ 理由 ()
③ 虐待の防止のための従業者に対する研修	1. すでに実施している 2. 実施時期が決まっている 3. 実施時期は未定 ⇒ 理由 ()
④ 虐待の防止に関する措置を適切に実施するための担当者	1. すでに配置している 2. 配置時期が決まっている 3. 配置時期は未定 ⇒ 理由 ()

松戸市への要望についておうかがいします。

問 48 貴事業所・施設の経営者・管理者として、松戸市に対して望むことはどのようなことですか。(あてはまるもの3つまでの番号に○)

- 1. 介護保険に関する最新・適切な情報提供
- 2. 介護従事者のスキルアップ（育成）のための研修の支援
- 3. 介護従事者の確保・定着のための支援
- 4. 給付管理等に関する相談体制の充実
- 5. 事業所への指導・監査等の徹底
- 6. 市民への自立支援や適正なサービス利用についての啓発
- 7. 処遇困難者への対応
- 8. 事務手続きの簡略化
- 9. ポランティアの育成
- 10. 家族等介護者支援の充実
- 11. 地域包括支援センターの対応力向上
- 12. 多職種連携への支援
- 13. 医療介護連携への支援
- 14. 人材育成事業の充実
- 15. 介護職員の表彰制度
- 16. 介護助手等補助者に関する支援
- 17. 災害・感染症対策の支援
- 18. その他 ()
- 19. 特になし

◎最後に高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由に記入ください。

アンケートは以上です。

ご記入いただいた調査票を3つ折りして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
 令和5年2月7日（火）までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力ありがとうございました。

2. 介護事業所従事者調査（従事者） 調査票

WEB（インターネット）で回答する場合は
右のログインID・パスワードにて
回答フォームにログインし、回答してください。

ログインID：
パスワード：

松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関するアンケート調査
介護事業所従事者調査（従事者） 調査票

【基本的事項及び就労状況や就労意識についてお答えをお願いします】

問1 令和5年4月1日現在のあなたの年齢を記入してください。（数字を記入）
満（ ）歳

問2 あなたの性別をお答えください。（1つの番号に○）
1. 男性 2. 女性 3. その他

問3 あなたのお住まいはどちらですか。（1つの番号に○）
1. 松戸市内 3. 東京23区
2. 千葉県内松戸市外（ ） 4. その他（ ）

問4 あなたと同居されている方はどなたですか。（あてはまるものすべての番号に○）
1. 同居人なし（独り暮らし） 5. 子（高校生以上）
2. 配偶者 6. 親（65歳未満）
3. 子（未就学児） 7. 親（65歳以上）
4. 子（小中学生） 8. その他（ ）

問5 あなたが現在働いている（調査票が配布された）事業所・施設を運営する法人の種類は次のうちどれですか。（1つの番号に○）
1. 民間営利法人 5. 社団法人・財団法人
2. 社会福祉法人 6. その他（ ）
3. 医療法人 7. わからない
4. NPO法人

問6 あなたが現在働いている事業所・施設では、施設長・管理者を含めて約何人が働いていますか。（1つの番号に○）
1. 10人未満 4. 30人以上40人未満
2. 10人以上20人未満 5. 40人以上50人未満
3. 20人以上30人未満 6. 50人以上

1/12

問7 あなたが現在働いている事業所・施設における、あなたの雇用形態はどれですか。（1つの番号に○）
1. 正規職員 →問8にお進みください
2. 非正規職員（嘱託職員、契約職員、臨時職員、パート等） →問7-①をお答えください
3. 非正規職員（派遣職員）

雇用形態として「非正規職員」と答えたい方がいます。
問7-① 正規職員として働きたいですか。（1つの番号に○）
1. はい →問8にお進みください
2. いいえ →問7-②をお答えください

正規職員として働きたいかについて「いいえ」と答えたい方がいます。
問7-② 正規職員として働きたくない理由は何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）
1. 自分の都合のいい時間に働けるから 4. 扶養の範囲内で働きたいから
2. 簡単な仕事で責任が軽いから 5. 体力的に正規職員として働けないから
3. 家庭の事情や趣味等と両立しやすいから 6. その他（ ）

問8 現在働いている事業所・施設における勤務状況として、以下の①～④のひと月あたりの状況についてお答えください。（数字を記入）

① 平均勤務日数	ひと月あたり（ ）日
② 平均勤務時間（超過勤務時間を含む）	ひと月あたり（ ）時間
③ 平均超過勤務時間（ない場合は“0”を記入）	ひと月あたり（ ）時間
上記のうち超過勤務手当がない超過勤務時間（ない場合は“0”を記入）	ひと月あたり（ ）時間
④ 平均深夜勤務回数（ない場合は“0”を記入）	ひと月あたり（ ）回

問9 現在働いている事業所・施設における在籍年数と、以前の勤務先を含めた介護サービスの仕事に携わってからの通算経験年数をお答えください。（令和5年4月1日現在）（数字を記入）

① 現在働いている事業所・施設における在籍年数	約（ ）年（ ）か月
② 介護サービスの仕事に携わってからの通算経験年数	約（ ）年（ ）か月

2/12

問13 あなたは同一法人内の他の事業所・施設で兼務していますか。(1つの番号に○)

1. はい 2. いいえ

問14 現在働いている事業所・施設において、あなたの昨年の「年収」はどのくらいですか。雇用期間が1年未満の方は、1年間の年収を想定してお答えください。(1つの番号に○)

1. 103万円未満
2. 103万円以上130万円未満
3. 130万円以上200万円未満
4. 200万円以上250万円未満
5. 250万円以上300万円未満
6. 300万円以上350万円未満
7. 350万円以上400万円未満
8. 400万円以上500万円未満
9. 500万円以上600万円未満
10. 600万円以上

問15 あなたが現在働いている事業所・施設以外に、兼業（同一法人内の仕事は除く）している仕事がありますか。(1つの番号に○)

1. 介護関係の仕事に兼業している
2. 介護関係以外の仕事を兼業している
3. 兼業していない

→問15-①をお答えください
→問16にお進みください

現在働いている事業所・施設以外に「兼業している」と答えた方におうかがいします。
問15-① 兼業を含めた、あなたの昨年の「年収」はどのくらいですか。(1つの番号に○)

1. 103万円未満
2. 103万円以上130万円未満
3. 130万円以上200万円未満
4. 200万円以上250万円未満
5. 250万円以上300万円未満
6. 300万円以上350万円未満
7. 350万円以上400万円未満
8. 400万円以上500万円未満
9. 500万円以上600万円未満
10. 600万円以上

問16 あなたが現在働いている施設及び事業所等に就職した主な理由は何ですか。
(あてはまるもの3つまでの番号に○)

1. 給与（賃金）がよかったため
2. 通勤の便がよかったため
3. 都合の良い時間（日）に働けるため
4. 自分がやりたいサービスだったから
5. 既に働いている人から勧められたため
6. 人間関係が良さそうな雰囲気だったから
7. その他（ ）
8. 特に理由はない

問17 あなたが現在働いている施設及び事業所に限らず、介護の仕事を選んだ主な理由は何か。
(あてはまるもの3つまでの番号に○)

1. 都合の良い時間（日）に働けるため
2. この仕事はこれからの時代にますます必要になる
3. やりがいを感じられる職業だと思ったため
4. 福祉の仕事に興味、関心があったため
5. 資格、技能を主とするため
6. その他（ ）
7. 特に理由はない

問10 あなたが現在働いている事業所・施設における具体的な職種はどれですか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. サービス提供責任者
2. 介護支援専門員
3. 2以外のサービス計画作成担当者
4. 看護職員
5. 訪問介護員（ホームヘルパー）
6. 介護職員
7. 理学療法士（PT）
8. 作業療法士（OT）
9. 言語聴覚士（ST）
10. 機能訓練指導員
11. 生活相談員・支援相談員
12. その他（ ）

問11 あなたが現在お持ちの保健医療福祉関係の資格と、今後取得したいと思う保健医療福祉関係の資格をお答えください。(あてはまるものすべての番号に○)

① 介護支援専門員	1. 持っている	2. 今後取得したい
② 主任介護支援専門員	1. 持っている	2. 今後取得したい
③ 看護師	1. 持っている	2. 今後取得したい
④ 准看護師	1. 持っている	2. 今後取得したい
⑤ 社会福祉士	1. 持っている	2. 今後取得したい
⑥ 介護福祉士	1. 持っている	2. 今後取得したい
⑦ 実務者研修（旧ホームヘルパー1級）	1. 持っている	2. 今後取得したい
⑧ 介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）	1. 持っている	2. 今後取得したい
⑨ その他（ ）	1. 持っている	2. 今後取得したい
	3. 持っている資格、今後取得したいと思う資格はない	

問12 あなたが現在働いている事業所・施設（兼業している場合は主たる事業所・施設）の種別は次のうちどれですか。(1つの番号に○)

1. 居宅介護支援事業所	12. 地域密着型特別養護老人ホーム
2. 訪問介護事業所	13. 介護老人保健施設
3. 訪問入浴介護事業所	14. 介護医療院
4. 訪問看護事業所	15. グループホーム
5. 訪問リハビリテーション事業所	16. 小規模多機能型居宅介護事業所
6. 広域型通所介護事業所	17. 看護小規模多機能型居宅介護事業所
7. 地域密着型通所介護事業所（療養通所含む）	18. 認知症対応型通所介護事業所
8. 通所リハビリテーション事業所	19. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所
9. 短期入所生活介護事業所	20. 特定施設入居者生活介護事業所
10. 短期入所療養介護事業所	21. その他（ ）
11. 広域型特別養護老人ホーム	

問18 あなたは介護業界内での転職経験がありますか。(1つの番号に○)

1. 1回ある
2. 2回ある
3. 3回以上ある
4. なし(新卒、他業界からの転職)

→問18-①・②をお答えください
→次のページ 問19にお進みください

介護業界内での転職経験が「1回以上「ある」と答えた方におうかがいします。
問18-① あなたが施設及び事業所等を離職したのは主にどのような理由からですか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 能力や実績に照らして、給与(賃金)や手当が低いため
2. 業務量、労働時間、超過勤務が多いため
3. 勤務ローテーションやシフト体制が不規則なため
4. 有給休暇や特別休暇等が取りにくいからため
5. キャリアアップ・研修制度・資格取得等の人材育成が不十分のため
6. 人員不足による、個々の責任の負担が大きいため
7. 夜間や深夜時間帯の勤務における緊急対応の不安があるため
8. 身体的負担が大き(体力に不安がある)ため
9. 精神的負担が大きいため
10. 介護保険事業に対する社会的評価が低いため
11. 職場の人間関係が難しいため
12. 利用者との人間関係が難しいため
13. 重荷の利用者や看取りに対する負担が大きいため
14. その他()

問18-② あなたが現在働いている施設及び事業所等に転職する前は、過去にどの地域で働いていましたか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 松戸市内
2. 松戸市に近接している市(柏市・流山市・鎌ヶ谷市・市川市)
3. その他千葉県内市町村
4. 東京都
5. 埼玉県
6. 茨城県
7. その他()

問19 介護事業所・施設における離職防止や就業定着のための方策で、特に効果が高いと思うものはどれですか。(あてはまるもの3つまで○)

1. 能力や実績に応じた役職や給与体系(キャリアアップの仕組み)を構築すること
2. 超過勤務手当等の諸手当の支給を充実させること
3. 人材育成のための研修・資格取得制度を構築すること
4. 規則的な勤務ローテーションやシフト体制等を確立すること
5. ICT(電子データ)によるコンピュータ処理等情報通信技術)等の導入による書類作成の軽減等、事務作業の効率化、省紙化を図ること
6. 育児・介護の休暇等の福利厚生や資格取得支援等の体制を充実させること
7. 研修や相談体制の確立により、メンタルヘルスクアを充実させること
8. カスタマー・ハラスメント(利用者や家族等からの身体的罵詈雑言や精神的罵詈、セクシュアル・ハラスメント)の対策研修等の対応体制
9. 職場内のハラスメント(セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、モラル・ハラスメント)対策研修等の対応体制
10. 面談等でコミュニケーションを図り、職場内の人間関係を良好にすること
11. 苦情等のトラブル対応への組織的サポート体制を整備すること
12. その他()
13. どの方策も効果が上がらないと思う
14. わからない

問20 あなたの日頃の業務を軽減・効率化するためには何か必要ですか。(あてはまるもの3つまで○)

1. 介護記録をはじめとした介護事務の標準化・簡略化
2. ワークシェアリング(介護助手の配置等)
3. 介護記録等ICT導入(介護記録のシステム化等)
4. 介護センサー、ロボット導入(マッスルスーツ、排泄支援機器、見守り支援機器等)
5. 業務改善のための外部からのアドバイザー派遣
6. その他()
7. わからない

問21 タスクシェア・タスクシフティング※が有効だと感じる業務は何ですか。
(あてはまるものすべての番号に○)

※ タスクシェア・タスクシフティングとは、介護職の業務を明確化し、介護職員の業務の一部を、介護助手やボランティア等へ移管・共同実施することを指しています。

1. 居室や施設の清掃
2. 備品の準備・片付け・補充作業
3. ベッドメイキング
4. 洗濯・洗濯物の回収・配布
5. その他()
6. 有効だとは思わない
7. わからない
(介護職の業務の明確化・切り分けができていない)

6/12

問18

1. 1回ある
2. 2回ある
3. 3回以上ある
4. なし(新卒、他業界からの転職)

問18-①

1. 能力や実績に照らして、給与(賃金)や手当が低いため
2. 業務量、労働時間、超過勤務が多いため
3. 勤務ローテーションやシフト体制が不規則なため
4. 有給休暇や特別休暇等が取りにくいからため
5. キャリアアップ・研修制度・資格取得等の人材育成が不十分のため
6. 人員不足による、個々の責任の負担が大きいため
7. 夜間や深夜時間帯の勤務における緊急対応の不安があるため
8. 身体的負担が大き(体力に不安がある)ため
9. 精神的負担が大きいため
10. 介護保険事業に対する社会的評価が低いため
11. 職場の人間関係が難しいため
12. 利用者との人間関係が難しいため
13. 重荷の利用者や看取りに対する負担が大きいため
14. その他()

問18-②

1. 松戸市内
2. 松戸市に近接している市(柏市・流山市・鎌ヶ谷市・市川市)
3. その他千葉県内市町村
4. 東京都
5. 埼玉県
6. 茨城県
7. その他()

5/12

問 22 あなたが現在働いている事業所・施設において人事評価や役職・給与の決定は、何に基づいて行われていると思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護技術・マネジメント等の能力や実績	6. 従業員自身による自己評価
2. 資格の取得状況、研修の受講状況	7. その他 ()
3. 介護職としての経験年数	8. わからない
4. 自らの組織での経験年数	9. 指標に基づいて行われていない
5. 年齢	

問 23 あなたが現在働いている事業所・施設において人材育成のために、どのような取り組みが行われていますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 職員の育成計画の作成
2. 外部研修や資格取得のための講義等を受講できる人員体制の整備
3. 外部研修受講や資格取得に要する費用の助成
4. OJT（職場での仕事の経験を通じた職業訓練）の仕組みの構築
5. 評価項目に基づく人事評価の実施
6. 人事評価や研修についての従業員の意見の聴取
7. その他 ()
8. わからない
9. 取り組みが行われていない

問 24 あなたが日常提供しているサービスの中には、利用者家族や地域住民にもできると思うことはありますか。(1つの番号に○)

1. 利用者家族にもできることはあると思う
2. 地域住民にもできることはあると思う
3. 利用者家族や地域住民にもできることはあると思う
4. 利用者家族や地域住民が協力すればできると思う
5. 利用者家族にも地域住民にもできないとと思う
6. わからない

問 24-① どのようなことができると思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 調理・配膳	5. 買い物
2. コミ出し	6. 話し相手
3. 掃除・洗濯	7. その他 ()
4. 安否確認	

問 25 介護職のイメージについて6年前（平成29年）頃と比較して変わってしまったと思いますか。(1つの番号に○)

1. かなり良くなった	4. 悪くなった
2. 良くなった	5. かなり悪くなった
3. かわらない	

問 26 あなたが現在働いている事業所・施設において、これまでに利用者や家族から暴力やハラスメントを受けたことはありませんか。(1つの番号に○)

1. 受けたことがある →問 26-①・②をお答えください 2. 受けたことがない →問 27にお進みください

利用者や家族から暴力やハラスメントを「受けたことがある」と答えた方におうかがいします。

問 26-① その内容として、あてはまるものを教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 身体的暴力 (例：物を投げつけられる、唾を吐かれるなど)
2. 精神的暴力 (例：攻撃的な態度で大声を出される、人格を否定される発言をされるなど)
3. ハラスメント (例：セクシュアルハラスメント・カスターマーハラスメントなど)
4. その他 ()

問 26-② その際、誰かに相談しましたか。(1つの番号に○)

1. 相談した →問 26-③をお答えください 2. 相談しなかった →問 27にお進みください
--

「相談した」と答えた方におうかがいします。

問 26-③ その際に相談した相手を教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 管理者・施設長	6. 部下
2. 上司	7. 所属法人の相談窓口
3. 公的機関	8. 友人・知人・家族
4. 職場の同僚	9. その他 ()
5. 労働組合	

問 27 あなたが現在働いている事業所・施設において、同僚や上司等から暴力やハラスメント行為を受けたことがありますか。(1つの番号に○)

1. 受けたことがある →問 27-①・②をお答えください 2. 受けたことがない →次のページ 問 28にお進みください

同僚や上司等から暴力やハラスメントを「受けたことがある」と答えた方におうかがいします。

問 27-① その内容として、あてはまるものを教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 身体的暴力 (例：物を投げつけられる、唾を吐かれるなど)
2. 精神的暴力 (例：攻撃的な態度で大声を出される、人格を否定される発言をされるなど)
3. ハラスメント (例：セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント・マタニティハラスメント)
4. その他 ()

問 27-② その際、誰かに相談しましたか。(1つの番号に○)

1. 相談した →問 27-③をお答えください

2. 相談しなかった →問 28にお進みください

「相談した」と答えた方におかがいします。

問 27-③ その際に相談した相手をお答えください。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 管理者・施設長

2. 上司

3. 公的機関

4. 職場の同僚

5. 労働組合

6. 部下

7. 所属法人の相談窓口

8. 友人・知人・家族

9. その他 ()

問 28 仕事を上での不安な点はありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 金銭面について自分の将来の見込みが立たないこと

2. 身体的・体力的に続けられるかどうかということ

3. 精神的に続けられるかどうかということ

4. 介護事故で利用者に怪我を負わせてしまう可能性があること

5. 感染症等のリスクがあること

6. 職場で利用者・家族からハラスメントを受けてしまうこと

7. 同僚や上司等からハラスメントを受けてしまうこと

8. 虐待してしまいそうだと思うこと

9. その他 ()

10. 特になし

問 29 あなたは介護関係の仕事は今後も続けていきたいと思いませんか。(1つの番号に○)

1. 今の状況のままでも続けていきたい →次のページ 問 30にお進みください

2. 労働環境が改善されれば続けていきたい →問 29-0をお答えください

3. 続けたくない

4. わからない

5. その他 ()

「労働環境が改善されれば続けていきたい」と答えた方におかがいします。

問 29-① どういったことが改善されれば続けられると思いませんか。(1つの番号に○)

1. 給与(賃金)

2. 福利厚生

3. 人材育成

4. 人間関係

5. その他 ()

問 30 あなたが働いている事業所・施設で、高齢者虐待と恐れられる行為を発見したことはありますか。(1つの番号に○)

1. ある →問 30-①をお答えください

2. ない →問 31にお進みください

高齢者虐待と恐れられる行為を発見したことが「ある」と答えた方におかがいします。

問 30-① 高齢者虐待と恐れられる行為を発見した時に、あなたはどのように対応されましたか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 自ら通報窓口へ通報した

2. 施設長等、上司に報告し、対応を求めた

3. 特に何もしていない

4. その他 ()

問 31 高齢者虐待が疑われる状況を見つけた場合の通報・相談先を知っていますか。(1つの番号に○)

1. 知っている

2. 知らない

問 32 令和3年度介護報酬改定・基準省令改正によって、すべての介護事業所における高齢者虐待防止のための体制整備等の取り組みが義務化されています。(3年間の経過措置)

下記4つの取り組みの実施状況はいかがですか。(1つの番号に○)

① 虐待の防止のための対策を検討する委員会の設置

② 虐待の防止のための指針の作成

③ 虐待の防止のための従事者に対する研修

④ 虐待の防止に関する措置を適切に実施するための担当者

1. すべて取り組んでいる

2. いずれか一つ以上取り組んでいる → 取り組んでいるものの番号を記載して下さい ()

3. 取り組んでいるかららない

【介護サービスについておかがいします】

問 33 あなたは、利用者に対して自力でできることは自分で行うよう促し、必要時に介助を行うなど、自立支援・重度化防止を意識したケアを行うことを意識していますか。(1つの番号に○)

1. いつも意識している

2. ある程度意識している

3. あまり意識していない

4. 全く意識していない

問 34 介護予防における「リエイブルメント※」という概念を知っていますか。(1つの番号に○)

※ リエイブルメントとは、「再び自分でできるようにする」というもので、高齢者が、自立した老年生活を継続するために、本人の潜在的な力や、活用できる周囲の資源を見出し、自身の生活を自らでコントロールできるような支援を目指すものです。

1. 「リエイブルメント」という概念を知っており、実践できている

2. 「リエイブルメント」という概念は知っているが、実践できていない

3. 「リエイブルメント」という概念自体を知らない

問 35 地域住民が介護予防の取組みを実施するにあたり、貴事業所・施設で協力できることはありますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 場所の提供

2. 物品等の貸出

3. 講師や職員の出陣、体験指導、レクリエーションの企画・実施等

4. 特になし

5. 協力できることがあるかどうかわからない

6. その他 ()

問 27-②

問 27-③

問 29

問 29-①

問 30

問 30-①

問 31

問 32

問 33

問 34

問 35

【地域連携についておうかがいします】

問 36 地域包括支援センターとの連携は図れていますか。(1つの番号に○)

- 1. 十分できている
- 2. 概ねできている
- 3. あまりできていない
- 4. できていない

問 37 地域包括支援センターとのさらなる連携を図るために、必要と感じていることは何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 地域包括支援センターの役割の周知
- 2. 地域包括支援センターへの相談内容や相談方法の周知
- 3. 支援困難事例等への同行訪問
- 4. 担当者会議の出席
- 5. 地域ケア会議や事例検討への参加
- 6. 交流会などを通じた関係性構築
- 7. その他 ()

問 38 地域包括支援センターに困難対応事例や虐待(疑い含む)事例等について相談したことがありますか。(1つの番号に○)

- 1. 過去1年以内に相談した
- 2. 1年以上前だが相談したことがある
- 3. 相談したことがない

問 39 医療機関・医療関係者との連携は図れていますか。(1つの番号に○)

- 1. 十分できている
- 2. 概ねできている
- 3. あまりできていない
- 4. できていない

問 40 医療機関・医療関係者とのさらなる連携を図るために、必要と感じていることは何ですか。(あてはまるもの3つまで○)

- 1. 利用者について医療と介護関係者間で情報共有ができるシステム(連携シートやICT)
- 2. 医療従事者を含めた多職種でのカンファレンス・会議等の機会
- 3. 市民への在宅医療についての啓発
- 4. 在宅医療を提供する医療機関・薬局・訪問看護ステーション等の情報
- 5. 利用者が入院した際に入院先医療機関との情報共有
- 6. 利用者の退院にむけた入院先医療機関とのカンファレンスの実施
- 7. 24時間連絡を対応可能な在宅療養支援病院・診療所の充実
- 8. 市民への ACP※(アドバンス・ケア・プランニング)についての啓発
- 9. 医療・介護関係者間での利用者の ACP についての情報共有
- 10. 介護関係者における ACP の学習機会
- 11. その他 ()
- 12. わからない

※ ACPとは、人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセスのことです。

【松戸市への要望についておうかがいします】

問 41 施設・事業所の従事者として、松戸市に対して望むことはどのようなことですか。(あてはまるもの3つまで○)

- 1. 介護保険に関する最新・適切な情報提供
- 2. スキルアップ(育成)のための研修の支援
- 3. 給付管理等に関する相談体制の充実
- 4. 事業所への指導・監査の徹底
- 5. 市民への自立支援や適正なサービス利用についての啓発
- 6. 処遇困難者への対応
- 7. 事務手続きの簡略化
- 8. 介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの見直し
- 9. ホンテアの育成
- 10. 認知症に関する啓発
- 11. 多職種連携への支援
- 12. 医療介護連携への支援
- 13. 災害・感染症対策の支援
- 14. その他 ()
- 15. 持たない

◎最後に高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由に記入ください。

アンケートは以上です。

ご記入いただいた調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**令和5年5月12日(金)**までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力ありがとうございました。

3. 介護事業所従事者調査（介護支援専門員） 調査票

問6 現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数と、以前の勤務先を含めた介護支援専門員としての通算経験年数をお答えください。(数字を記入)

① 現在働いている事業所・施設における介護支援専門員としての在籍年数	約 () 年 () か月
② 介護支援専門員としての通算経験年数	約 () 年 () か月

問7 主任介護支援専門員の資格をお持ちですか。(1つの番号に○)

1. 持っている	→問7-①・②をお答えください
2. 持っていない	→次のページ問8にお進みください

主任介護支援専門員の資格を「持っている」と答えた方におかれましては、
問7-① 主任介護支援専門員として行っている業務は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護支援専門員に対する身近な相談対応
2. 介護支援専門員への個別指導・同行訪問
3. 支援困難事例への対応
4. 地域の介護支援専門員における資質向上に向けた取り組み (事例検討会等)
5. 地域包括ケアの体制づくり、社会資源の把握・開発
6. 地域包括支援センターとの連携・協働
7. 医療機関・介護サービス事業者・他職種との連携体制の構築
8. 主任介護支援専門員同士の連携・ネットワークづくり
9. その他 ()
10. 特になし

問7-② 主任介護支援専門員としてどのような支援の充実が必要ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 地域包括支援センターの主任介護支援専門員との連携体制の構築支援
2. 主任介護支援専門員の役割の明確化
3. 主任介護支援専門員の業務を行うための体制づくり
4. 地域の社会資源の把握・ネットワークづくり支援
5. 介護予防・自立支援に資するケアマネジメントについての啓発
6. 主任介護支援専門員の資質向上を目的とした研修会の開催
7. スーパーバイス等の活動の場の提供
8. その他 ()
9. 特になし

WEB (インターネット) で回答する場合は
 右のログインID・パスワードにて
 回答フォームにログインし、回答してください。

ログインID :
 パスワード :

松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関するアンケート調査
 介護事業所従事者調査 (介護支援専門員) 調査票

【基本的事項及び就労状況や就労意識についてお答えください】

問1 令和5年4月1日現在のあなたの年齢を記入してください。(数字を記入)

満 () 歳

問2 あなたの性別をお答えください。(1つの番号に○)

1. 男性
2. 女性
3. その他

問3 あなたが現在働いている (調査票が配布された) 事業所・施設を運営する法人の種別は次のうちどれですか。(1つの番号に○)

1. 民間営利法人
2. 社会福祉法人
3. 医療法人
4. NPO法人
5. 社団法人・財団法人
6. その他 ()
7. わからない

問4 あなたが現在働いている事業所・施設の種別は次のうちどれですか。(1つの番号に○)

1. 居宅介護支援事業所
2. 特別養護老人ホーム (地域密着型を含む)
3. 介護老人保健施設
4. 介護医療院
5. 特定施設入居者生活介護事業所
6. グループホーム
7. 小規模多機能型居宅介護事業所
8. 看護小規模多機能型居宅介護事業所
9. 地域包括支援センター
10. その他 ()

問5 現在働いている事業所・施設における勤務形態は次のうちどれですか。(1つの番号に○)

1. 専従 (常勤)	→次のページ問6にお進みください
2. 専従 (非常勤)	→問5-①をお答えください
3. 兼務 (常勤)	
4. 兼務 (非常勤)	

雇用形態として「兼務」と答えた方におかれましては、
問5-① 現職場で兼務している職種は何ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護職員
2. 看護職員
3. 生活相談員
4. 事務員
5. 施設長
6. 管理者
7. その他 ()

問8 あなたは、介護支援専門員以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。
（あてはまるものすべての番号に○）

1. 介護福祉士
2. 社会福祉士
3. 看護師・准看護師
4. 訪問介護員（ホームヘルパー）
5. その他（ ）
6. 持っていない

問9 現在働いている事業所・施設において、介護支援専門員として勤務する

- ① ひと月あたりの平均勤務日数
 - ② ひと月あたりの平均勤務時間（超過勤務時間を含む）
 - ③ ひと月あたりの平均超過勤務時間（超過勤務手当の有無は問いません）
- をお答えください。（数字を記入）

① 平均勤務日数	ひと月あたり（ ）日
② 平均勤務時間（超過勤務時間を含む）	ひと月あたり（ ）時間
③ 平均超過勤務時間（ない場合は“0”を記入） （超過勤務手当の有無は問いません）	ひと月あたり（ ）時間

問10 現在働いている事業所・施設において、あなたの昨年の「年収」はどのくらいですか。雇用期間が1年未満の方は、1年間の年収を想定してお答えください。（1つの番号に○）

1. 103万円未満
2. 103万円以上 130万円未満
3. 130万円以上 200万円未満
4. 200万円以上 250万円未満
5. 250万円以上 300万円未満
6. 300万円以上 350万円未満
7. 350万円以上 400万円未満
8. 400万円以上 500万円未満
9. 500万円以上 600万円未満
10. 600万円以上

問11 現在働いている事業所・施設に就職した主なきっかけは何ですか。（1つの番号に○）

1. 新聞広告等の求人募集に応募
2. 就職相談会、説明会に参加
3. 就職情報誌の情報
4. インターネットの情報
5. 開業
6. 家族、知人の紹介
7. 事業所職員からの勧誘
8. 公共職業安定所を通して応募
9. 人材派遣会社の紹介
10. その他（ ）

【介護支援専門員業務全般についておうえいがいします】

問12 あなたは、介護支援専門員の仕事に動きがいを感じていますか。（1つの番号に○）

1. とても動きがいを感している
2. 動きがいを感しつつある
3. 動きがいがほとんど感じない
4. 動きがいを全く感じない

問13 あなたは、ケアマネジメント業務を行う上での課題としてどのようなことをお考えですか。
（あてはまるもの3つまで○）

1. 多問題事例のケアマネジメントの方法が分からない
2. 認知症ケアの方法が分からない
3. 医療機関との連携がうまくとれない
4. 制度にまたがる支援調整が難しい（障害・生活困窮など）
5. 利用者および家族がサービスの必要性を理解していない
6. 仕上げて利用者の意見、要望を聞き調整する時間が十分取れない
7. サービス事業者との連携がうまくとれない
8. サービス提供事業者に関する情報が少ない
9. 所属事業所の関連事業者のサービスに偏る
10. 介護保険外サービスの種類が少ない
11. 介護支援専門員業務以外の事務量が多い
12. 相談できる人が身近にいない
13. 基準省令、基準条例の解釈が難しい
14. 経済面での調整が難しい
15. その他（ ）
16. 特にない

問14 ケアマネジメント業務の中で、どのようなことに負担を感じていますか。
（あてはまるもの3つまで○）

1. 利用者や家族に対する業務内容の説明と同意
2. 課題分析（アセスメント）のための訪問・面接など
3. サービス担当者会議の開催・調整
4. ケアプラン原案に対する利用者・家族の合意
5. ケアプランの交付（書類の作成など）
6. モニタリングのための訪問・面接など
7. 主治医や医療機関との連絡調整
8. 利用者や事業者の苦情対応
9. 要介護認定などの申請代行
10. 介護報酬請求業務
11. 夜間や休日対応の当番
12. 公休日の相談対応
13. 制度についての説明
14. 担当件数を多く抱えている
15. 所属事業所内の相談協力体制が整っていない
16. その他（ ）
17. 特にない

問15 ケアマネジメント業務の中で、分からないことや困ったことがあったときに誰に相談しますか。
(あてはまるもの3つまで○)

1. 同一事業所の介護支援専門員
2. 他事業所の介護支援専門員
3. 地域の主任介護支援専門員
4. 千葉県介護支援専門員協議会
5. 地域包括支援センター
6. 松戸市役所
7. 千葉県庁
8. 千葉県国民健康保険団体連合会
9. サービス提供事業者
10. 医療機関
11. 在宅医療・介護連携支援センター
12. 松戸歯科医師会口腔ケアセンター
13. その他 ()
14. 相談できる相手がいない
15. 困ったりすることはない

問16 担当利用者に対し、ケアマネジメント業務以外に、次のような支援を行っていますか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 受診同行
2. 受診への送迎
3. 緊急入院した場合の対応・手続き
4. 救急車への同乗
5. 介護サービスで対応できない家事 (例：家具の移動、電球交換など)
6. 介護保険以外の各種申請 (給付金など)
7. 介護サービス以外の利用時の立会い (例：ガスの点検、電気器具の設置など)
8. 徘徊時の捜索、捜索依頼等の対応
9. 金銭に関すること
10. 薬局への処方箋の提出、受け取り
11. 利用者以外の家族に対する支援
12. その他 ()
13. 行っていない

問17 介護支援専門員として働く中で、これまでに利用者や家族からハラスメントを受けたことはありますか。(1つの番号に○)

1. 受けたことがある () 件
→問17-①、②を
お答えください
 2. 受けたことがない () 件
→次のページ
問18にお進みください
- 利用者や家族からハラスメントを「受けたことがある」と答えた方がいいます。**
- 問17-① その内容として、あてはまるものを教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)
1. 身体的暴力 (例：物を投げつけられる、唾を吐かれるなど)
 2. 精神的暴力 (例：攻撃的な態度で大声を出される、人格を否定される発言をされるなど)
 3. セクシャルハラスメント (例：不必要に身体に接触される、性的発言を繰り返されるなど)
 4. その他 ()

問17-② その際の相談状況を教えてください。(1つの番号に○)

1. 詳細な内容でも相談した () 件
→問17-③を
お答えください
2. 内容によっては相談した () 件
3. 相談しなかった () 件
→問18にお進みください

「相談した」と答えた方におうかがいします。

問17-③ その際に相談した相手を教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 上司
2. 公的機関
3. 職場の同僚
4. 労働組合
5. 部下
6. 所属法人の相談窓口
7. 友人・知人・家族
8. その他 ()

問18 以下のケアマネジメント業務における、ICT（電子データによるコンピュータ処理等情報通信技術）の活用状況についてお答えください。(①~⑧それぞれ1つの番号に○)

① 利用者・家族からの相談受付業務	1. 活用している	2. 活用していない
② 利用者のアセスメント	1. 活用している	2. 活用していない
③ ケアプラン作成	1. 活用している	2. 活用していない
④ 給付管理	1. 活用している	2. 活用していない
⑤ サービス事業所への連絡（提供票の配信含む）	1. 活用している	2. 活用していない
⑥ モニタリング管理	1. 活用している	2. 活用していない
⑦ サービス担当者会議の情報共有	1. 活用している	2. 活用していない
⑧ 医療機関との連携	1. 活用している	2. 活用していない

問19 人工知能 (AI) を活用したケアプランソフトウェアを利用してみたいと思いませんか。
(1つの番号に○)

1. すでに利用している () 件
2. 是非利用してみたい () 件
3. 試みに利用してみたい () 件
4. あまり利用しようとは思わない () 件
5. 全く利用しようとは思わない () 件

【ケアプランの作成状況等についておうかがいします】

問20 令和5年3月の担当ケアプラン件数 (実績) を介護・予防それぞれにお答えください。
(数字を記入)

① 介護ケアプラン (要介護者)	() 件
② 予防ケアプラン (要支援者・事業対象者)	() 件

問21 現在担当しているケアプラン件数について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)

1. 多い () 件
2. やや多い () 件
3. ちょうどよい () 件
4. やや少ない () 件
5. 少ない () 件

問 26 ケアプランを作成する上で、介護保険外サービスを盛り込んでいますか。(1つの番号に○)
※ 介護保険外サービスとは、介護保険給付の対象とはならないもの、高齢者のニーズに対応するサービスです。例えば、散歩や趣味のための外出の付き添いや、家族への食事・掃除・買い物等の家事援助、認知症の方の車な見守り、宿泊サービスなどのことです。

1. すでに盛り込んでいる	→問 27にお進みください
2. 盛り込んでいきたい	→問 26-①をお答えください
3. 盛り込みたいと思わない	→問 27にお進みください
4. わからない	→問 27にお進みください

介護保険外サービスを「盛り込みたくないと思わない」と答えた方におかがいします。
問 26-① 介護保険外サービスを盛り込みたくないと思わない理由は何ですか。(1つの番号に○)

1. ニーズがない	3. 料金が高い
2. 介護保険外サービスを提供できる事業所がない	4. その他 ()

問 27 ケアプランを作成する上で、インフォーマルサービスや地域の互助活動をプランに盛り込んでいますか。(1つの番号に○)

1. 必ず盛り込んでいる	→問 27-0をお答えください
2. できるだけ盛り込んでいる	→次のページ
3. 積極的には盛り込んでいない	問 28にお進みください
4. 盛り込んでいない	

インフォーマルサービス等をプランに「盛り込んでいる」と答えた方におかがいします。
問 27-① インフォーマルサービスのうち、どのようなサービスや地域の互助活動についてケアプランに盛り込んでいますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 「元氣応援くらぶ」などの通いの場
2. 地域ボランティアへの参加
3. シニアクラブ(老人クラブ)などの活動促進
4. 民生委員との連携
5. オレンジ協力員※からのサポート
6. 高齢者支援連絡会による見守り
7. 地区社会福祉協議会の活用
8. 家族からの支援
9. 配達など民間のサービス
10. その他 ()

※ オレンジ協力員とは、認知症に関する専門職と連携し認知症の方やその家族を支援するボランティアで、認知症サポート一ター養成講座を受講し市から登録を受けた方をいいます。

問 22・問 23 は居宅介護支援事業所の方のみ、お答えください。
(非該当の方は 問 24にお進みください)

問 22 あなたは、地域包括支援センターから介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの委託を受けることについて、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)

1. できるだけ受けたい	4. 積極的に受けたいとは思わない
2. ある程度受けようとした	5. 全く受けたいとは思わない
3. どちらともいえない	6. 受けたい気持ちはあるが受けられない

問 23 予防ケアプランの委託を受けるにあたり課題と感じていることは何ですか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護ケアプランと比較し、報酬が安価	5. 介護ケアプランと異なる基準省令・条例を理解するのが負担
2. ケアマネジメントの流れが介護ケアプランと異なり複雑である	6. 委託を受ける人的余裕がない
3. 委託元(地域包括支援センター)との調整が必要	7. その他 ()
4. 予防サービスを提供する事業者の数が少ない	

※ ここからすべての方にお答えください

問 24 日常生活の自立に向けた利用者の希望や目標を利用者や家族と共有し、自立支援・重度化防止を意識した介護を行うことについて説明を行っていますか。(1つの番号に○)

1. いつも意識して説明している	3. あまり意識して説明していない
2. ある程度意識して説明している	4. 全く意識してはいない

問 25 あなたがケアプランの作成に際し、現在特に困っていることや、これまで特に困ったことはありますか。(あてはまるもの3つまで○)

1. アセスメント結果を容易にケアプランへ反映できないケースがある
2. 利用者本人と家族との意見が異なる時の調整が難しい
3. ケアプランの短期、長期目標の設定が難しい
4. 認知症の利用者、医療行為が必要な利用者等のケアプラン作成が難しい
5. 利用者や家族から必要以上のサービス提供を求められる
6. サービス提供体制が不十分で、利用者のニーズに対応できない
7. 医療機関(主治医等)との連携が確立できていない
8. サービス担当者会議の開催事務が煩雑
9. 認定結果の判明が遅い
10. インフォーマルサービスについての情報がない
11. 基準省令、基準条例の解釈が難しい
12. 総合事業についての説明が難しい
13. 介護支援専門員業務以外の事務量が多く、業務範囲が不明確
14. その他 ()
15. 特にない

問 30 (①・②・③・④) 問 31 (①・②) は居宅介護支援事業所の方のみ、お答えください。
 (非該当の方は次のページ 問 32 にお進みください)

問 30 (看護) 小規模多機能型居宅介護のサービスについて、利用者に紹介したことがありますか。
 (1つの番号に○)

1. ある →問 30-①・②・③を お答えください
 2. ない →問 30-④を お答えください

利用者に紹介したことが「ある」と答えた方におかがいします。
 問 30-① (看護) 小規模多機能型居宅介護のサービスを利用者に紹介した理由は何ですか。
 (あてはまるものすべての番号に○)

1. 器機師変な対応ができる
 2. 緊急対応ができる
 3. レスバイト
 4. 通所、訪問、宿泊でサービス提供者が変わらな
 いため
 5. 在宅での生活を継続できるため
 6. 定額制であるため
 7. その他 ()

問 30-② 紹介してよかった点がございましたらご記入ください。(自由記入)

問 30-③ 紹介して悪かった点がございましたらご記入ください。(自由記入)

利用者に紹介したことが「ない」と答えた方におかがいします。
 問 30-④ (看護) 小規模多機能型居宅介護のサービスを利用者に紹介したことがない理由は何で
 ですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. ケアマネジャーが変わる
 2. サービスを提供できる事業所がない
 3. (看護) 小規模多機能型居宅介護に合う利用者がいない
 4. (看護) 小規模多機能型居宅介護の利用者像がわからない
 5. 現在利用している通所介護やショートステイが利用できなくなる
 6. その他 ()

問 28 ケアプランを作成する上で、インフォーマルサービスや地域の互助活動についての情報をどこか
 ら得ていますか。(あてはまるもの3つまで○)

1. 同一事業所の介護支援専門員
 2. 他事業所の介護支援専門員
 3. 地域の主任介護支援専門員
 4. 地域包括支援センター
 5. 松戸市役所
 6. サービス提供者
 7. 医療機関
 8. 地域ケア会議
 9. 松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム
 10. 介護給付以外の相談受付マニュアル

11. 利用者、家族
 12. 町会・自治会関係者
 13. 民生委員
 14. 社会福祉協議会
 15. 高齢者支援連絡会
 16. 生活支援コーディネーター※
 17. インターネット
 18. その他 ()
 19. 情報を得ていない

※ 生活支援コーディネーターとは、地域に不足する高齢者向け生活支援・介護予防サービスの創出などのために、多
 様な主体による多様な取組のコーディネート(調整)を行う人を行います。

問 29 今後、高齢になっても住み慣れた地域(在宅)での生活を続けるために、地域において特に必要
 と思う生活支援はどのようなことですか。(あてはまるもの4つまで○)

1. 日帰的な掃除、洗濯及び炊事等の家事援助
 2. ごみ出し
 3. 食材や日用品等の買い物代行
 4. 早起りや水やり等の庭の手入れ
 5. ハットの世話
 6. 住民による声かけ、見守り
 7. 緊急通報装置等による安否確認
 8. 電話等による服薬確認
 9. 話し相手(傾聴)
 10. 移送ドライバー、通院介助や散歩補助等の外出支援
 11. 地域住民や事業所による無料の移送サービス
 12. 健康体操や筋力トレーニング等の運動指導、機会の提供
 13. 認知症予防のための脳トレーニングや運動教室
 14. スマートフォン等の使い方教室
 15. 地域交流の場として、サロンやコミュニティカフェの開設
 16. 弁当や食料配達等の配食
 17. 認知症の方の市民後見人等の権利擁護
 18. 介護家族等へのアドバース、サポート
 19. その他 ()
 20. 特になし

※ ここからすべての方をお答えください

問 33 ケアプラン作成時やアセスメント時にどのような人からのアドバイスが欲しいですか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 医師	8. 保健師
2. 歯科医師	9. 主任介護支援専門員
3. 薬剤師	10. 社会福祉士
4. リハビリ職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）	11. 生活支援コーディネーター
5. 訪問看護師	12. 精神医療福祉士
6. 歯科衛生士	13. その他（ ）
7. 管理栄養士	

問 34 介護支援専門員地域同行型研修※について、どのようにお考えですか。(1つの番号に○)
※ 介護支援専門員地域同行型研修とは、地域における人材育成の観点から介護支援専門員の業務能力の向上と主任介護支援専門員の指導力の向上を図ることを目的に、現場実習に主眼を置いた研修プログラム。主任介護支援専門員が地域の介護支援専門員に助言指導を行う研修のことです。

1. とても興味がある	3. あまり興味がない
2. やや興味がある	4. 興味がない

問 35 介護支援専門員のスキルアップとして取り組んでいることはありますか。
(あてはまるもの3つまで○)

1. 研修会の開催	6. 個別に指導を受けている
2. 研修会の参加	7. アア会議への参加・事例提棋
3. 事例検討会の開催	8. その他（ ）
4. 事例検討会の参加	9. 特にない
5. 個別に指導をしている	

問 31 定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスについて、利用者に紹介したことがありますか。
(1つの番号に○)

1. ある	→問 31-①を お答えください
2. ない	→問 31-②を お答えください

利用者に紹介したことが「ある」と答えた方におうかがいします。
問 31-① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスを利用者に紹介した理由は何か。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 日中・夜間を通じたサービス	4. 定額制であるため
2. 緊急対応ができる	5. その他（ ）
3. 在宅での生活を継続できるため	

利用者に紹介したことが「ない」と答えた方におうかがいします。
問 31-② 定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスを利用者に紹介したことがない理由は何ですか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. サービスを提供できる事業所がない
2. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護に合う利用者がない
3. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用者像がわからない
4. その他（ ）

問 32 は小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所の方のみ、お答えください。
(非該当の方は次のページ 問 33 にお進みください)

問 32 令和5年4月1日現在であなたが担当している利用者は、どの機関から紹介されましたか。
(数字を記入)

① 地域包括支援センター	() 人
② 居宅介護支援事業所	() 人
③ 病院	() 人
④ その他 ()	() 人

【居宅サービス事業者等との関わりについてお答えをお願いします】

問 36 現在の松戸市における介護保険サービス利用者のニーズより、多すぎると思う介護保険サービスを
お答えください。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 居宅介護支援事業所
2. 訪問介護事業所
3. 訪問入浴介護事業所
4. 訪問看護事業所
5. 訪問リハビリテーション事業所
6. 広域型通所介護事業所
7. 地域密着型通所介護事業所（療養通所含む）
8. 通所リハビリテーション事業所
9. 短期入所生活介護事業所
10. 短期入所療養介護事業所
11. 広域型特別養護老人ホーム
12. 地域密着型特別養護老人ホーム
13. 介護老人保健施設
14. 介護医療院
15. グループホーム
16. 小規模多機能型居宅介護事業所
17. 看護小規模多機能型居宅介護事業所
18. 認知症対応型通所介護事業所
19. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所
20. 特定施設入居者生活介護事業所
21. 訪問型サービス
22. 通所型サービス
23. その他（ ）
24. 特になし

問 37 現在の松戸市における介護保険サービスで利用者のニーズより、少ないと思う介護保険サービスを
お答えください。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 居宅介護支援事業所
2. 訪問介護事業所
3. 訪問入浴介護事業所
4. 訪問看護事業所
5. 訪問リハビリテーション事業所
6. 広域型通所介護事業所
7. 地域密着型通所介護事業所（療養通所含む）
8. 通所リハビリテーション事業所
9. 短期入所生活介護事業所
10. 短期入所療養介護事業所
11. 広域型特別養護老人ホーム
12. 地域密着型特別養護老人ホーム
13. 介護老人保健施設
14. 介護医療院
15. グループホーム
16. 小規模多機能型居宅介護事業所
17. 看護小規模多機能型居宅介護事業所
18. 認知症対応型通所介護事業所
19. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所
20. 特定施設入居者生活介護事業所
21. 訪問型サービス
22. 通所型サービス
23. その他（ ）
24. 特になし

問 37-① 問 37 について、その理由や具体的な状況をお答えください。(自由記入)

--	--

【地域連携についてお答えをお願いします】

問 38 今後、連携がより必要と考えるのは、どのような関係機関・関係者ですか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護分野の関係機関・関係者
2. 地域包括支援センター
3. 子ども分野の関係機関・関係者
4. 障害分野の関係機関・関係者
5. 生活困窮分野の関係機関・関係者
6. 町会・自治会
7. 民生委員・児童委員
8. 民間企業等
9. その他（ ）
10. 特になし

問 38-① 問 38 について、その理由をお答えください。(自由記入)

--	--

問 39 地域包括支援センターとの連携は図られていますか。(1つの番号に○)

1. 十分できている
2. 概ねできている
3. あまりできていない
4. できていない

問 40 地域包括支援センターとのさらなる連携を図るために、必要と感じていることは何ですか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 地域包括支援センターの役割の周知
2. 地域包括支援センターへの相談内容や相談方法の周知
3. 支援困難事例等への同行訪問
4. 担当者会議の出席
5. 地域ケア会議や事例検討会への参加
6. 交流会などを通じた関係性構築
7. その他（ ）

問 41 地域包括支援センターに困難対応事例や虐待（疑い含む）事例等について相談したことがありますか。(1つの番号に○)

1. 過去1年以内に相談した
2. 1年以上前だが相談したことがある
3. 相談したことがない

問 42 貴事業所・施設では地域包括支援センターが主催する研修や会議に参加していますか。
(1つの番号に○)

1. 定期的に参加している
2. ある程度、参加している
3. 参加したことがない

問 43 医療機関・医療関係者との連携は図られていますか。(1つの番号に○)

1. 十分できている
2. 概ねできている
3. あまりできていない
4. できていない

問 44 医療機関・医療関係者とさらなる連携を図るために、必要と感じていることは何ですか。（あてはまるもの3つまで）○

1. 利用者について医療と介護関係者間で情報共有ができるシステム（連携シートやICT）	()
2. 医療従事者を含めた多職種でのカンファレンス・会議等の機会	()
3. 市民への在宅医療についての啓発	()
4. 在宅医療を提供する医療機関・薬局・訪問看護ステーション等の情報	()
5. 利用者の退院にむけた入院先医療機関とのカンファレンスの実施	()
6. 利用者の退院にむけた入院先医療機関とのカンファレンスの実施	()
7. 24時間連絡を対応可能な在宅療養支援病院・診療所の充実	()
8. 市民へのACP※（アドバンス・ケア・プランニング）についての啓発	()
9. 医療・介護関係者間での利用者のACPについての情報共有	()
10. 介護関係者におけるACPの学習機会	()
11. その他 ()	()
12. わからない	()

※ ACPとは、人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセスのことです。

問 45 松戸市在宅医療・介護連携支援センター※に相談をしたことがありますか。（1つの番号に○）

1. 過去1年以内に相談した	→問 46に お進みください
2. 1年以上前だが相談したことがある	→問 46に お進みください
3. 相談したことがない	→問 45-①を お答えください

松戸市在宅医療・介護連携支援センターに「相談したことがない」と答えた方におうかがいします。

問 45-① その理由は何か。（1つの番号に○）

1. センターを知らない	()
2. センターの役割を知らない	()
3. 相談する方法が分からない	()
4. どのような事例を相談すればいいかわからない	()
5. 相談すべき事例がない	()
6. その他 ()	()

問 46 地域ケア会議にどのくらい参加していますか。（1つの番号に○）

1. 定期的に参加している	()
2. ある程度参加している	()
3. 参加したことがない	()
4. 地域ケア会議を知らない	()

問 47 地域ケア会議（地域個別ケア会議・自立支援型個別ケア会議）では困難事例や自立支援に資する事例の検討を行っています。これらの会議に事例提供することについてどう考えますか。（1つの番号に○）

1. ぜひ提供したい	→次のページ 問 48にお進みください
2. 提供してもよい	→問 47-①を お答えください
3. あまり提供したくない	→問 47-①を お答えください
4. 提供したくない	→問 47-①を お答えください

会議に事例を「提供したくない」と答えた方におうかがいします。

問 47-① その理由は何か。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 検討に選んだ事例がない（困っていない）	()
2. 事例提供のための資料を作成する時間がない	()
3. 地域ケア会議の日時に都合がつかない	()
4. 支援方針について判断されるのではないかと不安	()
5. その他 ()	()
6. わからない	()

問 48 令和3年度介護報酬改定・基準省令改正によって、すべての介護事業所における高齢者虐待防止のための体制整備等の取り組みが義務化されています。（3年間の経過措置）
貴事業所における高齢者虐待防止の取り組みの状況はいかがですか。

① 虐待の防止のための対策を検討する委員会の設置	1. すでに設置している ()
	2. 設置時期が決まっている ()
	3. 設置時期は未定 →その理由 ()
② 虐待の防止のための指針の作成	1. すでに作成している ()
	2. 作成時期が決まっている ()
	3. 作成時期は未定 →その理由 ()
③ 虐待の防止のための従業者に対する研修	1. すでに実施している ()
	2. 実施時期が決まっている ()
	3. 実施時期は未定 →その理由 ()
④ 虐待の防止に関する措置を適切に実施するための担当者	1. すでに配置している ()
	2. 配置時期が決まっている ()
	3. 配置時期は未定 →その理由 ()

【松戸市への要望についておうかがいします】

問 49 施設・事業所の介護支援専門員として、松戸市に対して望むことはどのようなことですか。（あてはまるもの3つまで）○

1. 介護保険に関する最新・適切な情報提供	10. ボランティアの高成
2. スキルアップ（育成）のための研修の支援	11. 認知症に関する啓発
3. 給付管理等に関する相談体制の充実	12. 多職種連携への支援
4. 事業所への指導・監査の徹底	13. 医療介護連携への支援
5. 地域包括支援センターの対応力向上	14. 災害・感染症対策の支援
6. 市民への自立支援や適正なサービス利用についての啓発	15. 離職防止・就業定着のための対策
7. 処遇困難者への対応	16. その他 ()
8. 事務手続きの簡略化	17. 特にない
9. 介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの見直し	()

◎高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。
ご記入いただいた調査票を3つ折りして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和5年5月12日（金）**までにお近くの郵便ポストに投函してください。
ご協力ありがとうございました。

4. 町会・自治会調査 調査票

WEB (インターネット) で回答する場合は
右のログインID・パスワードにて
回答フォームにログインし、回答してください。

ログインID：
パスワード：

松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関するアンケート調査
町会・自治会調査 調査票

【このアンケートで、「町会等」とは、「町会・自治会」のことを指します。】

問1 この調査票を記入される方の町会等内における役職をお答えください。(1つの番号に○)

1. 会長
2. 副会長
3. 役員
4. その他 ()

問2 町会等のある日常生活圏※はどこですか。(1つの番号に○)

※ 日常生活圏とは、高齢者が住み慣れた地域で適切なサービスを受けながら生活を継続できるように、地域の特性に応じて町村内を区分したものです。

1. わからない
2. 明第1
3. 明第2西
4. 明第2東
5. 本庁
6. 矢切
7. 東部
8. 常盤平
9. 常盤平団地
10. 五香松飛台
11. 六実六高台
12. 小金
13. 小金原
14. 新松戸
15. 馬橋西
16. 馬橋

【地域づくり等についておうえかがいします】

問3 町会等が主体となって行う活動について、運営側・担い手に現役世代(20～64歳)が参加していますか。(1つの番号に○)

1. はい
2. いいえ

問3-① 現役世代が参加するようになった経緯を教えてください。(自由記入)

問4 日頃、町会等が住民から特に求められていることはどのような活動だと思いますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 居場所づくり(高齢者、子ども、障害者等)
2. 見守り活動・声かけ活動
3. 生活支援(ごみ出し、洗濯、買い物等)
4. 交流イベント・行事(祭り、子ども会等)
5. 防災、防犯
6. 移送・送迎
7. 地域の衛生環境の保全
8. その他 ()

問5 日頃、町会等が主体となって、どのような活動を行っていますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 特に行っていない →問6にお進みください
2. 居場所づくり(高齢者、子ども、障害者等)
3. 見守り活動・声かけ活動
4. 生活支援(ごみ出し、洗濯、買い物等)
5. 多世代交流
6. 防災・防犯
7. 移送・送迎
8. 地域の衛生環境の保全
9. その他 ()

問5-①を
お答えください

町会等が主体となって活動を行っていると思われる方におうえかがいします。
問5-① その活動は、どのような方と協力・連携を行っていますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 特に連携していない
2. 民生委員・児童委員
3. 社会福祉協議会関係者
4. 高齢者支援連絡会関係者
5. ボランティア(〇〇協力員等)
6. 高齢者いきいき安心センター(地域包括支援センター)
7. 企業・事業者等
8. NPO
9. 行政
10. その他 ()

問6 防災・防犯のうち特に関心の高いものは何ですか。(1つの番号に○)

1. 地震・台風等自然災害対策(防災)
2. 自主防災・要支援者対策(防災)
3. 空き巣などの侵入盗(防犯)
4. 自転車盗や車上狙いなどの窃盗(防犯)
5. 詐欺などの消費者被害(防犯)
6. その他 ()

問7 今後の町会等の活動において、どのような方に特に企画・運営に関わっていただきたいと思いま
すか。(あてはまるもの3つまで○)

1. 児童・生徒 (小～高校生)
2. 学生 (大学生・専門学校生)
3. 現役世代 (20～64歳)
4. 高齢者 (65歳以上)
5. 障害者
6. 高齢者いきいき安心センター (地域包括支援センター)
7. 企業・事業者等
8. NPO
9. その他 ()

問8 町会等において感じている地域の課題を教えてください。(あてはまるもの3つまで○)

1. 地域の防災に関する問題
2. 地域の安全対策や防犯に関する問題
3. ひとり暮らし高齢者に関する問題
4. 住民同士の交流やコミュニケーションの希薄化
5. 災害時における要支援者支援についての対策
6. 緊急時における連絡体制の整備
7. 町会等の活動への参加者の減少
8. 子どもや青少年の育成に関する問題
9. こみの出し方や資源の持ち去りなどごみに関する問題
10. 空き家の増加や空き家対策
11. ベンチや公衆トイレなどの休憩所が不足している
12. その他 ()

問9 町会等として、問8の課題を解決するために実施すべきと思われることを教えてください。
(あてはまるもの3つまで○)

1. 町会等の担い手を確保する
2. 町会等により多くの方に参加してもらう
3. 市役所、商店などの町会等以外の人と連携する
4. 誰もが集える場所を確保する、作る
5. 様々な情報がすべての住民に届けられる方法を考える
6. 補助金や助成金制度の活用を考える
7. 町会等内での勉強会を積極的に開催する
8. 住民同士が楽しみながら交流できるイベント・行事を積極的に開催する
9. その他 ()

問10 コロナ禍の影響により、町会等の以下の活動はどのように変化しましたか。
(①～⑥それぞれ1つの番号に○)

① 防災・防犯 (1つの番号に○)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない 4. 分からない 5. 行っていない
② 通いの場・サロンの開催 (1つの番号に○)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない 4. 分からない 5. 行っていない
③ 買い物支援等の生活支援 (1つの番号に○)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない 4. 分からない 5. 行っていない
④ 資料の回覧や掲示活動 (1つの番号に○)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない 4. 分からない 5. 行っていない
⑤ 町会等のイベント・行事 (1つの番号に○)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない 4. 分からない 5. 行っていない
⑥ 高齢者等への見守り活動・声かけ活動 (1つの番号に○)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない 4. 分からない 5. 行っていない

【地域連携についてお答えください】

問11 お住まいの地域を担当する高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）を知っていますか。(1つの番号に○)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問12 町会等での活動に関して、高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）に相談したことがありますか。(1つの番号に○)

- 1. 過去1年以内に相談した
- 2. 1年以上前だが相談したことがある
- 3. 相談したことがない

問13 児童、高齢者及び障害者に対する虐待（3虐待）について、虐待のない誰もが安心して暮らせるまちを実現することを目的とした、「松戸市虐待防止条例」が令和2年4月から施行されました。「松戸市虐待防止条例」について知っていますか。(1つの番号に○)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問14 虐待が疑われる状況を発見した際の、通報・相談先について知っていますか。(1つの番号に○)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

【災害についてお答えください】

問15 松戸市避難行動要支援者名簿※を活用して、実際にどのような活動をしていますか。

※ 避難行動要支援者名簿とは、災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障害者等の避難行動要支援者について、ご本人の希望に基づき、あらかじめ登録しておく名簿のことです。

- 1. 要支援者への訪問
- 2. 要支援者ごとの避難支援者の選定
- 3. 要支援者宅や避難所・避難ルート等を含めた地図の作成
- 4. 防災訓練（情報伝達訓練）
- 5. 防災訓練（安否確認訓練）
- 6. 防災訓練（避難誘導訓練）
- 7. 要支援者ごと、避難経路や持出品などをまとめた個別計画の作成
- 8. その他（ ）
- 9. 活用していない

問16 町会等として避難行動要支援者に対する避難行動が必要になった場合の対応について、どのような支援を行うか取り決めをしていますか。(1つの番号に○)

- 1. 取り決めをしている
- 2. ある程度取り決めをしている
- 3. あまり取り決めをしていない
- 4. 全く取り決めをしていない

問17 福祉避難所※について知っていますか。(1つの番号に○)

※ 福祉避難場所とは、災害発生時に高齢者・障害者など特別な配慮を必要とする人を受け入れる避難所のことです。

- 1. どのような場所知っている
- 2. 聞いたことがある
- 3. 聞いたことがない

【町会等内の「通いの場」についてお答えください】

問18 町会等が主体で開催している通いの場※はありますか。(1つの番号に○)

※ 通いの場とは、高齢者をはじめとした地域住民の方々が、日常的に活発の方々と触れ合う場のことをいいます。地域住民が主体となつて活動しており、地域にある集会所や公園などを使用して、お茶を飲みながら歓談したり、体操をしたり、ほかの人と一緒に趣味を行ったりしています。

- 1. ある
- 2. ない
- 3. わからない

→問18-①～⑥をお答えください

→次のページ

問19にお進みください

町会等が主体で開催している通いの場が「ある」と答えた方にお答えください。

問18-① 通いの場の活動内容を教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 体操
- 2. 脳トレ
- 3. 手工芸
- 4. ゲーム
- 5. 室内スポーツ
- 6. 屋外スポーツ
- 7. 園芸
- 8. ボランティア
- 9. 音楽
- 10. 茶話会
- 11. その他（ ）

問18-② どのような方が中心となっていますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 町会等の役員
- 2. 民生委員・児童委員
- 3. シニアクラブ（老人クラブ）
- 4. 有志の市民
- 5. その他（ ）

問18-③ どのような方が参加していますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 一般高齢者（65歳以上）
- 2. 要支援高齢者
- 3. 要介護高齢者
- 4. 現役世代（20～64歳）
- 5. その他（ ）

問18-④ 通いの場があることで、どのような効果を期待しますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 地域のつながりができる
- 2. 参加者の外出が増える
- 3. 参加者の健康づくりに役立つ
- 4. 参加者のたのしみ
- 5. あまり効果はない
- 6. その他（ ）

問18-⑤ 町会等が通いの場を開催するとき、どのようなことが問題となりますか。(あてはまるものすべての番号に○)

- 1. 担い手不足
- 2. 開催準備の手間
- 3. 活動場所の確保
- 4. 人間関係
- 5. 家族の理解
- 6. 個人の費用負担
- 7. その他（ ）

問 19 町会等以外が主体になって開催している通いの場はありますか。(1つの番号に○)

1. ある
2. ない
3. わからない

→問 19-①・②をお答えください
→問 20 にお進みください

町会等以外が主体になって開催している通いの場が「ある」と答えた方におうかがいします。

問 19-① その運営母体はどのようなものですか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 社会福祉協議会
2. NPO法人
3. 自主的なボランティア団体
4. 高齢者支援連絡会
5. 元氣応援くらぶ
6. シニアクラブ (老人クラブ)
7. 地域住民の有志
8. その他 ()
9. わからない

問 19-② 通いの場の運営のために何か支援をしていますか。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 活動場所の提供
2. 回覧や掲示板で周知の協力
3. スタッフとしてお手伝いしている
4. 金銭面への補助
5. その他 ()
6. 特に行っていない

問 20 松戸市が推進している通いの場を支援する事業である「元氣応援くらぶ」を知っていますか。(1つの番号に○)

1. 「元氣応援くらぶ」を知っており、補助金を交付している等松戸市が活動支援していることについても知っている
2. 「元氣応援くらぶ」自体は知っているが、具体的にどのようなものかは分らない
3. 「元氣応援くらぶ」自体知らない

◎高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。

ご記入いただいた調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、
令和5年5月12日(金)までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力ありがとうございました。

5. 特別養護老人ホーム入所待機者調査 調査票

WEB (インターネット) で回答する場合は
右のログインID・パスワードにて
回答フォームにログインし、回答してください。

ログインID：
パスワード：

松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関するアンケート調査
特別養護老人ホーム入所待機者調査 調査票

この調査票を記入されるのはどなたですか。(1つの番号に○)

1. ご本人 (入所予定者) 4. 介護支援専門員 (ケアマネジャー)
2. 家族 (ご本人からみた続柄)：) 5. その他 ()
3. 家族以外の後見人

ご本人 (入所予定者) や家族の状況についてお答えをお願いします

問1 令和5年4月1日現在のご本人 (入所予定者) の年齢を記入してください。(数字を記入)

満 () 歳

問2 ご本人 (入所予定者) の性別をお答えください。(1つの番号に○)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問3 ご本人 (入所予定者) の現在の要介護等状態区分は、次のうちどれですか。
(1つの番号に○)

1. 要介護1 5. 要介護5
2. 要介護2 6. その他 ()
3. 要介護3 7. わからない
4. 要介護4

問4 ご本人 (入所予定者) は次のような医療処置を日常的に必要としていますか。
(あてはまるものすべての番号に○)

1. 特に医療処置は受けていない 7. ペースメーカー
2. 胃ろう・経管栄養 8. たんの吸引
3. インスリン注射 9. 床ずれの処置
4. 尿道カテーテル 10. 人工透析
5. 人工肛門 11. その他 ()
6. 在宅酸素療法

1/12

問5 ご本人 (入所予定者) は、認知症と思われる症状がありますか。(1つの番号に○)

1. ある →問5-①・②をお答えください
2. ない →問6にお進みください
3. わからない

ご本人 (入所予定者) に認知症と思われる症状が「ある」と答えた方におうかがいします。

問5-① 医師から認知症と診断されたことがありますか。(1つの番号に○)

1. ある 2. ない 3. わからない

問5-② 認知症状態どの程度ですか。現在の状況に最も近いものをお答えください。
(1つの番号に○)

1. 何らかの症状はあるが、日常生活はほぼ自分でできる
2. 日常生活に多少差し障りがあるが、誰かが注意していれば自分で行動できる
3. 日常生活に差し障りがあり、時々介護を必要とする
4. 日常生活に大きな差し障りがあり、常に介護を必要とする
5. 非常に症状が重く、専門的な医療を必要とする

問6 ご本人 (入所予定者) は、現在どこで生活していますか。(1つの番号に○)

1. 自宅 (親族等の家と同居している場合やショートステイ利用中を含む)
2. 介護付き有料老人ホーム
3. 住宅型有料老人ホーム
4. ケアハウス
5. サービス付き高齢者向け住宅
6. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)
7. 介護老人保健施設 (老人保健施設)
8. 介護医療院
9. 医療機関
10. その他 ()
11. 何の施設かわからない

問7 家族構成をお答えください。(1つの番号に○)

1. 1人暮らし 4. 息子・娘 (義理の関係も含む) との2世帯
2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) 5. その他 (3世帯を含む)
3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)

2/12

問8 ご本人（入所予定者）の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和4年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（1つの番号に○）

1. 50万円未満
2. 50～100万円未満
3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満
5. 200～250万円未満
6. 250～300万円未満
7. 300～400万円未満
8. 400～500万円未満
9. 500～600万円未満
10. 600～700万円未満
11. 700～800万円未満
12. 800万円以上

問9 世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、令和4年の1年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（1つの番号に○）

1. 50万円未満
2. 50～100万円未満
3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満
5. 200～250万円未満
6. 250～300万円未満
7. 300～400万円未満
8. 400～500万円未満
9. 500～600万円未満
10. 600～700万円未満
11. 700～800万円未満
12. 800万円以上

問10 ご本人（入所予定者）は、現在介護保険サービスを利用していますか。（1つの番号に○）

1. 利用している
2. 利用していない

→ 次のページ 問10-②-④をお答えください

→ 問10-①をお答えください

ご本人（入所予定者）は現在介護保険サービスを「利用していない」と答えられた方におうかがいします。

問10-① 利用していない理由は何かですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 自分でまてできるから
2. 利用したいサービスがないから
3. 入所・入所しているから
4. 家族等の介護で十分だから
5. 他人に介護されるのが嫌だから
6. 利用料の負担が大きいため
7. 介護保険以外のサービスを利用しているから
8. その他（ ）
9. わからない
10. 持っていない

→ 5ページ 問11にお進みください

ご本人（入所予定者）は現在介護保険サービスを「利用している」と答えられた方におうかがいします。

問10-② 現在、ご本人（入所予定者）はどのような介護保険サービスを利用していますか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 訪問介護（訪問型サービス）
2. 通所介護（通所型サービス）
3. 訪問看護
4. 訪問入浴介護
5. 通所リハビリテーション（デイケア）
6. 訪問リハビリテーション
7. 短期入所（ショートステイ）
8. 認知症対応型通所介護
9. 医師による療養上の指導（居宅療養管理指導）
10. 歯科医師や歯科衛生士による療養上の指導（居宅療養管理指導）
11. 薬剤師による療養上の指導（居宅療養管理指導）
12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
13. 小規模多機能型居宅介護
14. 看護小規模多機能型居宅介護
15. 福祉用具貸与
16. 福祉用具購入
17. 住宅改修
18. 介護付き有料老人ホーム入居中
19. グループホーム入居中
20. 介護老人保健施設入所中
21. 介護医療院入所中
22. 介護療養型医療施設入院中
23. その他（ ）

問10-③ 介護サービス（介護保険外の自費負担含む）に要する1か月あたりの利用者負担額の総額はどの程度ですか。（1つの番号に○）

1. 5万円未満
2. 5～10万円未満
3. 10～15万円未満
4. 15～20万円未満
5. 20～25万円未満
6. 25～30万円未満
7. 30万円以上
8. わからない

問10-④ 現在の介護保険利用負担割合は何割ですか。（1つの番号に○）

1. 1割負担
2. 2割負担
3. 3割負担
4. わからない

特別養護老人ホームの入所申込み等についておうかがいします

問13 特別養護老人ホームの入所を初めて申込んだのはいつですか。(1つの番号に○)

1. 半年以内
2. 半年以上前～1年以内
3. 1年以上前～2年以内
4. 2年以上前～3年以内
5. 3年以上前～5年以内
6. 5年以上前

問14 特別養護老人ホームに申込んだ主な理由のうち、本人の状態等を踏まえた理由を教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 必要な生活支援が多くなりすぎたから
2. 必要な身体介護が多くなりすぎたから
3. 認知症の症状が悪化したから
4. 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから
5. その他 ()
6. 本人の状態等に属する理由は特にならない

問15 現在、何か所の特別養護老人ホームについて入所申込みをしていますか。(1つの番号に○)

1. 1か所
2. 2か所
3. 3か所
4. 4か所以上 () か所

問16 どちらの地域の特別養護老人ホームへの入所を希望しますか。(1つの番号に○)

1. (本人又は介護者等の)現在の住まいの近くにある施設だけを希望する
2. 松戸市内の施設であればどこでもかまわない
3. 近隣市区(葛飾区や三郷市を含む)の施設であればどこでもかまわない
4. どこ施設でもかまわない

問17 特別養護老人ホームへ入所される場合、どのような部屋を希望されますか。(1つの番号に○)

1. 個室(ユニット型または従来型)
2. 多床室
3. どちらでもよい

問18 特別養護老人ホームへ入所したい時期はいつですか。(1つの番号に○)

1. 今すぐ入所したい
2. 3ヶ月から半年先に入所したい
3. 半年から1年先に入所したい
4. 当面は入所しなくてもよいが、必要になったときに入所したい
5. その他 ()

6/12

問11 ご本人(入所予定者)の介護にかかわっている家族・親族は誰ですか。(数字を記入)

() 人

問12 ご本人(入所予定者)の介護を主に(一番長い時間)行っているのはどなたですか。(1つの番号に○)

1. 配偶者(夫または妻)
2. 子
3. 子の配偶者
4. その他の親族
5. 介護の専門職(ホームヘルパー・施設の介護職員等)
6. その他 ()
7. 介護している人はいない

→問12-0・2をお答えください
→次のページ 問13へお進みください

ご本人(入所予定者)の介護を主にやっているのが家族・親族と答えられた方におうかがいします。
問12-0① ご本人(入所予定者)を主に介護している方の性別をお答えください。(1つの番号に○)

1. 男性
2. 女性
3. その他

問12-② ご本人(入所予定者)を主に介護している方について、次の中からあてはまるものをお答えください。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 65歳以上である(令和5年4月1日現在)
2. 障害者である(障害者手帳を持っている)
3. 要支援認定または要介護認定を受けている
4. ご本人(入所予定者)を含め複数の方を介護している
5. 病気で通院している(病名:)
6. 仕事をしている
7. 子育て中である
8. ご本人(入所予定者)と同居している
9. あてはまるものはない

5/12

→ **特別養護老人ホームへ3ヶ月以上先、当面は入所しなくてよいと答えたい方におうかがいします。**
問18-① 理由は何か。最も大きな理由をお答えください。(1つの番号に○)

1. 当面、自宅で生活を続けられるため
2. 医療機関に入院中、または入院予定のため
3. 介護老人保健施設に入所している、または入所予定のため
4. 有料老人ホーム・軽費老人ホーム(ケアハウス含む)・グループホーム等に入居している、または入居予定のため
5. 本人(入所予定者)が拒否しているため
6. 家族(または親族)の意見が分かれているため
7. その他()

問19 特別養護老人ホームを選んだ理由に重視することは何か。(あてはまるもの3つまで○)

1. 立地(本人又は介護者等の現在の住まいの近くにある等)
2. 費用の負担が少ない
3. 部屋が個室(ユニット型または従来型)
4. 施設や設備が新しい・きれい
5. 間取り(居室や共用スペースの面積、日当たりの良さ等)
6. サービスを受けている(受けていた)法人が運営している
7. サービスや設備が豊富
8. 食事がおいしい
9. 早く入所できる
10. 夫婦で入所できる
11. 特になし
12. その他()

問20 施設での生活を選んだ主な理由のうち、本人の意向等に属する理由を教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 本人の生活不安が大きくなったから
2. 本人の居住環境が不便だから
3. 本人が介護者の負担の軽減を望んだから
4. 本人が現在の費用負担を重く感じたから
5. 本人が入所を拒否している(家族が希望している)
6. 本人の意向等に属する理由は特になし
7. その他()

問21 施設での生活を選んだ主な理由のうち、主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由を教えてください。(あてはまるものすべての番号に○)

1. 介護者の介護に係る不安や負担が大きくなったから
2. 介護者が、在宅での介護サービスを望まなくなったから
3. 家族等による介護の技術では対応が困難になったから
4. 費用負担が重くなったから
5. 家族等の就労継続が困難になりはじめたから
6. 本人と家族等の関係性に課題があったから
7. 介護者が高齢になったから
8. 介護者が病気により療養が必要になったから
9. 他者から勧められたから
10. その他()
11. 家族等介護者の意向・負担等に属する理由は特になし

問22 特別養護老人ホームの入所申込みを決めた方はどなたですか。「主にこの人の意見で決めた」とある場合は「主にこの人の勧めで決めた」という方をお答えください。(1つの番号に○)

1. ご本人(入所予定者) →問23へお進みください
2. 家族・親族
3. 介護支援専門員(ケアマネジャー) →問22-0をお答えください
4. その他()

特別養護老人ホームの入所申込みを決めた方がご本人以外と答えたい方におうかがいします。
問22-① ご本人(入所予定者)の特別養護老人ホームへの入所について、家族(または親族)で話し合っていますか。(1つの番号に○)

1. 日常的によく話し合っている
2. たまに話し合っている
3. あまり話し合ったことはない
4. まったく話し合ったことはない
5. その他()

問23 特別養護老人ホームに入所された場合、主に費用を負担される予定の方はどなたですか。(1つの番号に○)

1. ご本人(入所予定者)
2. 配偶者
3. 子どもまたは子の配偶者
4. その他の親族
5. その他()
6. わからない

→ 次のページ 問23-0をお答えください

→ 次のページ 問24へお進みください

→ 主に費用を負担される予定の方がご本人ご家族等と回答した方におうかがいします。

問 23-① 入所費用にあてられる主な収入（資金）は何ですか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 公的年金	5. 子または子の配偶者からの援助
2. 預貯金	6. その他の親族からの援助
3. 給与・賃金	7. その他（ ）
4. 株式等の配当や不動産収入	

問 24 特別養護老人ホーム以外で申込みをしている施設をお答えください。（あてはまるものすべての番号に○、数字を記入）

1. 介護老人保健施設（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
2. 介護医療院	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
3. グループホーム	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
4. 介護付き有料老人ホーム	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
5. 住宅型有料老人ホーム	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
6. サービス付き高齢者向け住宅	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
7. ケアハウス	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
8. その他（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
9. 申込みはしていない									

問 25 特別養護老人ホームから入所可能な連絡があった際に辞退したことがありますか。（1つの番号に○）

1. ある	2. ない
-------	-------

→ 次のページ 問 26 へお進みください

→ 問 25-①・② をお答えください

入所可能な連絡があった際に辞退したことが「ある」と答えた方におうかがいします。

問 25-① 辞退した理由は何ですか。最も大きな理由をお答えください。（1つの番号に○）

1. 当面、自宅で生活を続けられるため
2. 部屋の種類（ユニット型個室・多床室など）が希望に合わなかったため
3. 費用が高くて負担できないため
4. 医療機関に入院中または入院予定のため
5. 介護老人保健施設に入所した、または入所予定のため
6. 有料老人ホーム・軽費老人ホーム（ケアハウス含む）・グループホーム等に入居した、または入居予定のため
7. 本人（入所予定者）が拒否したため
8. 家族（または親族）の意見が分かれたため
9. その他（ ）

問 25-② 入所を辞退した後、入所申込みを取り下げない理由は何ですか。最も大きな理由をお答えください。（1つの番号に○）

1. 申込者が多い中、希望したときにすぐ入所できるかわからないから
2. 取り下げ後の再申込みが不利になると思うから
3. 第一希望の施設に入れるまで待つつもりだから
4. 取り下げたことを忘れていたため
5. その他（ ）

問 26 特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことがありますか。（1つの番号に○）

1. ある	2. ない
-------	-------

→ 問 26-①・② をお答えください

→ 問 27 へお進みください

特別養護老人ホームへの入所を施設側から断られたことが「ある」と答えた方におうかがいします。

問 26-① 入所を断られた時期はいつですか。（1つの番号に○）

1. 入所を申込んだとき
2. 本人（入所予定者）の身体状況が変わったことを施設に連絡したとき
3. 施設側から本人（入所予定者）の身体状況を確認する連絡がきたとき
4. その他（ ）

問 26-② 入所を断られた理由は何ですか。最も大きな理由をお答えください。（1つの番号に○）

1. 医療処置に対応できないため
2. 行動上の障害や精神症状により施設側に対応できないため
3. 入所申込み時点とは状況が異なっていたため（介護度が軽くなっている等）
4. その他（ ）

特別養護老人ホーム入所の優先順位についておうかがいします

問 27 松戸市は、必要性が高い方から特別養護老人ホームに入所できるよう、本人の状況や介護者の状況を客観的に判断するための基準を定め、基準に従って付けられた点数の大小により入所優先順位を決定しています。こうした基準によって入所の優先順位が決まっていることを知っていましたか。（1つの番号に○）

1. 知っていた	2. 知らなかった
----------	-----------

問 28 今後、入所基準で優先すべき事項は何だと思いますか。（1つの番号に○）

1. 要介護度	4. 介護者が子育て中であること（ダブルケア）
2. 認知症の度合い	5. 介護者が18歳未満であること（ヤングケア）
3. 介護者の高齢化	6. その他（ ）

10/12

9/12

今後の生活や介護保険のサービスについてお答えをお願いします

問 29 ご本人（入所予定者）は特別養護老人ホームに申込んだ時点と比較して現在では入所に関してどのように考えていますか。（1つの番号に○）

1. できるだけ早く施設に入所したい
2. 在宅で暮らし続けたいが、条件が整わなければ施設に入所したい
3. 可能な限り在宅で暮らし続けたい
4. 特別養護老人ホームにこだわらず、入所できる施設（有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅等）があれば入所したい
5. その他（ ）
6. わからない

問 30 特別養護老人ホームへの入所以外で対応できる介護サービスがあれば入所希望について再検討する可能性はありますか。（1つの番号に○）

1. ある
2. ない

問 31 松戸市では「要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で生活し続けたい」という方の希望を実現するため、重度の方を支える以下の在宅サービスの整備を進めていますが、これらの在宅サービスを知っていましたか。また、ご本人（入所予定者）は利用してみたいと思いますか。①～③それぞれに回答してください。

	知っていましたか (1つの番号に○)	利用してみたいと思いますか (1つの番号に○)
① 小規模多機能型居宅介護※1	1. 知っていた 2. 知らなかった	1. 利用してみたい（すでに利用している） 2. 利用してみたいと思わない
② 看護小規模多機能型居宅介護※2	1. 知っていた 2. 知らなかった	1. 利用してみたい（すでに利用している） 2. 利用してみたいと思わない
③ 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護※3	1. 知っていた 2. 知らなかった	1. 利用してみたい（すでに利用している） 2. 利用してみたいと思わない

※1 小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行う介護保険サービスです。

※2 看護小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問（介護）」に加えて、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせること、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることができる介護保険サービスです。

※3 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護とは？
定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24時間365日必要なサービスが必要なタイミングで柔軟に提供するサービスです。訪問介護員（ホームヘルパー）だけでなく看護師なども連携し、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることもできる介護保険サービスです。

問 32 自宅で介護を受けながら生活していくためには何が必要だと思いますか。（あてはまるものすべての番号に○）

1. 介護する家族が休憩をとれるようなサービス
2. 家族等の介護者が介護しやすい居住環境
3. テイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護を柔軟に受けられるサービス
4. テイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護や看護を柔軟に受けられるサービス
5. 24時間、定期的な巡回と随時の訪問で介護や看護、緊急時の対応などが受けられるサービス
6. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所
7. 介護する家族同士がお互いに知識や悩みを共有できる場所
8. 家族が介護するための技術を習得できる機会
9. 在宅医療の充実
10. その他（ ）

◎最後に高齢者保健福祉社や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。
ご記入いただいた調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和5年5月12日（金）**までにお近くの郵便ポストに投函してください。
ご協力ありがとうございました。

いきいき安心プランⅧまつど
(第10期松戸市高齢者保健福祉計画・第9期松戸市介護保険事業計画)

策定のためのアンケート調査報告書
(事業所等アンケート調査編)

令和6年3月

発行  松戸市

〒271-8588

千葉県松戸市根本387番地の5

TEL 047-366-1111 (代表)

編集 松戸市 福祉長寿部
高齢者支援課・地域包括ケア推進課・介護保険課
